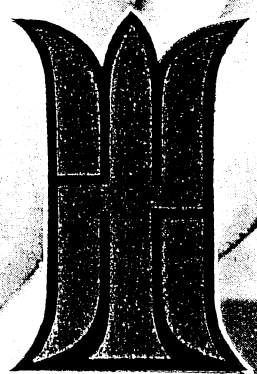
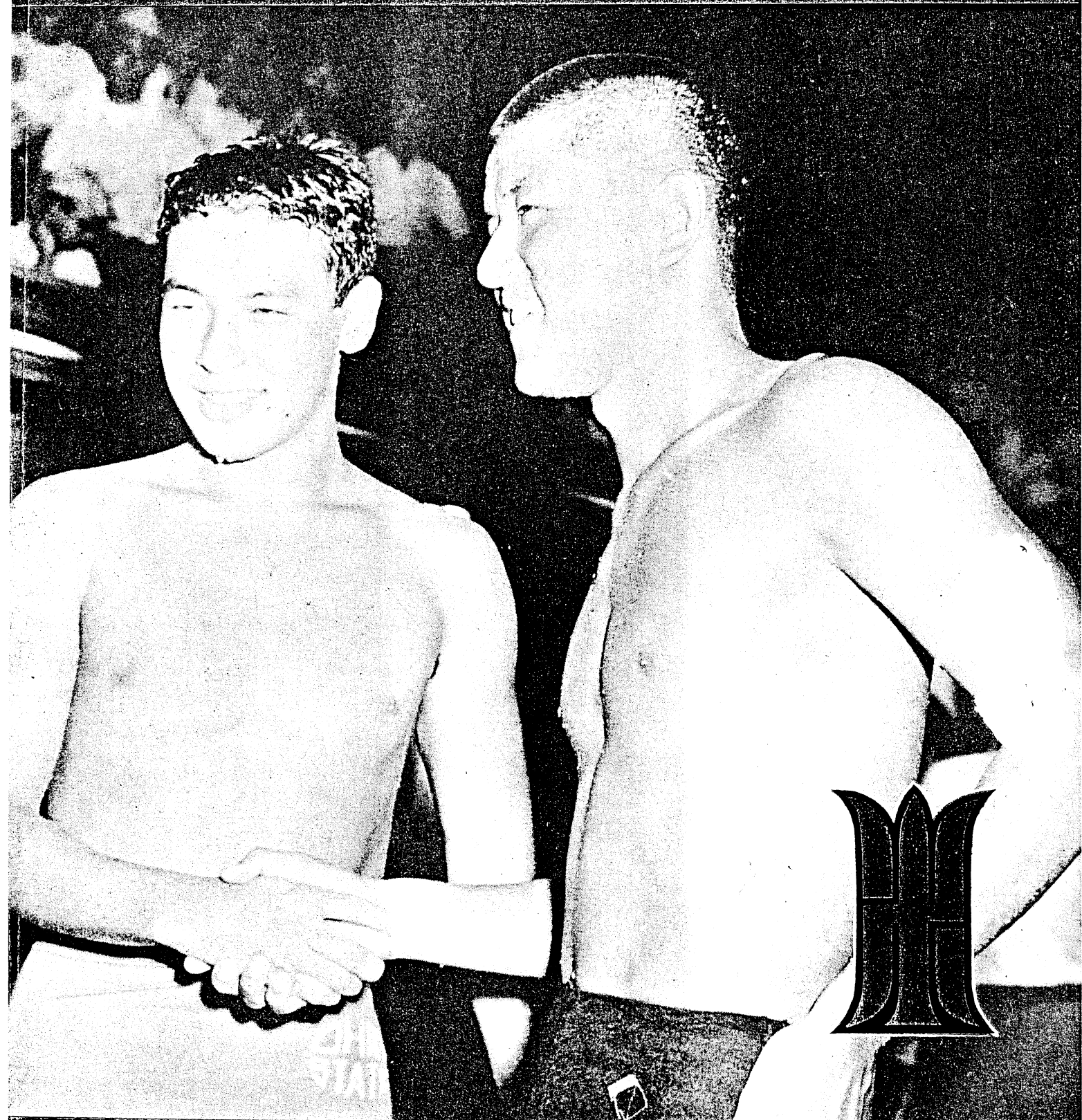


日本水泳連盟
機関誌

水泳

第99-100倍大号
昭和29年1月



"SUIEI" Nos. 99th & 100th Edition

JANUARY 1954

NIPPON SUIEI RENMEI

AMATEUR SWIMMING FEDERATION OF JAPAN

昭和29年度主要水上競技会日程予定

(◎印 N. S. R. 直轄事業)

- ◎ 4月3日(土)・4日(日)
第2回アジア大会最終予選会出場選手選考会……………東大プール
- ◎ 4月10日(土)・11日(日)
第2回アジア大会最終予選会……………東大プール
- 5月1日(土)ヨリ10日(月)マデ
第2回アジア競技大会……………マニラ
- 6月6日(日)
第26回早慶対抗水上競技大会……………神宮プール
- 6月13日(日)
第19回立・日・明三大学対抗水上競技大会……………神宮プール
- ◎ 6月21日(月)ヨリ27日(日)マデ
水泳指導者講習会,並に検定試験……………国民体育館
- ◎ 6月～7月 強化指導会
- 7月24日(土)・25日(日)
第22回日本高等学校選手権水上競技大会地方技選会
- 7月31日(土)・8月1日(日)
昭和29年度日本選手権水上競技大会地方予選会
第5回全国勤労者大会水上競技大会地方予選会
- ◎ 8月4日(水)ヨリ8日(日)マデ 水泳教室
- 8月7日(土)・8日(日)
北海道高等学校選手権水上競技大会……………未定
東北 〃……………山形県 米沢松ヶ岬プール
関東 〃……………茨城県 水戸新設プール
中部 〃……………岐阜県 県営プール
近畿 〃……………未定
中国 〃……………広島県 呉市営プール
四国 〃……………徳島県 城南高校プール
九州 〃……………鹿児島県 伊集院高校プール
- ◎ 8月12日(木)ヨリ15日(日)マデ
昭和29年度日本選手権水上競技大会……………神宮プール
- ◎ 8月18日(水)・19日(木)
国際水上競技大会……………大阪プール
- ◎ 8月20日(金) 国民皆泳大会
- ◎ 8月20日(金)ヨリ22日(日)マデ
第22回日本高等学校選手権水上競技大会……………神宮プール
- 8月28日(土)・29日(日)
第5回全国勤労者大会水上競技大会……………高知市プール
関西・東海・西部学生選手権水上競技大会……………未定
- 9月4日(土)・5日(日)
第27回関東学生選手権水上競技大会……………神宮プール
第9回国民体育大会水上競技大会地方予選会
- 9月10日(金)ヨリ12日(日)マデ
第30回日本学生選手権水上競技大会……………神宮プール
- ◎ 9月19日(日)ヨリ22日(水)マデ
第9回国民体育大会水上競技大会……………天理プール

目次

“再建第一年を顧みて”	藤田 明	(2)
“座談会”昭和28年度を顧みて		(3)
昭和28年度日本新記録		(22)
昭和28年日本国際新記録		(23)
昭和28年度日本競泳20傑表		(24)
昭和28年度日本高校競泳20傑表		(34)
昭和28年度日本中学校競泳20傑表		(43)
昭和28年度主要水上競技会記録		(52)
◎第25回早慶対抗水上競技大会		(52)
◎第18回明・立・日三大学対抗水上競技大会		(53)
◎昭和28年度日本選手権水上競技大会		(54)
◎日・米・濠・比国際水上競技大会		(56)
◎第4回全国勤労者大会水上競技大会		(58)
◎第21回日本高等学校選手権水上競技大会		(61)
◎第29回日本学生選手権水上競技大会		(63)
◎第8回国民体育大会水上競技大会		(65)
F. I. N. A. 理事会報告	安部 輝太郎	(69)
1953年世界競泳10傑表(長水路)		(74)
昭和28年度代議員会議事録		(75)
理事会議事録抜萃		(85)
第2回アジア競技大会水上競技候補選手		(89)
第2回アジア競技大会水上競技プログラム		(90)
“昨年度を思い起すまゝ”	辻 富士夫	(91)
“ブラジル遠征記”	志村 義久	(92)
“1954年度フィリピン水泳選手権大会に参加して”	根上 博	(94)
“ロンドン便り”	小山 賢之助	(94)
加盟団体の声		(96)
連盟日誌		(97)
編集後記		(100)

◎表紙写真は昭和28年度日本選手権大会1500米自由形に優勝の山下選手(右)と2位コンノ選手(左)。

“再建第一年を顧みて”

日本水泳連盟理事長

藤 田 明



終戦直後から日本水泳界が積み重ねてきた努力はヘルシンキ・オリンピックで一応総決算され、1953年を皮切りとして新たな発足の途につき、清新な構想のもとに再建が

続けられていることに異論をさしはさむ者はあるまい。

ヘルシンキ・オリンピックに参加した大きな意義の一つは、我々が世界水泳界の実体を目の辺りに見て、その日進月歩の動態を確認し多大な啓発を受けたことにあったといえよう。

1953年はこれ等の啓示に対して水泳関係者が如何に対処するかに最大の注目が払われていたが、今年間の精進の跡を顧みて、ほぼ予期の成果をあげ得たことを共に喜びたいと思う。

国際訓練の点では、コンノ、オヤカワのオリンピック・チャンピオンや鬼才ヘンリックス等米・濠の強豪を迎えて、山下を筆頭とする若い世代が大いに驥足を延ばし、フィリッピン、ブラジルへの外征に加えて、日・比少年選手が再度に亘って交歓と訓練の機会を持ったことは又とない好刺戟であった。

1948年のロンドン・オリンピックを目標に、物心双方共絶大な犠牲を払い、凡ゆる努力を傾倒して、水泳王国アメリカと覇を争う実力を養成しながら、遂に世界の檜舞台から締め出しを喰い、引いてはヘルシンキ敗北の一因を押しつけられた無念さは忘れるべくもないが、当時世界争覇の野望に燃えた古橋、橋爪、浜口等の巨人が歩を揃えて最前線から姿を消した本年の水泳界には、誰もが穴のあいたような空虚と、追われるような焦燥を感じずにはいらなかったで

あろう。そのさなかに古橋、橋爪のこよなき後継者と目される山下が華々しくデビューしたこと、また浜口の身替りともいべき谷、古賀が見事な躍進を示したことは、ややもすれば沈潜気分を陥入らんとする我が水泳界に歓喜の波を捲き起したといっても、決して過言ではあるまい。上記三君のほか自由形では鈴木、後藤、細間、浅野、足立、青木。背泳では梶浦。また平泳では田中、梶川、清池、古川、胡麻鶴。さらに800米リレーで早大の首位を筆頭に明大、日大、立大、愛知、広島各チームがくつわを並べて世界ベスト・テンにランクされたことは文字通り回生の息吹をふき込んだといべきであらう。しかもそれ等の殆どが十代の若者で占められているのは全く喜びに堪えない。まさに国際訓練の効率100%と見て差し支えあるまい。

強化関係では高石勝男氏を首班とする専門委員会の発足を見ると共に、各地で指導講習会を執行して相当な効果をあげることができた。更に若い競技者層の啓発では、インター・ハイの改組と、中学生を対象とする水泳教室の開講を実現して、楽しい将来への見透しがつきつつある。ただ誠に残念でならないのは簡易水泳施設の普及と室内プールの建設が、この一年間にはっきりした見透しを持つに至らなかったことである。

概観して再建第一年としては順調な入り出しであったと思うが、何れも漸く緒に就いたといふところで、成否は総て今後の努力に俟たなければならない実情にある。この際全国水泳関係者が小異を捨てて大同につき、メルボルン・オリンピックまでに総力を結集して『水泳日本』の復元に協力せられるよう切に念願して止まない。



座談会

“昭和28年度を顧みて”

日本選手権大会 400 米自由形決勝に力泳 1 着のコンノ選手と手前コース 2 着山下選手。

場 所	日本水泳連盟事務所		
日 時	昭和29年1月7日		
出席者	田 畑 政 治	藤 田 明	
	小 池 禮 三	伊 藤 謹 平	
	清 川 正 二	原 秀 夫	
	遊 佐 正 憲	牧 野 正 藏	
	志 村 義 久	沢 海 東 助	
司 会	川 田 友 之		

総 評

川田 今日では昭和28年の水泳を回顧してお話を願うことでお集り戴きました。不馴れですが進行係をさせて載きます。まづ田畑会長に28年は予期の成果が上ったかどうかについてお話を伺いたいと思います。

田畑 昭和28年の日本水泳の回顧といえば、やはり一番大きな問題は山下選手の登場だと思う。コンノを破ったということは特筆すべき出来事である



川田友之氏

が、反対の問題は鈴木選手を始め日本の短距離陣が濠洲のヘンリックスに敗れたこと、この二つが大きな問題だと思うね。それに割合世間には知られていないが、最近到着したキップス監督が作った世界ベスト・



田畑政治氏

テン(本誌第74頁参照)に出ている200米ブレストの田中守、この選手が非常によく、トップにランクされている。これと同時に考えなければならぬことは、ソ連の選手がこれと同じ記録で泳いでいるということ、陸上競技ではソ連が段々強くなったというが、オリンピックの後、去年頃から水泳でもソ連がはつきり世界の舞台に上って来ているということ、日、米、ソの三つどもえが去年からスタートした感じだ。長い間陽の目をみなかったバックが梶浦選手の登場で世界のベスト・エイトにランクされたことが一番大きなところで、女子の場合は世界的のことはよく判らぬが、キップス氏の表をみても世界ベスト・テンという点からみると日本の女子はとて水準に達していない。相当距離があるが、国としてみれば日本の水泳はちょうどいいところまでいっていると思う

ね。従って日本の水泳というものも、100米にしても400米にしても、あるいはバック、ブレストなど悪いという種目も投げる必要はない。今後のやり方次第で期待がもてる。女子は体力的に恵まれていないことが大きな弱点ではあるが、決して悲観すべきではなく、やはり努力次第でよいところまで行けるのではないかということが去年の経過からみていえると思う。

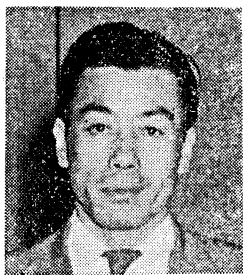
藤田 ヘルシンキに出場した古橋、橋爪、浜口というベテランにとって変って、若い年齢層が新しくはっきり踏出したことが去年の大きな問題でしょう。

川田 ということはメルボルンへの準備ができつつあると考えられる訳ですね。

では次に一番大きな大会であった全日本選手権大会、これには外国から多数の選手が来て相当大的な成果を夫々残して行ったが、この大会について遊佐さんから。……

全日本選手権大会

遊佐 それでは短距離の方から始めます。100米はヘンリックスが57.4秒の記録で優勝したわけですが、ヘンリックスについては日本に来る前から新聞や古橋の私信などで非常によいフォームをして



遊佐正憲氏

泳いでいるということが伝えられていたが、実際ヘンリックスが来て泳ぎをみると、泳ぎそのものは非常によいと聞いていたからそう感じたのかも知れないが、それほど期待したほどよいとは思わなかった。しかしなかなか力のある泳ぎだと思いました。練習の泳ぎだけを見ると記録的には大きな期待はもてないよう感じたが、いざ蓋をあけて見ると100米を57.4秒でオリンピック2位の鈴木や、古賀、谷川谷、というような58秒をコンスタントに出す選手に交って57.4秒で泳いだのだから、次のメルボルンあたりでは優勝候補の1人であるといえると思いますね。



藤田 明氏

それに比べて日本では相当期待された鈴木があまり振わず、一番よい記録が予選で58秒4、決勝は59秒0です。200米は鈴木が練習中記録を1回もとったことがないということが200米に対する自信がもてなかったのだと思われる。200米の予選の結果がやはり自分自身で考えて思わしくないために、100米も200米もある程度自信がもてなかったのだらうと思う。

それに反して古賀、谷あたりは記録的にはまあまあで、古賀が58秒2で2着になっている。高校の選手だし、体はよいし、精進如何によっては相当のびる選手でしょう。やはり鈴木が期待した結果をみせなかったことにどうしても淋しさを感じますね。200米は鈴木は実際には力があつたのだらうと思うが、自信がもてなかったために、予選では2分15秒6、準決勝2分13秒0、決勝2分12秒2、インター・カレッジのときはあれだけ元気があつたのだから、この時も10秒を切る程度の力をもってあつたのだらうが、矢張り自信がもてないために記録の上では芳しからざるものを残したわけです。それにつけても試合前には1度や2度の記録は自信を持つ意味でとることが必要だと痛感したのです。

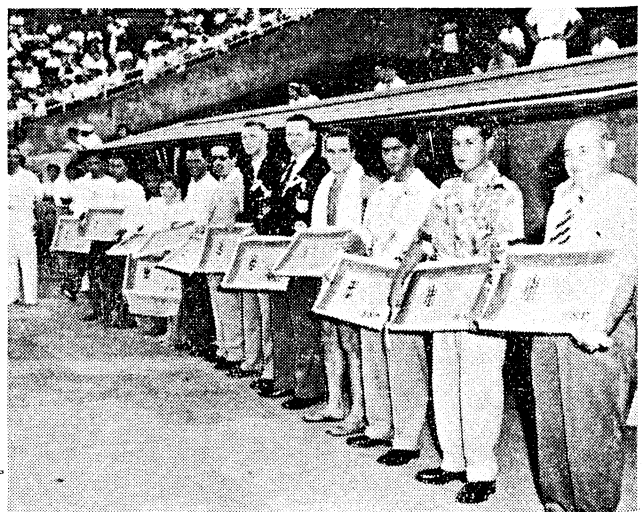
大体記録的には全日本よりインター・カレッジの方が総体的によかったが、これもオリンピック



フィリップス監督



ヘンリックス選手



全日本選手権へ招聘の米・濠・比選手へ水連よりベナントを贈呈。

明けの年だけに練習の開始が多少いつものオリンピックの年とか、早い時期に試合がある年の記録よりは調子が出るのがどうしても遅いという結果が、全日本はインター・カレッジより記録的には悪かったといえると思う。400、1500米は会長がいわれたように、山下が登場して来て、特に1500米はオリンピック記録を破る好記録を出し、しかも若く真面目な選手ですから次のオリンピックには相当な活躍をするでしょう、本命ですね。古橋の記録を何時破るかを我々にしても、或は水泳のファンにしても期待していると思う。

決勝では18分27秒4で古橋の19分18秒0にあと8秒足らずですから、好調になれば簡単に破れるように思います。1500の記録に比較するとちょっと400の方がもう少し記録的に出てもいいのじゃないかと思われる。山下は橋爪と違って相当スプリントをもっているから。……400の本当のペースをもっておらないのじゃないか。

400に於いて400のペースを自分のものにしたら一段と記録的に飛躍をみると思う。その他の選手では古いところで浅野、青木、北村とかありますが、記録的には余り伸びておらず、ただ長距離においては山下が一番期待が持てるわけです。

藤田 明治の足立が全日本で18分51秒6を出しているし、世界ランキング第4位だ。この18分51秒6は青木や北村のオリンピック予選記録よりもよい立派なものです。併しその後足立が思ったほど伸びなかったのは残念ですがね。

遊佐 水泳歴は長いでしょう。

藤田 むしろ水泳歴は短い方だろう。磐田農商から去年明治に入ったのだ。

志村 実際問題としては3年にならないでしょう。

小池 コンノと山下で隠れてしまったのですよ。

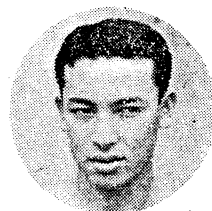
藤田 コンノと山下のレースは記録もさることながら非常に良かったね。コンノと橋爪のペースをそのまま人を変えてやったようなレースだった。

川田 そのレース直後コンノ、オヤカワ、サガワ、ハリソン、監督のペッペが一室にジッとコンノを取囲んで30分位誰も何んにもいわずに、ただコンノの気持の収まるさまをみつめていた。コンノは

黙ってレースのあとを振りかえっているかのようだった。その前日までよいレースはするが、負けるとは考えてもいなかったらしいが、結局は現実に堂々と敗れたというので、コンノとしては自分の後継者が日本から現われたという気持ちに到達したのでしょね。直ぐその後でオリンピックで自分が使った水着を山下にやったのです。ということは世界のタイトルをお前に渡したということで、自分よりもっと優れた者が現われたということが、コンノが敗れた口惜しさを超越した大きな喜びを感じた上でのことと考えてやれるような情景がありました。

小池 いい話ですね。

田畑 1500米は山下、古橋、橋爪と昔の牧野、北村時代に比べてよいレコードをもってはいるが、キ



コンノ選手

ップス氏の作ったベスト・テンでも日本が1位に山下、4位足立、8位青木と入っている。20年前ロスアンゼルスオリンピックの北村の力よりもよくなっているのは3人だということは長距離陣営は非

常にさびしい感じがする。ことにその中にソ連が1人、ハンガリーが3人、米国が2人入っていて、なにか伝統の1500米という点からみると山下を除くとさびしさを感じるな。足立がそれほど買えるか疑問だし。……

藤田 11位ぐらいからあと19分15、16秒あたりに石橋、北村などが並んでいるから確実に伸びてくれば相当いけるのじゃないか。ソ連が相当強くなったから警戒しなければならないと会長がいわれたが、これと同時にアメリカ、ソ連のほかにハンガリーを非常に警戒しなければならない。女子は勿論、水球もハンガリーが世界の王座を占めているが、男子の競泳でもハンガリーの躍進はあらゆる種目にわたっているから、今後の動きを見守らなければならない。

志村 ハンガリーに片眼のコーチがいるが、非常に熱心で、この間サンパロに日本選手が来るというのでわざわざ来ているほどで、その時今に男子も日本や米国と戦えるようになるといっ



志村義久氏

ておりました。

小池 1500は世界的にみて、たくさん出て来たという事は、今までは水泳は日本と米国ということだったが、それが世界各国共非常によくやるようになったし、それに今まで1500米といえば陸上の三段跳のように日本人が強いといわれていたが、その観念が違って来たようで、1500米も他の種目のようにやれるという。……だからこれからは1500米の例をとってみてもわかるように、各国が強い短かい種目ではとても日本が一生懸命やらないとよい工合に行かないということになる。

川田 日本の10傑表を調べると10年間ランクされている選手が5人ほどおります。100米の遊佐、400米の牧野、平泳の小池、葉室。大体1500米を除いては10傑に7、8年入っている選手は各種目に相当しているが、1500米は5年以上10傑に入っているものはない、ということは非常に新陳代謝が激しいということと、常に新しいものが出て来て記録を向上して行くことを明示しているのですね。

田畑 ハンガリィは100米のバックには1人だが、あとはバタフライ、短距離、中距離など10傑に23人入っている。鈴木が100で負けたが、谷川が実際宝のもち腐れで前頭に留まっているようなものだが、あれだけの力をもっていて、あれじや日本の水泳界のために惜しいと思う。一つは練習量の問題だが、本人が心を入替えることと、監督が尻を叩くことが必要だ。谷川がああで終わった場合は醜態だね。

藤田 200米は2分8秒で完全に泳げる選手だからね。

田畑 できないことでは仕様がないうえ、やれるのだからね。

遊佐 長距離でも結局スプリントですね。去年のオリンピックでツクツク感じた。スプリントがあると最後の切札というか安心しておられます。コンノが橋爪に比べてスプリントがあるでしょう。橋爪にしてみればペース以外に頼れない。コンノはついて行きさえすればいいということで、並んでは最後は追込まむということと、片方は並ばれては最後に追込まれるという気持があるから、結局最後に負けたというのはスプリントの問題だと思う。山下はスプリントがあるから長距離の選手としてはいい素質を持っています。

バックは梶浦と芦田だが、芦田は上背もあり、

なかなか練習中にはよい記録を出す、最後まで実力を発揮できなかったですね。ただ50米では30秒4、50米の泳ぎが100米では違ってしまいうえ、練習では50米に近い泳ぎをしているのだと思う。

藤田 練習中8秒台で泳いだことはあるが、50米と100米では泳ぎが全然違うね。100米になると最後にバテルという一つの迷信というか、信念をもっているのじゃないか。(笑声)

小池 結局スタッフフォース位のフェイトをもたせなければだめだね。

遊佐 バックにしても、平泳でもインター・カレッジの方がよい。一番調子がよいピークは練習し始めて、今年は。……

藤田 オープンで泳ぎ初めたのは4月下旬です。

遊佐 5カ月目が一番ピークですね。

田畑 今までは全日本はよくなかったが。

遊佐 私も57秒2はインター・カレッジですね。

小池 われわれの感じでは全日本の方がよいでしょうね。全部を総合的にみれば。……インター・カレッジは得点に重点をおいて、とにかく勝てばよいという気持だからね。

遊佐 日本記録はインター・カレッジの方が多い。

藤田 いや全日本の方が多いだろう。

志村 私も全日本の方がよいと思う。

藤田 一昨年はオリンピック予選が一番よかったですね。

遊佐 ということは練習を相当早くやったのでしょう。5月から本格的に始めることになれば、時期からいえばインター・カレッジのように何種目も出るということがなければ8月の下旬、9月の初めの方が出るのじゃないか。

小池 時期の問題だが、インター・カレッジを8月にやればよいかも知れないが、気候が悪いとか、水が違ふとか、やはり全日本の方が総合的にはよいと思う。

藤田 去年のインター・カレッジがよかったのは特例だね。

小池 平泳はオーソドックスに変わって練習期間が伸び盛りの時でもあり、これから覚えて行こうという時だから、先の方がマスターしている度合が違うと思うね。

田畑 去年はオリンピックに行ったものは全滅だったな。

川田 田中守は？

田畑 出ていないだろう。

小池 梶川がよかったね。

藤田 梶川はまだ高校生だからインター・カレッジには出なかったが、もし出場してたら面白かったな。

遊佐 バックにしても全日本の記録からいえば、梶浦がやっと10秒切った程度で、あとは10秒4か、5、6ですよ。この記録ではちょっと物足りない、平泳もオーソドックスに切替わった。一番大きな試合としては順調な蓋開けでしょう。

志村 順調以上だね。

小池 大風呂敷をひろげないで控え目にみてもね。
……（笑声）

川田 女子はどうですか。

遊佐 女子は短距離でしょう。400米も殊更目立っては。……

藤田 5分41秒8の田村は。

田畑 もうひとふんばりだね。

遊佐 100米にしても早く10秒を切ってもらわないと問題にならない。11秒0ぐらいでは。

小池 全日本では青木はブレストでどのぐらいだった？

遊佐 3分3秒2。

小池 青木が前の年よりも着実に進歩して、もう少しで3分を切れる所まで伸びて来たことは女子の中では一番大きな収穫ではないか。あの人はスプリントのつけにくい泳ぎをしているが、葉室君が段々やって行く中に短い距離でも強くなったように、もう少しスプリントが出れば3分は切れるところまでいくのじゃないか。

藤田 バックでは伊都高校の森前が日本記録を出すし、新井はインター・ハイから出て来て国体で森前とタイ記録を出したが、バックはみんな非常にレベルが上がったようだ。新井、森前、定森と日本記録やタイを数回出している。

田畑 ということは今まで遅かったことだ。（笑声）
強くなったのはブレストだけですわ。

遊佐 最低1分18秒位で泳がないとオリンピックでは残れない。20秒切って予選通過じゃないか。

大阪国際大会

川田 全日本に引続いて行われた大阪の国際大会に

ついて清川さん一つ。

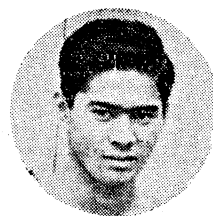
清川 大阪大会に対するわれわれの期待は、東京大会で短距離でヘンリックスに敗れた短距離陣がどこまでヘンリックスを追込めるか、同じく東京大会で敗れたコンノが大阪で400、1500に山下とどういう対戦をするか、それに東京大会では耳の病気でどちらかといえば持っている力を100%発揮しなかったオヤカワが大分体の調子が治って来たので、その威力を



清川正二氏

充分発揮してどういう泳ぎを示すかという三つが大阪大会の焦点だったと思う。ところが第1の問題であるヘンリックスに対する我が短距離陣の逆襲

というか、奮戦振りはかなり目ざましいものがあつたけれども、結果からみれば100米も200米も再びヘンリックスに優勝されて東京と同じ結果になった。長距離はコンノが東京の恥を雪がんと1500米



オヤカワ選手

にも全力を尽し、400米では東京に増して山下を引離そうということで両者が懸命な泳ぎを見せて呉れたが、1500米は再び山下が勝ち、400はコンノが猛烈に逃げ込もうとしたのを、東京よりも快調に山下が40秒を切る泳ぎをして肉迫したということで、秋のインター・カレッジにおけるよい記録への一応の望みを見せて呉れたということが大きな収穫だった。

第3のオヤカワの泳ぎですが、これは東京大会よりも体の調子がよくなったために、100米では1分7秒0の国際タイ記録で、非常によい泳ぎをみせてくれたこと、この三つが大きく見て大阪大会の焦点だった。私は主に専門の立場でオヤカワの泳ぎを見ておつたが、東京大会、並びに大阪大会を通じてのオヤカワの泳ぎに対する印象なり、オヤカワの背泳に対する考えなりを色々づっと一緒に生活しながら聞いたり、見たりしてみまして、高石さんやその他大阪のバック専門の人たちともオヤカワの泳ぎを中心にして研究したが、私が得た結論としてはオヤカワはバックの泳者として天才的な素質を持っているという印象が一つ。その素質の上に非常に真面目で猛烈な練習をして

いる。そのためにあすこまできた選手だという印象が強い。天才ということは、彼が自分の口からいったことで記録の上で眺めてみると1949年に始めて水泳界に出て来たが、その時に1分15秒2だったそうです。ところが翌年1950年は1分9秒3に飛び上った、51年には1分7秒3に上った。その次のオリンピックには1分5秒4ということで記録の伸び方をみると、他の選手の記録からみるとすごい飛躍ぶりを示している。

非常に素質があり、その上にどの位練習しているかといえば、一番練習の中で私の頭に残っていることは、オヤカワの泳ぎは皆さんの記憶にも残っていると思うが、非常に強い足を持っている。バックの足に適した体質をもっているが、その上に一日にブッ続けで1500米のバタ足を午前、午後1回づつやる。素質がある上に足の練習にしても量的な練習をやっている。益々強い足ができてきたという印象が強い。ダッシュにしても100のダッシュを10回やる。1回を1分20秒ぐらいで、1分ぐらいのインターバルで10回続ける。少し間をおいて休んでから50米のダッシュを1分づつのインターバルで10回続ける。少し休んで25米のダッシュを5回やる。こういうふうに量的にみても非常に猛烈な練習をしている。…… という練習方法だそうです。

こういうことがオヤカワ選手に対する私の印象に残った二つですが、今度のオヤカワの泳ぎその



日本選手権に引続き大阪大会1500米自由形に再勝した喜びの山下選手とコンノ選手。(朝日新聞社提供)

ものに対する技術的な面ではありますが、我々の従来の考えと変っていたのは三つありまして、腕を入水する時に我々は子指から入れていたことに対して、彼は指先から先にもって行くことを意識してやっているという。オリンピックの後で、その印象をクロールを仰向けにしたような泳ぎだということをおかれていたが、そういうことの印象の大きな原因は、指の問題と足が強かったことがそういう印象になったと思う。腕の搔き方が比較的浅いところを肘を曲げずに真直ぐに搔いている。搔き終りは水を押さえないで最後まで腿の所まで真直ぐ搔いている。そのために本人は腕の肘の所が非常に痛く感じる位自分としては直真ぐ伸べて搔いているといっておりますが、腕の搔き方が違うことが一つ。もう一つはペースが前半遅いことでこれは非常に我々の考えと違って、彼は大体1分6秒を目標に泳いでいるそうですが、前半を32秒で後半を34秒で入る。前、後半の差が2秒もある。1分6秒4位で入った時の前半は30秒6から30秒8で入っている。あとが35秒幾らで入っているから前、後半の差が5秒ぐらいあるわけです。

彼の自分のペースの作り方は前半意識して飛ばしていない。これは一緒にいた佐川コーチが前半を飛ばせといっているが、オヤカワ自身の考えで自分にはこの方がよいからこれで行くんだ。自分はこのペースを押して続けていって、最終目標としてはバックの長水路100米で1分2秒から3秒をねらっているといっております。(笑声)そのときのペースは自分は確たる自信がないからいたくはないが、これに応じた遅い前半でいって3秒ぐらいが出せる考えでいるといっておりますが、ペースに関する考え方が非常に違っている。

この三つの点が、結論的ではあるが我々の考えと変っておって、その他の泳ぎの姿勢とか、頭の位置、足の動かし方等、そういう点はあまり考えが変っていないように思っています。

今までいろいろ生活を共にしながら集めた資料を発表する機会がなかったので、この機会に申し上げたのですが、大阪大会における印象は大体以上です。

川田 あの大大会でフィリッピンから来た少年が相当いい成績を出しましたね。エリサルデやインデフオンゾの子供達。……

清川 エリサルデはスタートが遅れても優勝しましたが、あれは50米ですね。あとは200に優勝しましたね。これが非常に印象に残っている程度で、あとは残っておりません。気分的には、あの大会でこれらの少年が中に入ってやったことは大会の運営上としてはよかったと思う。

川田 プレストの早い子供がいましたね。伊野家、大山ですか。

藤田 400米でも上本が5分そこそこで泳いでいたが16才です。

川田 監督のオピヤルや団長のエリサルデ氏も日本の少年たちの非常に早いのに驚いて、フィリピンに来たら選手権を取るのもそうむづかしいことはなかるうと驚いておりおした。

藤田 大山の記録は2分55秒で相当囁目している。

小池 プレストは中学生で2分54.5秒というのは相当出て来ている。大阪、名古屋方面からね。

藤田 国際大会は1500米で山下がコンノを東京に引き続いて再び破ったこと、400ではじめて4分40秒の難関を突破したことが特筆ものですね。それに鈴木が元気を回復した。200米はもう一息だったが、3、4日前の全日本の時を考えるとあんなに早く立直るとは考えられなかった。

遊佐 ということは力はもっていたが、自信が持てなかったことです。

小池 練習には57秒2で泳いだというじゃないか。

遊佐 200米の予選で腐ったのじゃないか。全日本とインター・カレッジは、時期は2週間ばかり早

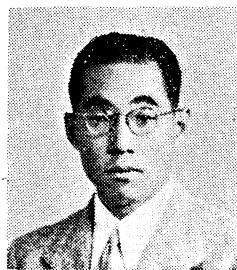
いですからね。いつも8月中旬でしょう。去年の全日本は7月30、31、8月1、2日でしょう。総体的にみてインター・カレッジの方が記録的によかったということがいえるのじゃないか。

小池 それは理由にならない。濠洲でもシーズンでもなし、飛行機で来てあれだけの記録を出しているのだから、やろうという気があれば全日本でももっとよい記録が出せるはずだ。

インター・カレッジ

川田 それではインター・カレッジについて牧野さんから。……

牧野 インター・カレッジは結局日大の鈴木、後藤が病気が治ってどのくらい頑張ったか。長距離は青木、山下が前年よりもどの程度の向上をみせたかという点から逐次種目を追ってお話します。



牧野正藏氏

インター・カレッジはどうしても学生が一番大切な試合で、各学校ともこれに大体重点をおいてスケジュ

ールを組んで練習に励んだと思うが、その結果から見るとなんとなくバックと短距離がちょっとさびしい感じを受けました。とくに50でオリンピックに行った後藤が、ちょうど夏病気をして全日本は欠場したが、インター・カレッジはやはり学校の名誉にかけて出て来たが、まあまあという記録で向上したような結果には出ておらない。とくに注目するのは高ですが、荒削りな泳ぎをしているが、これからまだまだ伸びるという感じを受けました。あとの連中は古い選手で、別に注目するところはなかった。

100米では鈴木は全日本でヘンリックスに負けたが、インター・カレッジは57秒8の記録で、58秒を切ったことがある程度の全日本雪辱の意味でよかったのじゃないかという感じを受けた。後藤は相変らず病気の関係で、練習不足で58秒を切れなかったのは淋しかったが、特に谷は谷川と同タイムで58秒4という記録をマークしたことは、本人にしては非常によくやって、これである程度の短距離泳者としての自信をつけたのじゃないかと



大阪国際大会の日比交歓水上競技に力泳するエリサルデ君。

いう感じを受けた。200米は期待された鈴木がどういふ加減か100米に比べてガタッと落ちて12秒6、100米でいつも59秒を切れなかった谷が58秒4の記録を出した勢いか、9秒2という立派な記録で泳いだことは短距離の800米リレー・メンバーの1員としての地を固めたような感じを受けた。杉原が11秒8だが、まだまだ杉原は200米の泳ぎとしては鋭さがないような感じで、もう少し短距離泳者の泳ぎをマスターしてもらって、100米ももう少し頑張れば200米も向上すると思う。400は山下が全日本の様子から非常に自信を着けたためか、古橋君が35秒台を出して以来40秒を切らなかったのが、山下が40秒をインター・カレッジで切ったことは、日本の今までのオリンピックに於て400米はいつも鬼門とされて勝った例しがないのが、この記録が出たことによって次のメルボルンには必ず山下が今まで日本が不振だった400において優勝候補になるのじゃないかという気持ちを抱きました。それに次いで浅野がやはり41秒8ほぼ40秒に近い記録で泳いだことも特筆すべきではないかと思う。あとインター・カレッジは1500米がなくて800米ですが、全日本のとき活躍した足立が予選で落ちて番狂わせをしたこともあったが、とくに足立の場合はまだ大学に入って泳ぎその物が身に着いていないという荒削りな泳ぎで、調子のよい時は波に乗るが、泳ぎが一度ガタッとくると気持ちまでガタッと来るのですが、どうしても長距離は、短距離も同じだが、必ずフォームは一定したものを持っていないと一度ガタッと来ると仲々元の調子にもどすことは困難であることをまざまざ足立の泳ぎで知らされたわけです。

もう一つ、長距離ではヘルシンキへ行った青木の活躍を期待したが、未だ疲れが取れないのかそう大した記録で泳がなかったことが残念です。特に庄司は10分そこそこで泳いだら、この連中がもう少し自分の泳ぎを研究し練習したら、日本の長距離界は安泰というところですが、もう一步のところまで達しないが、何とか長距離の山下に続く若い連中にもう一踏張りしてやってもらいたいという感じを受けました。

バックは芦田が50で光っていた他は大した者はなかった。100も梶浦が10秒ちょっと切った程度で、バックはさっき清川さんがいわれた通りオヤカワの練習方法をよくマスターして1日も早く世

界のレベルにまで達して貰いたいと思う。ブレストはバタフライから変更したばかりで、それほど期待はかけていなかったように思うが、それにも拘わらず期待を裏切ったというのは変ですが、非常によい記録で泳いだことは、昔の日本のブレストの伝統が未だに潜んでいるという感じで心強く思った。田中の42秒8、胡麻鶴、清家の45秒台はまだまだ伸びる感じですか。以上でインター・カレッジを終りますが、特に山下が400で40秒を切ったことと、鈴木が或る程度100においては調子を取戻した。谷が非常に自信を着けたことは喜ばしい。それと共にブレストの連中がオーソドックスに変わったばかりで、戦前の記録に近いものに到達したことが非常に明るい希望を持たせたのじゃないかと思っています。

藤田 記録的にはそんなものだが、得点争いで、日大と早大が非常に接戦すると思った。早大の監督やコーチは早大勝つと思ひ、日大は日大勝つと思っていたらしいが、3日間の試合をすませると40点以上も差が開いたのが大きな印象で、それに中大が今まで仲々シード校にも入れなかったのが、一躍3位に入った。中大の得点21点のうち大半がブレストで、後はリレーだけだ。とにかく中大が3位に入ったことはえらい。明治は各種目に着実に点をとっていた。今年をよくやったんじゃないか。

牧野 新人がよく稼いだですね。

藤田 庄司などを中心にして。……6校までがシード校で、今までは必ず1校は関西が入っていたのが、関大も関学も脱落して、6位まで関東が占めてしまった。これは関東、関西の差を示すもので、今後益々この傾向が強くなるのじゃないか。関西は余程奮起しないと関東の学校にはついていけないと思う。

清川 記録的にも早大の800米リレーの8分44秒2は世界第1位らしい。これは大きな収穫だ。

藤田 ヘルシンキ・オリンピックでもアメリカ、日本の次ぎでフランスの上位に入るものだ。それに200米リレーは日大が強かった。この日本記録も大したもので、ちょっと泣かせるね。(笑声)

川田 これであと慶応と立教がチームとして1日も早く昔のように充実すれば、インター・カレッジは更に面白い大会になりますね。

インター・ハイ

川田 それでは小池さんに新しいメルボルンへの希望が現われてくるインター・ハイに就いてお願いします。

小池 名古屋で行われたのですが、全日本の後だけに全日本程の張切りがなかったというような感じは振りかえってみて否めない。男子は100で古賀が58秒6で、その後にしてもかなりの記録で確実に泳いでおったということが短距離では印象に残り、と同時に200米では相変らず100米の割合に弱く、中距離の得意な細間に敗れた。細間も全日本で泳いだけど、インター・ハイでは元気がなくて400米は4分47秒、全日本当時の調子では43秒程度のものが、これも全日本の後で拍子抜けしていたような感じがした。男子の1500米では五条高の新宅が始めから飛出して、しかも綺麗なフォームでタイムも19分38秒、高校生としては相当の記録で泳いだということが印象に残っている。それと同時に五条高が女子だけではなくして、男子でもこういう選手を作り上げて来たことは大したものだ。バックは確実に強いだろうと思われた長谷に対して、浜松の山下が相当よい勝負をやったと思ったが、結局長谷が9秒台で勝ち、9秒8だったかで記録としてはよい方の部類でしょう。

平泳は古川と、法政の大谷が接戦して100米も200米も同タイムで、両方とも古川が勝ったが、200の古川、大谷の46秒6の記録は高校生としてはやはり今年のブレストが全般的によかったし、高校生としてもよい記録と思う。個々のレースでもって印象に残っているのはその程度で、それに印象に残っているのは選手権の争いと思う。これは大会前に田辺高、中京商、伝習館高等相当下馬評があったが、最後に残ったのは高知商高、浜松北高の2校となり、浜松北高は短距離の金原が頑張り100で2位、200で3位と目ざましい活躍で、予想以上の得点をして優勝候補に浮び上がったが、最後の200リレーの途中でもってアンカーが写真のフラッシュの関係でゴール寸前でもって泳ぎを止めてしまい、2つ上位に入れるのが入れなくて高知と22点の同点で、リレーで負けたため高知が優勝した。という接戦で、これが印象に残っている。

ここで考えられるのは、高知とか今まであまり進出していなかった昔の浜松一中という名門がのし上って来たこともインター・ハイの特徴ではないかと考えます。女子では例年の通り五条高が優勝したのですが、自由形の100米では宮部が飛び抜けて強く、12秒いくつと思ったが、あとは大体17秒ぐらいまで落ちておりますから、高校生の短距離は宮部を除いたら取上げるような結果じゃなかったと思う。200も400も矢張り宮崎が200だけ強かったが、これも例年の通りの結果で、バックは全日本から引続き森前が日本記録を作っておったが、このときに50米のバックでもって浜松から新井が出て来て日本新記録を作ったのが眼新しい感じを受けました。

女子のなかでは一番レベルの高いのは平泳ですが、全日本の後のためか元気がなく、200米平泳に優勝した青木が7秒、2位坂本が11秒、タイムが大分全日本のときよりも悪くて不調の一語に尽きたと思う。坂本が去年日本記録を作ったに拘わらず不調だったことは、私の感じでは去年の泳ぎよりも今年の方が泳ぎの中心になる腰の安定が欠けていた。手や足の力はオリンピックの当時と変りがないが、それ以上の強さになっているのじゃないかと思うが、どうしても腰が安定していないから足のキックが力を入れているほど利かない。と同時に腰の不安定からくるブレーキも加わるでしょう、そういう点が今年坂本が目立って記録が悪かった原因じゃないかという感じがしました。以上で高校生の大会の印象を終らせて頂きます。

藤田 たしかに女子の短距離では宮部が強くなったね。1分10秒を切るのは宮部が一番最初じゃないか。

遊佐 若いだけにね。

藤田 バックもいいのが出て来たよ。インター・ハイは去年からブロックの大会を制定した。都道府県の予選を経てブロック大会の6位までに入ったものが、更に中央の大会に出るという制度に切替わったんだが、そういうことがよいことだったかどうか。……

志村 しかし、この大会の持ち方は、水泳の普及を主体にして考えたものであって、去年やったから直ぐ効果がどうこうというよりも、恐らく2、3年後になってから成果が現れてくるんじゃないのですか。まあ、私個人の考えですがね。

藤田 この制度は数年間続けてみるのがよいというわけだな。

志村 そういふことですね。

藤田 ブロック大会でも相当よい記録が出ている。例えば田辺高の金谷なんか400米を4分48秒で泳いでいる。

小池 この大会では、2日間では無理だということをはっきりみせつけられたし、今後は本大会を3日間にして、もう少しゆっくりしたやり方で、同時に選手の負担も軽くなるようにしたいですね。

志村 そうですね。もっともその問題は去年に始まったんじゃない、一昨年から出ているが。……

田畑 あれは全部タイム・レースかい。

藤田 いや、1500米だけタイム・レースで、あとは全部勝抜きです。まあ今後も1500米はタイム・レースでしょうが、その他は、予選、準決勝、決勝と重ねて行くことがいいですね。

志村 僕も高校生のためには、例え1回でも多く泳がした方がよいと思う。

藤田 その意味からも2日間では無理だった。今年からは3日間に切替えた方がよいと思う。

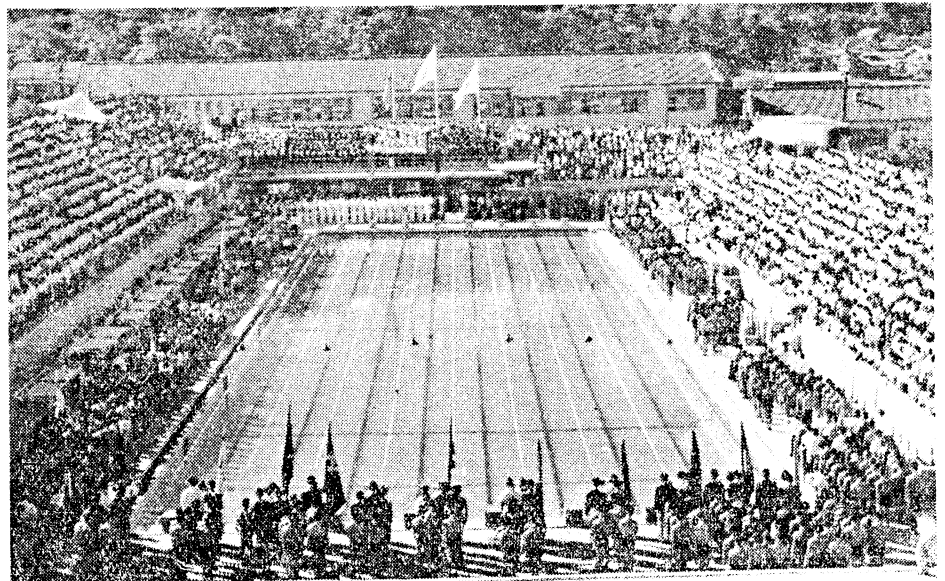
第 8 回 国 体

川田 では次は国体ですが、…… 藤田さん一つ。

藤田 今まで国体は、記録的には期待が少なかったけども、去年は見応えのあるものになった。古賀が58秒0で泳いでいますし、とくにバックは優秀で、男子では梶浦が1分8秒4と、久しぶりに8秒台の声を聞いた。それに引続き高校生の長谷も1分9秒4で泳いでいる。女子では、インター・ハイから驥足をのばして来た新井が1分21秒6という記録を出している。その他奈良のチームが400米リレーで日本記録をものにし、相当記録的に収穫があった。それと府県対抗の制度がすでに回数を重ねること去年で8回になりますが、とにかく充分徹底して来て、各県共激しい意気込みをみせて来た。従って得点

も、優勝した高知が63、次の福岡57、東京56、和歌山55、奈良49、というように上位が非常に接戦して、最終日の途中までどこが優勝するかちょっと判断がつかなかったというように興味深いものだった。それと第3回の八幡大会から引続き5年間優勝した福岡が、今年初めて地元の高知に敗れた。5年連続優勝して来た福岡の努力は大変なもので、これは十分高く評価されなければならないが、高知が地元開催を機会に、選手強化に大変力を入れ、いわゆる名門高知の復活とでもいうか、そういう目標でみんなが努力を結集し、それが最後になって見事結実し優勝を遂げた。

これは非常に大きな今年の収穫だった。この高知優勝の跡をみると、第一にオリンピックに出場した西野が郷里に帰って教員で大幅の得点を挙げた。高知63点のうち、半分近い28点を教員で得ているが、これは西野が100の裏・表を泳ぎ、山崎が400で優勝し、さらにリレーでも優勝して5種目中4種目を抑えた圧倒的なものだ。こういうように教員の優勝が高知の総合優勝の原動力になっている。それに女子でも、今井や中田が実力一杯に泳いで活躍していた。——ちよっと話は変わるけど、国体の持つ意義というか、目的というか、その一つの現れとして、充分な施設をつくること、開催地元の水泳振興ということが挙げられる。その点高知は北村記念プールを手頃に改装するし、飛込プールもつくって十分な効果を挙げて、その上地元の総合優勝という大きな土産をつくり上げた。インター・ハイの高知商高の優勝と合せて、



高知市営プールに於ける第8回国体水上競技開会式の全景。

今年の高知は万々歳というところだ。

川田 すると色々な意味で高知に於ける国体は名実共に一番望ましい形で行われた国体であったわけですね。

藤田 どこが勝って欲しいということは我々第三者がいうべきではないが、地元の水泳を振興させるのが大きな目的の一つだから、高知の優勝は意義が深かった。それとこれを機会に文部省の了解も得て、小・中学生の演技を加えたので、地元の水泳に対する関心が高まったと思うし、見逃すことのできない大きな収穫だった。また去年の大会の特色として、今まで招待競技だった飛込を府県対抗競技に切替えたことと、戦後大学、高校、社会人の3部対抗をずっとやって来たんだが、これを去年から廃止して、郷土対抗リレーという新しい種目に切替えた。この郷土対抗は郷土出身者と、地方の加盟団体が直結する意味で非常に効果があったと思っている。

川田 非常にいい構想で、第1年目としてはこの郷土対抗リレーは成功だったけど、地方団体ではこれに対する解釈が案外まちまちでしたね。

藤田 僕はこれは水泳人の良識に俟って、その人の郷土で出たらよいといったんだが、なかなか難しい問題で、お互いに強い選手は自分の方に引張りがたがるし、しかしこれも回を重ねる毎に基準も自らできるだろうし、力の入れ方も異ってくる。そうすれば、国体は量ばかりでなく、質の点でもよいものをねらえる。同時にインター・カレッジで活躍している優秀な選手と地方の加盟団体が直結するという非常に望ましい姿が次第にできてくるんじゃないかと思う。まあこれも時日を重ねなければならぬだろうけど。…… 3部対抗にしても初めからそんなによかったわけじゃないんだか



開会式に御来場の高松宮殿下。

ら。

田畑 僕は郷土対抗を本当にやるように決ってからこれはとてもやりきれなくなって、1年で終わってしまうんじゃないかと実は思っていた。ところが結果はむしろよくなって、今度は、あれを伸ばして行くことが一番望ましいような気がして来た。インター・カレッジの選手にしても、この郷土対抗を通じて地方とのつながりを強めることになり、こういう意味からいっても、この郷土対抗を伸ばすことはよい。

原 飛込の府県対抗ですが、これはやっぱり委員会で考え去年から取上げてもらったんですが、当然あるべき姿に行ったということで、企画的にも、実際的にも成功だったと思います。ただ、委員会の方で考え方が足りなかったのと、時間と人数の制約という点で競



原 秀夫氏

技の運営について十分でない点があり、二つの府県が同点になるという事態が起きた。これは企画の失敗ですから、今年からはそういうことのないようにもう1種目加えていきたいと思っております。

田畑 参加は何県あった？

原 県としては七つです。

藤田 話は元へ戻るが、総合成績第6位の広島が34点、それから10位の愛知が27点だったが、この愛知と広島は特別に郷土対抗に力を入れてネ、経済的にも郷土出身選手のために相当応援していたようにみえた。だから、今後は府県なり加盟団体なりが自分の金を出してもこの競技を盛り上げていこうという意識が出てくるんじゃないかと思って秘かに期待している。

川田 国体の得点の計算はどうなんです。水泳の場合はあまり面倒な問題が起きないけれども、それにしてももっと判り易くならないのですか。

藤田 天皇杯、皇后杯のことについては、天皇杯委員会で始終検討しているんですが、天皇杯得点、皇后杯得点の方法が毎年のように変わってきています。しかしなるべく実態に即したような、——例えば参加の多い競技にウェイトをつけるとか、また水泳でいうと、男子高校、青年、実業団、教員女子と5種別ありますが、それらの1種別にでも

優勝した場合、的確に天皇杯得点に反映するようになるとか、毎年改正しているわけです。勿論まだ完全な制度ができていないわけじゃないから、今度の代議員会でも加盟団体の意向を聞いて、改正の希望があれば、天皇杯委員会の方に反映するように努力してみたいと思っております。

川田 国体で東京から行った役員が交通上の事故で非常に難儀しましたね。

遊佐 行きも帰りも。……

藤田 まあ帰りは台風13号で、汽車が30分遅れただけだが、行きは、静岡で転覆事故があって特急が出なくなり飛行機を使うことになった。それがまた嵐の中でしてね、ヒーヒーいわされましたよ。

小池 雨が漏ってネ、あの飛行機が。

遊佐 関西汽船じゃあ「船がエンジン故障で、いつ出るかわからない。」というし、えらい目にあった。

川田 伊藤さん、これからは色々な意味で二重、三重の手配がいますね。(笑声)

次は、8月末会津若松で行われた勤労者大会についてお話ししたいのですが、この大会に関係の深いのは根上、志村、両氏ですが、フィリピンに行っている根上さんの分も含めて、志村さんをお願いします。

勤 労 者 大 会

志村 今交通難の話が出たけど、勤労者大会も、非常に交通不便な山の上にある会津若松の新設市営プールで行われた。気候が不順で、真夏に拘わらず宿屋では火鉢にあたり、ドテラが欲しいという状態で、従って記録的にもみるべきものがなかった。例えば日本の昨年度の10傑からみても、ヘルシンキに行った浜口が50、100米にあの記録で入り、バックの東芝の佐藤が50米に入り、八幡の中村が100米平泳にあの程度でして、まづみるべきものがなかった。それで男子について申し上げたことは、今までは勝村建設とか八幡製鉄、大丸百貨店とかいう特定の会社の参加に限られた感があったのに、昨年度は非常な僻地にも拘わらず、比較的広範囲から選手が集まって来たことです。とくに勤労者のレクリエーション的なこの大会に参加人員が多く、しかもその分布が全国的に拡がるということは非常に喜ばしいことだった。この

中で35歳以上の種目は別として、八幡の黒佐などは初めからずっと出ていると思うんですが、こういう人の表彰とかいう方法を考えてやってもよいと思うんです。35歳以上でも上田義人とか小水徹男さん、あるいは大崎定兼、ブレストの中川重雄、大崎卯藤久、また伊藤三郎さんなども非常によくやっておられると思うんです。

それと第1回から八幡製鉄が連続に優勝していて、当分八幡の優勝は動かんところでしょうが、それにしても得点は段々散らばりつつある。泳者の分布からいっても、遠からず国体の府県対抗と同じような状態がもし出されてくると思っております。一方女子の部では、新子、山下、野口などがこの時出した記録をみても、各種目とも第2位までぐらいが日本の10傑の記録に入っている。これからいっても、女子の水泳、——とくに高校生が遅れていると云い得ると思うんです。女子の場合は得点の面で次回から改正されるとか聞いてはいますが、東洋レーヨンが各種目にナンバー・ワンを1人ずつ持って来て優勝をさらってしまった。それに対し白木屋は各種目に相当の人数をそろえていたにも拘わらず優勝できなかった。これなんか種目を増やすか何か一考を要することですね。まあこの大会は寒い寒いと思っているうちに終ってしまい、あまり印象に残ったことはないようでした。

田畑 僕は勤労者大会を初めて見たからよくわからないが、“大したもだ”という感じがしたな。あの大会からオリンピック選手を出すということは望まないにしても、水泳の愛好者を増やすことで大いに力を入れてやる競技会だと思う。

志村 その点からいうと、全種目がタイム・レースで、何か可哀相な気がします。せっかく勤労者の水泳愛好者が一堂に会した時に、タイム・レースでどンドン試合をやって行くということは避け、できればもう少し余裕ある試合の進め方をした方がいいんじゃないか。——勿論経費の問題なんかもあるでしょうけど。……

小池 「日本の水泳はいつもオリンピック第一主義或は男子競泳第一主義でやってる」と田畑会長がいわれたが、勤労者大会ではそれとは違った面を強く感じましたね。大会そのものは実になごやかでよい。OBもみんな集まってくるし、またそういう人のいる事業所では、今まで我々が名前も知

らなかったような人が強くなって出て来たり、これは意義ある大会ですよ。

藤田 第1回大会は宇都宮だったが、あの時と比べると隔世の感があるな。女子競泳は第1回大会にはなくて、第2回で始めて3種目入れた。それが志村君もいわれるように、今年あたりから女子の種目も増やさなければ拙いという所まで来ているし、水泳に関心を持つ人々の層を拡げることでは非常に効果があるね。特に会社が力を入れて来て、森前あたりは東洋レーヨンに就職が決まり、坂本も今年白木屋に入るような話だし、そういう人々がどんどん勤労者大会に出てくるんだから、女子は特に期待を持っていいね。

志村 女子がそうなると同様、男子も層が増えて来ている。だから大学を出た人も、自分の務めとしてできる丈どの会社にも泳いでいただく、つまり自分の後継者を直接つくるということじゃなく、水泳に関心を持つ人を1人でも増やすようにどうしても泳いでもらうことが望ましい。

川田 水泳層の拡大と育成については、会長始め皆さんから勤労者大会の将来性に就いて大変嬉しいことを伺いましたが、今年度あたりから勤労者大会の運営、——つまり新しい種目を増やすとか、年齢区分の変更等については如何ですか、伊藤さん。……

伊藤 それについては大分前の理事会で案ができて今度の代議員会で決定すると思わんですが、35才で区切っていたのは、年齢者を優遇する意味からだった。しかし予想以上に老童連が出て来るので、その線を二つに



伊藤 謹平氏

割って、いわゆるベテラン・レースを二つの段階にする。それにこの大会のみを目標にして、非常に楽しんで毎年必ず出てくる老選手がある。そういう点からも、何時までもこの大会に出てもらうように年齢制限の幅を広くすることはよいことだと思います。勿論今後もっと増えるかどうか判りませんが、今年新しい制度で様子をみれば、大体的に見通しがつくんじゃないかと思えます。

女子の面では、優秀選手を2、3人集めて試合を独占することがないよう、いい換えれば、女子勤労者の水泳を発展させることでもあるし、特に女

子は男子と比べ、勤労者になる年齢が非常に若いんだから、充分伸び盛りの選手がたくさんいるわけです。その点では女子の種目を増やすことは、男子勤労者がオリンピックに直接つながらなくても、女子勤労者は直接オリンピックにつながるという希望を充分持てると思うんです。

川田 そうすると、この大会も2日で運営するのは無理になって来る訳ですね。嬉しい悲鳴だが。

伊藤 種目が増え、タイム・レース1回で予選で落ちてしまうと張合い抜けがするから、会社の力の入れ方を上げるためにも、期日を1日増やし、予選はパスしたというようなカラメ手からの救いが必要になってくると思うんです。

小池 予選、決勝、予選、決勝ということで今年1年は勘弁してもらって、今年は様子を見る。また表彰の方法も一定のものにしないで、違った観点から表彰してみたりすることもよい。この大会に相応しいような方法があれば。……これは去年の試合の後に感じたことでしたが。

田畑 勤続表彰はしなければならないな。

志村 この大会からオリンピック選手を望むということは女子についてはある程度確かにいえることです。日本では女子が大学に行くのは割合少いですし、年齢からいっても社会人になって2、3年は泳がなければならないから、女子はこの大会で育成すべきだ。

田畑 選手権大会は、山下の存在があまり華やか過ぎて、何か山下のための大会という印象になってしまったが、勤労者大会と高知の国体は競技出場者全部の大会だという感じを持ち得たことが非常に大きな特徴だし、よいことだと思う。

原 飛込についても、こういう大会からオリンピック選手が出てくるということがいえますよ。

藤田 勤労者大会の発足については陸上の方が一歩早かった。陸上は府県対抗制だったが、水泳はやり方を少し変え、最初から事業所単位でいった。これが怪我の功名だったかも知れないが、事業所に関心を持たせる意味でよいことだったと思う。

志村 やっぱ事業所でやるべきだ。

田畑 まあ3日にすることよりも、勤続表彰の方が先だろうな。

藤田 中央水泳界には著名でなくても、いわゆる勤労者大会の顔というのがいるからな。

志村 35才以上なんていうのは顔の人ですよ。

藤田 バドミントン協会の角田君なんかは毎年来て
いる。

清川 角田君はロスアンゼルス・オリンピックのバ
ック候補でしたよ。神田のY.M.C.A.で第一回合
宿をした時の候補だったものナ。

小池 長岡商業で。……

清川 寝言をいってね。(笑声)オリンピック選手
だったけど。……

藤田 一昨年は優勝しているよ。去手もいいとこま
で行ってる。

志村 上田義人君が100で優勝しているね。17秒8
で。

小池 出てますね、なかなか。…… 大崎卯藤久、
井上茂、中川重雄、伊藤三郎。……

藤田 大事な人を忘れていませんか。

川田 毎年役員と選手とを兼ねて出場する第1回か
らの常連ですよ。

志村 根上博君だ、マニラでクシャミしてるぞ。

川田 ではこの辺で飛込、水球に移りましょう。ま
づ原さんをお願いします。

飛 込

原 全体として、男が立派な成績を挙げているのに
比べ、女子は競泳、その他と共にまだまだとい
うことになるだろうと思います。昨年の競技の結果
からみると、男子ではヘルシンキに行った毛利の
線から、今まで離れていたあとのインター・カレ
ッジの連中がびったりくっついている。その下に
高校からベスト・テンに3人入っている。女子で
は、ヘルシンキに行き、また昨年の選手権をと
った宮本まさみの線に高校生がびったりとくっつ
いて、選手権以降の競技では上位が逆になるとい
うところまで来ているから、一番上の線についた
ということでは国内的には進歩しているわけです。
ただ冒頭にいったように、全体としては国際レ
ベルに比してまだまだというところですね。

28年度のことを考えると、一番大きい収穫はや
っぱり選手権大会の時に招待したオハイオ・ステ
ーツのマイク・ペッペ監督とジェリー・ハリスン
の来朝です。このオハイオ・ステーツは競泳より
も、むしろ飛込で世界一有名な、又実績を出して
いる学校でして、マイク・ペッペ監督はオリンピ
ックの時にも飛込のコーチの1人として毎日プー

ル・サイドで騒いでいましたが、このペッペ監督
がハリスンを連れて来たことは、今まで戦争で空
白になっていた近代飛込に対する考え方を変えさ
せられ、また日本の選手、そ

の他がいろいろのことを聞く
ことができた。その成果は本
年以降段々現われてくると思
って期待しているんですが、
具体的にいうとマイク・ペッ
ペ監督は「近代飛込は、スタ
ートから終了までの間に、非
常に早い動きと、非常に遅い
動きのコンビネーション、こ
の二つの使い方を上手に分け
て、その中に識り込んでいか
ないと、どうしてもきれいな



ペッペ監督



ハリスン選手

線が出て来ない。日本人の飛込をみていると、全
体的に、初めから終りまでノンベンダラリンとし
ていて、どこにも力のヤマがなく、見栄えがしな
い。」という意味のことをいっていた。その言葉
をコーチも選手も、またマイク・ペッペのコーチ
を受けたハリスンが飛込んで見せてくれたので、
充分頭にたたき込まれたと思うんです。ハリスン
は年も若いし、全体的にはまだまだ未完成の感が
ありましたが、それでもひねりの飛込と、宙返
り(回転飛込)のコンビネーション、——我々飛
込仲間ではマイク・システムといっているが、こ
のコンビについてだけは世界的水準に来てい
る。従ってこの種目が一番不得手な日本の飛込選手
にとっては脅威的だったと思います。

もう一つ、昨年の日本の飛込界で非常に大きな
ことは、オリンピック・チャンピオンのサミー・
リーがシーズン末ごろ、全く突然、軍務の都合で
飛来したことです。4、5日しか滞在しなかつた
が、それでも2日ほど神宮プールに来てくれて、
ロンドンとヘルシンキのチャンピオンのサミー・
リーというものを目の辺り我々に見せてくれた。
これは非常に大きな収穫でした。御承知のように
彼は中国系の二世ですから、アメリカ人やヨーロ
ッパ人と違って、勿論身体の線のきれいな選手じ
ゃありませんし、5尺2寸ぐらいの小さい、ずん
ぐりむっくりした選手ですけれども、彼が2回も
オリンピック・チャンピオンとなった技術の本当
に根本的なところを、神宮プールで見せてくれた

わけです。体力に恵まれない、そして非常に腰の強い選手であるということは、別の考え方からいうと、日本のコーチや選手に与えた影響は、ペッペやハリスンよりも大きかったと思うほど有意義だった。またサミー・リー自身が「自分が飛込をはじめた時、周りのアメリカの選手連中が、お前みたいチンチクリンがやったって絶対見込みがないからやめろといった。しかし自分は力と、技術の練習で完全にアメリカやヨーロッパの選手を超越してチャンピオンになった。だから東洋の連中でもやり方次第では絶対に見込みがあるんだ。」ということを経験をしながら、また控所等でない暇を割いて、選手諸君を集めて話をしてくれた。このことは日本の飛込選手やコーチに力をつけてくれたという意味で実に大きいものだったと思っております。

藤田 何時までいるんだらうね。

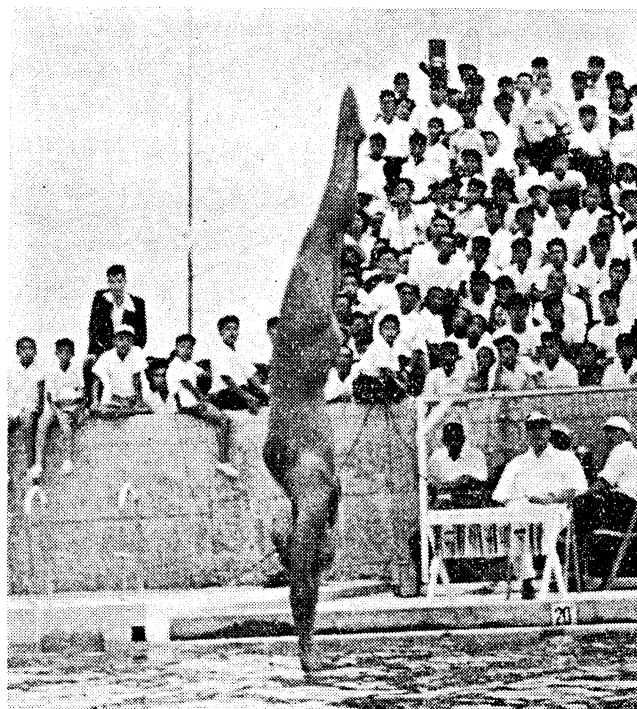
原 現在は朝鮮において、今年5月ごろ軍務の都合で暇ができると思うから、そうなればすぐ飛んでくるといったたですね。

藤田 当分滞在するのかしら。

原 2年位いるんじゃないですか。

田畑 そうしたらオフィシャルに全日本に招待しようじゃないか。

川田 駐留軍の選手達でも試合の申込みをしている



期待される弘世嬢の見事な飛込。

し、現に去年の全日本でも200米と400の予選に出た空軍の大尉がいる。そういうふうな手続きをすれば当然参加してもらえらるだらうと思うから、是非実現したいものだ。

原 年末の新聞で、A.A.U.のサリヴァン賞をサミー・リーがとったということを見ましたけど、私の想像じや、ロンドン、ヘルシンキとこんどの2回のオリンピックに連続優勝したことの功績を買われて、恐らく陸上のホイットフィールドがもらいそうだったのを、何かの都合でそうでなくなったためサミー・リーが入ったと思うんですが、飛込選手としては世界で初めてのことでしようし我々としてはうらやましい限りですが、実に大きな出来事のような気がする。

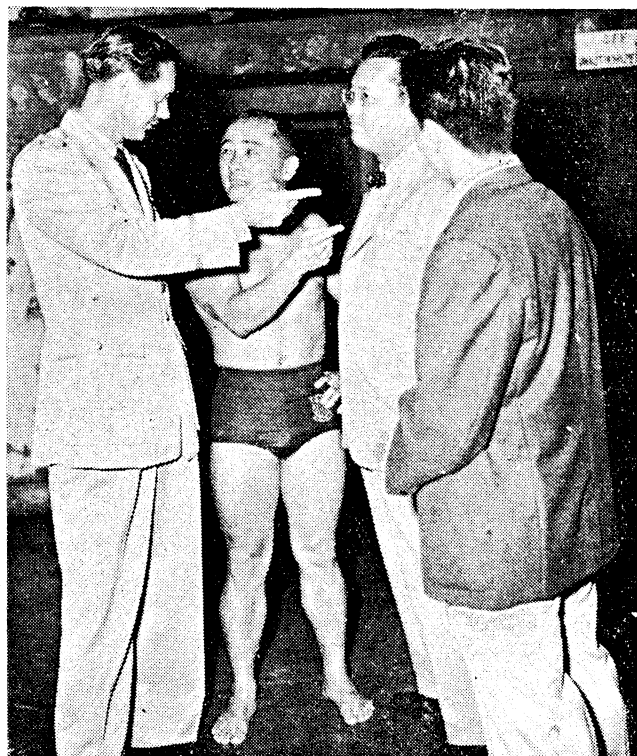
田畑 これは一つの問題になるよ。サリヴァン賞をとった選手を選手権に呼ぶのはよいことだな。この間ランクでみているんだが、今度、津谷というのがあったら。あれは海のものとも山のものともわからんのか、それとも有望なのかい。

原 結局女よりも男の方が早くいくんじゃないかという気がしますね。

田畑 この間あれをみていて、1等になったけれども、何か危なっかしい気がしたな。

小池 坂口？

田畑 新人だ。坂口じゃないよ。あの中で一番大物は弘世かい。……



ロンドン、ヘルシンキ両オリンピック大会高飛込に優勝したサミー・リー選手(米) (於神宮プール)

原 今度は負けたけど、私の感じでは、恵まれた環境におるから1番伸びるんじゃないかと思っております。

田畑 今度のアジア大会には飛込はいるのかい。

原 大したものはないということを聞いてますけど。……

川田 では今度は水球に入りましょう。沢海さんどうぞ。……

水 球

沢海 水球委員会としては従来ずっとねらって来た

のは、国際水準線をねらったの正しい基礎訓練、具体的にいうと、早く強い泳力をきたえる。正しいパッシング、——正しいという意味は「その辺に」ということじゃなく、「必ずここへ」ということです。また強く



沢海 東助氏

鋭いゴール・シュート、そしてゴール・キーパーの機動力の養成、こういう基礎訓練をずっと唱え続けて来たんですが、実際問題としてはヘルシンキ・オリンピックにはウォーター・ポロは行かなかったんですが、それをみるまでは目前の勝負とにかく没頭していくため、国際水準線よりも国内水準線の中で、正しい基礎訓練の問題、——これを水球委員会としては一生懸命いていたんですが、全体の問題としては、どうも逆になる傾向を見せながらずっと来たと思うんです。国際水準線という問題を持ちながらも、実際には観念的な域を出なかったと思うんです。ヘルシンキでは、前水球委員長の藤田さんに国際水球の各種の見学成果を持って来ていただき、またそれから受ける息吹きがぐっと迫って来て、ヘルシンキを境として、ウォーター・ポロも国際水準線というものに対する実感を強く持って来たということで、27年は過ぎたと思うんです。それが28年に至ってアジア大参の会加があり、勝負の問題も目前に加わって来て、国際水準線を目標にしていこうという事で気持も対決し、戦後の水球としては28年度が非常に重要な意義を持った年だと考えております。ただし、実際の基礎訓練がどう伸びつつあるかという問題になると、口では簡単に国際水準線をにらん

で対決しつつあるといいましても、実際には、長い間当面の問題に追われて来た選手、水球界全般が観念的なものから脱皮して行く、——この衣替えは容易ではありませんが、日本選手権に選ばれた選手、コーチなどは現在一生懸命やりつつありまた会長がしばしばいわれるように、「アジア大会を勝ちっばらう」ようにしなければ、本当に国際水準線に頭を出していけないという現実処理の問題を控えております。この衣替えと現実処理の問題で水球界全般を切り開きつつあるということで28年は年を越したと考えております。

藤田 僕は全般的に見て基礎技術は非常に伸びていると思う。あとの問題は先づゴール・キーパーを強化し、それによってフォワードを強化し、それができたらバックを強化して行くということが大切だと思っている。

大きい動きとしては、ヘルシンキから帰って来て報告したように、最近の国際的傾向として、攻防の変転が非常に激しい水球になっている。攻撃時にいうと速攻防禦というものが大巾に採用されている。日本の水球もいわば泳ぐ水球に移行していかなければいけないんじゃないか。今までのサッカー風の球でなく、一口にいうとバスケットボール式の水球に変っていかなければいけないと思う。それをコーチをやってる和田君あたりがしっかり認識しながら指導していかないと、ますます取り残されることになりそうだ。

沢海 選手なんかもそういうことで苦心していると思うんです。しかし戦術の転換という命題はなかなか短時間には仕上らないですね。

田畑 少くともオリンピックの映画だけは買って、それを見て進むということは必要だな。

志村 映画のことですか、小松さんはブラジルから天然色の映画を持って来ているそうですね。ところが天然色はプリントができないそうですよ。今度はボゾンの泳ぎを高いところから撮ってくるといったが、あんなのは欲しいね。

沢海 ただゲームだけ撮ったのではハンガリーの練習のやつがありますかね。

川田 今日着いたライキからの手紙によると、かねて御希望の水球のフィルムを日本水泳連盟に至急送る様に製作者に連絡しておいたが、もしそれでもなお入手できないようだったら、彼自身が次のF.I.N.A. 理事会にそれを持って行ってやろうと

いって来てる。

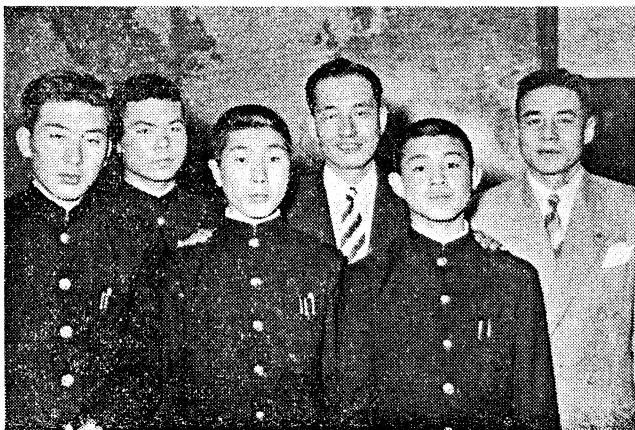
藤田 手紙の主のライキというのはハンガリーから出ている国際水連の理事ですよ。

川田 では水球はフィルムが来たり、アジア大会で力を試していただくことにして、次は、田畑会長が熱心という言葉以上に精力を傾例されて猛運動されており、且つ水連の当面している大きな課題の中学生の全国大会参加についてですが。……

中学生の全国大会参加問題

田畑 藤田君から大体の経過を説明して下さい。

藤田 去年の選手権大会にフィリピンの少年を呼んで日比交歓競技をやったが、中学生を中心に上は高校1年位から下は小学校までを選考するというので加盟団体に通知を出したわけです。そういうことから混乱を生じて、選手権大会そのものに中学生が相当多数申込んで来たが、今のところでは昭和23年3月に出された文部省の体育局長通牒が一つの基準になっていて、中学生に対しては宿泊を要する競技会に出すことは望ましくないということが一度全国的に認識されているため多少問題が起った。しかし水泳としては、日本水泳連盟として再発足した終戦直後から、会長を中心に数次にわたり当時非常に強い発言力を持っていたマックアーサー司令部の教育情報文化局や文部省に猛運動を続けてきた。それが不幸にして今日までカラを脱し切れなわけなんです、今回の問題化を機会に水連が主張し続けている中学生の全国大会開催、或いは全国競技会への参加という問題を取上げたいということで体協にも申入れ



昨年3月フィリピンよりの招聘を受け日比親善を兼ね渡比の右より根上監督、鈴木、川名附添、宮下、細間、小林の4少年選手。

をし、体協ではその中の専門委員会である学徒体育審議会にはかり、それに刺戟されて文部省でも去年の9月から12月にかけて7回会合を開いて討議を続けている。「学徒対外試合の基準作成協議会」といういかめしい委員会、学徒全体の対外試合に対する問題を検討しているが、論議の中心は中学生の全国大会への参加、全国大会の開催ということにある。一番表面的な問題は水泳と少年野球の問題です。少年野球は読売新聞社が斡旋している防犯協会の大会で、現に昨年まで全国大会が行われておったという事実もあるのですが、これをどうしように正しい姿にするかといこうとが一つ、水泳に対しては水泳連盟が常々主張している水泳の特殊性を如何に認めるか、どのような形式で認めるかがこの委員会の中心議題になっている。どの委員も水泳に関する特殊性は充分に認識していると思うが、しかし認識しながらもこれを対外試合の具体的な方法として現わす場合には全国大会は開催まかりならぬ。それよりも水泳連盟が今年から文部省と一緒に始めた水泳教室を強化拡充して実をとればいいじゃないか。水泳に全国大会の開催、或いは全国競技会への参加を許すと全部の線が崩れるとあって、非常に惧れている。田畑さんの表現をかりれば、水泳をもって防波堤にしている現状である。(笑声)水連はこの問題はオリンピック対策としても、もっとも本質的問題で、代議員会、その他でいつも問題になる重要課題だから、私としても極力全国大会開催に対する水連の要望を機会あるごとに強調してきているが、残念乍ら現在のところではまだ各委員の十分な了解を得るところまでいっていない。反対理由の第一は、現在の中学校は昔と違って義務教育であるため、施設なども全般的に広く生徒に解放しなければならないのに、特定のものに独占されることは困るということ。第二に全国的な大会へ参加することになれば宿泊を伴うので、相当な経費がいるが、学校には負担力がないので、P.T.A.、その他校外の機関に出費を仰ぐようになり、学校行政が校外勢力によって呑み込まれることになり勝ちで望ましくない。それに指導する学校の先生が今のところぎりぎり余裕をもっていないのに、特定の指導に没頭することは教育のスケジュールを混乱させるもどかということが一つ、それにこれは解せないことですが、競技会によ

て名声を博することが精神的に安定性を欠いている年令層の中学生にとっては悪い影響を及ぼすことが多い。逆説的にいえば他の一般の生徒に対して劣等感をもたせる結果になるということを主張している人さえある。そういうことで非常にむずかしい審議状態にあるが、とにかく水泳の特殊性については各委員が十分に認識しているのだからこれをなんとかもう一步、歩を進めて全国大会開催、全国競技会への参加という線を水泳にだけでも特別に道を開いてもらいたいということをやっております。

田畑 これは体協としての問題は解決しているわけだ。2回ほど評議員会を開いたりして、2年ほど前に特殊性は認めるといっている。しかし水泳がやり出すとほかの部門もやり出すことを心配し、水泳だけはやっても他はやらないということをはっきりして全国大会に入れてもよいという所まで行っているわけだ。また体協会長の東竜太郎君は体育医学の方の専攻でもあるだろうし、その方の大家でもあるから、恐らく文部省の今度の委員よりは一番気を持っているだろうが、その東君なんかは教育者が安易な気持を持ってい過ぎるんじゃないか。一度棒を外して、悪いなら悪いものからチェックしていけばいいじゃないかという考え方を持っている。かつての「中学校はいかん」というのは、半分は当時の総司令部のノビルという人の命令によったことが確実だが、今の体育局長の東俊郎君なんかは、選手権大会に二つの会をつくったらどうか。東俊郎君は選手権だけ入れて、そこに少年を入れてやればいいじゃないか。それが今の問題の一つの妥結点だと思うということをはっきりいっている。ところがもう一つの問題は、今度の委員構成をみても始めからやれないものを中心に委員をつくらせている。そういう視野の狭い人達が委員の中心になっている。現にスポーツ関係として出てるのは東俊郎君と浅野均一君の2人だけだった。一番大切な水泳から出していない。それで困って藤田君を次に出したということなんだ。だから、できるだけやらせるということを建前にしてやっているが、もしやったらまづ野球に普及する。そうすると収拾がつかなくなるということをやっている。

一方、文部省の今度の審議の模様を時々浅野君から聞いているけれども、始めは個人競技と団体

競技は分けよう。しかし団体は一応駄目だろうから、今年水泳だけは特殊性を認めてもらうための段階として、大体意見が一致したらしい。ところがまたそれがひっくり返って、元に戻りつつある。それが現状だ。しかしそんなことをいうものは委員を辞めてもらいたい。東君とぼくらの話合いで、水泳は選手年令が若い特殊性があるんだからよいといっているんだ。今さらよいとか悪いとかいわれることじゃないから、同じような年令のものを集めて大会をやってくれと主張しているわけなんだ。現に朝日がジュニア・レクリエーションをやった時には、文部省では一番反対しているだろうと思われる西田、佐々木、あるいは中等教育課の体育係長をやっていた連中が、「あれは困る。防犯協会によるやり方は困る。」といていた。そのためには立派なものをつくらなければならない。その前提としてレクリエーションをどんどん持って行ったらいいじゃないか。殊に中等学校の球算の全国大会をやっているが、これはもうもうたる煙の中でやっている。あんな不衛生なものをやっているなら、むしろスポーツの全国大会の方がいいじゃないかと彼らはいうわけだ。

ところが今になって彼らが水泳がいかんということは解せない。要するに、そういうことで文部省側が水泳はいい。野球もいい。しかし他はいかんといったら憎まれる。それを恐がっているんじゃないかと思うんだ。だけどそれでは我々としては困る。だから彼らはよいものはよい。悪いものはやめてくれとはっきり勇気を持って決めることが必要だ。彼らができないからといって一度決めたことをまたもとの線に逆もどりさせることはうなづけない。だから小学校からずっと水泳をやって来た牧野君にしても電通にいるし、清川君はどこそこここういうふうに立派に勤めているというようなデーターもつくり上げ、こういう人たちが社会に出ているのに、どういふところに悪い点があるかという実例を挙げてやることも必要だ。また週刊朝日で有馬さんがいったが、国体で陛下が西下された時、広島で名物のカキをとおっしゃった。ところがカキは危険だからいけないとお側の者がいっている。陛下がおっしゃってるんだから差上げたらいのに、何か変なことがあってはいかんというようにことばかり考えている。だから有馬さんも、「もっと積極的にやればいじ

ないか。」といっでるが、それと同じように今の教育者も何かワクにはまってしまって、どうも楽にしよう、楽にしようと考えているように見られる。教育者だからよいものは伸ばし、悪いものはあくまで直すようにするのが良いことなんだから、そういうデーターを書いて、「もう一度考えなおせ」といってやろうと思っているんだ。

藤田 教育者が毅然たる態度で、自分たちが預かっている中学生は、自分たちが責任を持って教育していくという熱意があれば、この問題は自ら解決できる。ほかに波及するところはないですよ。

田畑 中学生から世界一が出れば、如何に日本の青少年に対して強い自信と誇りを与えるかわからないのに、あまり威張り過ぎては困る等とか心配するのは意味がない。子供だから、世界一になれば少しは有頂天になるかも知れないが、そこをうまく持っていくのが教育者だ。それを危いからといって枠の中に閉じこめとくとは誠にけしからん話で、教育者よ勇気を持ってといってやる。(笑声)

川田 では我々はそれを大いに高唱することにして大分長くなりましたが、終りに会長から来シーズンへの抱負というか、期待を話して下さい。

来るべきシーズンの抱負

田畑 まず山下が古橋の記録を今年破るかどうかということ。山下は現在長距離における世界の第一人者であることは間違いないが、将来どれだけ伸びていくかということが一つ。それと同時に、あ

の1500米における強さが400米にまで現れてくるかという問題、山下に関してはこの二つが注目の的だと思う。他の一つは、去年来日して、鈴木を始め短距離陣がめっちゃめっちゃにやられたあのヘンリックスが、かつての日米対抗の大阪で古橋を破った紺野みたいに自信をつけさせてしまうか。それとも遂に、今年日本が彼をチェックして、とって代るかどうかということだ。しかし僕は、どうも日本の短距離泳者が彼を阻む力を持っていない感じがする。非常に繊細というか、西洋カミソリみたいな切れ味を持って鈴木がいるし、一方には青竜刀みたいな谷(笑声)、あるいは谷川、古賀のような選手もいるんだから、そのコンビでヘンリックスを第二の紺野にしなくていけるんじゃないかと思うんだ。これは日本の問題と同時に世界水泳界の大きな関心事だと思うんだ。さらにまた、今のブレストが本当に今年においてはっきり世界一になるかどうか。田中守をトップにした平泳陣営がどこまで伸びていくか。それから、ようやく頭を出したバツクがどの程度国際水準線に頭を出し、メルボルンで勝負ができるまでに行けるかどうか。これは今年の夏で見当がつくだろうと思う。だから今年の日本の水泳は興味深い問題であり、どれもこれも期待を持ち得るものばかりだと思っている。

川田 それではこの位にして終りたいと思います。ありがとうございました。(終)

(座談会中の敬称は略させていただきました。)

“私は誰でしょう？”

第1ヒント ヘルシンキの或る肌寒い日の出がけセーターをと思って見たがない。“俺のセーターを知らないか”でみんながカバンを探すやら戸棚を見るやら。“誰か間違っていて着ているんだろう”というのと同時にわたわらから声あり“ワイシャツの下に着てるじゃありませんか”だと、“ア、そうか”。

第2ヒント 母校が久し振りに高校のブロック大会に優勝したので万歳の音頭をとることになった。ふと気がつくとう愛用のパイプがない。気になるので探しているとはたの者までがなんだなんだと探し始めた。これは気が抜けると思って先に“バンザーイ”とやった。落ちたものがあるので見たら口にくわえているのを忘れていた

パイプだった。

第3ヒント 常務理事会が漸く終って次の会合の日取りを打合せ中、“では次の月曜日に致しますが御都合如何ですか”にアチラコチラから“結構”、“OK”、“承知”の声に混って、“オイ月曜日って何曜のことだい”と真顔で聞く人あり、一同逆にパチクリ。

“心 臓”

あと2、3時間でブラジルへ出発という時のこと、田畑会長の代理で行く志村監督、その重任と、初旅の不馴れ、言葉の不如意などで数々の悩みに聊かアガリ気味の呈、この時山下選手馴れぬ手つきでネクタイを結び直しながらニヤリとして、“志村さん英語は任せて下さい。わたしや会話は優ですから心配いりませんよ”にさしもの監督ウーン。

昭和28年度日本新記録 (新 23 対 4)

男子の部 (新記録 3 対記録 1)

(※印は対記録)

氏名	所属	時間	場所	月日	会名
50米背泳					
芦田 拓郎	(稲泳会)	30.4	神宮	7-30	日本選手権
芦田 拓郎	(早大)	30.4	〃	9-13	日本学生
※芦田 拓郎	(稲泳会)	30.6	大阪	8-6	日・米・濠国際
200米リレー					
後藤 暢・倉橋 範彦 谷川 禎次郎・鈴木 弘	(日大)	1:44.2	神宮	9-12	日本学生

女子の部 (新記録 20 対記録 3)

200米自由形

※山下 貞子 (東洋レーヨン) 2:35.6 神宮 8-1 日本選手権

1000米自由形

宮崎 亮子 (五条高) 15.32.0 天理 6-14 天理記録会

50米背泳

新井 里子 (信愛高) 37.2 振甫 8-30 日本高校

森前 みどり (伊都高) 37.6 神宮 7-30 日本選手権

100米背泳

森前 みどり (伊都高) 1:21.6 神宮 7-31 日本選手権

新井 里子 (静岡県) 1:21.6 高知 9-22 国体女子

森前 みどり (伊都高) 1:21.8 神宮 7-30 日本選手権

森前 みどり (〃) 1:21.8 大阪 8-15 近畿高校

森前 みどり (〃) 1:22.0 神宮 8-1 日本選手権

森前 みどり (〃) 1:22.0 大阪 8-15 近畿高校

氏名	所属	時間	場所	月日	会名
森前 みどり	(伊都高)	1:22.4	振甫	8-29	日本高校
森前 みどり	(〃)	1:22.4	大阪	8-6	日・米・濠国際
森前 みどり	(〃)	1:22.4	高知	9-23	国体女子
森前 みどり	(〃)	1:22.6	振甫	8-29	日本高校
新井 里子	(静岡県)	1:22.7	高知	9-22	国体女子
※森前 みどり	(伊都高)	1:22.8	〃	〃	〃
※新井 里子	(静岡県)	1:22.8	〃	〃	〃

200米背泳

多田 悦子 (天理水協) 3:00.4 天理 6-14 天理記録会

400米リレー

長田 久子・宮部シズエ (奈良県) 4:49.6 高知 9-23 国体女子
田村美佐子・新子 富子

坂口 文子・長田 久子 (〃) 4:52.2 〃 9-22 〃
宮部シズエ・田村美佐子

田村美佐子・長田 久子 (天理大) 4:52.8 大阪 9-5 関西学生
坂口 文子・新子 富子

300米メドレー・リレー

片岡 澄子・坂本 和子 (奈良県) 4:05.4 高知 9-22 国体女子
新子 富子

片岡 澄子・坂本 和子 (〃) 4:05.4 〃 9-23 〃
新子 富子

昭和28年度日本国際新記録 (対記録2)

男子の部

50米背泳

※Y. オヤカワ (U. S. A.) 30.0 大阪 8-6 日・米・濠国際

100米背泳

※Y. オヤカワ (〃) 1:07.0 大阪 8-5 日・米・濠国際



(写真は山下選手の力泳)

- ◎ 本20傑表は昭和28年度に於て日本水泳連盟、及び加盟団体の公認せる競技会中、本連盟に報告せられたる成績を10傑詮衡規定に従い、詮衡作成したものである。
- ◎ 記録はすべて本連盟公認の長水路(50米)プールにおいて作られたものである。

男子競泳の部

50米自由形

順位	氏名	所属	時間	場所	月日	会名
1	後藤 暢	日大	26.4	神宮	9-13	日本学生
2	野間 隆彦	八幡製鉄	26.5	山口	7- ¹² / ₁₂	西部実業団
3	浜口 喜博	日本鋼管	26.8	神宮	7-19	東京勤労者
4	田中 武立	大	26.8	〃	9-11	日本学生
5	浪花 欣吾	早大	27.0	〃	9- ¹¹ / ₁₁	〃
6	田中 純夫	〃	27.0	〃	9- ¹¹ / ₁₁	〃
7	太田 光雄	勝村建設	27.2	〃	7- ¹⁹ / ₁₉	東京勤労者
8	山本 新吾	大平工業	27.2	大阪	8-9	大阪勤労者
9	林 正夫	福井	27.2	三秀	8-23	福井県民
10	竹内 允	中大	27.4	神宮	9- ⁵ / ₁₁	関東学生 日本学生
10傑平均		今年度	26.95	昨年度	26.98	

11	浜川 広海	日産汽船	27.4	〃	9- ¹⁹ / ₁₉	東京勤労者
12	西 拡明	大	27.4	〃	9-6	関東学生
13	松岡 信義	慶大	27.4	〃	9-11	日本学生
14	猿渡 敬昭	日大	27.4	〃	9-11	〃

順位	氏名	所属	時間	場所	月日	会名
15	川越 英明	中大	27.6	神宮	9-6	関東学生
16	氏原 靖純	相互銀行	27.6	高知	9-19	高知勤労者
17	清光 雄二	早大	27.6	神宮	9-11	日本学生
18	笹島 利哉	中大	27.6	〃	9-6	関東学生
19	岡田 義明	法大	27.8	〃	9-11	日本学生
20	佐坂 宏夫	阪大	27.8	天理	6- ²⁷ / ₂₇	関西選手権
		橋爪 孝雄 (厚狭干拓)2回	小林 稔 (法大)			
		植月 弘次 (明大)	浜島 明 (中大)	} 27.8		
		宝木 昭 (関学大)	堤 文夫 (中大)			
		本田 武次 (栃木県庁)	田口 利寛 (郡山高)			

20傑平均	今年度	27.26	昨年度	27.26
-------	-----	-------	-----	-------

昨年度	第1位	山本 新吾 (関大)	26.8
	第10位	上村 郁夫 (大阪大)	27.2
	第20位	石井 明 (中大)	27.8

100米自由形

1	鈴木 弘	日大	57.8	神宮	9.13	日本学生
2	古賀 学	福岡	58.0	高知	9-21	国体高校
3	後藤 暢	日大	58.2	神宮	9-13	日本学生
4	谷 訥	早大	58.4	〃	9- ¹¹ / ₁₃	〃
5	谷川禎次郎	日大	58.4	〃	9-13	〃
6	浜口 喜博	日本鋼管	59.4	若松	8-23	全国勤労者

順位	氏名	所属	時間	場所	月日	会名
7	田中 武	聖ポール	59.6	神宮	7-30	日本選手権
8	田中 純夫	早大	59.8	〃	9-13	日本学生
9	堂崎 治好	明大	59.8	〃	9-11	〃
10	細間 輝喜	東京都	1:00.0	高知	9-20 21	国体高校

10 傑平均 今年度 58.94 昨年度 58.88

11	松岡 信義	慶大	1:00.0	甲子園	7-19	兵庫選手権
12	西 拓	明大	1:00.2	神宮	7-30 9-13	日本選手権 日本学生
13	浜島 明白	水会	1:00.2	〃	9-6	関東学生
14	竹内 允	〃	1:00.4	〃	8-1	日本選手権
15	寺田 大策	同志社大	1:00.4	大阪	7-12	大阪選手権
16	金谷 雅弘	和歌山県	1:00.4	高知	9-20	国体高校
17	清光 雄二	早大	1:00.8	神宮	9-11	日本学生
18	井原 孜	立大	1:00.8	〃	6-14	三大学対抗
19	粕谷 保	中大	1:01.2	〃	9- ⁵ / ₆	関東学生
20	木村 正	立大	1:01.2	〃	9-11	日本学生
	坂本 幸盛	八幡製鉄	1:01.2	〃	7-30	日本選手権
	南 佳恵	中大	1:01.2	〃	9-11	日本学生
	青山 幸郎	慶大	1:01.2	〃	6-7	早慶対抗

20 傑平均 今年度 59.75 昨年度 59.77

昨年度 第1位 鈴木 弘 (日大) 57.4
第10位 西 拓 (明大) 1:00.4
第20位 松岡 信義 (慶大) 1:00.8

200米 自由形

1	谷 訥	早大	2:09.2	神宮	9-12	日本学生
2	鈴木 弘	日大	2:10.2	〃	6-14	三大学対抗
3	細間 輝喜	聖ポール	2:11.2	〃	7-30	日本選手権
4	山下 勝次	早大	2:11.2	〃	9-13	日本学生
5	杉原 満弘	〃	2:11.8	〃	9-12	〃
6	堂崎 治好	明大	2:12.0	〃	〃	〃
7	吉村 健三	駿台	2:12.2	大阪	8-5	国際
8	西 拓	〃	2:12.4	〃	8-5	〃
9	田中 寧夫	早大	2:12.4	神宮	9-12	日本学生
10	谷川禎次郎	日大	2:12.4	〃	6-14	三大学対抗

10 傑平均 今年度 2:11.50 昨年度 2:11.26

11	浅野 満	稲泳会	2:13.2	浜松	7-19	浜名予選
12	田中 純夫	〃	2:13.4	神宮	7-31	日本選手権
13	高橋 勝	慶大	2:14.2	〃	6-7	早慶対抗
14	古賀 学	伝習館高	2:14.6	振甫	8-29	日本高校
15	松岡 信義	兵庫県	2:15.2	高知	9-23	国体郷土
16	森 文太郎	三水会	2:15.4	神宮	7-30	日本選手権

順位	氏名	所属	時間	場所	月日	会名
17	南 佳恵	中大	2:15.6	神宮	9-12	日本学生
18	寺田 大策	同志社大	2:16.2	天理	6-27	関西選手権
19	安岡 信男	日大	2:16.4	神宮	9-11	日本学生
20	東野 賢二	高知商	2:16.6	振甫	8-29	日本高校

20 傑平均 今年度 2:13.29 昨年度 2:12.98

昨年度 第1位 鈴木 弘 (日大) 2:06.8
第10位 山本 新吾 (関大) 2:13.4
第20位 坂本 幸盛 (八幡製鉄) 2:17.0

400米 自由形

1	山下 勝次	早大	4:38.2	神宮	9-13	日本学生
2	浅野 満	〃	4:41.8	〃	9-13	〃
3	細間 輝喜	聖ポール	4:43.0	〃	7-26	東京都高
4	田中 寧夫	早大	4:44.8	〃	9-13	日本学生
5	杉原 満弘	〃	4:45.6	〃	9-13	〃
6	吉村 健三	明大	4:46.2	〃	9-13	〃
7	足立 達	駿台	4:46.8	〃	7-30	日本選手権
8	庄司 嘉宏	明大	4:47.0	〃	9-13	日本学生
9	横田 宣明	稲泳会	4:48.0	大阪	8-6	国際
10	金谷 雅弘	田辺高	4:48.0	〃	8-15	近畿高校

10 傑平均 今年度 4:44.94 昨年度 4:43.86

11	青木 行義	桜泳会	4:48.4	神宮	7-30	日本選手権
12	北村 康雄	稲泳会	4:48.4	〃	7-30	〃
13	石橋 明	桜泳会	4:48.6	〃	7-30	〃
14	高橋 勝	慶大	4:49.8	〃	6-7	早慶対抗
15	安岡 信男	桜泳会	4:51.4	〃	9-13	日本学生
16	森 文太郎	三水会 慶大	4:52.4	〃	7-30 9-11	日本選手権 日本学生
17	野田 芳郎	高知商	4:54.0	振甫	8-30	日本高校
18	久保田 認	白杵高	4:54.8	大谷	8-16	九州高校
19	田中 純夫	稲泳会	4:55.0	神宮	7-30	日本選手権
20	森口 昇	中大	4:55.6	〃	9-13	日本学生
	庄司 政雄	〃	4:55.6	〃	9-6	関東学生

20 傑平均 今年度 4:48.39 昨年度 4:48.58

昨年度 第1位 橋爪 四郎 (A.I.U.) 4:40.2
第10位 石橋 明 (日大) 4:46.8
第20位 鷹野 強 (明大) 4:53.2

800米 自由形

1	山下 勝次	早大	9:45.6	神宮	9-12	日本学生
2	浅野 満	〃	9:56.4	〃	9-12	〃

順位	氏名	所属	時間	場所	月日	会名
3	青木 行義	日大	9:58.0	神宮	9-11	日本学生
4	庄司 嘉弘	明大	10:00.0	〃	〃	〃
5	横田 宣明	早大	10:01.2	〃	〃	〃
6	森 文太郎	慶大	10:05.2	〃	〃	〃
7	北村 康雄	早大	10:06.0	〃	9-12	〃
8	足立 達	明大	10:07.0	〃	9-11	〃
9	吉村 健三	〃	10:12.0	〃	6-14	三大学对抗
10	久保田 認	白杵高	10:14.0	白杵高	6-14	白杵対鶴城
10	傑平均	今年度	10:02.54	昨年度	10:03.48	

11	金谷 雅弘	田辺高	10:14.8	大阪	8-16	近畿高校
12	新宅 七郎	五条高	10:14.8	〃	〃	〃
13	田所善五郎	中大	10:17.2	神宮	9-11	日本学生
14	永井 武治	日大	10:19.8	〃	6-14	三大学对抗
15	庄司 政雄	中大	10:21.6	〃	9-12	日本学生
16	大野 司	日大	10:24.0	〃	6-14	三大学对抗
17	香川 義英	明大	10:30.0	〃	9-6	関東学生
18	永見 演広	関学	10:30.0	大阪	9-6	関西学生
19	山下 健司	法大	10:33.0	神宮	9-11	日本学生
20	石橋 明	日大	10:34.8	〃	〃	〃
20	傑平均	今年度	10:13.27	昨年度	10:10.96	

昨年度	第1位	橋爪 四郎 (A.I.U.)	9:49.2
	第10位	杉浦 貞夫 (慶大)	10:09.8
	第20位	石丸 宗介 (明大)	10:24.6

1500 米 自由形

1	山下 勝次	稲泳会	18:27.4	神宮	7-31	日本選手権
2	足立 達	駿台夕	18:51.4	〃	7-30	〃
3	青木 行義	桜泳会	19:05.8	大阪	8-5	国際
4	石橋 明	〃	19:15.2	神宮	7-30	日本選手権
5	北村 康雄	稲泳会	19:16.2	〃	6-7	早慶对抗
6	浅野 満	〃	19:17.6	〃	7-31	日本選手権
7	庄司 嘉宏	駿台夕	19:18.0	〃	7-30	〃
8	横田 宣明	稲泳会	19:24.0	〃	7-31	〃
9	金谷 雅弘	田辺高	19:27.2	大阪	8-16	近畿高校
10	新宅 七郎	五条高	19:33.2	〃	〃	〃
10	傑平均	今年度	19:11.50	昨年度	19:06.82	

11	安岡 信雄	桜泳会	19:40.0	神宮	7-30	日本選手権
12	池尻 月男	山鹿高	19:40.8	振甫	8-29	日本高校
13	長島 務	豊山高	19:46.6	〃	〃	〃
14	野々下耕司	佐伯鶴城	19:47.0	大谷	8-15	九州高校
15	野田 芳郎	高知商	19:50.6	振甫	8-29	日本高校
16	久保田 認	白杵高	19:55.4	大谷	8-15	九州高校

順位	氏名	所属	時間	場所	月日	会名
17	森 文太郎	慶大	20:00.4	神宮	6-7	早慶对抗
18	近藤 至男	伊東高	20:05.2	浜松	8-15	中部高校
19	野村 幸司	立教高	20:09.2	振甫	8-29	日本高校
20	永井 武治	桜泳会	20:09.2	神宮	7-30	日本選手権
20	傑平均	今年度	19:32.97	昨年度	19:24.86	

昨年度	第1位	橋爪 四郎 (A.I.U.)	18:32.6
	第10位	田中 寧夫 (稲泳会)	19:32.0
	第20位	長島 務 (豊山高)	19:59.0

50 米 背 泳

1	芦田 拓郎	稲早大	30.4	神宮	7-30	日本選手権
2	倉橋 範彦	桜泳会	31.2	〃	8-2	日本選手権
3	梶浦 昇	早大	31.8	神宮	8-2	〃
				大阪	8-6	国際
4	長谷 景治	都島工高	32.0	天理	6-28	関西選手権
				大阪	7-12	大阪
				大阪	8-6	国際
5	佐藤 忠	東芝	32.0	神宮	8-2	日本選手権
				大阪	8-6	国際
				若松	8-22	全国勤労者
6	大久保憲二	聖ポール	32.0	神宮	7-30	日本選手権
				大阪	8-6	国際
7	野上 脩	関学大	32.4	甲子園	7-19	兵庫選手権
				大阪	9-5	関西学生
8	青山 欣且	郡山高	32.4	神宮	7-30	日本選手権
9	宮田 春雄	日大	32.6	〃	9-11	日本学生
				〃	13	〃
10	元村 昭夫	立命大	32.8	天理	6-28	関西選手権
10	傑平均	今年度	31.96	昨年度	31.70	

11	黒佐 清	早大	32.8	神宮	9-13	日本学生
12	山下 栄隆	浜松北高	32.8	浜松	7-19	浜名予選
13	中川 満	大手前高	32.8	大阪	7-12	大阪選手権
14	黒佐 年明	八幡製鉄	33.0	神宮	7-31	日本選手権
				若松	8-22	全国勤労者
15	野末 俊夫	立大	33.0	神宮	7-30	日本選手権
				〃	9-13	日本学生
16	待鳥 啓三	太陽生命	33.0	〃	7-18	東京勤労者
17	井本 吉郎	中大	33.2	〃	9-11	日本学生
				〃	13	〃
18	三輪 悦造	関大	33.2	大阪	9-12	大阪選手権
19	田中 令吉	慶大	33.2	神宮	9-11	日本学生
20	岸本 脩	関学大	33.4	天理	6-18	関西選手権
				大阪	7-12	大阪
				甲子園	7-19	兵庫
	高森 知之 (明大)	太田 光雄 (勝村建設)	33.4			
	藤原 哲則 (聖ポール)	田淵 五郎 (神戸大)				
	浜岡 昭八 (京都大丸)	進来 進 (中大)				
	楠 敏朗 (七尾)					

順位 氏名 所属 時間 場所 月日 会名

20 傑平均 今年度 32.50 昨年度 32.24

昨年度 第1位 芦田 拓郎 (稲泳会) 30.6
 第10位 西野 恭正 (桜泳会) 32.4
 第20位 赤樫 卓爾 (日本ベークライト) 33.0

100 米 背 泳

1 梶浦 昇 愛知県 1:08.4 高知 9-23 国体郷土
 2 長谷 景治 大阪 1:09.4 // 9-21 国体高校
 3 芦田 拓郎 稲泳会 1:10.0 大阪 8-5 国 際
 4 倉橋 範彦 日 大 1:10.0 神宮 9-12 日本学生
 5 大久保憲二 聖ポール 1:10.4 // 7-31 日本選手権
 8-2
 6 山下 栄隆 浜松北高 1:10.4 浜松 8-16 中部高校
 7 西野 恭正 高知県 1:11.2 高知 9-22 国体教員
 8 宮田 春雄 桜泳会 1:11.4 神宮 7-31 日本選手権
 大阪 8-5 国 際
 日 大 神宮 9-12 日本学生
 9 黒佐 清 稲泳会 1:11.6 神宮 7-31 日本選手権
 10 中島 雅好 早 大 1:11.8 // 9-12 日本学生

10 傑平均 今年度 1:10.46 昨年度 1:10.38

11 高森 知之 駿台ク 1:12.6 神宮 7-30 日本選手権
 12 元村 昭夫 立命大 1:12.6 大阪 9-6 関西学生
 13 野末 俊夫 立 大 1:12.8 神宮 9-11 日本学生
 12
 14 佐藤 忠 神奈川 1:12.8 高知 9-21 国体実業
 15 鈴木 進 稲泳会 1:12.8 神宮 7-31 日本選手権
 16 青山 欣旦 郡山高 1:13.0 天理 10-4 奈良選手権
 17 野上 脩 関学大 1:13.0 大阪 9-6 関西学生
 18 井本 吉郎 中 大 1:13.2 神宮 9-12 日本学生
 19 岸本 脩 関学大 1:13.2 大阪 7-12 大阪選手権
 20 住井 雅義 天王寺高 1:13.2 // 8-16 近畿高校

20 傑平均 今年度 1:11.69 昨年度 1:11.54

昨年度 第1位 倉橋 範彦 (日 大) 1:09.6
 第10位 富田 春雄 (日 大) 1:11.2
 第20位 清野 満平 (桜泳会) 1:13.4

100 米 平 泳

1 田中 守 早 大 1:13.4 神宮 9-13 日本学生
 2 板井 道生 日 大 1:14.0 // //
 3 清池 健藏 中 大 1:15.2 // //
 4 梶川 孝義 稲泳会 1:15.4 // 7-30 日本選手権
 大阪 8-5 国 際
 5 胡麻鶴 寿 中 大 1:15.4 神宮 9-13 日本学生

順位 氏名 所属 時間 場所 月日 会名

6 中村 仁三 八幡製鉄 1:15.6 神宮 8-2 日本選手権
 大阪 8-5 国 際
 7 古川 勝 橋本高 1:15.8 大阪 8-5 国 際
 振甫 8-15 近畿高校
 8-30 日本高校
 8 水貝 利重 早 大 1:15.8 神宮 9-11 日本学生
 9 平山 綽保 日 大 1:16.2 // 9-13 //
 10 戸上 雅雄 // 1:16.2 // //

10 傑平均 今年度 1:15.30 昨年度 ナシ

11 大谷 勝 法政二高 1:16.4 振甫 8-30 日本高校
 12 藤家 衛 聖ポール 1:17.2 神宮 8-1 日本選手権
 13 梶井 正人 吳同好 1:17.4 // 7-30 //
 14 岩下 正気 同志社大 1:17.4 大阪 9-5 関西学生
 15 平井 孜 山城高 1:17.4 // 8-15 近畿高校
 16 原 讓良 同志社大 1:17.8 天理 6-28 関西選手権
 17 中沢 潔 早 大 1:18.0 神宮 7-30 日本選手権
 18 宇田久寿秀 富士製鉄 1:18.0 // //
 19 土方 正記 中国海運 1:18.4 若松 8-22 全国勤労者
 大阪 8-15 近畿高校
 20 小林 義和 同志社高 1:18.6 振甫 8-30 日本高校
 窪 昭博 五条高 1:18.6 天理 9-5 国体奈良
 提 勳 桜宮中 1:18.6 大阪 8-23 近畿中学
 坂東純之祐 同 大 1:18.6 // 9-5 関西学生

20 傑平均 今年度 1:16.48 昨年度 ナシ

昨年度 第1位
 第10位 ナシ
 第20位

200 米 平 泳

1 田中 守 早 大 2:42.8 神宮 9-12 日本学生
 2 梶川 孝義 稲泳会 2:44.4 // 7-30 日本選手権
 8-1
 3 清池 健藏 中 大 2:45.2 // 9-12 日本学生
 4 古川 勝 橋本高 2:45.6 大阪 8-5 国 際
 振甫 8-29 日本高校
 5 胡麻鶴 寿 中 大 2:45.8 神宮 9-12 日本学生
 6 板井 道生 日 大 2:46.0 // //
 7 水貝 利重 早 大 2:46.6 // //
 8 大谷 勝 法政二高 2:46.6 振甫 8-29 日本高校
 9 戸上 雅雄 日 大 2:48.2 神宮 9-12 日本学生
 10 藤家 衛 聖ポール 2:48.2 // 7-31 日本選手権

10 傑平均 今年度 2:45.94 昨年度 2:53.66

11 広 達夫 白水会 2:49.2 // 7-30 //

順位	氏名	所属	時間	場所	月日	会名
12	平山 緯保	日大	2:49.4	神宮	9-11	日本学生
13	中沢 潔	稲泳会	2:49.6	大阪	8-5	国際
14	安達 登利	日大	2:49.8	神宮	7-31 9-12	日本選手権 日本学生
15	仙葉 元昭	東京都	2:49.8	高知	9-20	国体高校
16	石井 弘	安房一高	2:50.0	振甫	8-29	日本高校
17	匠 賢一	稲泳会	2:50.6	神宮	7-31	日本選手権
18	手塚 政一	関学大	2:50.6	大阪	9-6	関西学生
19	窪 昭博	五条高	2:50.6	天理	9-5	国体奈良
20	小林 義和	D.S.C.	2:50.8	大阪	8-16	近畿高校
20 傑平均			今年度 2:47.99	昨年度	2:55.43	

昨年度	第1位	中沢 潔	(国泰寺高)	2:50.2
	第10位	藤井 賢	(藤井商店)	2:55.4
	第20位	中村 仁三	(八幡製鉄)	2:58.4

200 米 リ レ -

1	後藤・倉橋・谷川・鈴木	日大	1:44.2	神宮	9-12	日本学生
2	田中(純)・浪花・清光・谷早	早大	1:46.4	〃	9-11	〃
3	木村・井原・加藤・田中立	立大	1:49.0	〃	9-12	〃
4	竹内・浜島・粕谷・川越中	中大	1:49.0	〃	〃	〃
5	吉村・西・植月・堂崎明	明大	1:49.0	〃	9-5	関東学生
6	竹内・浜島・笹島・川越中	中大	1:49.4	〃	9-11	日本学生
7	鷹野・堂崎・西・吉村明	明大	1:50.0	〃	〃	〃
8	松岡・高橋・青山・吉岡慶	慶大	1:50.2	〃	9-11 12	〃
9	佐々木・浜川・本山・浜口	東京都	1:50.2	高知	9-21	団体実業団
10	坂本・平城・竹本・野間	福岡県	1:50.4	〃	〃	〃
10 傑平均			今年度 1:48.78	昨年度	1:47.76	
11	浜川・川畑・佐々木・浜口	東京都	1:50.4	〃	9-20	〃
12	岡田・中城・藤田・平田法	法大	1:50.8	神宮	9-5	関東学生
13	小林・岡田・藤田・平田法	法大	1:51.4	〃	9-11	日本学生

順位	氏名	所属	時間	場所	月日	会名
14	宝木・野上・永見・黒田	関学大	1:51.6	大阪	9-6	関西学生
15	杉原・熊谷・神谷・荒木	東京教大	1:51.6	神宮	9-5	関東学生
16	竹内・浜島・南・川越中	中大	1:51.6	中大	9-14	中大対立命
17	上池・惠中・金谷・宮本	田辺高	1:51.8	大阪	8-16	近畿高校
18	二宮・原・中泉・寺田	同志社大	1:51.8	〃	9-6	関西学生
19	竹本・坂本・平城・清田	八幡製鉄	1:52.0	若松	8-22	全国勤労者
20	向井・小倉・米谷・上村	兵庫県	1:52.2	高知	9-23	国体郷土
	石本・池田・柿本・氏原	高知県	1:52.2	〃	〃	〃
	鎗屋・坂田・松本・大佐古	広島県	1:52.2	〃	9-20	国体実業団
20 傑平均			今年度 1:50.15	昨年度	1:49.19	

昨年度	第1位	鈴木・野間・田中・山本	(学生)	1:46.2
	第10位	吉村・堂崎・植月・西	(明大)	1:49.4
	第20位	清田・竹本・黒佐・坂本	(八幡製鉄)	1:52.0

800 米 リ レ -

1	山下・杉原・浅野・谷早	早大	8:44.2	神宮	9-13	日本学生
2	吉村・西・庄司・堂崎明	明大	8:52.2	〃	〃	〃
3	安岡・後藤・谷川・青木	日大	8:57.6	〃	〃	〃
4	鈴木・谷川・後藤・青木	日大	8:57.8	〃	6-14	三大学對抗
5	浅野・南・谷・鈴木	愛知県	9:00.0	高知	9-23	国体郷土
6	杉原・田中(純)・高橋・細間	広島県	9:03.2	〃	〃	〃
7	高橋・松岡・森・吉岡	慶大	9:03.6	神宮	9-13	日本学生
8	高橋・松岡・青山・吉岡	慶大	9:05.2	〃	6-7	早慶對抗

順位 氏名 所属 時間 場所 月日 会名

8 田中(寧)・浅野・山下・谷
早大 9:05.2 神宮 6-7 早慶対抗

10 南・粕谷・浜島・森口
中大 9:06.4 // 9-13 日本学生

10 傑平均 今年度 8:59.54 昨年度 8:56.65

11 吉村・西・堂崎・鷹野
明大 9:07.2 神宮 6-14 三大学対抗

12 木村・和田・田中・井原
立大 9:09.0 // 9-13 日本学生

13 細間・田中・井原・和田
立大 9:11.0 // 6-14 三大学対抗

14 杉原・長沢・浅野・谷
早大 9:12.0 // 9-11 日本学生

15 堀内・安岡・鈴木・谷川
日大 9:12.6 // // //

16 安岡・田所・野田・北村
高知県 9:13.6 高知 9-23 国体郷土

17 香川・鷹野・西・吉村
明大 9:14.4 神宮 9-11 日本学生

18 杉浦・吉岡・森・高橋
慶大 9:15.0 // // //

19 南・浜島・粕谷・田所
中大 9:15.0 // // //

20 東野・北村・野田・安岡
高知県 9:15.0 高知 9-23 国体郷土

20 傑平均 今年度 9:06.01 昨年度 9:08.34

昨年度 第1位 鈴木・浜口・後藤・谷川
(日本) 8:33.5

第10位 野田・小島・久保田・古賀
(西部高) 9:06.2

第20位 大井・高井・田中・山本
(関大) 9:29.4

300米メドレー・リレー

1 梶浦・広・谷
愛知県 3:27.0 高知 9-23 国体郷土

2 黒佐(清)・板井・谷川
大分県 3:27.0 // // //

3 倉橋・平山・後藤
日大 3:27.4 神宮 6-14 三大学対抗

4 浜崎・田中(守)・田中(武)
愛媛県 3:27.4 高知 9-23 国体郷土

順位 氏名 所属 時間 場所 月日 会名

5 梶浦・広・鈴木
愛知県 3:27.8 高知 9-23 国体郷土

6 大久保・藤家・田中
立大 3:28.4 神宮 6-14 三大学対抗

7 井本・清池・浜島
中大 3:30.0 中大 9-14 中対立命

8 近藤・中村・野間
福岡県 3:30.8 高知 9-21 国体実業団

9 近藤・中村・古賀
福岡県 3:30.8 // 9-23 国体郷土

10 浜岡・大谷・細間
広島県 3:31.0 // // //

10 傑平均 今年度 3:28.76 昨年度 3:25.66
(バタフライ)

11 藤原・田中(守)・田中(武)
愛媛県 3:31.4 高知 9-23 国体郷土

12 上野・古川・金谷
和歌山県 3:31.8 // 9-21 国体高校

13 西野・宇田・安岡
高知県 3:32.2 // 9-23 国体郷土

14 浜岡・大谷・田中(純)
広島県 3:32.8 // // //

15 待島・本山・浜口
東京都 3:34.0 // 9-21 国体実業団

16 二宮・大谷・今井
神奈川県 3:34.0 // // 国体高校

17 後藤・中村・古賀
福岡県 3:35.0 // 9-23 国体郷土

18 佐藤・石井・粕谷・
千葉県 3:35.2 // // //

19 近藤・中村・平城
入幡製鉄 3:35.6 若松 8-22 全国勤労者

20 吉野・仙葉・細間
東京都 3:35.6 高知 9-21 国体高校

20 傑平均 今年度 3:31.55 昨年度 3:29.00
(バタフライ)

昨年度 第1位 倉橋・平山・谷川
(日大) 3:20.0 (バタフライ)

第10位 佐藤・石井・粕谷
(安房一高) 3:29.8 (//)

第20位 渥美・伊達・加藤
(浜松西高) 3:34.2 (//)

順位 氏名 所属 時間 場所 月日 会名

女子競泳の部

50米自由形

1	宮部シズエ	五条高	32.0	大阪振甫	8-15	近畿高校
2	大石 康子	天理大	32.4	天理神宮大阪	6-14	奈良記録会
3	新子 節子	小川ボソプ	32.4	神宮若松	7-31	日本選手権
4	新子 富子	天理大	32.4	大阪	9-5	関西学生
5	山下 貞子	東洋レーヨン	32.6	若松	8-22	全国勤労者
6	神野 眸	淑徳高	32.6	振甫	8-30	日本高校
7	長田 久子	天理大	32.6	天理	6-27	関西選手権
8	坂口 文子	天理大	33.0	〃	6-14	奈良記録会
9	田村美佐子	天理大	33.4	〃	6-14	〃
10	藤田 陽子	宮之城高	34.0	大谷	8-16	九州高校

10傑平均 今年度 32.74 昨年度 33.44

11	端谷八重子	石川センイ	34.4	若松	8-22	全国勤労者
12	芦田富貴子	白木屋	34.4	〃	〃	〃
13	平野 雅子	〃	34.8	〃	〃	〃
14	勝見 他見	泉岳高	34.8	松任	6-14	石川記録会
15	岩田喜代美	御船高	35.0	大谷	8-16	九州高校
16	竹本 良子	宿毛高	35.0	栗林	8-15	四国高校
17	鈴木 和子	浜松市高	35.0	浜松	10-4	静岡高新人
18	石井久美子	熊毛北高	35.1	山口	8-23	山口選手権
19	桜井満喜子	実踐高	35.4	神宮	7-19	東京選手権
20	築詰 康子	宮之城高	35.4	振甫	8-30	日本高校
	岡林 綾子	土佐女高	35.4	栗林	8-15	四国高校
	西野 数美	〃	35.4	〃	〃	〃
	河原 澄子	大丸	35.4	若松	8-23	全国勤労者

20傑平均 今年度 33.84 昨年度 34.29

昨年度 第1位 大石 康子 (天理大) 31.8
 第10位 片岡 澄子 (〃) 34.6
 第20位 江浜 敦子 (目黒区) 35.2

100米自由形

1	新子 富子	奈良県	1:10.4	高知	9-22	国体女子
2	山下 貞子	東洋レーヨン	1:10.4	神宮	8-2	日本選手権
3	宮部シズエ	奈良県	1:11.8	高知	9-23	国体女子
4	長田 久子	〃	1:12.4	〃	9-23	〃
5	新子 節子	小川ボソプ	1:12.8	神宮	8-1	日本選手権
6	田村美佐子	天理大	1:13.8	大阪	9-5	関西学生

順位 氏名 所属 時間 場所 月日 会名

7	小牧 順子	鹿児島県	1:14.0	高知	9-22	国体女子
8	坂口 文子	奈良県	1:14.4	天理	9-5	国体奈良
9	大石 康子	天理大	1:15.0	神宮	7-30	日本選手権
10	佐藤 嬉子	五条高	1:15.0	天理	9-5	国体奈良

10傑平均 今年度 1:13.10 昨年度 1:13.60

11	神野 眸	淑徳高	1:15.4	神宮	7-30	日本選手権
12	前 佳子	和歌山県	1:15.6	高知	9-22	国体女子
13	端谷八重子	石川県	1:15.6	〃	〃	〃
14	西野 数美	高知県	1:15.8	〃	〃	〃
15	藤田 陽子	鹿児島県	1:16.2	〃	〃	〃
16	芦田富貴子	東京都	1:16.4	〃	9-23	〃
17	石井久美子	山口県	1:16.8	〃	〃	〃
18	岡 照子	伊都高	1:17.2	振甫	8-29	日本高校
19	大宮 涼子	淑徳中	1:17.8	〃	8-25	愛知中学
20	山本 光枝	新潟県	1:18.4	高知	9-22	国体女子

20傑平均 今年度 1:14.81 昨年度 1:15.54

昨年度 第1位 山下 貞子 (東洋レーヨン) 1:10.0
 第10位 節子 節子 (大阪府) 1:16.0
 第20位 田吹千鶴子 (福岡県) 1:18.2

200米自由形

1	山下 貞子	東洋レーヨン	2:35.6	神宮	8-1	日本選手権
2	新子 富子	天理水	2:35.8	〃	8-1	〃
3	田村美佐子	〃	2:40.6	大阪	7-12	大阪選手権
4	宮崎 亮子	五条高	2:41.2	振甫	8-30	日本高校
5	前 佳子	伊都高	2:43.6	〃	8-30	〃
6	長田 久子	天理水	2:44.6	郡山高	10-4	奈良選手権
7	佐藤 嬉子	五条高	2:46.0	大阪	8-15	近畿高校
8	小牧 順子	宮之城高	2:48.4	大谷	8-15	九州高校
9	江浜 敦子	櫻泳会	2:50.6	神宮	8-1	日本選手権
10	鈴木 和子	浜松市高	2:52.4	振甫	8-30	日本高校

20傑平均 今年度 2:43.88 昨年度 2:46.56

11	芦田富貴子	白木屋	2:53.4	神宮	7-30	日本選手権
12	宮部シズエ	五条高	2:54.4	天理	6-14	奈良記録会
13	大宮 涼子	淑徳中	2:55.0	振甫	8-25	愛知中学
14	神野 眸	愛知県	2:55.0	〃	8-20	東海高校
15	田中 玲美	熊本高	2:55.0	大谷	8-15	九州高校
16	岡 照子	伊都高	2:55.6	大阪	8-15	近畿高校
17	米岡 幸美	清水丘高	2:55.8	振甫	8-30	日本高校
18	今井 一子	土佐女	2:57.4	〃	8-30	〃
19	石井久美子	熊毛北高	2:58.7	山口	9-13	山口体育

順位	氏名	所属	時間	場所	月日	会名
20	井上 敦子	宿毛高	3:01.0	栗林	8-15	四国高校

20 傑平均 今年度 2:47.57 昨年度 2:51.59

昨年度 第1位 山下 貞子 (東洋レーヨン) 2:35.6
 第10位 鈴木 和子 (浜松市高) 2:52.6
 第20位 田中 栄子 (伝習館高) 3:00.0

400米 自由形

1	田村美佐子	天理大	5:41.8	神宮	8-2	日本選手権
2	宮崎 亮子	五条高	5:42.0	振甫	8-29	日本高校
3	山下 貞子	東洋レーヨン	5:44.8	大阪	7-12	大阪選手権
4	佐藤 嬉子	五条高	5:50.8	振甫	8-29	日本高校
5	前 佳子	伊都高	5:51.8	〃	〃	〃
6	江浜 敦子	桜泳会	5:57.6	神宮	8-2	日本選手権
7	吉田せつ子	佐敷中	6:03.6	大阪	8-6	国際
8	今井 一子	高知県	6:04.2	高知	9-23	国体女子
9	小牧 順子	鹿児島県	6:07.4	〃	〃	〃
10	神野 眸	愛知県	6:08.4	〃	9-22	〃

10 傑平均 今年度 5:55.24 昨年度 5:59.60

11	岡 照子	和歌山県	6:09.0	高知	9-22	国体女子
12	松田 昌子	佐敷中	6:12.6	神宮	7-30	日本選手権
13	鈴木 和子	浜松市高	6:13.6	振甫	8-29	日本高校
14	米田 幸美	広島県	6:17.0	高知	9-22	国体女子
15	藤田 陽子	鹿児島県	6:17.4	〃	9-22	〃
16	永野美智子	筑紫高	6:21.0	神宮	8-2	日本選手権
17	大宮 凉子	淑徳高	6:21.2	振甫	7-18	愛知選手権
18	北芝美恵子	五条高	6:23.2	神宮	8-2	日本選手権
19	伊藤 二支	高知県	6:23.2	高知	7-26	高知高校
20	井上 敦子	宿毛高	6:23.7	〃	〃	〃

20 傑平均 今年度 6:06.72 昨年度 6:09.37

昨年度 第1位 田村美佐子 (和歌山) 5:42.0
 第10位 松浦ステ子 (宮崎県) 6:12.2
 第20位 松田 昌子 (九州) 6:29.6

50米 背泳

1	新井 里子	信愛高	37.2	振甫	8-30	日本高校
2	森前みどり	伊都高	37.6	神宮	7-30	日本選手権
3	多田 悦子	天理水	38.0	天理	6-14	奈良記録会
4	平尾 静子	横浜学園	38.0	振甫	8-30	日本高校
5	永瀬美代子	天理水	38.2	天理	6-14	奈良記録会
6	定森 桂子	美作高	38.3	山口	8-15	中国高校
7	片岡 澄子	天理大	38.4	大阪	9-5	関西学生

順位	氏名	所属	時間	場所	月日	会名
8	野口 幸子	東洋レーヨン	38.8	大阪神宮	7-12	大阪選手権

9 小椋とみ子 白木屋 38.8 神宮 8-2 日本選手権
 10 坪井查雅子 五条高 40.0 振甫 8-30 日本高校

10 傑平均 今年度 38.33 昨年度 39.12

11	服部 法子	淑徳高	40.2	振甫	7-25	愛知高校
12	櫻井美恵子	成徳高	40.4	〃	8-30	日本高校
13	亀田 桂子	松蔭中	40.4	大阪	8-23	近畿中学
14	勝見 他美	泉丘高	40.8	松任	6-14	石川記録会
15	安藤 清子	高瀬高	41.0	振甫	8-30	日本高校
16	杉元 丸美	宮之城高	41.2	大谷	8-15	九州高校
17	新実 里美	竜海中	41.4	振甫	8-25	愛知中学
18	能瀬 郁子	土佐女高	41.6	〃	8-30	日本高校
19	松村 史子	鳥取東高	41.9	山口	8-15	中国高校
20	五島 久栄	明善高	42.0	大谷	8-15	九州高校

20 傑平均 今年度 39.71 昨年度 40.97

昨年度 第1位 永瀬美代子 (五条高) 37.8
 第10位 高山 玲子 (清水丘高) 40.8
 第20位 迫田 倫代 (門田高) 43.2

100米 背泳

1	森前みどり	伊都高	1:21.6	神宮	7-31	日本選手権
2	新井 里子	静岡県	1:21.6	高知	9-22	国体女子
3	定森 桂子	岡山県	1:22.8	〃	〃	〃
4	多田 悦子	天理水	1:23.2	神宮	8-1	日本選手権
5	野口 幸子	東洋レーヨン	1:24.6	〃	〃	〃
6	片岡 澄子	天理水	1:24.6	〃	〃	〃
7	平尾 静子	横浜学園	1:24.8	振甫	8-29	日本高校
8	永瀬美代子	天理水	1:24.8	天理	6-27	関西選手権
9	小椋とみ子	白木屋	1:25.2	神宮	8-1	日本選手権
10	坪井查雅子	五条高	1:27.4	天理	9-5	国体奈良

10 傑平均 今年度 1:24.06 昨年度 1:25.72

11	安藤 清子	香川県	1:29.2	高知	9-22	国体女子
12	服部 法子	淑徳高	1:29.2	振甫	8-20	東海高校
				8-29		日本高校
13	兵頭加乃子	高知県	1:29.8	高知	9-22	国体女子
14	能瀬 郁子	〃	1:30.4	〃	〃	〃
15	松崎 弘子	向陽高	1:30.4	浜松	8-15	中部高校
16	松村 史子	鳥取県	1:30.8	高知	9-22	国体女子
17	亀田 佳子	松蔭中	1:31.2	大阪	8-23	近畿中学
18	新実 里美	龍海中	1:31.4	振甫	8-25	愛知中学
19	小椋とし子	白木屋	1:31.8	中大	6-21	東京都憲法
20	勝見 他見	石川県	1:31.8	高知	9-22	国体女子

順位 氏名 所属 時間 場所 月日 会名

20 傑平均 今年度 1:27.33 昨年度 1:29.11

昨年度 第1位 森前みどり (伊都高) 1:23.0
 第10位 小椋とし子 (白木屋) 1:29.4
 第20位 能瀬 郁子 (土佐女高) 1:33.8

100 米 平 泳

1 青木 政代 伊都高 1:27.0 天理 6-28 関西選手権
 2 坂本 和子 五条高 1:28.8 " " "
 3 中本 英子 " 1:32.4 " 7-26 奈良高校
 4 井豆 信子 " 1:32.4 神宮 8-2 日本選手権
 5 中田 澄子 土佐女高 1:32.8 高知 7-26 高知高校
 6 浦畑チズ子 伊都高 1:33.6 天理 6-28 関西選手権
 7 小田切紀子 築紫女高 1:34.0 大谷 8-15 九州高校
 8 鈴木 文代 下田北高 1:34.0 浜松 8-15 中部高校
 9 高松 好子 妙寺中 1:34.2 大阪 8-23 近畿中学
 10 榎本千恵子 九度山中 1:35.0 " " "

10 傑平均 今年度 1:32.42 昨年度 1:31.82

11 小川 栄子 二階堂高 1:35.4 神宮 7-30 日本選手権
 12 北邨 正子 北野高 1:35.4 大阪 8-16 近畿高校
 13 矢野 迪子 佐敷中 1:36.0 神宮 8-1 日本選手権
 14 平谷 銀子 野原中 1:36.2 大阪 8-23 近畿中学
 15 村上 佳子 東洋レーヨン 1:36.4 天理 6-28 関西選手権
 16 杉浦 一子 馬込幼稚 1:37.4 浜松 7-19 浜名湾予選
 17 及川 英子 釜石高 1:37.6 若松 8-15 東北高校
 18 太田はるみ 白木屋 1:38.0 神宮 1-18 東京勤労者
 19 小田切順子 富士製鉄 1:38.2 若松 8-23 全国勤労者
 20 藤田恵美子 舟入高 1:38.5 山口 8-15 中国高校

20 傑平均 今年度 1:34.67 昨年度 1:34.56

昨年度 第1位 坂本 和子 (五条高) 1:25.6
 第10位 浦畑チズ子 (伊都高) 1:36.4
 第20位 後藤 久枝 (淑徳高) 1:38.2

200 米 平 泳

1 青木 政代 伊都高 3:02.0 天理 6-27 関西選手権
 大阪 8-5 国 際
 2 坂本 和子 五条高 3:07.2 天理 6-14 奈良記録会
 3 井豆 信子 " 3:15.2 神宮 8-1 日本選手権
 4 中本 英子 " 3:15.4 " " "
 5 中田 澄子 土佐女高 3:15.4 高知 9-23 国体女子
 6 矢野 迪子 佐敷中 3:16.2 大阪 8-5 国 際
 7 小田切紀子 福岡県 3:17.2 高知 9-22 国体女子

順位 氏名 所属 時間 場所 月日 会名

8 浦畑チズ子 和歌山県 3:17.2 高知 9-23 国体女子
 9 榎本千恵子 九度山中 3:18.6 大阪 8-23 近畿中学
 10 平谷 銀子 野原中 3:21.2 " " "

10 傑平均 今年度 3:14.56 昨年度 3:14.24

11 高松 好子 妙寺中 3:21.2 大阪 8-23 近畿中学
 12 村上 佳子 東洋レーヨン 3:23.0 " 7-12 大阪選手権
 13 鈴木 文代 下田北高 3:23.6 浜松 8-16 中部高校
 14 若林 陸子 八日市高 3:24.6 大阪 8-15 近畿高校
 15 杉浦 一子 馬込幼稚 3:24.6 神宮 7-30 日本選手権
 16 小川 栄子 東京都 3:25.6 高知 9-23 国体女子
 17 太田はるみ 白木屋 3:27.4 神宮 8-30 都 国体
 18 北邨 正子 北野高 3:28.6 大阪 8-15 近畿高校
 19 津隈千寿子 宮崎県 3:29.0 高知 9-22 国体女子
 20 後藤 久枝 淑徳高 3:29.2 振甫 8-20 東海高校

20 傑平均 今年度 3:20.12 昨年度 3:20.89

昨年度 第1位 坂本 和子 (五条高) 3:01.4
 第10位 藤田恵美子 (舟入高) 3:23.0
 第20位 羽鎌田友子 (椋山中) 3:31.0

400 米 リ レ -

1 長田・宮部・田村・新子
 奈良県 4:49.6 高知 9-23 国体女子
 2 坂口・長田・宮部・田村
 奈良県 4:52.2 " 9-22 "
 3 田村・長田・坂口・新子
 天理大 4:52.8 大阪 9-5 関西学生
 4 宮部・北芝・佐藤・宮崎
 五条高 5:05.8 振甫 8-30 日本高校
 5 藤田・杉元・築詰・小牧
 鹿児島 5:07.2 高知 9-22 国体女子
 6 西野・岡林・井上・今井
 高知県 5:13.4 " 9-23 "
 7 橋本・上田・新子・山下
 大阪府 5:15.0 " 9-22 "
 8 芦田・塚本・平野・斎藤
 東京都 5:16.4 " 9-23 "
 9 滝口・正野・岡・前
 和歌山県 5:18.2 " 9-22 "
 10 森前・正野・岡・前
 和歌山県 5:19.4 " 9-23 "

10 傑平均 今年度 5:07.00 昨年度 5:15.20

順位	氏名	所属	時間	場所	月日	会名
11	芦田・平野・桜井・斎藤	東京都	5:19.4	高知	9-22	国体女子
12	今西・藤田・築詰・小牧	宮之城高	5:20.6	大谷	8-17	九州高対県
13	日当・小牧・築詰・藤田	宮之城高	5:20.6	振甫	8-30	日本高校
14	鈴木・藤原・青木・安部	静岡県	5:27.2	高知	9-22	国体女子
15	西野・伊藤・岡林・今井	土佐女高	5:29.8	振甫	8-30	日本高校
16	神野・早川・社本・後藤	愛知県	5:30.0	高知	9-23	国体女子
17	後藤・早川・津田・神野	淑徳高	5:34.0	浜松	8-16	中部高校
18	河原・山本・池内・青木	京都府	5:38.0	高知	9-22	国体女子
19	後藤・早川・後藤・神野	淑徳高	5:38.8	振甫	8-30	日本高校
20	富安・小田切・井上・永野	福岡県	5:39.0	高知	9-22	国体女子

20 傑平均 今年度 5:18.37 昨年度 5:22.40

昨年度 第1位 大石・坂口・田村・山下
(日本) 4:54.0
第10位 西野・斎藤・伊藤・今井
(土佐女高) 5:22.8
第20位 北沢・藤原・丸山・鈴木
(静岡) 5:35.8

300米メドレー・リレー

1	片岡・坂本・新子(富)	奈良県	4:05.4	高知	9-23	国体女子
2	多田・坂本・新子(富)	奈良県	4:05.4	〃	9-22	〃
3	森前・青木・前	和歌山県	4:06.8	〃	9-23	〃
4	坪井・坂本・宮部	五条高	4:12.2	大阪	8-16	近畿高校
5	野口・北邨・山下	大阪府	4:15.4	高知	9-22	国体女子
6	野口・村上・山下	東洋レーヨン	4:17.0	若松	8-23	全国勤労者
7	新井・鈴木・安部	静岡県	4:18.0	高知	9-22	国体女子

順位	氏名	所属	時間	場所	月日	会名
8	小椋・小川・芦田	東京都	4:19.6	高知	9-22	国体女子
9	兵頭・中田・西野	高知県	4:20.0	〃	9-23	〃
10	能瀬・中田・西野	高知県	4:21.8	〃	9-22	〃
10 傑平均			今年度 4:14.18		昨年度 4:15.90	

11	新井・杉浦・鈴木	静岡県	4:22.6	高知	9-23	国体女子
12	小椋・太田・芦田	白木屋	4:27.6	若松	8-23	全国勤労者
13	平尾・山崎・松崎	神奈川県	4:28.0	高知	9-22	国体女子
14	杉元・藤田・小牧	鹿児島県	4:28.4	〃	〃	〃
15	服部・後藤・神野	愛知県	4:29.0	〃	〃	〃
16	勝見・土田・端谷	石川県	4:30.2	〃	〃	〃
17	定森・谷原・茅野	岡山県	4:31.6	〃	〃	〃
18	安藤・高島・加藤	香川県	4:32.4	〃	〃	〃
19	田中・小田切・富安	福岡県	4:33.2	〃	〃	〃
20	定森・谷原・原田	美作高	4:34.3	山口	8-15	中国高校
20 傑平均			今年度 4:21.96		昨年度 4:22.51	

昨年度 第1位	片岡・坂本・新子	(奈良)	4:05.8
第10位	今井・中田・西野	(高知)	4:25.8
第20位	内林・黒田・成清	(福岡)	4:32.0

飛込競技の部

男子飛板飛込

1	毛利勝一	(桜泳会)
2	森沢厚	(高見沢電機)
3	馬場豊	(早大)
4	馬淵良	(日大)

- 5 坂本章八 (日 大)
- 6 清水磊三 (")
- 7 古山三男 (")
- 8 鈴木明 (慶 大)
- 9 向勉 (")
- 10 山田慶二郎 (今宮 高)

男子高飛込

- 1 馬場豊 (早 大)
- 2 馬淵良 (日 大)
- 3 清水磊三 (")
- 4 坂本章八 (")
- 5 毛利勝一 (櫻泳会)
- 6 山田慶二郎 (今宮 高)
- 7 野上務 (攻玉社 高)
- 8 坂元信天 (早 大)
- 9 岩橋弥生 (生野 高)

- 10 鈴木明 (慶 大)

女子飛板飛込 (5傑)

- 1 宮本まさみ (天理 大)
- 2 坂口修子 (関西飛ク)
- 3 津谷鹿乃子 (松蔭女高)
- 4 弘世初子 (甲南女高)
- 5 伊藤時子 (三田高出)

女子高飛込 (5傑)

- 1 宮本まさみ (天理 大)
- 2 弘世初子 (甲南女高)
- 3 津谷鹿乃子 (松蔭女高)
- 4 坂口修子 (関西飛ク)
- 5 田中他栄子 (金沢 大)

昭和 28 年度日本高校競泳 20 傑表

◎本 20 傑表は昭和 28 年度において日本水泳連盟、及び加盟団体の公認せる競技会中、本連盟に報告せられたる成績を 10 傑詮衡規定に従い、詮衡作成したものである。

◎記録はすべて本連盟公認の長水路 (50米) プールにおいて作られたものである。

男子競泳の部

100 米 自由形

順位	氏名	所属	時間	場所	月日	会名
1	古賀学	伝習館高	58.0	高知	9-21	国体高校
2	細間輝喜	立教高	1:00.0	"	9-21	"
3	金谷雅弘	田辺高	1:00.4	"	9-20	"
4	清水健	高崎高	1:01.4	"	9-21	"
5	沢村正一	鴨浜高	1:01.6	"	"	"
6	塚本利三郎	佐渡高	1:01.6	"	9-20	"
7	田口利寛	郡山高	1:01.8	郡山	10-4	奈良選手権
8	石本隆	安芸高	1:02.0	高知	9-21	国体高校

順位	氏名	所属	時間	場所	月日	会名
9	目野正利	伝習館高	1:02.2	大阪	8-6	日比対抗
10	金原幸道	浜松北高	1:02.2	浜松	8-16	中部高校
10 傑平均			今年度	1:01.12	昨年度	1:01.30
11	柳瀬吉弘	大島高	1:02.4	野沢	8-9	関東高校
12	岡田洋一	中京商高	1:02.4	浜松	8-16	中部高校
13	今井昌裕	法政二高	1:02.8	振甫	8-30	日本高校
14	久保田貞夫	白杵高	1:02.8	大谷	8-15	九州高校
15	大谷康夫	観音一高	1:02.8	栗林	9-6	国体香川
16	東野賢二	高知商高	1:02.8	高知	9-20	国体高校
17	福原貢	法政二高	1:03.0	振甫	8-30	日本高校
18	森本毅	郡山高	1:03.0	郡山	10-4	奈良選手権
19	谷貫太郎	池田高	1:03.0	高知	9-20	国体高校
20	山下栄隆	浜松北高	1:03.0	浜松	10-4	静岡高校
	向井勝彦	明南高	1:03.0	高知	9-20	国体高校

順位	氏名	所属	時間	場所	月日	会名
20	傑平均		今年度 1:01.96		昨年度 1:02.23	
昨年度	第1位	後藤 暢 (浮羽高)	58.2			
	第10位	梶浦 昇 (中京商高)	1:02.6			
	第20位	向井 勝彦 (明南高)	1:03.6			

200米自由形

1	細間 輝喜	立教高	2:11.2	神宮 7-30	日本選手権
2	古賀 学	伝習館高	2:14.6	振甫 8-29	日本高校
3	東野 賢二	高知商高	2:16.6	〃 〃	〃
4	野田 芳郎	〃	2:17.3	高知 9-20	国体高校
5	久保田 認	白杵高	2:18.4	大谷 8-17	九州対県高
6	上本 正義	国泰寺高	2:18.8	高知 9-21	国体高校
7	金原 幸道	浜松北高	2:19.2	振甫 8-29	日本高校
8	森本 毅	郡山高	2:19.4	〃 〃	〃
9	田口 利寛	〃	2:19.4	天理 7-5	奈良予選
10	菅 毅寿	鶴城高	2:19.6	大谷 8-16	九州高校
10	傑平均		今年度 2:17.45		昨年度 2:16.74

11	大谷 康夫	観音寺一	2:20.0	高知 9-20	国体高校
12	東 光將	白杵高	2:20.2	白杵 7-4	大分選手権
13	今井 昌裕	法政二高	2:20.8	振甫 8-29	日本高校
14	谷 貫太郎	池田高	2:21.0	〃 〃	〃
15	田中 辰次	三本松高	2:21.0	栗林 9-6	国体香川
16	野村啓二郎	高知城商	2:21.1	高知 7-26	高知高校
17	古川 勝	橋本高	2:21.6	大阪 9-15	近畿高校
18	目野 正利	伝習館高	2:21.8	大谷 8-17	九州対県高
19	塚本 清	熊本商高	2:22.0	振甫 8-29	日本高校
20	加藤 正美	浜松西高	2:22.2	浜松 8-15	中部高校
	岡田 洋一	中京商高	2:22.2	〃 〃	〃

20 傑平均 今年度 2:19.34 昨年度 2:19.31

昨年度 第1位 後藤 暢 (浮羽高) 2:08.0
 第10位 西山 靖 (観音寺一) 2:20.6
 第20位 武林 利一 (鶴城高) 2:23.0

400米自由形

1	細間 輝喜	立教高	4:43.0	神宮 7-26	東京都高校
2	金谷 雅弘	田辺高	4:48.0	大阪 8-15	近畿高校
3	野田 芳郎	高知商高	4:54.0	振甫 8-30	日本高校
4	久保田 認	白杵高	4:54.8	大谷 8-16	九州高校
5	新宅 七郎	五条高	4:56.6	大阪 8-15	近畿高校
6	上本 正義	国泰寺高	4:57.4	高知 9-20	国体高校

順位	氏名	所属	時間	場所	月日	会名
7	池尻 月男	山鹿高	4:57.8	高知 9-20		国体高校
8	東野 賢二	高知商高	4:58.8	〃 〃		〃
9	近藤 至男	伊東高	4:59.8	浜松 8-16		中部高校
10	金谷 修作	田辺高	5:00.6	大阪 8-15		近畿高校
10	傑平均		今年度 4:55.08		昨年度 4:53.14	

11	長島 務	豊山高	5:00.8	野沢 8-9	関東高校
12	野々下耕司	鶴城高	5:03.0	大谷 8-16	九州高校
13	福原 昇	安房水産	5:03.2	神宮 8-1	日比对抗
14	山下 文夫	磐田農高	5:04.8	振甫 8-30	日本高校
15	池田 鉄	山鹿高	5:04.8	高知 9-30	国体高校
16	日野 仁	朱雀高	5:04.8	大阪 8-15	近畿高校
17	坂梨 公昭	山鹿高	5:04.8	大阪 8-6	日比对抗
18	笹原 康弘	沼津東高	5:05.0	浜松 8-16	中部高校
19	田中 辰雄	三本松高	5:05.4	栗林 9-6	国体香川
20	坂本 寿英	五条高	5:05.8	浜松 8-16	中部高校

20 傑平均 今年度 4:59.66 昨年度 4:59.05

昨年度 第1位 山下 勝次 (浜松北高) 4:45.4
 第10位 粕谷 保 (安房一高) 5:00.4
 第20位 日野 仁 (朱雀高) 5:07.4

1500米自由形

1	金谷 雅弘	田辺高	19:27.2	大阪 8-16	近畿高校
2	新宅 七郎	五条高	19:32.2	〃 〃	〃
3	池尻 月男	山鹿高	19:40.8	振甫 8-29	日本高校
4	長島 務	豊山高	19:46.6	〃 〃	〃
5	野々下耕司	鶴城高	19:47.0	大谷 8-15	九州高校
6	野田 芳郎	高知商高	19:50.6	振甫 8-29	日本高校
7	久保田 認	白杵高	19:55.4	大谷 8-15	九州高校
8	近藤 至男	伊東高	20:05.2	浜松 8-15	中部高校
9	野村 幸司	立教高	20:09.2	振甫 8-29	日本高校
10	日野 仁	朱雀高	20:12.6	大阪 8-16	近畿高校

10 傑平均 今年度 19:50.68 昨年度 19:30.74

11	金谷 修作	田辺高	20:15.8	大阪 8-16	近畿高校
12	山下 文夫	磐田農高	20:27.2	神宮 7-30	日本選手権
13	佐竹 慶信	高知商高	20:31.0	栗林 8-16	四国高校
14	田中 辰次	三本松高	20:31.4	〃 〃	〃
15	高橋 誠	誠之館高	20:32.4	山口 8-16	中国高校
16	坂梨 公昭	山鹿高	20:38.8	大谷 8-17	九州対県高
17	高島 信彦	中京商高	20:46.4	濱松 8-15	中部高校
18	松本 洋	浜松北高	20:55.0	〃 〃	〃
19	山岡 勤	〃	20:55.4	〃 7-19	浜名予選
20	福原 昇	安房水産	20:57.6	野沢 8-8	関東高校

順位	氏名	所属	時間	場所	月日	会名
20	傑平均	今年度	20:29.78	昨年度	20:08.75	

昨年度	第1位	青木 行義	(鹿本高)	18:52.0
	第10位	池尻 月男	(山鹿高)	20:02.6
	第20位	田所善五郎	(高知商高)	21:04.6

100 米 背 泳

1	長谷 景治	都島工高	1:09.4	高知 9-21	国体高校
2	山下 栄隆	浜松北高	1:10.4	浜松 8-16	中部高校
3	青山 欣且	郡山高	1:13.0	天理 10-4	奈良選手権
4	住井 雅義	天王寺高	1:13.2	大阪 8-16	近畿高校
5	山口 定市	安房一高	1:13.4	野沢 8-9	関東高校
6	中川 満	大手前高	1:13.6	大阪 8-16	近畿高校
7	青山 昌三	中京商高	1:13.8	振甫 8-30	日本高校
8	中島 常弘	伝習館高	1:13.8	大谷 8-17	九州対県高
9	川野 英隆	熊本商高	1:14.0	高知 9-21	国体高校
10	浜崎 健	宇和島南高	1:14.2	〃 9-20	〃
10	傑平均	今年度	1:12.88	昨年度	1:13.04

11	阿部 仁	川島高	1:14.2	〃 〃	〃
12	中村 慶介	田川高	1:14.4	神宮 7-30	日本選手権
13	村田 守	津工高	1:14.4	浜松 8-16	中部高校
14	二宮 英雄	平塚江南高	1:14.4	高知 9-20	国体高校
15	増岡 正	浦和高	1:14.6	神宮 7-30	日本選手権
16	尾組 昇	相川高	1:14.8	高知 9-20	国体高校
17	上野新次郎	桐蔭高	1:15.0	〃 〃	〃
18	徳永 誠哉	山鹿高	1:15.0	〃 〃	〃
19	鈴木 宏昌	浜松北高	1:15.2	浜松 8-16	中部高校
20	林 康男	浮羽高	1:15.4	十文字 7-26	福岡高校
	魚住 敬信	洲本高	1:15.4	大阪 8-16	近畿高校
	尾越 良則	法政二高	1:15.4	高知 9-20	国体高校
	中村 隆一	浜松西高	1:15.4	浜松 8-16	中部高校

20 傑平均 今年度 1:13.81 昨年度 1:14.16

昨年度	第1位	梶浦 昇	(中京商高)	1:10.0
	第10位	住井 雅義	(天王寺高)	1:14.6
	第20位	柴田 昭士	(伊東高)	1:16.0

200 米 背 泳

1	長谷 景治	都島工高	2:34.6	大阪 8-15	近畿高校
2	山下 栄隆	浜松北高	2:39.2	振甫 8-29	日本高校
3	青山 欣且	郡山高	2:40.4	大阪 8-15	近畿高校
4	川野 英隆	熊本商高	2:40.6	大谷 8-15	九州高校
				振甫 8-29	日本高校

順位	氏名	所属	時間	場所	月日	会名
5	鈴木 宏昌	浜松北高	2:41.4	浜松 8-15	中部高校	
6	住井 雅義	天王寺高	2:41.6	大阪 8-15	近畿高校	
7	村田 守	津工高	2:41.6	浜松 〃	中部高校	
8	山口 定市	安房一高	2:42.0	野沢 8-8	関東高校	
9	安部 仁	川島高	2:42.2	振甫 8-29	日本高校	
10	中川 満	大手前高	2:42.8	大阪 8-15	近畿高校	
10	傑平均	今年度	2:40.64	昨年度	ナシ	

11	上野新次郎	桐蔭高	2:43.6	大阪 8-15	近畿高校
12	魚住 敬信	洲本高	2:43.8	〃 〃	〃
13	林 康男	浮羽高	2:43.8	十文字 7-26	福岡高校
14	浜崎 健	宇和島南高	2:44.0	栗林 8-16	四国高校
15	徳永 誠哉	山鹿高	2:45.0	大谷 8-15	九州高校
16	中村 慶介	田川高	2:45.0	〃 8-17	九州対県高
17	中村 隆一	浜松西高	2:45.6	浜松 8-15	中部高校
18	吉野 誠一	成蹊高	2:46.0	振甫 8-29	日本高校
19	中島 常弘	伝習館高	2:46.8	大谷 8-15	九州高校
20	村山 隆	伊都高	2:47.2	大阪 8-15	近畿高校
	富永 一義	鹿島高	2:47.2	大谷 8-17	九州対県高

20 傑平均 今年度 2:42.86 昨年度 ナシ

昨年度 ナシ

100 米 平 泳

1	梶川 孝義	早大工高	1:15.4	神宮 7-20	日本選手権
				大阪 8-5	国際
				〃 8-5	国際
				〃 8-15	近畿高校
2	古川 勝	橋本高	1:15.8	振甫 8-30	日本高校
3	大谷 勝	法政二高	1:16.4	振甫 8-30	日本高校
4	平井 牧	山城高	1:17.4	大阪 8-15	近畿高校
				〃 8-15	〃
5	小林 義和	同志社高	1:18.6	振甫 8-15	日本高校
				振甫 8-30	
6	窪 昭博	五条高	1:18.6	天理 9-5	国体奈良
				〃 15	
7	三浦 英規	伊都高	1:18.8	大阪 8-15	近畿高校
				〃 15	
8	石井 弘	安房一高	1:19.0		
9	吉田 重彦	東山高	1:19.2	大阪 8-15	近畿高校
10	木村 基	中村高	1:19.4	栗林 〃	四国高校

10 傑平均 今年度 1:17.86 昨年度 ナシ

11	乾 藤夫	磯部高	1:19.6	浜松 8-16	中部高校
12	塚本 尋務	東山高	1:19.8	大阪 8-15	近畿高校
13	林 慶輔	筑陽高	1:20.0	大谷 8-17	九州対県高
14	太田 勝	鹿島高	1:20.0	〃 〃	〃

順位	氏名	所属	時間	場所	月日	会名
15	吉村 昌弘	宇和島東高	1:20.1	栗林	8-15	四国高校
16	細谷 広文	三津田高	1:20.5	山口	〃	中国高校
17	渡瀬 道生	自由ヶ丘高	1:20.6	野沢	8-9	関東高校
18	若林 国達	星陵高	1:20.8	大阪	8-15	近畿高校
19	黒田 雄二	伊東高	1:20.8	神宮	8-1	日比对抗
20	秋満 直	豊津高	1:21.0	大谷	8-16	九州高校
	堀井 良造	早学	1:21.0	神宮	7-30	日本選手権
	川谷間 清	立教高	1:21.0	野沢	8-9	関東高校
<hr/>						
20	傑平均	今年度	1:19.09	昨年度	ナシ	

昨年度 ナシ

200 米 平 泳

1	梶川 孝義	早大工高	2:44.4	神宮	7-30 8-1	日本選手権
2	古川 勝	橋本高	2:45.6	大阪	8-5 振甫 8-29	国際 日本高校
3	大谷 勝	法政二高	2:46.6	振甫	8-29	日本高校
4	仙葉 元昭	成蹊高	2:49.8	高知	9-20	国体高校
5	石井 弘	安房一高	2:50.0	振甫	8-29	日本高校
6	窪 昭博	五条高	2:50.6	天理	9-5	国体奈良
7	小林 義和	同志社高	2:50.8	大阪	8-16	近畿高校
8	三浦 英規	伊都高	2:52.4	〃	〃	〃
9	平井 牧	山城高	2:53.6	〃	〃	〃
10	林 慶輔	筑陽高	2:53.6	大谷	8-15	九州高校
<hr/>						
10	傑平均	今年度	2:49.74	昨年度	2:55.80	

11	太田 勝	鹿島高	2:54.6	大谷	8-17	九州対県高
12	伊野家聰次	関西高	2:55.4	山口	8-16	中国高校
13	木村 基淳	浜松商高	2:56.0	浜松	8-15	中部高校
14	塚本 尋務	東山高	2:56.2	大阪	8-16	近畿高校
15	野村悦太郎	郡山高	2:56.2	天理	9-5	国体奈良
16	乾 藤夫	磯部高	2:56.4	浜松	8-15	中部高校
17	伊達 英則	浜松西高	2:56.4	〃	〃	〃
18	渡瀬 道生	自由ヶ丘高	2:57.4	振甫	8-29	日本高校
19	堀井 良造	早学	2:57.6	〃	〃	〃
20	古賀 博臣	伝習館高	2:57.6	十文字	7-26	福岡高校
<hr/>						
20	傑平均	今年度	2:53.06	昨年度	ナシ	

昨年度 第1位 中沢 潔 (国泰寺高) 2:50.2
 第10位 土屋 和夫 (下田北高) 2:58.4
 第20位 ナシ

順位	氏名	所属	時間	場所	月日	会名
<u>200 米 リ レ ー</u>						

1	上池・恵中・金谷・宮本	田辺高	1:51.8	大阪	8-16	近畿高校
2	木村・柴田・鈴木(英)・近藤	伊東高	1:52.8	振甫	8-29	日本高校
3	目野・大隈・和田・古賀	福岡県	1:52.8	大谷	8-17	九州対県高
4	中島・目野・川原・古賀	伝習館高	1:53.2	振甫	8-29	日本高校
5	金原・山下・松浦・丸山	浜松北高	1:53.4	浜松	8-16	中部高校
6	中島・古賀・目野・古賀	伝習館高	1:53.4	大谷	8-15	九州高校
7	久保田・薬師寺・久保田・東	白杵高	1:54.0	〃	〃	〃
8	池田・野田・高田・東野	高知商高	1:54.4	高知	7-26	高知高校
9	青山・森本・山崎・田口	郡山高	1:55.0	天理	7-26 大阪 8-16	奈良高校 近畿高校
10	加藤・坪井・青山・岡田	中京商高	1:55.0	振甫	8-29	日本高校
<hr/>						
10	傑平均	今年度	1:53.58	昨年度	1:52.44	

11	楠瀬・市川・大庭・石本	安芸高	1:55.1	高知	7-26	高知高校
12	池田・高田・佐藤・東野	高知商高	1:55.4	振甫	8-29	日本高校
13	金原・山下・山岡・丸山	浜松北高	1:55.4	浜松	6-21	浜名高校
14		観音一高	1:55.4	栗林	9-6	国体香川
15	福原・竹本・平良・今井	法政二高	1:55.6	甫振	8-29	日本高校
16	久保田・菅・東・久保田	大分県	1:55.8	大谷	8-17	九州対県高
17	中島・古賀・川原・古賀	伝習館高	1:56.0	〃	7-26	福岡高校
18	目野・古賀・川原・古賀	伝習館高	1:56.0	振甫	8-29	日本高校
19	横地・小田・菅久・村尾	修道高	1:56.4	山口	8-15	中国高校
20	加藤・坪井・岡田・大森	中京商高	1:56.4	浜松	6-21	浜名高校

順位 氏名 所属 時間 場所 月日 会名

20 傑平均 今年度 1:54.67 昨年度 1:54.08

昨年度 第1位 古賀・細間・庄司・後藤 (高校) 1:48.2
第10位 武田・宮本・吉見・金谷 (田辺高) 1:54.2
第20位 上原・岸本・明日香・大野 (関学高) 1:57.0

800米リレー

1 長島・野村・柳瀬・細間 東京都 9:16.4 高知 9-21 国体高校
2 野田・石本・池田・東野 高知県 9:22.2 // 9-20 //
3 長島・野村・増田・細間 東京都 9:23.0 // // //
4 菅・久保田(貞)・野々下・久保田(認) 大分県 9:24.4 // 9-21 //
5 菅・東・野々下・久保田(認) // 9:26.6 // 9-20 //
6 森本・新宅・坂本・田口 奈良県 9:27.0 // 9-23 国体郷土
7 塚本・池田(五)・池田(鉄)・池尻 熊本県 9:29.4 // 9-20 国体高校
8 加藤・金原・松本・近藤 静岡県 9:30.0 // // //
9 藤本・高橋・土井・上本 広島県 9:30.6 // // //
10 塚本・坂梨・池田・池尻 熊本県 9:30.6 // 9-21 //

10 傑平均 今年度 9:26.02 昨年度 9:24.26

11 加藤・笹原・松本・金原 静岡県 9:31.4 高知 9-21 国体高校
12 野田・高田・池田・東野 高知商高 9:31.6 振甫 8-30 日本高校
13 岡田・岡本・高島・近藤 中京商高 9:33.2 // // //
14 久保田・菅・東・久保田 大分県 9:35.0 大谷 8-17 九州対県高
15 大谷・芝口・松岡・田中 香川県 9:35.2 高知 9-21 国体高校
16 目野・古賀・坂井・和田 福岡県 9:35.8 // // //

順位 氏名 所属 時間 場所 月日 会名

17 森本・新宅・赤坂・阪本 奈良県 9:37.0 // 9-20 国体高校
18 佐竹・野田・池田・東野 高知商高 9:37.2 振甫 8-30 日本高校
19 木村・山田・鈴木・近藤 伊東高 9:37.6 浜松 8-16 中部高校
20 久保田・東・毛利・久保田 白杵高 9:38.6 大谷 8-16 九州高校

20 傑平均 今年度 9:30.64 昨年度 9:30.88

昨年度 第1位 細間・庄司・鈴木・山下 (東部高) 9:05.4
第10位 東・竹林・高野・久保田 (大分県) 9:32.6
第20位 庄司・青木・大野・指尾 (伊都高) 9:41.6

300米メドレー・リレー

1 上野・古川・金谷 和歌山県 3:31.8 高知 9-21 国体高校
2 二宮・大谷・今井 神奈川県 3:34.0 // // //
3 吉野・仙葉・細間 東京都 3:35.6 // 9-20 //
4 尾越・大谷・今井 神奈川県 3:35.8 // // //
5 中島・林・古賀 福岡県 3:36.0 // 9-21 //
6 青山・窪・田口 奈良県 3:36.2 // 9-20 //
7 尾崎・木村・石本 高知県 3:37.2 // 9-21 //
8 村田・乾・森 三重県 3:38.2 振甫 8-20 東海高校
9 青山・志和・岡田 愛知県 3:38.2 // // //
10 長谷・猿渡・和田 大阪府 3:38.2 高知 9-20 国体高校

10 傑平均 今年度 2:36.12 昨年度 3:29.74 (バタフライ)

11 林(康)・林(慶)・古賀 福岡県 3:38.2 高知 9-20 国体高校
12 浜崎・吉村・田中 愛媛県 3:38.6 // 9-21 //

順位	氏名	所属	時間	場所	月日	会名
13	山口・石井・福原	千葉県	3:39.4	高知	9-20	国体高校
14	山下・芝田・木村	静岡県	3:39.6	〃	〃	〃
15	川野・石本・塚本	熊本県	3:39.8	〃	〃	〃
16	魚住・若林・向井	兵庫県	3:42.0	〃	〃	〃
17	阿部・新居・谷	徳島県	3:42.8	〃	〃	〃
18	富永・太田・松林	佐賀県	3:43.4	〃	〃	〃
19	尾組・松本・塚本	新潟県	3:44.6	〃	〃	〃
20	山下・平野・松浦	浜松北高	3:44.3	浜松	10-4	静岡高校
20 傑平均			今年度 3:38.72	昨年度 3:32.88	(バタフライ)	

順位	氏名	所属	時間	場所	月日	会名
12	西野 数美	土佐女高	35.4	栗林	8-15	四国高校
13	田中 玲美	熊本一高	35.6	大谷	8-17	九州対県高
14	福岡 悦子	清水丘高	35.8	山口 8-15 振甫 8-30		中国高校 日本高校
15	正野 悦子	伊都高	36.0	大阪	8-15	近畿高校
16	風早 洋子	山口高	36.1	山口	〃	中国高校
17	北芝美恵子	五条高	36.2	大坂 8-15 振甫 8-30		近畿高校 日本高校
18	北村 嶺	松蔭高	36.2	振甫	8-30	日本高校
19	井上 隆子	筑紫高	36.2	大谷	8-16	九州高校
20	瀬川 亮子	椋山高	36.2	振甫	7-25	愛知高校
20 傑平均			今年度 35.17	昨年度 35.11		
昨年度	第1位	坂口 文子	(五条高)	32.2		
	第10位	上田 香	(〃)	35.2		
	第20位	岡 照子	(伊都高)	36.8		

100米 自由形

昨年度	第1位	梶浦・梶川・後藤	(高校)	3:23.0
	第10位	指尾・古川・宮本	(和歌山県)	3:32.2
	第20位	山下・山本・山下	(浜松北高)	3:37.6

1	宮部シズエ	五条高	1:11.8	高知 9-22	国体高校
2	小牧 順子	高之城高	1:14.0	〃 9-22	〃
3	佐藤 嬉子	五条高	1:15.0	天理 9-5	国体奈良
4	神野 眸	淑徳高	1:15.4	神宮 7-30	日本選手権
5	前 佳子	伊都高	1:15.6	高知 9-22	国体女子
6	西野 数美	土佐女高	1:15.8	〃 〃	〃
7	藤田 陽子	宮之城高	1:16.2	〃 〃	〃
8	石井久美子	熊毛北高	1:16.8	〃 9-23	〃
9	岡 照子	伊都高	1:17.2	振甫 8-29	日本高校
10	山本 光枝	相川高	1:18.4	高知 9-22	国体女子
10 傑平均			今年度 1:15.62	昨年度 1:16.00	

女子競泳の部

50米 自由形

1	宮部シズエ	五条高	32.0	大阪 8-15 振甫 8-30	近畿高校 日本高校
2	神野 眸	淑徳高	32.6	振甫 8-30	日本高校
3	藤田 陽子	宮之城高	34.0	大谷 8-16	九州高校
4	勝見 他見	泉丘高	34.8	松任 6-14	石川記録会
5	岩田喜代美	御船高	35.0	大谷 8-16	九州高校
6	竹本 良子	宿毛高	35.0	栗林 8-15	四国高校
7	鈴木 和子	浜松市高	35.0	浜松 10-4	静岡高新人
8	石井久美子	熊毛北高	35.1	山口 8-23	山口選手権
9	櫻井満喜子	実踐高	35.4	神宮 7-19	東京選手権
10	築詰 康子	宮之城高	35.4	振甫 8-30	日本高校
10 傑平均			今年度 34.43	昨年度 34.34	

11	岡村 綾子	土佐女高	1:18.6	高知 9-22	国体女子
12	北芝美恵子	五条高	1:19.2	振甫 8-29	日本高校
13	松崎 綾子	三崎高	1:19.2	高知 9-22	国体女子
14	田中 玲美	熊本一高	1:19.6	大谷 8-16	九州高校
15	風早 洋子	山口高	1:19.7	山口 9-13	山口体育
16	築詰 康子	宮之城高	1:20.0	振甫 8-29	日本高校
17	鈴木 和子	浜松市高	1:20.2	神宮 8-1	日本選手権
18	野田瑠美子	山形南高	1:21.0	高知 9-22	国体女子
19	加藤恵美子	高松一高	1:21.6	栗林 9-6	国体香川
20	米岡 幸美	清水丘高	1:22.0	高知 9-22	国体女子
20 傑平均			今年度 1:17.87	昨年度 1:17.58	

11 岡村 綾子 土佐女高 35.4 栗林 8-15 四国高校

昨年度 第1位 田村美佐子 (伊都高) 1:11.8

順位	氏名	所属	時間	場所	月日	会名
第10位	上田 香	(五条高)	1:18.0			
第20位	河原 澄子	(朱雀高)	1:20.0			

200米 自由形

1	宮崎 亮子	五条高	2:41.2	振甫	8-30	日本高校
2	前 佳子	伊都高	2:43.6	〃	〃	〃
3	佐藤 嬉子	五条高	2:46.0	大阪	8-15	近畿高校
4	小牧 順子	宮之城高	2:48.4	大谷	〃	九州高校
5	鈴木 和子	浜松市高	2:52.4	振甫	8-30	日本高校
6	宮部シズエ	五条高	2:54.4	天理	6-14	奈良記録会
7	神野 眸	淑徳高	2:55.0	振甫	8-20	東海高校
8	田中 玲美	熊本一高	2:55.0	大谷	8-15	九州高校
9	岡 照子	伊都高	2:55.6	大阪	〃	近畿高校
10	米岡 幸美	清水丘高	2:55.8	振甫	8-30	日本高校

10 傑平均 今年度 2:50.74 昨年度 2:49.74

11	今井 一子	土佐女高	2:57.4	振甫	8-30	日本高校
12	石井久美子	熊本北高	2:58.7	山口	9-13	山口体育
13	井上 敦子	宿毛高	3:01.0	栗林	8-15	四国高校
14	後藤 貞子	淑徳高	3:01.2	振甫	7-25	愛知高校
15	永野美智子	筑紫高	3:02.2	振甫	8-30	日本高校
16	今西 光子	宮之城高	3:02.4	大谷	8-17	九州対県高
17	北芝美恵子	五条高	3:03.8	天理	6-27	関西選手権
18	帯谷 恭子	下関東高	3:03.8	山口	9-13	山口体育
19	伊藤 二支	土佐女高	3:04.2	振甫	8-30	日本高校
20	粕谷 愛子	安房二高	3:05.0	野沢	8- 8	関東高校
	松崎 綾子	三崎高	3:05.0	〃	〃	〃

20 傑平均 今年度 2:56.36 昨年度 2:55.55

昨年度 第1位 田村美佐子 (伊都高) 2:38.2
 第10位 滝口三恵子 (桐蔭高) 2:55.2
 第20位 伊藤 清子 (尼ヶ崎高) 3:05.4

400米 自由形

1	宮崎 亮子	五条高	5:42.0	振甫	8-29	日本高校
2	佐藤 嬉子	〃	5:50.8	〃	〃	〃
3	前 佳子	伊都高	5:51.8	〃	〃	〃
4	今井 一子	土佐女高	6:04.4	高知	〃	国体女子
5	小牧 順子	宮之城高	6:07.4	〃	〃	〃
6	神野 眸	淑徳高	6:08.4	〃	9-22	〃
7	岡 照子	伊都高	6:09.0	〃	〃	〃
8	鈴木 和子	浜松市高	6:13.6	振甫	8-29	日本高校
9	米岡 幸美	清水丘高	6:17.0	高知	9-22	国体女子

順位	氏名	所属	時間	場所	月日	会名
10	藤田 陽子	宮之城高	6:17.4	高知	9-22	国体女子
10 傑平均		今年度	6:04.16	昨年度	6:06.82	

11	永野美智子	筑紫高	6:21.0	神宮	8- 2	日本選手権
12	北芝美恵子	五条高	6:23.2	〃	〃	〃
13	伊藤 二支	土佐女高	6:23.2	高知	7-26	高知高校
14	井上 敦子	宿毛高	6:23.7	〃	〃	〃
15	後藤 貞子	淑徳高	6:23.8	振甫	7-18	愛知選手権
16	森下美奈子	尚綱高	6:25.8	大谷	8-17	九州県対高
17	帯谷 恭子	下関東高	6:26.2	高知	9-22	国体女子
18	宿安 洋子	伝習館高	6:26.8	〃	〃	〃
19	西村 弘子	香川明善高	6:27.2	〃	〃	〃
20	野田瑠美子	山形南高	6:29.0	〃	〃	〃

20 傑平均 今年度 6:14.58 昨年度 6:17.35

昨年度 第1位 田村美佐子 (伊都高) 5:42.0
 第10位 米岡 幸美 (清水丘高) 6:18.6
 第20位 東山マサ子 (天理高) 6:34.4

50米 背 泳

1	新井 里子	信愛高	37.2	振甫	8-30	日本高校
2	森前みどり	伊都高	37.6	神宮	7-30	日本選手権
3	平尾 静子	横学園高	38.0	振甫	8-30	日本高校
4	定森 桂子	美作高	38.3	山口	8-15	中国高校
5	坪井查雅子	五条高	40.0	振甫	8-30	日本高校
6	服部 法子	淑徳高	40.2	〃	7-25	愛知高校
7	櫻井美恵子	成徳高	40.4	〃	8-30	日本高校
8	勝見 他見	泉丘高	40.8	松任	6-14	石川記録会
9	安藤 清子	高瀬高	41.0	振甫	8-30	日本高校
10	杉元 丸美	宮之城高	41.2	大谷	8-15	九州高校

10 傑平均 今年度 39.47 昨年度 40.10

11	能瀬 郁子	土佐女高	41.6	振甫	8-30	日本高校
12	松村 史子	鳥取東高	41.9	山口	8-15	中国高校
13	五島 久栄	明善高	42.0	大谷	〃	九州高校
14	杉崎 弘子	向陽高	42.2	振甫	7-25	愛知高校
15	兵頭加乃子	宿毛高	42.4	〃	8-30	日本高校
16	福原 市子	鴨浜高	42.6	〃	〃	〃
17	木村 陽子	広島女高	43.4	〃	〃	〃
18	平野 富子	伊勢崎高	43.6	〃	〃	〃
19	松田 睦子	美作高	43.7	山口	8-15	中国高校
20	馬越 津子	今治北高	44.0	振甫	8-30	日本高校

20 傑平均 今年度 41.11 昨年度 41.70

昨年度 第1位 永瀬美代子 (五条高) 37.8

順位 氏名 所属 時間 場所 月日 会名

第10位 平田多満子 (山口高) 43.0
第20位 森田 勝美 (伊都高) 43.0

100米 背 泳

1 森前みどり 伊都高 1:21.6 神宮 7-31 日本選手権
2 新井 里子 信愛高 1:21.6 高知 9-22 国体女子
3 定森 桂子 美作高 1:22.8 // // //
4 平尾 静子 横学園高 1:24.8 振甫 8-29 日本高校
5 坪井查雅子 五条高 1:27.4 天理 9-5 国体奈良
6 安藤 清子 高瀬高 1:29.2 高知 9-22 国体女子
7 服部 法子 淑徳高 1:29.4 振甫 8-20 東海高校
8 兵頭加乃子 宿毛高 1:29.8 高知 9-22 国体女子
9 能瀬 郁子 土佐女高 1:30.4 // // //
10 松島 弘子 向陽高 1:30.4 浜松 8-15 中部高校

10 傑平均 今年度 1:26.74 昨年度 1:27.72

11 松村 史子 鳥取東高 1:30.8 高知 9-22 国体女子
12 勝見 他見 泉丘高 1:31.8 // // //
13 桜井美恵子 成徳高 1:33.0 振甫 8-29 日本高校
14 杉元 丸美 宮之城高 1:34.0 大谷 8-17 九州各県高
15 中村 夫美 盛岡市高 1:34.2 高知 9-22 国体女子
16 平野 富子 伊勢崎高 1:34.4 // // //
17 田中喜和子 伝習館高 1:35.0 十文字 9-6 国体福岡
18 福原 市子 鴨浜高 1:35.0 高知 9-22 国体女子
19 五島 久栄 明善高 1:35.6 大阪 8-15 近畿高校
20 熊沢 保子 南多摩高 1:35.6 大谷 8-16 九州高校
高山 玲子 三越 1:35.6 神宮 7-26 東京都高校

20 傑平均 今年度 1:30.34 昨年度 1:31.05

昨年度 第1位 森前みどり (伊都高) 1:23.0
第10位 久保久仁子 (宮之城高) 1:33.2
第20位 馬越 津子 (今沼北高) 1:36.0

100米 平 泳

1 青木 政代 伊都高 1:27.0 天理 6-28 関西選手権
2 坂本 和子 五条高 1:28.8 // // //
3 中本 英子 // 1:32.4 // 7-26 奈良高校
4 井豆 信子 // 1:32.4 神宮 8-2 日本選手権
5 中田 澄子 土佐女高 1:32.8 高知 7-26 高知高校
6 浦畑チズ子 伊都高 1:33.6 天理 6-28 関東選手権
7 小田切紀子 筑紫高 1:34.0 大谷 8-15 九州高校
8 鈴木 文代 下田北高 1:34.0 浜松 // 中部高校

順位 氏名 所属 時間 場所 月日 会名

9 小川 栄子 二階堂高 1:35.4 神宮 7-30 日本選手権
10 北邨 正子 北野高 1:35.4 大阪 8-16 近畿高校

10 傑平均 今年度 1:32.58 昨年度 1:31:82

11 及川 英子 釜石高 1:37.6 若松 8-15 東北高校
12 藤田恵美子 舟入高 1:38.5 山口 // 中国高校
13 若林 睦子 八日市高 1:38.6 大阪 8-16 近畿高校
14 後藤 久子 淑徳高 1:38.8 浜松 // 中部高校
15 高島 圭子 高松高 1:39.0 栗林 8-15 四国高校
16 河井 貞 南多摩高 1:39.2 神宮 7-26 東京都高校
17 矢野 啓子 芦北農林 1:39.2 大谷 8-15 九州高校
18 村山 俊子 札幌静修高 1:40.0 振甫 8-30 日本高校
19 津隈チズ子 向洋高 1:40.0 大谷 8-17 九州県対高
20 根岸 静江 彦根西高 1:40.2 大阪 8-16 近畿高校
山口 俊江 宇和島東高 1:40.2 振甫 8-30 日本高校

20 傑平均 今年度 1:35.85 昨年度 1:34.66

昨年度 第1位 坂本 和子 (五条高) 1:25.6
第10位 浦畑チズ子 (伊都高) 1:36.4
第20位 余語 明子 (向陽高) 1:38.4

200米 平 泳

1 青木 政代 伊都高 3:02.0 天理 6-27 関西選手権
2 坂本 和子 五条高 2:09.2 大阪 8-5 国際
3 井豆 信子 // 3:15.2 天理 6-14 奈良記録会
4 中本 英子 // 3:15.4 神宮 8-1 日本選手権
5 中田 澄子 土佐女高 3:15.4 高知 9-23 国体女子
6 小田切紀子 筑紫高 3:17.2 // 9-22 //
7 浦畑チズ子 伊都高 3:17.2 // 9-23 //
8 鈴木 文代 下田北高 3:23.6 浜松 8-16 中部高校
9 若林 睦子 八日市高 3:24.6 大阪 8-15 近畿高校
10 小川 栄子 二階堂高 3:25.6 神宮 8-1 日本選手権
高知 9-23 国体女子

10 傑平均 今年度 3:16.34 昨年度 3:14.24

11 北邨 正子 北野高 3:28.6 大阪 8-15 近畿高校
12 津隈千寿子 向洋高 3:29.0 高知 9-22 国体女子
13 後藤 久枝 淑徳高 3:29.2 振甫 8-20 東海高校
14 河井 貞 南多摩高 3:29.4 神宮 8-30 国体東京都
15 池田 禎子 山口高 3:30.0 山口 6-13 山口体育
16 根岸 静江 彦根西高 3:31.6 大阪 8-15 近畿高校
17 矢野 啓子 芦北農林高 3:32.0 大谷 // 九州高校
18 藤田恵美子 舟入高 3:33.0 高知 9-22 国体女子
19 上田 正子 浜松市高 3:33.0 神宮 7-31 日本選手権
20 高島 圭子 高松高 3:33.4 高知 9-22 国体女子

順位	氏名	所属	時間	場所	月日	会名
20	傑平均		今年度 3:23.63		昨年度 3:21.37	
昨年度	第1位	坂本 和子	(五条高)			3:01.4
	第10位	藤田惠美子	(舟入高)			3:23.0
	第20位	吉田 淑子	(北野高)			3:32.6

400米リレー

1	宮部・北芝・佐藤・宮崎	五条高	5:05.8	振甫	8-30	日本高校
2	藤田・杉元・籙詰・小牧	鹿児島県	5:07.3	高知	9-22	国体女子
3	西野・岡林・井上・今井	高知県	5:13.4	〃	9-23	〃
4	森前・正野・岡・前	和歌山県	5:19.4	〃	〃	〃
5	今西・藤田・籙詰・小牧	宮之城高	5:20.6	大谷	8-17	九州対県高
6	日当・小牧・籙詰・藤田	宮之城高	5:20.6	振甫	8-30	日本高校
7	西野・伊藤・岡林・今井	土佐女高	5:29.8	〃	〃	〃
8	神野・早川・社本・後藤	愛知県	5:30.0	高知	9-23	国体女子
9	後藤・早川・洋田・神野	淑徳高	5:34.0	浜松	8-16	中部高校
10	後藤・早川・後藤・神野	淑徳高	5:38.8	振甫	8-30	日本高校

10 傑平均 今年度 5:21.96 昨年度 5:21.86

11	富安・小田切・井上・永野	福岡県	5:39.0	高知	9-22	国体高校
12	石井・櫛部・風早・帯谷	山口県	5:39.4	〃	〃	〃
13	鈴木・梶間・篠原・鈴木	静岡県	5:42.0	振甫	8-20	東海高校
14	岩田・森下・猿渡・田中	熊本県	5:44.2	大谷	8-17	九州対県高
15	加藤・安藤・西村・滝	香川県	5:45.4	高知	9-22	国体高校
16	北村・伊藤・岡村・笹井	兵庫県	5:45.6	〃	〃	〃
17	今井・今井・石見・山本	相川高	5:46.0	若松	8-16	東北高校
18	西野・島崎・城武・岡林	土佐女高	5:46.2	栗林	8-16	四国高校

順位	氏名	所属	時間	場所	月日	会名
19	後藤・早川・岩佐・神野	淑徳高	5:47.0	振甫	7-25	愛知高校
20	藤原・梶間・上田・鈴木	浜松市高	5:50.2	浜松	8-16	中部高校

20 傑平均 今年度 5:33.23 昨年度 5:30.35

昨年度	第1位	永瀬・北芝・上田・宮崎	(五条高)			5:13.2
	第10位	永瀬・多田・北芝・上田	(五条高)			5:29.8
	第20位	石井・帯谷・平田・藤井	(山口高)			5:46.0

300米メドレー・リレー

1	森前・青木・前	伊都高	4:06.8	高知	9-23	国体女子
2	坪井・坂本・宮部	五条高	4:12.2	大阪	8-16	近畿高校
3	兵頭・中田・西野	高知県	4:20.2	高知	9-23	国体高校
4	能瀬・中田・西野	土佐女高	4:21.8	〃	9-22	〃
5	杉元・藤田・小牧	鹿児島県	4:28.4	〃	〃	〃
6	服部・後藤・神野	淑徳高	4:29.0	〃	〃	〃
7	定森・谷原・茅野	岡山県	4:31.6	〃	〃	〃
8	安藤・高島・加藤	香川県	4:32.4	〃	〃	〃
9	田中・小田切・富安	福岡県	4:33.4	〃	〃	〃
10	定森・谷原・原田	美作高	4:34.3	山口	8-15	中国高校

10 傑平均 今年度 4:25.01 昨年度 4:20.30

11	鈴木(和)・鈴木・藤原	静岡県	4:35.6	振甫	8-20	東海高校
12	五島・小田切・永野	福岡県	4:36.6	大谷	8-17	九州対県高
13	杉崎・余語・社本	向陽高	4:38.0	振甫	8-29	日本高校
14	松村・豊口・田村	鳥取県	4:38.8	高知	9-22	国体高校

順位	氏名	所属	時間	場所	月日	会名
15	定森・平田・原田	美作高	4:39.6	振甫	8-29	日本高校
16	櫛部・池田・石井	山口県	4:40.8	高知	9-22	国体女子
17	六嘉・矢野・田中	熊本県	4:40.8	大谷	8-17	九州対県高
18	永野・小田切・井上	筑紫高	4:44.8	十文字	7-26	福岡高校
19	黒木・津隈・石川	宮崎県	4:46.8	高知	9-22	国体女子

順位	氏名	所属	時間	場所	月日	会名
20	鈴木・上田・藤原	浜松市高	4:47.6	振甫	8-29	日本高校
20 傑平均 今年度 4:32.98 昨年度 4:27.88						
昨年度	第1位	森前・青木・田村				(伊都高) 4:07.4
	第10位	多田・井豆・上田				(五条高) 4:29.8
	第20位	平田・池田・石井				(山口高) 4:42.2

昭和28年度日本中学校競泳20傑表

- ◎本20傑表は昭和28年度において日本水泳連盟、及び加盟団体の公認せる競技会中、本連盟に報告せられたる成績中より選出したものである。
- ◎中学校は全国大会が開催不可能である点を考慮し、本20傑表には短水路(25米)プールで作られたる記録も採ることとした。但し長水路(50米)プールを基準とせるため、短水路プールの記録は規定に従い折返し1回増すごとに1秒を加算した。

男子競泳の部

100米自由形

1	鈴木 英司	伊東中	1:06.0	神宮	8-1	日比交歓
2	浜田 成亮	土佐中	1:06.5	高知	7-4	高知市文化祭
2	鈴木 高行	勝山中	1:07.0	館山	9-6	安房記録会
4	遠藤 英雄	安芸津中	1:07.2	呉	7-19	広島県地区対抗
5	川崎 恭一	城東中	1:07.2	高知	8-2	高知市中学
6	北条 進一	昭和中	1:07.8	〃	〃	〃
7	大山 稔	八王子五中	1:07.8	神宮	9-20	東京都中学
8	伊藤 俊二	丹生中	1:08.0	三秀	8-23	福井県民
9	齋藤 輝夫	中京中	1:08.2	振甫	8-25	愛知中学
10	島田 季男	高倉中	1:08.2	大阪	8-23	近畿中学
10 傑平均 今年度 1:07.39 昨年度 1:06.58						

11	木村 隆司	九度山中	1:08.4	大阪	8-23	近畿中学
12	田中 誠也	湖東中	1:08.4	熊本高	9-5	熊本県民

13	尾崎 隆徳	坂中	1:08.6	呉	9-13	クロワード杯
14	安田 薫	七浦中	1:08.8	館山	9-6	安房記録会
15	川崎 一海	津久美中	1:09.0	天理	8-10	水泳教室
16	吉田 功	龍洋中	1:09.4	浜松	9-3	浜名湾中学
17	新藤 正幸	七浦中	1:09.4	館山	7-5	安房少年
18	信田 保	瀬戸田中	1:09.6	呉	9-13	クロワード杯
19	松山 雄一	雄踏中	1:09.6	浜松	9-3	浜名湾中学
20	堀 泰三	野原中	1:09.6	天理	8-31	J.R.奈良
20位と同記録 鈴木 宏敏 (舞坂中)						

20 傑平均 今年度 1:08.24 昨年度 1:07.60

昨年度	第1位	福原 昇	(和田中)	1:04.2
	第10位	政井 学	(関大一中)	1:07.6
	第20位	横原 英治	(浜松西中)	1:09.4

200米自由形

1	服部 茂	立田中	2:28.4	振甫	8-25	愛知中学
2	浜田 成亮	土佐中	2:28.4	高知	7-4	高知市文化祭
3	齋藤 輝夫	中京中	2:29.4	振甫	8-25	愛知中学

順位	氏名	所属	時間	場所	月日	会名
4	堂井 勝彦	野田中	2:30.8	松任	9-6	石川選手権
5	鈴木 高行	勝山中	2:31.2	館山	9-6	安房記録会
6	十河 英記	平野中	2:32.0	大阪	9-13	大阪市中学
7	松浦 善幸	大湊中	2:32.4	〃	〃	〃
8	川崎 一海	津久美中	2:33.0	天理	8-10	水泳教室
9	北条 進一	昭和中	2:33.5	高知	9-6	高知県中学
10	川崎 恭一	城東中	2:34.0	〃	8-2	高知市中学
<hr/>						
10 傑平均	今年度	2:31.31	昨年度	2:30.73		

11	木村 隆司	九度山中	2:34.4	大阪	8-23	近畿中学
12	坪井 暲	小金井中	2:35.0	神宮	9-20	東京都中学
13	青木 義昭	稲郷中	2:35.4	熊本高	9-5	熊本県民
14	古田 功	龍洋中	2:36.4	浜松	9-6	浜名湾中学
15	尾崎 隆徳	坂中	2:36.4	呉	9-13	クロワード杯
16	田中 貢	瀬戸田中	2:36.8	〃	〃	〃
17	金田 信彦	東	2:36.8	狭間	8-22	東西三河
18	遠藤 英雄	安芸津中	2:37.2	呉	9-13	クロワード杯
19	北村 忠夫	伏虎中	2:37.2	伊都高	9-27	和歌山 県新人
20	清原 治道	近衛中	2:37.8	大阪	8-23	近畿中学
20位と同記録 田中 誠也 (湖東中)						
<hr/>						
20 傑平均	今年度	2:33.82	昨年度	2:34.23		

昨年度	第1位	福原 昇 (和田中)	2:26.2
	第10位	服部 茂 (立田中)	2:34.0
	第20位	齋藤 (中京中)	2:39.2

400 米 自 由 形

1	水野 時彦	竜津中	5:18.8	浜松	9-6	浜名湾中学
2	齋藤 和幹	昭和中	5:20.4	高知	9-6	高知県中学
3	堂井 勝彦	野田中	5:25.4	松任	9-6	石川選手権
4	坪井 暲	小金井中	5:25.6	神宮	8-29	東京都中学
5	服部 茂	立田中	5:26.2	振甫	8-25	愛知県中学
6	十河 英記	平野中	5:27.2	大阪	8-13	大阪市中学
7	北村 忠夫	伏虎中	5:27.6	〃	8-23	近畿中学
8	鈴木 高行	勝山中	5:28.6	館山	8-16	千葉県中学
9	松浦 善幸	大湊中	5:30.2	大阪	8-13	大阪市中学
10	三田 昌克	白浜中	5:31.6	館山	8-16	千葉県中学
<hr/>						
10 傑平均	今年度	5:21.16	昨年度	5:23.72		

11	小笠原勝司	大崎南中	5:33.4	呉	9-13	クロワード杯
12	杉本 汎夫	城東中	5:34.0	高知	9-6	高知県中学
13	浜崎 洗一	土佐中	5:34.0	〃	〃	〃

順位	氏名	所属	時間	場所	月日	会名
14	青木 義昭	稲郷中	5:34.0	熊本高	9-5	熊本県民
15	藤井 清伸	国泰寺中	5:34.2	呉	9-13	クロワード杯
16	斎藤 輝夫	中京中	5:34.8	兒玉	8-15	名古屋市中
17	三道 義満	佐敷中	5:35.0	熊本高	9-5	熊本県民
18	辻 牧	大湊中	2:35.2	大阪	9-13	大阪市中学
19	藤井 雄司	立正中	2:36.0	神宮	8-29	東京都中学
20	古川 康之	修道中	5:40.0	呉	9-13	クロワード杯

20 傑平均	今年度	5:30.61	昨年度	5:29.70
--------	-----	---------	-----	---------

昨年度	第1位	上本 正義 (国泰寺中)	5:17.2
	第10位	服部 茂 (立田)	5:28.0
	第20位	佐竹 慶信 (坂西中)	5:40.1

50 米 背 泳

1	新藤 正幸	七浦中	36.0	谷津	7-19	千葉選手権
2	藤原 浩	観音寺中	36.2	栗林	7-31	香川県中学
3	久本 一郎	郡山中	36.4	天理	8-31	J.R.奈良
4	渡辺 和夫	日大一中	36.4	神宮	8-29	東京都中学
5	村瀬 敏男	櫻山中	37.2	振甫	7-18	愛知選手権
6	星野 喜芳	白浜中	37.2	館山	8-16	千葉県中学
7	渡辺 進	詫間中	37.2	栗林	7-31	香川県中学
8	松園 秀也	櫻宮中	37.4	大阪	9-13	大阪市中学
9	龍崎 昌吉	七浦中	37.4	館山	8-4	千葉 南部中学
10	河合 良次	養精中	37.6	大阪	8-23	近畿中学

10 傑平均	今年度	36.90	昨年度	36.34
--------	-----	-------	-----	-------

11	前田彦太郎	伏虎中	37.6	伊都高	9-27	和歌山 県新人
12	森田 修	昭和中	37.8	高知	9-6	高知県中学
13	大西 忠司	〃	37.8	〃	〃	〃
14	寺田 勝重	西部中	37.8	浜松	7-12	東海中学
15	信田 保	瀬戸田中	37.8	呉	9-13	クロワード杯
16	谷川 修	城西中	37.9	高知	9-6	高知県中学
17	川崎 久治	龍洋中	38.0	浜松	7-12	東海中学
18	山田 光一	早稲田中	38.2	神宮	8-30	東京都中学
19	久保 繁雄	魚崎中	38.2	大阪	8-23	近畿中学
20	久保 一光	城東中	38.4	高知	8-2	高知市中学
20位と同記録 神谷 守 (伊佐見中)						
吉川 宗雄 (立田中)						
福田 正敏 (山口中)						

20 傑平均	今年度	37.43	昨年度	37.00
--------	-----	-------	-----	-------

順位	氏名	所属	時間	場所	月日	会名
昨年度	第1位	山口 定市	(七浦中)	34.0		
	第10位	高柳 一男	(早稲田中)	37.2		
	第20位	山下 賀嗣	(城東中)	38.0		

100米 背 泳

1	森江 重雄	観音寺中	1:17.8	天理 8-10	水泳教室
2	久本 一郎	郡山中	1:18.6	〃 8-31	J. R. 奈良
3	新藤 正幸	七浦中	1:19.0	館山 7-5	安房少年
4	豊田 松男	鷺津中	1:19.2	浜松 9-6	浜名湾中学
5	寺田 勝重	西 中	1:20.4	〃 〃	〃
6	神谷 守	伊佐見中	1:20.4	〃 〃	〃
7	渡辺 和夫	日大一中	1:21.2	神宮 8-29	東京都中学
8	鳥山 忠良	城南中	1:21.2	天理 8-10	水泳教室
9	森田 修	昭和中	1:21.6	高知 8-2	高知市中学
10	星野 喜芳	白浜中	1:22.2	館山 8-16	千葉県中学

10 傑平均 今年度 1:20.16 昨年度 1:19.32

11	石丸彰三郎	城南中	1:22.2	天理 8.10	水泳教室
12	松園 秀也	桜宮中	1:22.4	大阪 8-23	近畿中学
13	久保 繁雄	魚崎中	1:22.6	〃 〃	〃
14	柳本 静男	養静中	1:22.6	〃 〃	〃
15	龍崎 昌吉	七浦中	1:23.2	館山 8-16	千葉県中学
16	前田彦太郎	伏虎中	1:23.4	大阪 8-23	近畿中学
17	大西 忠司	昭和中	1:23.4	高知 8-2	高知市中学
18	村瀬 敏雄	桜山中	1:23.6	天理 8-10	水泳教室
19	川崎 久治	龍洋中	1:23.8	浜松 9-6	浜名湾中学
20	久保 一光	城東中	1:24.2	高知 9-6	高知県中学

20 傑平均 今年度 1:21.65 昨年度 1:21.10

昨年度	第1位	山口 定市	(七浦中)	1:16.8
	第10位	新村 喜七	(雄踏中)	1:21.6
	第20位	平田 賢二	(稻生沢中)	1:23.8

100米 平 泳

1	堤 勳	桜宮中	1:18.6	大阪 8-23	近畿中学
2	大山 勝	中広中	1:20.8	〃 8-5	日比交歓 国際
3	大戸 洋俊	一戸中	1:21.2	田老町 8-22	岩手県中学
4	鈴木富士夫	立田中	1:22.0	天理 8-10	水泳教室
5	松田文治郎	桜山中	1:22.4	振甫 8-25	愛知県中学
6	井上 重行	二見中	1:22.6	大阪 8-23	近畿中学
7	野島 幸一	七浦中	1:23.6	館山 9-6	安房記録会
8	野口 二郎	天沼中	1:23.8	神宮 8-29	東京都中学

順位	氏名	所属	時間	場所	月日	会名
9	土居 正克	瀬戸田中	1:23.8	呉 9-13	クロ ワード杯	
10	大谷 俱己	昭和中	1:25.0	高知 8-2	高知市中学	

10 傑平均 今年度 1:22.38 昨年度 1:23.04

11	大原 節夫	中村中	1:25.0	高知 9-6	高知県中学
12	岩城 繁美	小金井中	1:25.8	神宮 8-30	東京都中学
13	松山 勝美	九度山中	1:26.0	大阪 8-23	近畿中学
14	藤田 享弘	橋本中	1:26.2	〃 〃	〃
15	柳谷 健二	洲浜中	1:26.2	〃 〃	〃
16	天野 英夫	龍洋中	1:26.4	浜松 9-6	浜名湾中学
17	松本 四郎	華陽中	1:26.4	華陽中 9-6	山口県中学
18	弁森 匡夫	沼二中	1:26.6	熱海 7-26	静岡 東部中学
19	堺 可臣	鳴門二中	1:26.7	城南高 7-5	徳島選手権
20	熊谷 毅	国泰寺中	1:27.0	観音高 8-9	中国少年

20 傑平均 今年度 1:24.31 昨年度 1:24.40

昨年度	第1位	仙葉 元昭	(成蹊中)	1:19.8
	第10位	松田文次郎	(桜山中)	1:24.6
	第20位	河邑 博	(聖徳中)	1:26.4

200米 平 泳

1	堤 勳	桜宮中	2:52.2	大阪 8-23	近畿中学
2	鈴木富士夫	立田中	2:54.2	神宮 8-2	日比交歓
3	大山 勝	中広中	2:56.4	大阪 8-6	日比交歓 国際
4	井上 重行	二見中	2:57.4	〃 8-23	近畿中学
5	土居 正克	瀬戸田中	2:57.6	呉 9-13	クロ ワード杯
6	大戸 洋俊	一戸中	2:58.4	田老町 8-23	岩手中学
7	野島 幸一	七浦中	3:02.0	館山 8-16	千葉県中学
8	松山 勝美	九度山中	3:02.8	大阪 8-23	近畿中学
9	松田文次郎	桜山中	3:03.2	神宮 8-2	日比交歓
10	藤田 享弘	橋本中	3:04.0	大阪 8-23	近畿中学

10 傑平均 今年度 2:58.82 昨年度 3:02.54

11	大谷 俱己	昭和中	3:05.8	高知 7-5	高知市 文化祭
12	小川 皓一	同志社中	3:05.8	大阪 8-23	近畿中学
13	星川 宏	青陵中	3:05.8	狭間 8-22	東西三河
14	岩城 繁美	小金井中	3:06.2	神宮 8-29	東京都中学
15	天野 英夫	龍洋中	3:06.6	浜松 9-6	浜名湾中学
16	石川 昭男	早稲田中	3:07.2	神宮 8-29	東京都中学
17	藤田 英次	逗子開成中	3:07.4	天理 8-10	水泳教室
18	弁森 匡夫	沼二中	3:07.6	熱海 7-26	静岡 東部中学

順位	氏名	所属	時間	場所	月日	會名
19	大原 節夫	中村中	3:08.2	高知	9-6	高知県中学
20	土居内龍彦	城東中	3:08.8	〃	7-5	高知市文化祭
20位と同記録 沖野 泰清 (修道中)						

20 傑平均 今年度 3:02.88 昨年度 3:05.24

昨年度 第1位 仙葉 元昭 (成蹊中) 2:56.8
 第10位 井上 重行 (二見中) 3:06.4
 第20位 明石 義雄 (和田中) 3:09.4

200 米 リ レ -

1	野沢・木根・柴田・寺田	西部中	2:04.4	浜松	9-6	浜名湾中学
2	餅米・信田・土居・田中	瀬戸田中	2:04.6	呉	9-13	クロワード杯
3	尾崎・谷花・本田・遠藤	呉	2:04.8	〃	7-19	広島呉地区対抗
4	斎藤・伊藤・千頭・北条	昭和中	2:05.4	高知	9-6	高知県中学
5	福田・中原・村田・米本	岩国中	2:05.5	華陽中	9-6	山口県中学
6	鈴木・内山・水野・古田	龍洋中	2:05.8	浜松	9-6	浜名湾中学
7	大山・河合・永井・磯部	豊城中	2:06.8	振甫	8-25	愛知県中学
8	磯部・永井・白井・金田	東	2:07.0	狭間	8-22	東西三河
9	京谷・坂口・浜野・伊藤	丹生中	2:07.5	三秀	8-23	福井県民
10	大木・前田・高原・遠藤	安芸津中	2:07.6	呉	9-13	クロワード杯

10 傑平均 今年度 2:05.94 昨年度 2:05.94

11	久保・杉本・森田・川崎	城東中	2:07.6	高知	9-6	高知県中学
12	山崎・木口・村木・内山	中部中	2:08.4	浜松	9-6	浜名湾中学
13	前田・三木・浅間・中上	甲浦中	2:08.4	高知	9-6	高知県中学
14	福岡・指田・井上・大山	八王子五中	2:08.6	神宮	8-30	東京都中学
15	大川・斎藤・太田・伊藤	中京中	2:08.8	振甫	8-25	愛知県中学

順位	氏名	所属	時間	場所	月日	會名
16	大久保・仙田・金子・鈴木	甲山中	2:08.8	振甫	8-25	愛知県中学
17	水谷・神谷・村瀬・山田	桜山中	2:08.8	〃	〃	〃
18	杉浦・板倉・加藤・鈴木	西	2:08.8	狭間	8-22	東西三河
19	吉本・秋浜・浜松・三木	国泰寺中	2:09.0	呉	9-13	クロワード杯
20	浜田・浜崎・谷淵・高橋	土佐中	2:09.0	高知	9-6	高知県中学

20 傑平均 今年度 2:07.28 昨年度 2:07.35

昨年度 第1位 福原・山口・星野・粕谷 (安房選抜A) 2:00.4
 第10位 楠瀬・久保・山下・川崎 (城東中) 2:08.3
 第20位 鎗屋・田中・中村・浜崎 (瀬戸田中) 2:09.2

400 米 リ レ -

1	新藤・宇山・石井・安田	七浦中	4:45.4	館山	9-6	安房記録会
2	鈴木・加藤・水野・古田	龍洋中	4:51.0	浜松	7-12	東海中学
3	神田・木下・春木・堀本	明洋中	4:51.4	大阪	8-23	近畿中学
4	三田・星野・成瀬・木曾	白浜中	4:55.6	館山	9-29	安房最終記録会
5	二ノ丸・小井・酒井・十河	平野中	4:57.2	大阪	9-13	大阪市中学
6	伊波・大屋・藤本・松下	扇町中	4:59.4	〃	8-17	大阪府中学
7	木曾・早川・岡田・三田	白浜中	5:00.4	館山	9-6	安房記録会
8	木曾・岡田・星野・三田	白浜中	5:02.0	〃	8-16	千葉県中学
9	中谷・沢村・青山・清原	近衛中	5:02.4	大阪	8-23	近畿中学
10	大山・河合・永井・磯部	豊城中	5:02.8	狭間	9-19	豊橋市内中学

10 傑平均 今年度 4:56.76 昨年度 4:51.22

順位 氏名 所属 時間 場所 月日 会名

- 11 岩橋・宮本・天野・北村
伏虎中 5:03.4 大阪 8-23 近畿中学
- 12 木下・小柳津・伊藤・深井
青陵中 5:04.4 狭間 9-19 豊橋市内
中学
- 13 大宅・石本・下坊・木村
九度山中 5:05.0 大阪 8-23 近畿中学
- 14 松田・青谷・下村・初田
打出中 5:06.2 " " "
- 15 大久保・岩城・本橋・森
小金井中 5:06.2 中大 9-20 東京都中学
- 16 山崎・木口・内山・村木
中部中 5:06.4 浜松 7-12 東海中学
- 17 椎本・小賀・藤本・大河
坂越中 5:06.6 大阪 8-23 近畿中学
- 18 足立・松原・久保田・伊海
静浦中 5:06.8 熱海 7-26 静岡東部
中学
- 19 鈴木・内山・密岡・井上
舞坂中 5:07.0 浜松 10-4 静岡西部
中学
- 20 牧畑・加藤・辻本・前田
桜宮中 5:07.0 大阪 9-13 大阪市中学

20 傑平均 今年度 5:01.33 昨年度 4:56.02

- 昨年度 第1位 福原・山口・星野・粕谷
(安房選抜A) 4:36.2
- 第10位 立島・中山・桜井・山岡
(大島一中) 4:59.0
- 第20位 白井・小林・大山・金田
(北部) 5:02.2

300米メドレー・リレー

- 1 新藤・山口・鈴木
千葉県 3:53.0 天理 8-8 水泳教室
- 2 新藤・野島・安田
七浦中 3:56.0 館山 9-6 安房記録会
- 3 森田・大谷・北条
昭和中 3:56.2 高知 8-2 高知市中学
- 4 村瀬・松田・神野
桜山中 3:56.8 兒玉 8-15 名古屋
市中学
- 5 松園・堤・辻本
桜宮中 3:58.8 大阪 8-23 近畿中学
- 6 柳本・堤・島田
大阪府 3:58.9 天理 8-8 水泳教室

順位 氏名 所属 時間 場所 月日 会名

- 7 松園・堤・牧畑
桜宮中 3:59.0 大阪 8-23 近畿中学
- 8 新藤・山田・安田
七浦中 3:59.0 館山 8-4 千葉南部
中学
- 9 川崎・天野・古田
龍洋中 4:01.0 浜松 9-6 浜名湾中学
- 10 淵辺・大山・田中
中広中 4:01.6 呉 9-13 クロ
ワード杯

10 傑平均 今年度 3:58.03 昨年度 3:56.21

- 11 川崎・天野・鈴木
龍洋中 4:01.6 浜松 9-6 浜名湾中学
- 12 大宅・松山・木村
九度山中 4:02.2 大阪 8-23 近畿中学
- 13 清川・土居・信田
瀬戸田中 4:02.4 呉 9-13 クロ
ワード杯
- 14 久保田・土居内・川崎
城東中 4:04.6 高知 8-2 高知市中学
- 15 藤原・山本・上坂
観音寺中 4:05.4 栗林 7-31 香川県中学
- 16 伊藤・坂本・藤井
品川区 4:06.0 中大 9-20 東京都中学
- 17 新村・沢田・松山
雄踏中 4:06.2 浜松 9-6 浜名湾中学
- 18 神谷・山口・山下
伊佐見中 4:06.2 " " "
- 19 龍崎・宮下・宇山
七浦中 4:06.2 館山 9-6 安房記録会
- 20 新藤・宮下・安田
七浦中 4:06.2 " 9-29 安房最終
記録会

20 傑平均 今年度 4:01.37 昨年度 4:00.55

- 昨年度 第1位 山口・野島・福原
(安房選抜A) 3:46.8
- 第10位 成江・中村・岡本
(昭和中) 4:01.5
- 第20位 向後・丹波・房州
(銚子一中) 4:06.4

順位 氏名 所属 時間 場所 月日 会名

女子競泳の部

50米自由形

1	大高 幸子	九度山中	35.6	天理 6-27	関西選手権
2	村山 康子	〃	36.0	伊都高 9-27	和歌山県 新人
3	庄司 芳子	和田中	36.4	館山 9-6	安房記録会
4	山崎 睦	佐敷中	36.4	熊本高 9-5	熊本県民
5	二階 カズ	野原中	36.6	天理 8-31	J. R. 奈良
6	山下みち子	佐敷中	36.6	熊本高 7-25	熊本県中学
7	元村 勝子	〃	36.6	〃 〃 〃	〃
8	浅沼 芳子	大島一中	36.8	神宮 8-29	東京都中学
9	松山美保子	天理中	36.8	天理 6-14	奈良記録会
10	倉橋 啓子	香住中	37.2	大阪 8-23	近畿中学

10 傑平均 今年度 36.50 昨年度 36.41

11	中村美那子	淑徳中	37.2	兒玉 8-15	名古屋市 中学
12	石本	高陽中	37.4	呉 9-13	クロ ワード杯
13	平岡 好子	岩国中	37.6	華陽中 9-6	山口中学
14	上野ささえ	嘉島中	37.8	熊本高 9-5	熊本県民
15	樽本ヨシ子	松蔭中	38.2	甲子園 7-19	兵庫選手権
16	岡本 節子	五条中	38.2	大阪 8-23	近畿中学
17	菊地しげみ	三宅中	38.2	神宮 8-26	東京都中学
18	坂本 宜子	東中	38.4	大阪 9-13	大阪市中学
19	森田 克子	嘉島中	38.6	熊本高 6-21	熊本選手権
20	寺垣内達代	九度山中	38.6	橋本町 7-5	和歌山 記念選手権

20 傑平均 今年度 37.26 昨年度 37.50

昨年度 第1位 宮部シズエ (野原中) 32.0
第10位 佐久間加津子 (代々木中) 38.2
第20位 荻原 (成女中) 39.0

100米自由形

1	大宮 涼子	淑徳中	1:17.8	振甫 8-25	愛知県中学
2	大高 幸子	九度山中	1:21.2	大阪 8-23	近畿中学
3	山下 朋子	舞坂中	1:22.0	浜松 9-6	浜名湾中学
4	庄司 芳子	和田中	1:23.0	館山 8-16	千葉県中学
5	山崎 睦	佐敷中	1:23.0	熊本高 7-25	熊本県中学
6	松山美保子	天理中	1:23.2	天理 8-31	J. R. 奈良
7	寺垣内達代	九度山中	1:24.0	大阪 8-23	近畿中学

順位 氏名 所属 時間 場所 月日 会名

8	村山 康子	九度山中	1:24.2	伊都高 9-27	和歌山県 新人
9	藤原まさみ	香住中	1:24.6	大阪 8-23	近畿中学
10	島田 節子	野原中	1:24.8	〃 〃 〃	〃

10 傑平均 今年度 1:22.78 昨年度 1:23.07

11	鈴木 蘭子	椛山中	1:25.0	振甫 8-25	愛知県中学
12	山下みさ子	佐敷中	1:25.2	熊本高 7-25	熊本県中学
13	中村美那子	淑徳中	1:25.4	神宮 7-30	日本選手権
14	浅沼 芳子	大島一中	1:25.4	〃 8-29	東京都中学
15	佐松 文子	武庫川中	1:25.6	甲子園 7-19	兵庫選手権
16	上野ささえ	嘉島中	1:26.0	熊本高 9-6	熊本県民
17	岡本 節子	五条中	1:26.4	天理 8-31	J. R. 奈良
18	平岡 好子	岩国中	1:27.0	華陽中 9-6	山口県中学
19	山崎かほる	中部中	1:27.2	狭間 9-19	豊橋 市内中学
20	鈴木 隆子	日野中	1:27.4	神宮 8-29	東京都中学

20 傑平均 今年度 1:24.42 昨年度 1:25.24

昨年度 第1位 宮部シズエ (野原中) 1:13.8
第10位 斎藤 幸子 (三原中) 1:26.2
第20位 中村 峰子 (大淀中) 1:28.4

200米自由形

1	松田 昌子	佐敷中	2:52.2	熊本高 9-6	熊本県民
2	大宮 涼子	淑徳中	2:55.0	振甫 8-25	愛知県中学
3	吉田せつ子	佐敷中	2:55.8	熊本高 7-25	熊本県中学
4	寺垣内達代	九度山中	3:01.4	大阪 8-23	近畿中学
5	村山 康子	〃	3:01.6	〃 〃 〃	〃
6	山下 朋子	舞坂中	3:02.0	浜松 9-6	浜名湾中学
7	庄司 芳子	和田中	3:04.4	館山 8-16	千葉県中学
8	松山美保子	天理中	3:04.6	天理 8-31	J. R. 奈良
9	大高 幸子	九度山中	3:09.8	伊都高 9-27	和歌山県 新人
10	岡本 節子	五条中	3:07.2	大阪 8-23	近畿中学

10 傑平均 今年度 3:01.10 昨年度 3:04.76

11	山下みち子	佐敷中	3:08.0	熊本高 9-6	熊本県民
12	中井 孝子	広大附中	3:08.2	呉 9-13	クロ ワード杯
13	山崎 睦	佐敷中	3:08.2	熊本高 7-25	熊本県中学
14	佐松 文子	武庫川中	3:08.8	甲子園 7-19	兵庫選手権
15	島田 節子	野原中	3:09.2	天理 7-26	近畿中学 奈良予選
16	二階 カズ	〃	3:11.4	大阪 8-23	近畿中学
17	鈴木 蘭子	椛山中	3:14.0	振甫 8-25	愛知県中学
18	倉橋 啓子	香住中	3:14.2	大阪 8-23	近畿中学

順位	氏名	所属	時間	場所	月日	会名
19	榎本 麗子	彦根西中	3:14.8	大阪	8-23	近畿中学
20	斎藤 幸子	三原一中	3:15.6	呉	7-19	中国対九州

20 傑平均 今年度 3:06.17 昨年度 3:10.73

昨年度 第1位 田中 玲美 (嘉島中) 2:53.4
 第10位 小山美智子 (彦根西中) 3:11.0
 第20位 松山美保子 (天理中) 3:20.0

50 米 背 泳

1	亀田 桂子	松蔭中	40.4	大阪	8-23	近畿中学
2	新見 里美	龍海中	41.4	振甫	8-25	愛知県中学
3	奥村 尚子	徳淑中	43.2	〃	〃	〃
4	木本 令子	国泰寺中	43.4	神宮	7-30	日本選手権
5	山崎 米子	舞坂中	43.6	浜松	9-6	浜名湾中学
6	尾崎 一子	椛山中	44.0	振甫	8-25	愛知県中学
7	清川 久子	豊城中	44.2	〃	〃	〃
8	奥田美智子	魚崎中	44.6	大阪	8-23	近畿中学
9	元林 清枝	野原中	45.2	〃	〃	〃
10	山田小夜子	舞坂中	45.2	浜松	9-6	浜名湾中学

10 傑平均 今年度 43.52 昨年度 44.10

11	福井ふみ子	平野中	45.2	大阪	9-13	大阪市中学
12	安藤 久江	詫間中	45.2	栗林	7-31	香川県中学
13	小川美重子	淑徳中	45.6	振甫	8-25	愛知県中学
14	元村 勝子	佐敷中	45.8	熊本高	7-25	熊本県中学
15	鈴木千鶴子	赤坂中	46.4	中大	9-20	東京都中学
16	林 良子	東中	46.6	大阪	8-17	大阪府中学
17	森田 周子	椛山中	46.8	振甫	8-25	愛知県中学
18	野口 恒子	幟町中	47.0	呉	9-13	クロワード杯
19	浅田ふじ江	岩国中	47.0	華陽中	9-6	山口県中学
20	南場 浙江	聖徳中	47.4	大阪	8-23	近畿中学

20位と同記録 白川 博子 (佐敷中)

20 傑平均 今年度 44.91 昨年度 45.71

昨年度 第1位 勝見 他見 (紫錦台中) 40.2
 第10位 小椋 園子 (椛山中) 46.2
 第20位 清川 久子 (豊城中) 47.9

100 米 背 泳

1	亀田 桂子	松蔭中	1:31.2	大阪	8-23	近畿中学
2	新見 里美	龍海中	1:31.4	振甫	8-25	愛知県中学
3	木本 令子	国泰寺中	1:34.0	神宮	7-30	日本選手権
4	尾崎 一子	椛山中	1:36.8	振甫	8-25	愛知県中学

順位	氏名	所属	時間	場所	月日	会名
5	奥村 尚子	淑徳中	1:37.6	振甫	8-25	愛知県中学
6	庄司 芳子	和田中	1:38.6	館山	8-16	千葉県中学
7	山崎 米子	舞坂中	1:39.4	浜松	9-9	浜名湾中学
8	福井ふみ子	平野中	1:40.5	大阪	9-13	大阪市中学
9	鈴木千鶴子	赤坂中	1:41.0	神宮	8-30	東京都中学
10	元村 勝子	佐敷中	1:41.6	熊本高	9-6	熊本県民

10 傑平均 今年度 1:37.21 昨年度 1:38.94

11	元林 清枝	野原中	1:42.4	大阪	8-23	近畿中学
12	森岡 照代	九度山中	1:34.0	伊都高	9-27	和歌山県 新人
13	野口 恒子	幟町中	1:43.8	観音高	8-9	中国少女
14	南場 浙江	聖徳中	1:44.2	大阪	8-23	近畿中学
15	木原由美子	三原一中	1:44.4	観音高	8-9	中国少年
16	清川 久子	豊城中	1:45.0	振甫	8-25	愛知県中学
17	沢田 栄子	大島一中	1:45.4	神宮	8-30	東京都中学
18	福田 絢子	香住中	1:46.0	大阪	8-23	近畿中学
19	白川 博子	佐敷中	1:46.2	熊本高	9-6	熊本県民
20	吉本真智子	旭東中	1:46.2	大阪	9-13	大阪市中学

20 傑平均 今年度 1:40.95 昨年度 1:42.84

昨年度 第1位 勝見 他美 (紫錦台中) 1:31.8
 第10位 西村 純子 (彦根西中) 1:44.2
 第20位 植島 滋子 (九度山中) 1:47.8

100 米 平 泳

1	高松 好子	妙寺中	1:34.0	伊都高	9-27	和歌山県 新人
2	榎本千恵子	九度山中	1:35.0	大阪	8-23	近畿中学
3	矢野 迪子	佐敷中	1:36.0	神宮	7-30	日本選手権
4	平谷 銀子	野原中	1:36.2	大阪	8-23	近畿中学
5	橋本 澄子	中広中	1:38.4	呉	9-13	クロワード杯
6	河内 善子	清水丘中	1:38.4	〃	〃	〃
7	引原 喜久	天理中	1:38.6	大阪	7-12	大阪選手権
8	羽鎌田友江	椛山中	1:38.8	振甫	7-18	愛知選手権
9	吉比久美子	帝塚山中	1:38.8	大阪	9-13	大阪市中学
10	松本 佳子	五条中	1:39.2	〃	8-23	近畿中学

10 傑平均 今年度 1:37.34 昨年度 1:40.94

11	塚本 治代	淑徳中	1:40.6	神宮	7-30	日本選手権
12	平本 静江	岩国中	1:40.6	華陽中	9-6	山口県中学
13	青木 康江	八王子五中	1:41.2	中大	9-19	東京都中学
14	坂田 禎子	椛山中	1:41.4	振甫	7-18	愛知選手権
15	松谷 淑子	平野中	1:41.6	大阪	9-13	大阪市中学
16	木村 淑子	信愛中	1:41.6	浜松	9-6	浜名湾中学

順位	氏名	所属	時間	場所	月日	会名
17	松吉 靖子	波浮中	1:41.6	神宮	8-30	東京都中学
18	猪飼美智子	椛山中	1:42.2	振甫	8-25	愛知県中学
19	池上笑美子	笹塚中	1:42.4	中大	9-20	東京都中学
20	千草美代子	金城中	1:42.6	振甫	8-25	愛知県中学

20 傑平均 今年度 1:39.46 昨年度 1:43.12

昨年度 第1位 羽鎌田友江 (椛山中) 1:37.6
 第10位 市川 順子 (国泰寺中) 1:43.8
 第20位 矢野 迪子 (佐敷中) 1:46.0

200 米 平 泳

1	矢野 迪子	佐敷中	3:16.2	大阪	8-6	日・米・濠 ・比招待
2	榎本千恵子	九度山中	3:18.6	〃	8-23	近畿中学
3	平谷 銀子	野原中	3:21.2	〃	〃	〃
4	高松 好子	妙寺中	3:21.2	〃	〃	〃
5	河合 善子	清水丘中	3:29.2	呉	9-13	クロ ワード杯
6	引原 喜久	天理中	3:29.4	大阪	7-12	大阪選手権
7	橋本 澄子	中広中	3:29.6	呉	9-13	クロ ワード杯
8	松本 佳子	五条中	3:29.8	大阪	8-23	近畿中学
9	羽鎌田友江	椛山中	3:31.0	振甫	7-18	愛知選手権
10	青木 康江	八王子五中	3:31.2	神宮	8-30	東京都中学

10 傑平均 今年度 3:25.74 昨年度 3:34.89

11	木村 淑子	信愛中	3:32.0	浜松	9-6	浜名湾中学
12	松谷 淑子	平野中	3:32.7	大阪	9-13	大阪市中学
13	吉比久美子	帝塚山中	3:33.8	〃	〃	〃
14	塚本 治代	淑徳中	3:34.2	神宮	7-30	日本選手権
15	坂田 禎子	椛山中	3:35.4	振甫	8-25	愛知県中学
16	石引 信代	日野中	3:38.6	神宮	8-30	東京都中学
17	市川 順子	国泰寺中	3:38.8	呉	9-13	クロ ワード杯
18	井上早枝子	九度山中	3:38.8	大阪	8-23	近畿中学
19	伊藤 富子	五条中	3:42.0	天理	8-30	J. R. 奈良
20	小林 朝美	聖徳中	3:42.2	大阪	8-23	近畿中学

20 傑平均 今年度 3:31.30 昨年度 3:39.85

昨年度 第1位 橋本 澄江 (中広中) 3:25.2
 第10位 市川 順子 (国泰寺中) 3:39.0
 第20位 石井久美子 (大島一中) 3:48.2

200 米 リ レ ー

1 山崎・松田・吉田・元村
 佐敷中 2:28.0 熊本高 9-9 熊本県民

順位	氏名	所属	時間	場所	月日	会名
2	村山・中上・大高・寺垣内					
		九度山中	2:30.4	大阪	8-23	近畿中学
3	中村・三輪・小川・大宮					
		淑徳中	2:38.0	児玉	8-15	名古屋市 中学

4 井沢・二階・平尾・島田

野原中 2:38.8 大阪 8-23 近畿中学

5 二階・島田・平尾・田淵

野原中 2:41.4 天理 8-31 J. R. 奈良

6 田中・大森・清水・古川

鷺浦中 2:41.4 呉 9-13 クロ
ワード杯

7 磯崎・増田・中田・松枝

稻生沢中 2:42.4 熱海 7-26 静岡東部
中学

8 中神・関・小野・新見

西 2:42.6 狭間 8-22 東西三河

9 梅原・大野・今井・山本

土佐中 2:44.4 高知 8-2 高知市中学

10 藤原・亀井・守山・倉橋

香住中 2:44.8 大阪 8-23 近畿中学

10 傑平均 今年度 2:39.22 昨年度 2:38.76

11 山崎・神田・小田・山下

舞坂中 2:44.8 浜松 7-12 東海中学

12 加藤・塚田・水越・鈴木

椛山中 2:46.0 児玉 8-15 名古屋市
中学

13 山本・今井・川淵・梅原

土佐中 2:46.6 高知 9-6 高知県中学

14 中村・岸本・三谷・玉岡

大湊中 2:47.0 大阪 8-17 大阪府中学

15 猪飼・小崎・塚田・鈴木

椛山中 2:47.2 振甫 8-25 愛知県中学

16 杉原・山本・卷田・平岡

岩国中 2:47.3 華陽中 9-6 山口県中学

17 三木・繁野・岡本・平井

五条中 2:47.6 天理 8-31 J. R. 奈良

18 庄司・庄司・粕谷・庄司

和田中 2:49.0 館山 8-16 千葉県中学

19 橋本・安達・林・坂本

東中 2:49.0 大阪 9-13 大阪市中学

20 村田・川崎・川上・山口

丹生中 2:49.4 三秀 8-23 福井県民

20位と同記録

岩永・前田・村上・上田 (嘉島中)

20 傑平均 今年度 2:43.31 昨年度 2:43.22

順位	氏名	所属	時間	場所	月日	会名
昨年度 第1位	田中・岩田・山本・藤田					
		(嘉島中)	2:32.4			
第10位	森下・浅沼・常川・沢田					
		(大島一中)	2:42.8			
第20位	村上・大西・小林・寺谷					
		(坂越中)	2:50.9			

300米メドレー・リレー

1	森岡・榎本・大高					
	九度山中	4:39.8	大阪 8-23	近畿中学		
2	元村・矢野・松田					
	佐敷中	4:41.2	熊本高 9-6	熊本県民		
3	奥村・塚本・大宮					
	淑徳中	4:42.2	見玉 8-15	名古屋市 中学		
4	元林・平谷・島田					
	野原中	4:43.6	大阪 8-23	近畿中学		
5	白川・矢野・松田					
	佐敷中	4:47.2	熊本高 7-25	熊本県中学		
6	繁野・松本・岡本					
	五条中	4:50.4	大阪 8-23	近畿中学		
7	藤本・松本・岡本					
	〃	4:52.6	天理 8-31	J. R. 奈良		
8	山崎・新井・山下					
	舞坂中	4:53.2	浜松 9-6	浜名湾中学		
9	木本・市川・山本					
	国泰寺中	4:54.0	呉 9-13	クロ ワード杯		
10	尾崎・羽鎌田・鈴木					
	椋山中	4:54.0	見玉 8-15	名古屋市 中学		
<hr/>						
10	傑平均	今年度 4:47.82	昨年度 4:53.98			
<hr/>						
11	平原・高松・森田					
	妙寺中	5:00.0	大阪 8-23	近畿中学		
12	木原・水戸川・斎藤					
	三原一中	5:02.2	観音高 8-9	中国少女		
13	福井・松谷・馬野					
	平野中	5:03.8	大阪 9-13	大阪市中学		
14	西川・橋本・三谷					
	中広中	5:05.0	呉 9-13	クロ ワード杯		
15	武居・引原・松山					
	天理中	5:06.4	天理 7-26	近畿中学 奈良予選		
16	畠山・久保田・畠山					
	湯口中	5:07.2	田老町 8-22	岩手県中学		

順位	氏名	所属	時間	場所	月日	会名
17	沢田・市村・浅沼					
		大島一中	5:09.0	神宮 8-30		東京都中学
18	林・鳥井・坂本					
		東中	5:09.4	大阪 9-13		大阪市中学
19	田中・楠・鈴木					
		日野中	5:10.0	神宮 8-30		東京都中学
20	西川・橋本・山田					
		中広中	5:11.2	観音高 8-9		中国少女
20位と同記録						

山越・坂本・小池 (八王子五中)
庄司(芳)・庄司(千)・庄司(文) (和田中)

20 傑平均 今年度 4:57.10 昨年度 5:01.90

昨年度 第1位	新井・藤井・山下					
		(舞坂中)	4:43.8			
第10位	西村・山田・小山					
		(彦根西中)	5:01.2			
第20位	大森・小竹・万宝					
		(同志社中)	5:17.0			

昭和 28 年度最優秀選手は山下勝次君

読売新聞社制定の「日本スポーツ賞」に水泳最優秀選手として日本水泳連盟では山下勝次君(早大)を推薦した。推薦理由は次の通りである。

推薦理由

1 本年度日本選手権水上競技大会、並びに日・米・濠・比国際水上競技大会の1500米自由形に於て、再度に亘りヘルシンキ・オリンピック大会優勝者米国コンノ選手を破り世界長距離界の王座を確立した。

なお選手権大会に於ける決勝記録18:27.4はオリンピック記録18:30.0を凌駕するのみならず古橋選手の保持する世界記録18:19.0、コンノ選手の最高記録18:25.0に次ぐ世界第3位の大記録である。

1 400米自由形に於ける4:38.2、及び800米9:45.6は共に古橋選手に次ぐ日本第2位の大記録で、本年度世界ランキング第2位と第1位に位する優秀記録である。

1 資性温厚にして謙虚、しかも内に烈々たる闘志を藏し典型的なスポーツマンとして推賞するに足る。又その質実な生活態度、真摯な学習態度は学生競技者の範とするに足り先輩同僚の親愛を蒐めている。



昭和28年度主要水上競技会記録

1953

(写真は日本選手権大会男子平泳予選より)

第25回早慶対抗水上競技大会

6月7日 神宮プール (50米公認) 気温 21° 水温 22°

100米自由形

1	谷 訪 (早 大)	59.2
2	松岡 信義 (慶 大)	1:01.0
3	青山 幸郎 (")	1:01.2
4	田中 純夫 (早 大)	1:01.2
5	吉岡 清吉 (慶 大)	1:02.2
6	清光 雄二 (早 大)	1:03.0

400米自由形

1	浅野 満 (早 大)	4:49.2
2	高橋 勝 (慶 大)	4:49.2
3	山下 勝次 (早 大)	4:50.6
4	北村 康雄 (")	4:56.6
5	森 文太郎 (慶 大)	5:01.0
6	杉浦 貞夫 (")	5:06.2

100米背 泳

1	芦田 拓郎 (早 大)	1:11.0
2	黒佐 清 (")	1:12.4
3	梶浦 昇 (")	1:12.8
4	田中 令吉 (慶 大)	1:14.0

200米自由形

1	谷 訪 (早 大)	2:14.2
2	高橋 勝 (慶 大)	2:14.2
3	松岡 信義 (")	2:16.2
4	田中 純夫 (早 大)	2:18.2
5	杉原 満弘 (")	2:18.6
6	吉岡 清吉 (慶 大)	2:20.6

1500米自由形

1	山下 勝次 (早 大)	19:14.8
2	北村 康雄 (")	19:16.2
3	森 文太郎 (慶 大)	20:00.4
4	横田 宣明 (早 大)	20:29.6
5	杉浦 貞夫 (慶 大)	20:35.0

200米平 泳

1	清水 敏夫 (慶 大)	2:53.0
2	田中 守 (早 大)	2:53.0
3	中西 理雄 (慶 大)	2:55.8
4	中沢 潔 (早 大)	2:56.6
5	水貝 利重 (")	2:57.2
6	岡本 光彦 (慶 大)	3:03.8

800米リレー

- 1 高橋・松岡・青山・吉岡 (慶大) 9:05.2
- 1 田中・浅野・山下・谷 (早大) 9:05.2

同着

得点

- 早稲田大学 24.5
- 慶応義塾大学 14.5

飛板飛込

- 1 馬場 豊 (早大) 65.91
- 2 坂元 信夫 (〃) 60.73
- 3 鈴木 明 (慶大) 59.37

高飛込

- 1 馬場 豊 (早大) 51.40
- 2 鈴木 明 (慶大) 51.28

3 向 勉 (〃) 47.61

水球

慶大 3 { 2-0 / 1-2 } 2 早大

第18回明・立・日・三大学対抗水上競技大会

6月14日 神宮プール (50米公認) 気温 27° 水温 22°

100米自由形

- 1 鈴木 弘 (日大) 58.0
- 2 後藤 暢 (〃) 58.6
- 3 谷川禎次郎 (〃) 59.0
- 4 西 拡 (明大) 1:00.8
- 5 井原 孜 (立大) 1:00.8
- 6 田中 武 (〃) 1:01.0

800米自由形

- 1 青木 行義 (日大) 10:05.6
- 2 吉村 健三 (明大) 10:12.0
- 3 永井 武治 (日大) 10:19.8
- 4 大野 司 (〃) 10:24.0
- 5 足立 達 (明大) 10:25.0
- 6 庄司 嘉宏 (〃) 10:26.0

800米リレー

- 1 鈴木・谷川・後藤・青木 (日大) 8:57.8
- 2 吉村・西・堂崎・鷹野 (明大) 9:07.2
- 3 細間・田中・井原・和田 (立大) 9:11.0

200米自由形

- 1 鈴木 弘 (日大) 2:10.2
- 2 谷川禎次郎 (〃) 2:12.4
- 3 細間 輝喜 (立大) 2:13.4
- 4 西 拡 (明大) 2:16.6
- 5 安岡 信雄 (日大) 2:18.0
- 6 堂崎 治好 (明大) 2:18.4

100米背泳

- 1 大久保憲二 (立大) 1:11.6
- 2 倉橋 範彦 (日大) 1:11.8
- 3 宮田 春雄 (〃) 1:12.4
- 4 野末 敏夫 (立大) 1:14.0
- 5 指尾 進治 (明大) 1:14.2
- 6 藤原 哲則 (立大) 1:15.0

300米メドレー・リレー

- 1 倉橋・平山・後藤 (日大) 3:27.4
- 2 大久保・藤家・田中 (立大) 3:28.4
- 8 指尾・鈴木・西 (明大) 3:40.6

400米自由形

- 1 吉村 健三 (明大) 4:49.8
- 2 青木 行義 (日大) 4:51.8
- 3 細間 輝喜 (立大) 4:54.6
- 4 永井 武治 (日大) 4:58.4
- 5 石橋 明 (〃) 4:58.4
- 6 足立 達 (明大) 4:58.4

200米平泳

- 1 藤家 衛 (立大) 2:50.0
- 2 板井 道生 (日大) 2:51.6
- 3 安達 登利 (〃) 2:52.0
- 4 荒牧 弘 (立大) 2:56.2
- 5 戸上 雅雄 (日大) 2:56.4
- 6 南条 圭吾 (立大) 2:56.8

得点

- 日大 84
- 立大 37
- 明大 29

目次に戻る

昭和28年度日本選手権水上競技大会 米・濠・比選手招待

7月30・31日 8月1・2日 神宮プール (50米公認)

気温 34.5° 32.0 水温 28° 29°

競 泳

男子の部

100米自由形

- | | | |
|---|-------------|--------|
| 1 | ヘンリックス (濠洲) | 57.4 |
| 2 | 古賀 学 (伝習館高) | 58.2 |
| 3 | 鈴木 弘 (桜泳会) | 59.0 |
| 4 | 谷 訪 (稲泳会) | 59.2 |
| 5 | 谷川禎次郎 (桜泳会) | 59.2 |
| 6 | 田中 武 (聖ポール) | 1:00.2 |
| 7 | 竹内 允 (白水会) | 1:00.8 |

200米自由形

- | | | |
|---|--------------|--------|
| 1 | ヘンリックス (濠洲) | 2:11.0 |
| 2 | 細間 輝喜 (聖ポール) | 2:12.0 |
| 3 | 鈴木 弘 (桜泳会) | 2:12.2 |
| 4 | 谷 訪 (稲泳会) | 2:12.2 |
| 5 | 西 拡 (駿台ク) | 2:13.2 |
| 6 | 吉村 健三 () | 2:13.6 |
| 7 | 堂崎 治好 () | 2:14.8 |
| 8 | 杉原 満弘 (稲泳会) | 2:14.8 |
| 9 | 田中 純夫 () | 2:14.8 |

400米自由形

- | | | |
|---|--------------|--------|
| 1 | コソノ (米) | 4:37.2 |
| 2 | 山下 勝次 (稲泳会) | 4:41.8 |
| 3 | 細間 輝喜 (聖ポール) | 4:45.2 |
| 4 | 横田 宣明 (稲泳会) | 4:48.4 |
| 5 | 杉原 満弘 () | 4:49.0 |
| 6 | 田中 寧夫 () | 4:50.0 |
| 7 | 石橋 明 (桜泳会) | 4:53.4 |
| 8 | 浅野 満 (稲泳会) | 4:54.0 |

1500米自由形

- | | | |
|---|-------------|---------|
| 1 | 山下 勝次 (稲泳会) | 18:27.4 |
| 2 | コソノ (米) | 18:45.2 |
| 3 | 足立 達 (駿台ク) | 18:58.8 |
| 4 | 青木 行義 (桜泳会) | 19:08.6 |
| 5 | 浅野 満 (稲泳会) | 19:17.6 |
| 6 | 北村 康雄 () | 19:17.6 |
| 7 | 石橋 明 (桜泳会) | 19:18.8 |
| 8 | 横田 宣明 (稲泳会) | 19:24.0 |
| 9 | 庄司 嘉宏 (駿台ク) | 19:30.2 |

50米背泳

- | | | |
|---|--------------|------|
| 1 | オヤカワ (米) | 30.8 |
| 2 | 芦田 拓郎 (稲泳会) | 30.8 |
| 3 | 倉橋 範彦 (桜泳会) | 31.2 |
| 4 | 梶浦 昇 (稲泳会) | 31.8 |
| 5 | 佐藤 忠 (東芝) | 32.0 |
| 6 | 長谷 景治 (都島工高) | 33.4 |
| 7 | 大久保憲二 (聖ポール) | |

100米背泳

- | | | |
|---|--------------|--------|
| 1 | オヤカワ (米) | 1:07.2 |
| 2 | 梶浦 昇 (稲泳会) | 1:09.8 |
| 3 | 大久保憲二 (聖ポール) | 1:10.4 |
| 4 | 芦田 拓郎 (稲泳会) | 1:10.6 |
| 5 | 倉橋 範彦 (桜泳会) | 1:10.6 |
| 6 | 長谷 景治 (都島工高) | 1:11.0 |
| 7 | 宮田 春雄 (桜泳会) | 1:11.6 |

100米平泳

- | | | |
|---|--------------|--------|
| 1 | 板井 道生 (桜泳会) | 1:15.2 |
| 2 | 中村 仁三 (八幡製鉄) | 1:15.6 |
| 3 | 田中 守 (稲泳会) | 1:16.2 |

- | | | |
|---|-------------|--------|
| 4 | 梶川 孝義 (稲泳会) | 1:16.2 |
| 5 | 古川 勝 (橋本高) | 1:16.2 |
| 6 | 清池 健藏 (白水会) | 1:16.2 |
| 7 | 胡麻鶴 寿 () | 1:16.6 |

200米平泳

- | | | |
|---|-------------|--------|
| 1 | 梶川 孝義 (稲泳会) | 2:44.4 |
| 2 | 田中 守 () | 2:45.0 |
| 3 | 古川 勝 (橋本高) | 2:46.8 |
| 4 | 藤家 衛 (聖ポール) | 2:48.6 |
| 5 | 板井 道生 (桜泳会) | 2:48.8 |
| 6 | 中沢 潔 (稲泳会) | 2:49.8 |
| 7 | 安達 登利 (桜泳会) | 2:51.0 |
| 8 | 広 達夫 (白水会) | 2:51.0 |
| 9 | 胡麻鶴 寿 () | 2:51.0 |

女子の部

50米自由形

- | | | |
|---|---------------|------|
| 1 | 宮部シズエ (五条高) | 32.4 |
| 2 | 新子 節子 (小川ポンプ) | 32.6 |
| 3 | 大石 康子 (天理水) | 33.0 |
| 4 | 長田 久子 () | 33.2 |
| 5 | 坂口 文子 () | 33.2 |
| 6 | 神野 眸 (淑徳高) | 33.6 |
| 7 | 桜井満喜子 (実践高) | 35.8 |

100米自由形

- | | | |
|---|---------------|--------|
| 1 | 新子 富子 (天理水) | 1:11.0 |
| 2 | 山下 貞子 (東洋レ) | 1:11.4 |
| 3 | 宮部シズエ (五条高) | 1:13.2 |
| 4 | 新子 節子 (小川ポンプ) | 1:13.8 |
| 5 | 長田 久子 (天理水) | 1:13.8 |
| 6 | 坂口 文子 () | 1:15.6 |
| 7 | 大石 康子 () | 1:15.6 |

8 神野 眸 (淑徳高) 1:17.2

200 米 自由形

- 1 山下 貞子 (東洋レ) 2:35.6
- 2 新子 富子 (天理水) 3:35.8
- 3 田村美佐子 () 2:40.8
- 4 宮崎 亮子 (五条高) 2:44.0
- 5 佐藤 嬉子 () 2:47.4
- 6 前 佳子 (伊都高) 2:49.8
- 7 江浜 敦子 (桜泳会) 2:50.6
- 8 芦田富貴子 (白木屋) 2:53.6
- 9 大宮 涼子 (淑徳中ク) 2:57.6

400 米 自由形

- 1 田村美佐子 (天理水) 5:41.8
- 2 宮崎 亮子 (五条高) 5:47.8
- 3 佐藤 嬉子 () 5:56.0
- 4 前 佳子 (伊都高) 5:56.6
- 5 江浜 敦子 (桜泳会) 5:57.6
- 6 吉田せつ子 (佐敷中ク) 6:11.2
- 7 松田 昌子 () 6:15.8
- 8 永野美智子 (筑紫女園) 6:21.0
- 9 北芝美恵子 (五条高) 6:23.2

50 米 背 泳

- 1 森前みどり (伊都高) 38.0
- 2 定森 桂子 (美作高) 38.6
- 3 野口 幸子 (東洋レ) 38.8
- 4 片岡 澄子 (天理水) 38.8
- 5 平尾 静子 (横学園) 38.8
- 6 多田 悦子 (天理水) 38.8
- 7 小椋とみ子 (白木屋) 38.8

100 米 背 泳

- 1 森前みどり (伊都高) 1:22.0
- 2 定森 桂子 (美作高) 1:23.2
- 3 多田 悦子 (天理水) 1:23.2
- 4 野口 幸子 (東洋レ) 1:24.6
- 5 片岡 澄子 (天理水) 1:24.6
- 6 平尾 静子 (横学園) 1:25.2
- 7 小椋とみ子 (白木屋) 1:25.2

100 米 平 泳

- 1 青木 政代 (伊都高) 1:27.4
- 2 坂本 和子 (五条高) 1:31.0
- 3 井豆 信子 () 1:32.4
- 4 中本 英子 () 1:33.0
- 5 浦畑チズ子 (伊都高) 1:34.6
- 6 小田切紀子 (筑紫女高) 1:36.2
- 7 矢野 迪子 (佐敷中ク) 1:36.8

200 米 平 泳

- 1 青木 政代 (伊都高) 3:03.2
- 2 坂本 和子 (五条高) 3:12.6
- 3 井豆 信子 () 3:15.2
- 4 中本 英子 () 3:15.4
- 5 矢野 迪子 (佐敷中ク) 3:17.4
- 6 浦畑チズ子 (伊都高) 3:21.2
- 7 小田切紀子 (筑紫女高) 3:26.0
- 8 村上 桂子 (東洋レ) 3:27.8
- 9 小川 栄子 (二階堂高) 3:32.8

日比少年交歓

18 才 未 満

50 米 自由形

- 1 庄司 敏夫 (千葉) 33.2
- 2 吉野 是行 (東京) 34.0
- 3 エリサルデ (比) 34.0
- 4 武田 紀一 (千葉) 35.2
- 5 粕谷 勝 () 36.4
- 6 白土 晃司 () 38.0

200 米 自由形

- 1 庄司 敏夫 (千葉) 2:50.8
- 2 粕谷 勝 () 2:53.8
- 3 エリサルデ (比) 2:54.0
- 4 武田 紀一 (千葉) 2:56.2
- 5 吉野 是行 (東京) 2:56.4
- 6 白土 晃司 (千葉) 3:02.2

100 米 平 泳

- 1 宮下 敏昭 (千葉) 1:29.4

- 2 イルデフオンゾ (比) 1:32.2
- 3 坂本 俊久 (千葉) 1:37.2
- 4 佐野 支夫 () 1:39.2
- 5 富田 定夫 (埼玉) 1:43.0
- 6 石井 信行 (千葉) 1:43.0

200 米 平 泳

- 1 宮下 敏昭 (千葉) 3:15.4
- 2 イルデフオンゾ (比) 3:17.6
- 3 高木 秀機 (千葉) 3:32.2
- 4 坂本 俊久 () 3:33.4
- 5 佐野 支夫 () 3:37.0
- 6 富田 定夫 (埼玉) 3:38.0

16 才 未 満

100 米 自由形

- 1 岡田 洋一 (愛知) 1:03.4
- 2 福原 昇 (千葉) 1:04.2
- 3 鈴木 英司 (静岡) 1:06.0
- 4 ロサダ (比) 1:07.0
- 5 加藤 守彦 (愛知) 1:07.4
- 6 鈴木 高行 (千葉) 1:07.8

400 米 自由形

- 1 福原 昇 (千葉) 5:03.2
- 2 岡田 洋一 (愛知) 5:11.8
- 3 ロサダ (比) 5:12.0
- 4 服部 茂 (愛知) 5:27.4
- 5 坪田 障 (東京) 5:28.8
- 6 三田 昌克 (千葉) 5:32.8

100 米 平 泳

- 1 黒田 雄二 (鈴岡) 1:20.8
- 2 リ ム (比) 1:22.0
- 3 大戸 洋俊 (岩手) 1:22.2
- 4 鈴木富士夫 (愛知) 1:22.6
- 5 松田文次郎 () 1:23.0
- 6 村岡 宏 (神奈川) 1:27.8

200 米 平 泳

- 1 鈴木富士夫 (愛知) 2:54.2
- 2 大戸 洋俊 (岩手) 2:59.2

- 3 ヲ ム (比) 3:01.6
- 4 松田文次郎 (愛知) 3:03.2
- 5 黒田 雄二 (静岡) 3:04.0
- 6 村岡 宏 (神奈川) 3:10.4

飛 込

男子飛板飛込

- 1 ハリスン (米) 155.77
- 2 毛利 勝一 (桜泳会) 136.26
- 3 馬淵 良 () 117.62

女子高飛込

- 1 ハリスン (米) 148.25
- 2 馬場 豊 (稲泳会) 119.00

- 3 馬淵 良 (桜泳会) 109.07

女子飛板飛込

- 1 宮本まさみ (天理水) 94.17
- 2 坂口 修子 (関西飛ク) 93.58
- 3 津谷鹿乃子 (松蔭女) 88.61

女子高飛込

- 1 宮本まさみ (天理水) 66.28
- 2 弘世 初子 (甲南高) 64.00
- 3 坂口 修子 (関西飛ク) 63.13

水 球

慶大 A 2 $\left\{ \begin{matrix} 2-0 \\ 0-1 \end{matrix} \right\}$ 1 日大

慶応大学A 対 日本大学

山本 GK	松藤
寺田 LB	中島
荒川 RB	大島
市毛 HB	谷脇
佐藤 LF	菅原
藤野 CF	広重
伊藤 RF	宮部

2	GT	4
3	CT	1
0	PT	0
9	OF	5
1	MF	3

日・米・濠・比 国際水上競技大会

8月5・6日 大阪プール (50米公認)

気温 26.9° 28.6° 水温 28.9° 28.8°

國 際

100米自由形

- 1 ヘンリックス (濠洲) 57.8
- 2 鈴木 弘 (日本) 58.0
- 3 古賀 学 () 58.0
- 4 谷 訪 () 58.6
- 5 谷川禎次郎 () 59.8
- 6 田中 武 () 1:00.0
- 7 竹内 允 () 1:01.8

200米自由形

- 1 ヘンリックス (濠洲) 2:11.2
- 2 鈴木 弘 (日本) 2:11.6
- 3 谷 訪 () 2:12.0

- 4 細間 輝喜 (日本) 2:12.2
- 5 吉村 健三 () 2:12.2
- 6 西 拡 () 2:12.4
- 7 堂崎 治好 ()

400米自由形

- 1 コソノ (米) 4:37.0
- 2 山下 勝次 (日本) 4:39.6
- 3 細間 輝喜 () 4:46.2
- 4 横田 宣明 () 4:48.0
- 5 田中 寧夫 () 4:48.0
- 6 杉原 満弘 () 4:52.4
- 7 石橋 明 () 4:55.4

1500米自由形

- 1 山下 勝次 (日本) 18:42.3
- 2 コソノ (米) 18:52.6

- 3 青木 行義 (日本) 19:05.8
- 4 北村 康雄 () 19:25.8
- 5 石橋 明 () 19:34.6
- 6 浅野 満 () 19:51.4

50米背泳

- 1 オヤカワ (米) 30.0
- 2 芦田 拓郎 (日本) 30.6
- 3 倉橋 範彦 () 31.5
- 4 梶浦 昇 () 31.8
- 5 長谷 景治 () 32.0
- 6 佐藤 忠 () 32.0
- 7 大久保憲二 () 32.0

100米背泳

- 1 オヤカワ (米) 1:07.0
- 2 芦田 拓郎 (日本) 1:10.0

3 長谷 景治 (日 本)	1:10.2
4 梶浦 昇 (")	1:10.4
5 倉橋 範彦 (")	1:10.8
6 宮田 春雄 (")	1:11.4
7 大久保憲二 (")	1:11.8

100 米 平 泳

1 田中 守 (稲泳会)	1:15.0
2 梶川 孝義 (")	1:15.4
3 板井 道生 (桜泳会)	1:15.6
4 中村 仁三 (八幡製鉄)	1:15.6
5 古川 勝 (橋本高)	1:15.8
6 清池 健藏 (白水会)	1:18.0

200 米 平 泳

1 田中 守 (稲泳会)	2:43.6
2 梶川 孝義 (")	2:44.6
3 古川 勝 (橋本高)	2:45.6
4 藤家 衛 (聖ポール)	2:48.8
5 中沢 潔 (稲泳会)	2:49.6
6 板井 道生 (桜泳会)	2:51.4

日比少年交歓

13 才 未 満

50 米 自 由 形

1 エリザルデ (比)	33.4
2 宮本 佳昭 (和歌山)	34.8
3 上田 智章 (奈良)	35.2
4 徳田 政治 (")	36.0
5 梅本 利三 (")	36.8
6 大宅 秀明 (和歌山)	

200 米 自 由 形

1 エリザルデ (比)	2:47.8
2 大宅 秀明 (和歌山)	2:48.0
3 宮本 佳昭 (")	2:48.0
4 上田 智章 (奈良)	2:53.2
5 佐藤 光伸 (大阪)	2:53.8
6 森田 育雄 (和歌山)	3:01.2

100 米 平 泳

1 松山 勝美 (和歌山)	1:28.4
2 イルデフオンゾ (比)	1:34.8
3 松本 憲人 (大阪)	1:41.6
4 村上 栄 (")	1:47.4
5 西浦 義輝 (奈良)	1:48.0
6 森脇 功 (")	1:49.0

200 米 平 泳

1 松山 勝美 (和歌山)	3:06.6
2 イルデフオンゾ (比)	3:19.6
3 村上 栄 (大阪)	3:39.6
4 西浦 義輝 (奈良)	3:44.8
5 松本 憲人 (大阪)	3:47.4
6 森脇 功 (奈良)	3:53.4

16 才 未 満

100 米 自 由 形

1 目野 正利 (福岡)	1:02.2
2 大谷 康夫 (香川)	1:03.6
3 古川 徹 (鹿児島)	1:04.0
4 ロサダ (比)	1:04.6
5 上本 正義 (広島)	1:04.6
6 浜田 成亮 (高知)	1:06.8

400 米 自 由 形

1 上本 正義 (広島)	5:04.6
2 坂梨 公昭 (熊本)	5:04.8
3 大谷 康夫 (香川)	5:06.0
4 金谷 修作 (和歌山)	5:10.2
5 古川 徹 (鹿児島)	5:10.6
6 ロサダ (比)	5:14.8

100 米 平 泳

1 大山 勝 (広島)	1:20.8
2 伊野家聰次 (岡山)	1:21.2
3 リ ム (比)	1:22.6
4 井上 重行 (兵庫)	1:23.0
5 富岡 吉宏 (和歌山)	1:26.0
6 片岡 清 (香川)	1:28.0

200 米 平 泳

1 伊野家聰次 (岡山)	2:55.8
2 大山 勝 (広島)	2:56.4
3 井上 重行 (兵庫)	2:58.8
4 リ ム (比)	3:00.8
5 富岡 吉宏 (和歌山)	3:04.0
6 橋田 良則 (香川)	3:09.6

オ ー プ ン

100 米 自 由 形

1 新子 富子 (天理水)	1:10.8
2 山下 貞子 (東洋レ)	1:11.6
3 宮部シズエ (五条高)	1:13.0
4 長田 久子 (天理水)	1:13.2
5 新子 節子 (小川ボンブ)	1:14.4
6 坂口 文子 (天理水)	1:16.2

400 米 自 由 形

1 田村美佐子 (天理水)	5:43.0
2 宮崎 亮子 (五条高)	5:48.6
3 佐藤 嬉子 (")	5:57.2
4 前 佳子 (伊都高)	5:58.4
5 江浜 敦子 (桜泳会)	6:01.2
6 吉田せつ子 (佐敷中ク)	6:03.6

100 米 背 泳

1 森前みどり (伊都高)	1:22.4
2 多田 悦子 (天理水)	1:23.8
3 定森 桂子 (美作高)	1:24.2
4 野口 幸子 (東洋レ)	1:25.6
5 片岡 澄子 (天理水)	1:25.8
6 平尾 静子 (横浜学園)	1:26.0

200 米 平 泳

1 青木 政代 (伊都高)	3:02.0
2 坂本 和子 (五条高)	3:13.2
3 井豆 信子 (")	3:15.8
4 矢野 迪子 (佐敷中ク)	3:16.2
5 中本 英子 (五条高)	3:16.2

飛板飛込

高飛込

飛込

1	ハリスン (米)	163.07
2	毛利 勝一 (日本)	132.25
3	森沢 厚 (〃)	121.39

1	ハリスン (米)	150.43
2	馬淵 良 (日本)	127.15
3	馬場 豊 (〃)	111.91

第4回全国勤労者大會水上競技大会

8月22・23日 若松プール (50米公認)

一般男子

50米自由形

1	浜口 喜博 (東京 日本鋼管)	27:0
2	野間 隆彦 (福岡 八幡製鉄)	27.6
3	太田 光雄 (東京 勝村建設)	27.6
4	浜川 広海 (東京 日産汽船)	27.6
5	氏原 靖純 (高知 相互銀行)	28.2
6	本田 武次 (栃木県庁)	
7	橋爪 孝雄 (山口 厚狭干拓)	29.0

100米自由形

1	浜口 喜弘 (東京 日本鋼管)	59.4
2	野間 隆彦 (福岡 八幡製鉄)	1:02.6
3	大佐古敏男 (広島 東洋工業)	1:03.0
4	佐々木 猛 (東京 富士製鉄)	1:03.4
5	小杉 徳雄 (神奈川 川尻)	1:03.4
6	平城 哲夫 (福岡 八幡製鉄)	1:03.8
7	氏原 靖純 (高知 相互銀行)	1:05.2

200米自由形

1	坂本 幸盛 (福岡 八幡製鉄)	2:19.0
2	松本光太郎 (広島 島造幣局)	2:19.4
3	東 昇 (岩手 富士製鉄)	2:21.6
4	小島 幸晴 (京都大丸)	2:21.6
5	武藤 薫 (愛知 明電舎)	2:22.6
6	本山 昌平 (東京 鋼材ク)	2:22.8
7	田造 勝美 (東京 太陽生命)	2:25.6
8	小杉 徳雄 (神奈川 川尻)	2:26.0
9	大佐古敏雄 (広島 東洋工業)	2:28.0

400米自由形

1	東 昇 (岩手 富士製鉄)	5:03.8
2	松本光太郎 (広島 島造幣局)	5:03.8
3	坂本 幸盛 (福岡 八幡製鉄)	5:07.2
4	小島 幸晴 (京都大丸)	5:10.2
5	田造 勝美 (東京 太陽生命)	5:13.0
6	武藤 薫 (愛知 明電舎)	5:16.2
7	川口 義和 (埼玉 民生デイズ)	5:17.2

8	本山 昌平 (東京 鋼材ク)	5:21.6
9	三宮 享 (福岡 八幡製鉄)	5:25.0

50米背泳

1	佐藤 忠 (神奈川 芝)	32.4
2	黒佐 年明 (福岡 八幡製鉄)	33.4
3	太田 光雄 (東京 勝村建設)	33.4
4	浜岡 昭八 (京都大丸)	33.6
5	待鳥 啓三 (東京 太陽生命)	33.6
6	木村 憲 (岩手日報)	34.2
7	竹本 剛 (福岡 八幡製鉄)	34.8

100米背泳

1	佐藤 忠 (神奈川 芝)	1:13.0
2	黒佐 年明 (福岡 八幡製鉄)	1:13.8
3	近藤 英毅 (〃)	1:14.6
4	浜岡 昭八 (京都大丸)	1:15.0
5	待鳥 啓三 (東京 太陽生命)	1:16.4
6	岩見 繁 (鳥取教組)	1:17.2
7	本村 憲 (岩手日報)	1:17.2

100米平泳

- 1 中村 仁三 (福 岡) 1:16.6
(八幡製鉄)
- 2 土方 正記 (広 島) 1:18.6
(中国海運局)
- 3 宇田久寿秀 (神 奈 川) 1:20.2
(富士製鉄)
- 4 山崎 延夫 (岩 手) 1:21.0
(富士製鉄)
- 5 高柳 昌弘 (静 岡) 1:21.0
(国鉄浜松)
- 6 田中 晋平 (東 京) 1:21.4
(白木屋)
- 7 玉置 弘 (岩 手) 1:21.4
(富士製鉄)

200米平泳

- 1 中村 仁三 (福 岡) 2:52.4
(八幡製鉄)
- 2 山崎 延夫 (岩 手) 2:56.0
(富士製鉄)
- 3 土方 正記 (広 島) 2:56.6
(中国海運局)
- 4 高柳 昌弘 (静 岡) 2:57.8
(国鉄浜松)
- 5 玉置 弘 (岩 手) 2:59.0
(富士製鉄)
- 6 宇田久寿秀 (神 奈 川) 2:59.2
(富士製鉄)
- 7 熊谷 秀一 (福 島) 3:00.8
(常盤炭鉱)
- 8 三浦 進 () 3:01.2
- 9 原田 悦治 (兵 庫) 3:01.8
(川崎重工)

200米リレー

- 1 竹本・坂本・平城・野間 (福岡 八幡製鉄) 1:51.2
- 2 中崎・根上・磯垣・太田 (東京 勝村建設) 1:53.0
- 3 竹内・安藤・仙頭・岩合 (京 都 大丸) 1:54.0
- 4 松田・甲斐・時任・渡辺 (宮崎 旭化成) 1:56.2
- 5 藤原・添田・鈴木・谷村 (福島 常盤炭鉱) 1:58.0
- 6 佐々木・田中・楠瀬・氏原 (高知 相互銀行) 1:58.2
- 7 佐野・菊地・青山・東 (岩手 富士製鉄) 1:59.2

- 8 井端・鉛口・池・上村 (兵庫 川崎重工) 1:59.4
- 9 桑原・玉置・中牟田・岩切 (山口 宇部興産) 1:59.6

300米メドレー・リレー

- 1 近藤・中村・平城 (福岡 八幡製鉄) 3:36.2
- 2 浜岡・三浦・岩合 (京 都 大丸) 3:43.8
- 3 大橋・大崎・森田 (石川 県庁) 3:49.6
- 4 太田・山田・中崎 (東京 勝村建設) 3:50.0
- 5 広本・田村・岩切 (山口 宇部興産) 3:50.6
- 6 今・三浦・添田 (福島 常盤炭礦) 3:50.8
- 7 加藤・高柳・松山 (静岡 国鉄浜松) 3:51.2
- 8 佐藤・笹生・秋山 (神奈川 東芝) 3:53.0
- 9 鈴木・原田・上村 (兵庫 川崎重工) 3:54.6

35才以上

50米自由形

- 1 上田 義人 (大 阪) 28.8
(三国重工)
- 2 小水 哲夫 (宮 城) 28.8
(東北電力)
- 3 池田 定 (大 分) 29.0
(鶴岡小)
- 4 大崎 定兼 (神 奈 川) 29.0
(東 芝)
- 5 根上 博 (東 京) 29.0
(勝村建設)
- 6 玉置 哲 (山 口) 30.2
(宇部興産)

100米自由形

- 1 小水 哲夫 (宮 城) 1:06.0
(東北電力)
- 2 池田 定 (大 分) 1:06.0
(鶴岡小)

- 3 大崎 定兼 (神 奈 川) 1:06.0
(東 芝)
- 4 井上 茂 (福 岡) 1:06.8
(朝 倉 高)
- 5 宮本 常司 (茨 城) 1:07.4
(日立礦業)
- 6 川崎 慶雄 (山 口) 1:07.6
(宇部興産)

50米背泳

- 1 三浦 久 (山 口) 35.0
(明倫小)
- 2 角田 賢三 (東 京) 35.2
(電 公 社)
- 3 山田 剛 (岐 阜) 36.0
(笠松役場)
- 4 和田 幸八 (兵 庫) 37.0
(公立学共済)
- 5 河端 重勝 (東 京) 37.2
(工業大学)
- 6 森本 隆広 (山 口) 37.2
(宇部興産)

100米背泳

- 1 角田 賢三 (東 京) 1:17.8
(電 公 社)
- 2 三浦 久 (山 口) 1:20.2
(明倫小)
- 3 山田 剛 (岐 阜) 1:22.8
(笠松役場)
- 4 河端 重勝 (東 京) 1:23.2
(工業大学)
- 5 和田 幸八 (兵 庫) 1:24.0
(公立学共済)
- 6 中村 貞治 (徳 島) 1:27.0
(富田中)
- 7 鈴木 次郎 (福 島) 1:28.8
(勿来炭鉱)

100米平泳

- 1 伊藤 三郎 (埼 玉) 1:25.0
(大野電器)
- 2 大崎卯藤久 (石川県庁) 1:26.8
- 3 中川 重雄 (三 重) 1:28.0
(田村紡績)
- 5 島本 信美 (兵 庫) 1:29.0
(川崎重工)
- 5 後藤 直 (福 岡) 1:29.6
(八幡製鉄)
- 6 伊藤 広三 (東京都庁) 1:29.6
- 7 佐藤 隆一 (愛 媛) 1:34.0
(住友化学)

200 米 平 泳

- 1 伊藤 三郎 (埼玉) 大野電器 3:11.4
- 2 大崎卯藤久 (石川県庁) 3:11.6
- 3 伊藤 広三 (東京都庁) 3:15.6
- 4 中川 重雄 (三重) 田村紡績 3:17.4
- 5 島本 信美 (兵庫) 川崎重工 3:19.0
- 6 後藤 直 (福岡) 八幡製鉄 3:22.4
- 7 長谷川順信 (東京) 日産化学 3:24.6
- 8 寺田 忠雄 (山梨) 旭興業 3:29.2
- 9 新 保博 (広島) 呉市役所 3:35.0

女 子

50 米 自由形

- 1 新子 節子 (大阪) 小川ポンプ 32.4
- 2 山下 貞子 (大阪) 東洋レ 32.6
- 3 端谷八重子 (石川) 石川繊維 34.4
- 4 平野 雅子 (東京) 白木屋 35.0
- 5 芦田富貴子 () 35.0
- 6 河原 澄子 (京都大丸) 35.4
- 7 上杉富貴子 (滋賀) 東洋レ 36.2

100 米 自由形

- 1 山下 貞子 (大阪) 東洋レ 1:13.0
- 2 新子 節子 (大阪) 小川ポンプ 1:16.2
- 3 端谷八重子 (石川) 石川繊維 1:18.4
- 4 芦田富貴子 (東京) 白木屋 1:18.6
- 5 平野 雅子 () 1:21.6
- 6 上杉富貴子 (滋賀) 東洋レ 1:24.6
- 7 上田 香 (大阪) 小川ポンプ 1:26.0

100 米 背 泳

- 1 野口 幸子 (大阪) 東洋レ 1:25.8
- 2 小椋とみ子 (東京) 白木屋 1:26.8
- 3 小椋とし子 () 1:35.2
- 4 杉山智恵子 (神奈川) 横須賀基地 1:36.4
- 5 猪井 早苗 (兵庫) 市役所 1:42.6
- 6 内林 妙子 (福岡) 西日相銀 1:44.0
- 7 川口しづ子 (愛知) 名古屋市役 1:48.4
- 8 渡辺 敦子 (新潟) 鴻井精密 1:49.4

100 米 平 泳

- 1 小田島順子 (岩手) 富士製鉄 1:38.2
- 2 村上 桂子 (大阪) 東洋レ 1:40.2
- 3 橋本 和重 (東京) 白木屋 1:40.6
- 4 太田はるみ () 1:40.8
- 5 山崎 慶子 (京都大丸) 1:40.8
- 6 佐藤 道子 (東京) 富士製鉄 1:42.0
- 7 中谷富貴子 (大阪) 小川ポンプ 1:43.6

300 米メドレー・リレー

- 1 野口・村上・山下 (大阪 東洋レ) 4:17.0
- 2 小椋・太田・芦田 (東京 白木屋) 4:27.6
- 3 上田・中谷・新子 (大阪 小川ポンプ) 4:39.0
- 4 塚原・山崎・河原 (京都 大丸) 4:50.2
- 5 猪井・菅・後藤 (兵庫 市役所) 5:01.0
- 6 赤木・酒井・田倉 (岐阜 川崎紡績) 5:38.0
- 7 志村・夏梅・柳沢 (東京 安田健保) 5:57.0

飛 込

飛 板 飛 込

- 1 森沢 厚 (高見沢電機) 76.86
- 2 山下多喜雄 (日通汐留) 59.25
- 3 杉本 又二 (春日丘高) 55.68

高 飛 込

- 1 山下多喜雄 (日通汐留) 58.29
- 2 木村 敦彦 (石川トヨタ) 49.10
- 3 牧之島忠三 (京浜ゴム) 48.98

水 球

東西対抗

東 軍 7 $\begin{Bmatrix} 3-1 \\ 4-2 \end{Bmatrix}$ 3 西 軍

得 点

男 子

- 1 福岡 八幡製鉄 67
- 2 京都 大丸 21
- 3 岩手 富士製鉄 21
- 4 神奈川 東芝 21
- 5 東京 勝村建設 18
- 6 石川 県庁 14

女 子

- 1 大阪東洋レヨン 31
- 2 東京 白木屋 31
- 3 大阪小川ポンプ 16
- 4 石川 石川繊維 8
- 5 岩手 富士製鉄 7
- 6 京都 大丸 6

都道府県対抗

- 1 東京都 100
- 2 福岡県 71
- 3 大阪府 54
- 4 神奈川県 31
- 5 岩手県 29
- 6 京都府 27

第21回日本高等学校選手権水上競技大会

8月29・30日 振甫プール（50米公認）

男子

100米自由形

1	古賀 学 (伝習館高)	58.6
2	沢村 正一 (鴨浜高)	1:01.8
3	金原 幸道 (浜松北高)	1:02.6
4	石本 隆 (安芸高)	1:02.8
5	今井 昌裕 (法政二高)	1:03.0
6	柳瀬 吉弘 (大島高)	1:03.0
7	福原 貢 (法政二高)	1:03.0

200米自由形

1	細間 輝喜 (立教高)	2:12.8
2	古賀 学 (伝習館高)	2:14.6
3	東野 賢二 (高知商高)	2:16.6
4	金原 幸道 (浜松北高)	2:19.2
5	森本 毅 (郡山)	2:19.4
6	谷 貫太郎 (池田高)	2:21.0
7	今井 昌裕 (法政二高)	2:21.4
8	大谷 康夫 (観音寺一高)	2:21.8
9	塚本 清 (熊本商高)	2:22.0

400米自由形

1	細間 輝喜 (立教高)	4:47.4
2	金谷 雅弘 (田辺高)	4:52.0
3	野田 芳郎 (高知商高)	4:54.0
4	東野 賢二 ()	4:59.6
5	長島 務 (豊山高)	5:01.0
6	新宅 七郎 (五条高)	5:01.6
7	山下 文夫 (磐田農高)	5:04.8
8	近藤 至男 (伊東高)	5:05.0
9	久保田 認 (臼杵高)	5:05.0

1500米自由形

1	新宅 七郎 (五条高)	19:38.6
2	池尻 月男 (山鹿高)	19:40.8
3	長島 務 (豊山高)	19:46.6
4	野田 芳郎 (高知商高)	19:56.8
5	金谷 雅弘 (田辺高)	20:05.2
6	野村 幸司 (立教高)	20:10.2
7	久保田 認 (臼杵高)	20:12.0
8	山下 文夫 (磐田農高)	20:33.8

100米背泳

1	長谷 景治 (都島工高)	1:09.8
2	山下 栄隆 (浜松北高)	1:11.6
3	青山 昌三 (中京商高)	1:13.8
4	山口 定市 (安房一高)	1:13.8
5	中川 満 (大手前高)	1:14.0
6	住井 雅義 (天王寺高)	1:14.6
7	中島 常弘 (伝習館高)	1:15.8

200米背泳

1	長谷 景治 (都島工高)	2:36.4
2	山下 栄隆 (浜松北高)	2:39.2
3	川野 英隆 (熊本商高)	2:41.2
4	住井 雅義 (天王寺高)	2:43.2
5	鈴木 宏昌 (浜松北高)	2:43.2
6	安部 仁 (川島高)	2:44.2
7	青山 欣旦 (郡山高)	2:44.8
8	山口 定市 (安房一高)	2:45.0
9	浜崎 健 (宇島南高)	2:46.4

100米平泳

1	古川 勝 (橋本高)	1:16.4
2	大谷 勝 (法政二高)	1:16.4
3	小林 義和 (同志社高)	1:18.6

4	三浦 英規 (伊都高)	1:19.4
5	平井 收 (山城高)	1:19.8
6	林 慶輔 (筑陽高)	1:21.2
7	乾 藤夫 (磯部高)	1:21.8

200米平泳

1	古川 勝 (橋本高)	2:46.6
2	大谷 勝 (法政二高)	2:46.6
3	仙葉 元昭 (成蹊高)	2:51.2
4	石井 弘 (安房一高)	2:51.6
5	窪 昭博 (五条高)	2:53.0
6	三浦 英規 (伊都高)	2:54.8
7	小林 義和 (同志社高)	2:55.4
8	伊野家聰次 (関西高)	2:57.4
9	乾 藤夫 (磯部高)	2:58.4

200米リレー

1	中島・目野・川原・古賀 (伝習館高)	1:53.2
2	木村・柴田・鈴木・近藤 (伊東高)	1:53.2
3	上池・金谷・恵中・宮本 (田辺高)	1:54.8
4	加藤・坪井・青山・岡田 (中京商高)	1:55.0
5	金原・山下・松浦・丸山 (浜松北高)	1:55.8
6	池田・高田・佐藤・東野 (高知商高)	1:56.2
7	滝本・北野・大谷・友田 (観音寺一高)	1:58.6

800米リレー

1	野田・高田・池田・東野 (高知商高)	9:31.6
2	岡田・岡本・高島・近藤 (中京商高)	9:33.2

- 3 金谷・金谷・上池・宮本
(田辺高) 9:41.0
- 4 池田・坂梨・池田・池尻
(山鹿高) 9:42.4
- 5 赤坂・新宅・柘田・坂本
(五条高) 9:42.6
- 6 金原・松本・山下・松浦
(浜松北高) 9:43.8
- 7 平良・竹本・福原・今井
(法政二高) 9:49.6
- 8 柏木・阪本・村上・藤本
(洲本高) 9:51.6
- 9 目野・川原・古賀(郁)・古賀(学)
(伝習館高) 10:09.8

女 子

50 米 自由形

- 1 宮部シズエ (五条高) 32.6
- 2 神野 眸 (淑徳高) 32.6
- 3 藤田 陽子 (宮之城高) 34.8
- 4 西野 数美 (土佐女高) 35.0
- 5 築詰 康子 (宮之城高) 35.6
- 6 竹本 良子 (宿毛高) 35.8
- 7 福岡 悦子 (清水丘高) 36.2

100 米 自由形

- 1 宮部シズエ (五条高) 1:12.0
- 2 藤田 陽子 (宮之城高) 1:17.0
- 3 岡 照子 (伊都高) 1:17.2
- 4 神野 眸 (淑徳高) 1:17.4
- 5 西野 数美 (土佐女高) 1:19.0
- 6 北芝美恵子 (五条高) 1:19.2
- 7 岡村 綾子 (土佐女高) 1:22.8

200 米 自由形

- 1 宮崎 亮子 (五条高) 2:41.2
- 2 前 佳子 (伊都高) 2:43.6
- 3 佐藤 嬉子 (五条高) 4:47.6
- 4 鈴木 和子 (浜松市立高) 2:52.4
- 5 岡 照子 (伊都高) 2:56.0
- 6 米岡 幸美 (清水丘高) 2:56.6
- 7 今井 一子 (土佐女高) 2:57.4
- 8 小牧 順子 (宮之城高) 2:57.8

- 9 永野美智子 (筑紫女高) 3:06.0

400 米 自由形

- 1 宮崎 亮子 (五条高) 5:44.2
- 2 佐藤 嬉子 () 5:50.8
- 3 前 佳子 (伊都高) 5:51.8
- 4 鈴木 和子 (浜松市立) 6:17.0
- 5 小牧 順子 (宮之城高) 6:17.2
- 6 今井 一子 (土佐女高) 6:24.4
- 7 永野美智子 (筑紫女高) 6:24.4
- 8 伊藤 二支 (土佐女高) 6:30.4
- 9 井上 敦子 (宿毛高) 6:30.0

50 米 背 泳

- 1 新井 里子 (信愛高) 37.2
- 2 平尾 静子 (横浜学) 38.0
- 3 森前みどり (伊都高) 38.0
- 4 定森 桂子 (美作高) 38.8
- 5 坪井查雅子 (五条高) 40.4
- 6 桜井美恵子 (成徳高) 40.4
- 7 服部 法子 (淑徳高) 41.2

100 米 背 泳

- 1 森前みどり (伊都高) 1:22.0
- 2 平尾 静子 (横浜学) 1:24.8
- 3 定森 桂子 (美作高) 1:25.2
- 4 新井 里子 (信愛高) 1:25.2
- 5 坪井查雅子 (五条高) 1:28.8
- 6 服部 法子 (淑徳高) 1:30.0
- 7 安藤 清子 (高瀬高) 1:30.6

100 米 平 泳

- 1 青木 政代 (伊都高) 1:29.4
- 2 坂本 和子 (五条高) 1:31.4
- 3 中田 澄子 (土佐女高) 1:34.0
- 4 中本 英子 (五条高) 1:34.6
- 5 鈴木 文子 (下田北高) 1:34.8
- 6 浦畑チズ子 (伊都高) 1:35.0
- 7 小田切紀子 (筑紫女高) 1:37.0

200 米 平 泳

- 1 青木 政代 (伊都高) 3:07.6

- 2 坂本 和子 (五条高) 3:11.4
- 3 井豆 信子 () 3:18.6
- 4 中田 澄子 (土佐女高) 3:20.2
- 5 浦畑チズ子 (伊都高) 3:21.0
- 6 小田切紀子 (筑紫女高) 3:24.2
- 7 鈴木 文代 (下田北高) 3:26.0
- 8 若林 睦子 (八日市高) 3:31.8
- 9 後藤 久枝 (淑徳高) 3:37.2

400 米 リレー

- 1 宮部・北芝・佐藤・宮崎
(五条高) 5:05.8
- 2 日当・小牧・築詰・藤田
(宮之城高) 5:20.6
- 3 森前・正野・岡・前
(伊都高) 5:23.2
- 4 西野・伊藤・岡林・今井
(土佐女高) 5:29.8
- 5 浜・井上・小田切・永野
(筑紫女高) 5:50.4
- 6 鈴木・梶間・上田・藤原
(浜松市立高) 5:54.0
- 7 森下・石川・山口・下原
(大島) 6:03.8
- 8 瀬川・東・後藤・横山
(椹山高) 6:03.8
- 9 七熊・諫山・田辺・吉瀬
(朝羽高) 6:12.2

300 米メドレー・リレー

- 1 森前・青木・前
(伊都高) 4:11.0
- 2 坪井・坂本・宮部
(五条高) 4:13.8
- 3 能勢・中田・西野
(土佐女高) 4:25.6
- 4 服部・後藤・神野
(淑徳高) 4:30.8
- 5 杉元・藤田・小牧
(宮之城高) 4:37.2
- 6 杉崎・余吾・社本
(向陽高) 4:38.0
- 7 定森・平田・原田
(美作高) 4:41.8

- 8 鈴木・上田・藤原
(浜松市高) 4:47.6
- 9 小椋・鈴木・横山
(梶山高) 4:56.4

- 2 伊都高 57
3 宮之城高 20
4 土佐女高 20
5 淑徳高 12
6 信愛高 10
7 横浜学園 10

- 3 岩橋 弥生 (生野高) 95.72

得点

男子

- 1 高知商高 22
2 浜松北高 22
3 伝習館高 19
4 田辺高 15
5 立教高 15
6 都島工高 14
〃 橋本高 14

女子

- 1 五条高 71

飛込

男子飛板飛込

- 1 山田慶二郎 (今宮高) 105.62
2 野上 務 (攻王社高) 103.38
3 森戸 孝昌 (日大三高) 75.51

男子高飛込

- 1 野上 務 (攻王社) 108.45
2 山田慶二郎 (今宮高) 103.94

女子飛板飛込

- 1 津谷鹿乃子 (松蔭高) 90.11
2 弘世 初子 (甲南高) 80.27
3 角倉佐久子 (泉尾高) 61.06

女子高飛込

- 1 弘世 初子 (甲南高) 68.31
2 津谷鹿乃子 (松蔭高) 57.09
3 角倉佐久子 (泉尾高) 43.97

水球

決勝

- 済々黌高 4 $\left\{ \begin{matrix} 3-1 \\ 1-2 \end{matrix} \right\}$ 3 山城高

第29回日本學生選手権水上競技大会

9月11・12・13日 神宮プール (50米公認)

競泳

50米自由形

- 1 後藤 暢 (日大) 26.4
2 高 嘉弘 (〃) 27.0
3 浪花 欣吾 (早大) 27.4
4 田中 武 (立大) 28.0
5 田中 純夫 (早大)
6 松岡 信義 (慶大) 28.0

100米自由形

- 1 鈴木 弘 (日大) 57.8
2 後藤 暢 (〃) 58.2
3 谷 勲 (早大) 58.4

- 4 谷川禎次郎 (日大) 58.4
5 田中 純夫 (早大) 59.8
6 西 拡 (明大) 1:00.2

200米自由形

- 1 谷 勲 (早大) 2:09.2
2 杉原 満弘 (〃) 2:11.8
3 堂崎 治好 (明大) 2:12.0
4 田中 寧夫 (早大) 2:12.4
5 鈴木 弘 (日大) 2:12.6
6 吉村 健三 (明大)
7 谷川禎次郎 (日大) 2:14.4
8 西 拡 (明大)
9 高橋 勝 (慶大) 2:15.0

400米自由形

- 1 山下 勝次 (早大) 4:38.2

- 2 浅野 満 (早大) 4:41.8
3 田中 寧夫 (〃) 4:44.8
4 杉原 満弘 (〃) 4:45.6
5 吉村 健三 (明大) 4:46.2
6 庄司 嘉宏 (〃) 4:47.0
7 足立 達 (〃) 4:47.4
8 青木 行義 (日大) 4:50.8
9 森 文太郎 (慶大) 4:55.0

800米自由形

- 1 山下 勝次 (早大) 9:45.6
2 浅野 満 (〃) 9:56.4
3 青木 行義 (日大) 10:00.2
4 横田 宣明 (早大) 10:01.2
5 庄司 嘉宏 (明大) 10:02.8
6 森 文太郎 (慶大) 10:06.0
7 北村 康雄 (早大) 10:06.0

- 8 庄司 政雄 (中 大) 10:21.6
9 大野 司 (日 大) 10:25.6

50 米 背 泳

- 1 芦田 拓郎 (早 大) 30.4
2 倉橋 範彦 (日 大) 31.4
3 大久保憲二 (立 大) 32.2
4 梶浦 昇 (早 大) 32.2
5 野上 修 (関学大) 32.6
6 宮田 春雄 (日 大) 32.6

100 米 背 泳

- 1 梶浦 昇 (早 大) 1:09.8
2 倉橋 範彦 (日 大) 1:10.0
3 大久保憲二 (立 大) 1:10.8
4 芦田 拓郎 (早 大) 1:11.2
5 宮田 春雄 (日 大) 1:11.4
6 中島 雅好 (早 大) 1:12.2

100 米 平 泳

- 1 田中 守 (早 大) 1:13.4
2 板井 道生 (日 大) 1:14.0
3 清池 健藏 (中 大) 1:15.2
4 胡麻鶴 壽 (") 1:15.4
5 平山 緯保 (日 大) 1:16.6
6 戸上 雅雄 (") 1:18.4

200 米 平 泳

- 1 田中 守 (早 大) 2:42.8
2 胡麻鶴 壽 (中 大) 2:45.8
3 清池 健藏 (") 2:45.8
4 板井 道生 (日 大) 2:46.0
5 水具 利重 (早 大) 2:46.6
6 戸上 雅雄 (日 大) 2:48.2
7 平山 緯保 (") 2:49.4
8 安達 登利 (") 2:50.6
9 中沢 潔 (早 大) 2:50.8

200 米 リレー

- 1 後藤・倉橋・谷川・鈴木 (日 大) 1:44.2
2 谷・浪花・清光・田中 (早 大) 1:46.6

- 3 木村・井原・加藤・田中 (立 大) 1:49.0

- 4 竹内・浜島・粕谷・川越 (中 大) 1:49.0

- 5 西村・西・植月・堂崎 (明 大) 1:50.0

- 6 松岡・高橋・青山・吉岡 (慶 大) 1:50.2

- 7 小林・岡田・平田・藤田 (法 大) 1:51.8

- 8 原・二宮・武崎・寺田 (同志大) 1:52.6

- 9 酒井・大隈・坂本・汐月 (九州大) 1:52.8

800 米 リレー

- 1 山下・杉原・浅野・谷 (早 大) 8:44.2

- 2 吉村・西・庄司・堂崎 (明 大) 8:52.2

- 3 安岡・後藤・谷川・青木 (日 大) 8:57.6

- 4 高橋・松岡・森・吉岡 (慶 大) 9:03.6

- 5 南・粕谷・浜島・森口 (中 大) 9:06.4

- 6 木村・和田・田中・井原 (立 大) 9:09.0

- 7 山下・西山・岡田・大島 (法 大) 9:36.6

- 8 永見・黒田・宝木・西岡 (関学大) 9:45.0

- 9 寺田・水津・藤井・武崎 (同志社大) 9:51.0

得 点

- 1 早稲田大学 110
2 日本大学 69
3 中央大学 21
4 明治大学 18
5 立教大学 16
6 慶応義塾大学 6
7 関西学院大学 2

飛 込

飛 板 飛 込

- 1 馬場 豊 (早 大) 133.92
2 坂本 章八 (日 大) 120.30
3 清水 磊三 (") 119.95

高 飛 込

- 1 馬場 豊 (早 大) 122.15
2 清水 磊三 (日 大) 118.31
3 馬淵 良 (") 115.39

得 点

- 1 日 大 25
2 早 大 16
3 慶 大 3

水 球

日 大 14 $\left\{ \begin{matrix} 4-0 \\ 10-0 \end{matrix} \right\}$ 0 同志社大

第8回国民体育大会水上競技大会

9月20・21・22・23日 高知プール (50米公認)
 気温 27° 27° 24.5° 22.4° 水温 23° 22.7° 22.4° 24°

高校男子

100米自由形

- 1 古賀 学 (福岡) 58.0
- 2 細間 輝喜 (東京) 1:00.0
- 3 金谷 雅弘 (和歌山) 1:01.0
- 4 清水 健 (群馬) 1:01.4
- 5 沢村 正一 (京都) 1:01.6
- 6 塚本利三郎 (新潟) 1:02.0
- 7 石本 隆 (高知) 1:02.0

400米自由形

- 1 金谷 雅弘 (和歌山) 4:52.8
- 2 細間 輝喜 (東京) 4:53.0
- 3 上本 正義 (広島) 4:57.8
- 4 野田 芳郎 (高知) 4:58.4
- 5 池尻 月男 (熊本) 5:00.6
- 6 長島 務 (東京) 5:01.4
- 7 近藤 至男 (静岡) 5:02.2
- 8 東野 賢二 (高知) 5:05.8

100米背泳

- 1 長谷 景治 (大阪) 1:09.4
- 2 山下 栄隆 (静岡) 1:11.2
- 3 山口 定市 (千葉) 1:13.6
- 4 川野 英隆 (熊本) 1:14.0
- 5 中川 満 (大阪) 1:14.2
- 6 浜崎 健 (愛媛) 1:14.4
- 7 阿部 仁 (徳島) 1:15.6

200米平泳

- 1 古川 勝 (和歌山) 2:46.4
- 2 大谷 勝 (神奈川) 2:50.0

- 3 仙葉 元昭 (東京) 2:50.6
- 4 石井 弘 (千葉) 2:54.2
- 5 三浦 英規 (和歌山) 2:55.2
- 6 木村 基淳 (静岡) 2:58.6
- 7 窪 昭博 (奈良) 2:59.0
- 8 塚本 尋務 (京都) 3:01.2

800米リレー

- 1 長島・野村・柳瀬・細間 (東京) 9:16.4
- 2 菅・久保田・野々下・久保田 (大分) 9:24.4
- 3 野田・石本・池田・東野 (高知) 9:25.6
- 4 塚本・坂梨・池田・池尻 (熊本) 9:30.6
- 5 加藤・笹原・松本・金原 (静岡) 9:31.4
- 6 大谷・芝口・松岡・田中 (香川) 9:35.2
- 7 目野・古賀・坂井・和田 (福岡) 9:35.8
- 8 上本・藤本・高橋・土井 (広島) 9:36.2

300米メドレー・リレー

- 1 上野・古川・金谷 (和歌山) 3:31.8
- 2 二宮・大谷・今井 (神奈川) 3:34.0
- 3 中島・林・古賀 (福岡) 3:36.0
- 4 吉野・仙葉・細間 (東京) 3:36.4
- 5 青山・窪・田口 (奈良) 3:36.4

- 6 尾崎・木村・石本 (高知) 3:37.2
- 7 浜崎・吉村・田中 (愛媛) 3:38.6
- 8 長谷・猿橋・和田 (大阪) 3:41.6

実業団

100米自由形

- 1 浜口 喜博 (東京) 59.8
- 2 坂本 幸盛 (福岡) 1:01.6
- 3 野間 隆彦 (") 1:02.2
- 4 松本光太郎 (広島) 1:03.0
- 5 大佐古敏夫 (") 1:03.2
- 6 武藤 薫 (愛知) 1:03.2
- 7 山本 新吾 (大阪) 1:03.2

400米自由形

- 1 松本光太郎 (広島) 4:59.8
- 2 武藤 薫 (愛知) 5:08.4
- 3 東 昇 (岩手) 5:11.8
- 4 坂本 幸盛 (福岡) 5:13.2
- 5 本山 昌平 (東京) 5:13.8
- 6 小島 幸晴 (京都) 5:14.8
- 7 蓮田 弘信 (大阪) 5:15.2
- 8 三宮 享 (福岡) 5:17.6

100米背泳

- 1 佐藤 忠 (神奈川) 1:12.8
- 2 近藤 英毅 (福岡) 1:13.6
- 3 木部 俊之 (神奈川) 1:14.4
- 4 黒佐 年明 (福岡) 1:14.8

- 5 待鳥 啓三 (東京) 1:15.0
- 6 浜岡 昭八 (京都) 1:15.8
- 7 大山 数一 (大阪) 1:16.2

200 米 平 泳

- 1 中村 仁三 (福岡) 2:51.4
- 2 原田 悦治 (兵庫) 2:57.2
- 3 高柳 昌弘 (静岡) 2:57.2
- 4 山崎 延夫 (岩手) 2:57.2
- 5 藤井 賢 (広島) 2:57.4
- 7 宇田久寿秀 (神奈川) 2:58.0
- 8 土方 正記 (広島) 2:58.2
- 6 沖 正浩 (高知) 3:04.0

200 米 リレー

- 1 佐々木・浜川・本山・浜口 (東京) 1:50.2
- 2 坂本・平城・竹本・野間 (福岡) 1:50.4
- 3 竹内・福富・岩合・仙頭 (京都) 1:53.0
- 4 山本・脇阪・小林・氏原 (高知) 1:53.2
- 5 山本・大内山・柳本・上田 (大阪) 1:53.6
- 6 鎗屋・坂田・松本・大佐古 (広島) 1:53.6
- 7 佐藤・大崎・徳重・小杉 (神奈川) 1:53.6
- 8 岩切・桑原・秋村・橋爪 (山口) 1:56.6

300 米メドレー・リレー

- 1 近藤・中村・野間 (福岡) 3:30.8
- 2 待鳥・本山・浜口 (東京) 3:34.0
- 3 佐藤・宇田・小杉 (神奈川) 3:37.0
- 4 山本・沖・氏原 (高知) 3:37.2
- 5 木村・玉置・東 (岩手) 3:42.0
- 6 梶・藤井・大佐古 (広島) 3:42.0

- 7 大山・葉室・山本 (大阪) 3:45.4
- 8 橋本・山崎・高橋 (群馬) 3:46.8

青 年 団

100 米 自由形

- 1 留川 公明 (鹿児島) 1:03.2
- 2 武林 利一 (大分) 1:04.6
- 3 鈴木 譲 (静岡) 1:04.6
- 4 足立 圭司 (愛知) 1:04.6
- 5 亀崎 慎之 (福岡) 1:04.8
- 6 田中 実 (大阪) 1:04.8
- 7 津川 重行 (広島) 1:05.0

400 米 自由形

- 1 吉村 博 (岐阜) 5:13.8
- 2 湊 芳夫 (香川) 5:13.8
- 3 津川 重行 (広島) 5:14.0
- 4 亀崎 慎之 (福岡) 5:22.8
- 5 武林 利一 (大分) 5:26.8
- 6 陣内 寛孝 (佐賀) 5:30.6
- 7 藤田 正明 (静岡) 5:34.8
- 8 沢田八十八 (愛知) 5:36.2

100 米 背 泳

- 1 近藤久仁正 (愛知) 1:16.4
- 2 日置 暎 (愛媛) 1:17.2
- 3 久木崎義人 (鹿児島) 1:17.8
- 4 野村 輝夫 (大分) 1:18.0
- 5 桐山 宗一 (岡山) 1:18.8
- 6 野並 嘉好 (高知) 1:19.8
- 7 白井 邦之 (京都) 1:20.2

200 米 平 泳

- 1 榊井 正人 (広島) 2:55.2
- 2 服部 良和 (群馬) 2:58.6
- 3 三谷康二郎 (高知) 2:58.8
- 4 秋山 学 (香川) 3:02.0
- 5 宅野 忠行 (島根) 3:02.2
- 6 田畑 隆二 (鹿児島) 3:02.6

- 7 川棚 正行 (佐賀) 3:02.6
- 8 杉山 宮司 (岐阜) 3:03.2

300 米メドレー・リレー

- 1 久木崎・田畑・留川 (鹿児島) 3:40.6
- 2 近藤・大橋・足立 (愛知) 3:40.8
- 3 野村・小手川・武林 (大分) 3:43.3
- 4 野地・榊井・津川 (広島) 3:46.4
- 5 野並・三谷・林 (高知) 3:47.0
- 6 石津・石上・鈴木 (静岡) 3:47.8
- 7 高島・秋山・湊 (香川) 3:52.2
- 8 西谷・宅野・田原 (島根) 3:52.8

教 員

100 米 自由形

- 1 西野 恭正 (高知) 1:02.4
- 2 米谷 弘 (兵庫) 1:03.2
- 3 下前 純男 (鹿児島) 1:03.8
- 4 峯島 久吉 (神奈川) 1:05.6
- 5 長沢 松雄 (山梨) 1:05.6
- 6 池田 定 (大分) 1:06.2
- 7 佐藤 幸男 (東京) 1:06.8

400 米 自由形

- 1 山崎 信政 (高知) 5:26.2
- 2 浅野 俊雄 (愛知) 5:29.4
- 3 浦中 基一 (愛媛) 5:40.4
- 4 浦林 勇 (鳥取) 5:45.0
- 5 吉田 靖 (岡山) 5:51.6
- 6 市野 重治 (新潟) 5:55.0
- 7 梶尾 稔 (鹿児島) 6:00.0
- 8 松島 裕 (東京) 6:04.2

100米背泳

- 1 西野 恭正 (高知) 1:12.0
- 2 岩見 繁 (鳥取) 1:14.6
- 3 野島 宏 (静岡) 1:15.0
- 4 岡崎 益美 (熊本) 1:16.0
- 5 井上 正一 (石川) 1:18.8
- 6 佐藤 哲男 (大分) 1:18.8
- 7 山田 昭博 (長野) 1:20.6

200米平泳

- 1 佐藤 勝 (岩手) 3:01.8
- 2 中村 憲治 (鳥取) 3:02.6
- 3 岸 楯夫 (兵庫) 3:04.6
- 4 野網 英一 (香川) 3:12.4
- 5 松田 忠雄 (山口) 3:13.2
- 6 高橋長七郎 (静岡) 3:14.2
- 7 坂上 仁 (東京) 3:14.4
- 8 堺 可臣 (徳島) 3:17.0

300米メドレー・リレー

- 1 西野・森岡・山崎 (高知) 3:43.4
- 2 岩見・中村・浦林 (鳥取) 3:44.6
- 3 坂本・坂上・佐藤 (東京) 3:46.2
- 4 和田・岸・米谷 (兵庫) 3:46.6
- 5 三浦・松田・中村 (山口) 3:50.0
- 6 岡崎・田村・西 (熊本) 3:53.0
- 7 野島・高崎・宮崎 (静岡) 3:59.6
- 8 山田・行田(秀)・行田(敏) (長野) 4:00.0

女子

100米自由形

- 1 新子 富子 (奈良) 1:11.2

- 2 宮部シズエ (奈良) 1:11.8
- 3 山下 貞子 (大阪) 1:11.8
- 4 新子 節子 () 1:14.2
- 5 小牧 順子 (鹿児島) 1:15.0
- 6 前 佳子 (和歌山) 1:16.2
- 7 端谷八重子 (石川) 1:16.4

400米自由形

- 1 田村美佐子 (奈良) 5:51.6
- 2 宮崎 亮子 () 5:52.0
- 3 前 佳子 (和歌山) 5:56.6
- 4 今井 一子 (高知) 6:04.2
- 5 小牧 順子 (鹿児島) 6:07.4
- 6 神野 眸 (愛知) 6:16.4
- 7 岡 照子 (和歌山) 6:18.2
- 8 江浜 敦子 (東京) 6:19.4

100米背泳

- 1 森前みどり (和歌山) 1:22.4
- 2 新井 里子 (静岡) 1:24.4
- 3 定森 桂子 (岡山) 1:24.4
- 4 片岡 澄子 (奈良) 1:25.6
- 5 多田 悦子 () 1:25.6
- 6 平尾 静子 (神奈川) 1:26.2
- 7 小椋とみ子 (東京) 1:27.2

200米平泳

- 1 青木 政代 (和歌山) 3:05.8
- 2 坂本 和子 (奈良) 3:11.0
- 3 中田 澄子 (高知) 3:15.4
- 4 浦畑チズ子 (和歌山) 3:17.2
- 5 小田切紀子 (福岡) 3:17.8
- 6 井豆 信子 (奈良) 3:23.8
- 7 小川 栄子 (東京) 3:29.6
- 8 太田はるみ () 3:32.2

400米リレー

- 1 長田・宮部・田村・新子 (奈良) 4:49.6
- 2 藤田・杉元・築詰・小牧 (鹿児島) 5:10.4
- 3 西野・岡林・井上・今井 (高知) 5:13.4

- 4 橋本・上田・新子・山下 (大阪) 5:15.2
- 5 芦田・塚本・平野・齊藤 (東京) 5:16.4
- 6 森前・正野・岡・前 (和歌山) 5:19.4
- 7 鈴木・安部・青木・藤原 (静岡) 5:28.8
- 8 神野・早川・社本・後藤 (愛知) 5:30.0

300米メドレー・リレー

- 1 片岡・坂本・新子 (奈良) 4:05.4
- 2 森前・青木・前 (和歌山) 4:06.8
- 3 野口・北邨・山下 (大阪) 4:16.0
- 4 兵頭・中田・西野 (高知) 4:20.2
- 5 小椋・小川・芦田 (東京) 4:21.0
- 6 新井・杉浦・鈴木 (静岡) 4:22.6
- 7 杉元・藤田・小牧 (鹿児島) 4:29.4
- 8 平尾・山崎・松崎 (神奈川) 4:35.2

郷土対抗

200米リレー

- 1 向井・小倉・米谷・上村 (兵庫) 1:52.2
- 2 大谷・松山・三宅・浜口 (香川) 1:53.0
- 3 石本・池田・柿本・氏原 (高知) 1:53.0
- 4 近藤・鈴木・大杉・山下 (静岡) 1:54.2
- 5 沢村・文堂・岡野・福富 (京都) 1:54.4
- 6 長谷・田中・田中・山本 (大阪) 1:54.6

- 7 清水・栗原・高橋・高橋
(群 馬) 1:55.0
- 8 田中・片山・浦中・蓮田
(愛 媛) 1:55.2

800 米 リレー

- 1 浅野・南・谷・鈴木
(愛 知) 9:00.0
- 2 杉原・田中・高橋・細間
(広 島) 9:03.2
- 3 東野・北村・野田・安岡
(高 知) 9:15.0
- 4 山下・近藤・長沢・金原
(静 岡) 9:20.6
- 5 堀内・金谷・古川・大野
(和 歌 山) 9:24.0
- 6 池田・猿渡・青木・池尻
(熊 本) 9:24.4
- 7 森本・新宅・阪本・田口
(奈 良) 9:27.0
- 8 松岡・柏木・向井・中西
(兵 庫) 9:35.6

300 米メドレー・リレー

- 1 梶浦・広・谷
(愛 知) 3:27.0
- 2 黒佐・板井・谷川
(大 分) 3:27.0
- 3 浜崎・田中・田中
(愛 媛) 3:27.4
- 4 近藤・中村・古賀
(福 岡) 3:30.8
- 5 浜岡・大谷・細間
(広 島) 3:31.0
- 6 西野・宇田・安岡
(高 知) 3:32.2
- 7 佐藤・石井・粕谷
(千 葉) 3:35.2
- 8 上野・古川・金谷
(和 歌 山) 3:38.6

得 点

男子高校得点

- 1 和歌山県 27

- 2 東京都 25
- 3 福岡県 11
- 4 神奈川 10
- 5 大阪府 9
- 6 高知県 8
- 7 熊本 8
- 8 静岡 8

実業団得点

- 1 福岡県 39
- 2 東京都 23
- 3 神奈川県 16
- 4 広島 16
- 5 岩手 9
- 6 高知 6
- 7 京都府 6
- 8 愛媛県 6

青年団得点

- 1 鹿児島県 19
- 2 愛知県 15
- 3 大分 14
- 4 広島 14
- 5 香川 8
- 6 高知 7
- 7 岐阜 7
- 8 静岡 5

教 員 得 点

- 1 高知県 28
- 2 鳥取 18
- 3 兵庫 12
- 4 岩手 7
- 5 愛知 5
- 6 静岡 5
- 7 東京都 4
- 8 山口県 4

一般女子得点

- 1 奈良県 49
- 2 和歌山県 28
- 3 大阪府 14
- 4 高知県 14
- 5 鹿児島 9
- 6 静岡 6
- 7 東京都 4
- 8 岡山県 4

郷土対抗得点

- 1 愛知県 14

- 2 高知県 9
- 3 広島 7
- 4 兵庫 7
- 5 静岡 6
- 6 大分 5
- 7 香川 5
- 8 愛媛 4

綜 合 得 点

- 1 高知県 63
- 2 福岡 57
- 3 東京都 56
- 4 和歌山県 55
- 5 奈良 49
- 6 広島 34
- 7 鹿児島 32
- 8 神奈川 30

飛 込

男子飛板飛込

- 1 石田 隆一 (愛 知) 59.28
- 2 山下多喜雄 (東 京) 54.20
- 3 山田慶二郎 (大 阪) 53.30

男子高飛込

- 1 山下多喜雄 (東 京) 62.96
- 2 堀部 彰 (愛 知) 44.72
- 3 遠藤 政次 (神 奈 川) 38.75

女子飛板飛込

- 1 坂口 修子 (大 阪) 52.43
- 2 宮本まさみ (奈 良) 47.91
- 3 津谷鹿乃子 (兵 庫) 44.12

女子高飛込

- 1 弘世 初子 (兵 庫) 47.97
- 2 宮本まさみ (奈 良) 46.43
- 3 坂口 修子 (大 阪) 46.31

水 球

全東西対抗

- 東 軍 8 { 2-1 } 2 西 軍 { 6-1 }

F. I. N. A. 理 事 会 報 告

安 部 輝 太 郎

8月15日羽田発、同30日着でオランダ ネイメゲ
ンで開催された1953年度 F. I. N. A 理事会へ行って
きましたので、議事録を添えて御報告いたします。
主な決議事項等を摘記すれば下記の如くでありま
す。

- 1) メルボルンにおける バタフライの追加は依然
として情勢は悪いが、F. I. N. A. としては未だ
投げて了わず、来春の I. O. C. との協議に望み
を残すこととしたこと。一方オリンピック参加
人員削減のためには、他の競技もそうするなら
ば1種目1国3名の申込を2名に絞ってもよい
旨を I. O. C. に申入れること。
- 2) 水球を16チームに制限することは適当な予選
の機会もないため、実行不可能として I. O. C.
にこの案を返上すること。
- 3) 地域大会(アジア大会他)の競技種目は主催
国、参加国において適当に決定し、F. I. N. A.
の承認を求めればよいこと。
- 4) アジア大会に対する F. I. N. A. の正式代表者
は安部輝太郎(日本)とすること。
- 5) 次回理事会は1954年9月6日於トリノ(イタ
リア)とすること。
- 6) メルボルン大会設備報告、他。

議 事 録

日 時 1953年8月20日9時~18時
場 所 オランダ、ネイメゲン市役所
参会者 会 長 M. ネ グ リ (垂)
副 会 長 R. M. リ ッ タ ー (米)
 〃 R. デ ラ ー ヴ (白)
 〃 J. デ ヴ リ ー (和)
名譽主事 B. ザ ル フ オ ァ (瑞)
名譽会計 H. E. フ ェ ー ン (英)
理 事 安 部 輝 太 郎 (日)
 〃 A. ル モ ア ン (仏)
 〃 J. リ ン キ ス ト (芬)

〃 B. ビ コ ネ ル (西)
〃 B. ラ イ キ (洪)
(副会長 W.B.フィリップス(豪)欠席)

議 事

① 会長挨拶

② 前回(1952年8月4日於ヘルシンキ)議事録確認

F. I. N. A. プレタン1952年12月号通り確認。但し
下記を除く。

- a) F. I. N. A. 会長、並びに名誉主事が国際飛込
委員会、及び国際水球委員会に「投票権を有す
る」件は、次回 F. I. N. A. 総会の承認を得るま
では正式規約とせず。
- b) I. W. P. B. 提案の「レフリーの決定はすべて
最終のものとする」という件は根本的な問題で
F. I. N. A. 事務局、又は I. W. P. B. が決定すべ
き技術的問題とは考えられぬので、これは次回
F. I. N. A. 総会の決定をみるまでは 1948~1952
年ルール通り「レフリーの“事実”に関する決
定は」をそのまま 1956年まで現行規則とする。

③ 名誉主事報告

1953~1956年 F. I. N. A. ハンド・ブックをもっ
と注文してくれるよう加盟国に勧誘のこと。

④ I. W. P. B. (国際水球委員会)名誉主事よりの報告

- a) 1953年水球規則に判例等を加えた英文、並び
に仏文のハンド・ブックを作成、同主事が注文
に応ずる。(N. S. R. として一部申込済)
- b) 2米線上における反則が余り多く、各国から
批判と不満の声が多いのに鑑み、I. W. P. B. と
しては加盟各国に対し下の如き改訂ルールを実
験してみよう依頼してある。
 - (i) 競技者は全競技場のいかなる場所にも位置
してよるしい。
 - (ii) 競技者は全競技場のいかなる場所からでも、
いかなる場所へでも球を受け、又はパスしてよ
るしい。
 - (iii) 全競技場のいかなる場所からシュートしても
よるしい。
 - (iv) 但し攻勢側競技者が敵の4米線内からシュー

トした時はゴールと認められない。この場合ボールがゴールに入り、又はゴール・ラインを横切ったなら、レフリーはゴール・スローを与える。(但し次項の例外参照)

(ホ) 敵の4米線内からシュートして得点し得る競技者は、その際ボールを持って4米線内を泳ぎ越えた者に限る。もしこの時ボールがゴール・キーパー、又はゴール・ポストからハネ返ったのを、その競技者が再び取ってシュートしても得点となし得る。しかし、この間他の競技者がボールに触れた場合は第一の競技者は上記の特権を失う。

すなわち換言すれば、

(ヘ) ルール 15 (m) から2米線に関する個所を削除する。

(ト) ルール 14 (d) からコーナー・スローに関する個所を削除する。

(チ) コーナー・スローは依然として2米線の角から行う。

(リ) ゴール・キーパーの特権、及び特別制限は現行ルール通りで変らない。

以上について各国の実験の結果を待っている。

c) フランス提案のゴール・ジャッジがスタートの選手を一線に揃える役目を引受けるという件は、次回 I. W. P. B. に持ち越し。

b) 各国よりのルールに関する問合せは次項のジャマイカの分を除き処理済。

e) ジャマイカの質問は I. W. P. B. メンバーに書面で相談、下の如く決定す。

(問) ある競技者にフリー・スローが与えられたとき、スローの前にその競技者が反則をなした場合の処置如何?

(答) その者には退水を命じ、同一チームの他の競技者に元のフリー・スローを与える。これがルール 16 (g) の精神によるものである。

f) ルール改訂に関する加盟国の提案は 1954 年 3 月 10 日までに I. W. P. B. 名誉主事まで提出されたい。

g) 米国、並に南米と文通の結果、補欠選手の交替を許そうという意見が相当多い模様である。

I. W. P. B. メンバーにはその旨を伝えたが、中には反対意向の表明があった。

しかし現実には米国、及び南米からの本件の

正式提案は出ていない。

h) 次回 I. W. P. B. はイタリアにおける歐洲選手権の機会を利用して開催したい。

⑤ I. D. C. (国際飛込委員会) よりの報告

I. D. C. から報告書が提出され、各理事に手交(筆者より N. S. R. 飛込委員会に回附)されたが、たまたま I. D. C. では未だ委員長、名誉主事の選任をしておらないことが判ったので、早急選任方 I. D. C. メンバーに懇請することとす。

⑥ 名誉会計報告

預金残高証明を附し報告あり。現在 F. I. N. A. の現金資産は約 5,563,000 円、全部英国の銀行預金となっている。

この他ヘルシンキにおける F. I. N. A. gala の F. I. N. A. 手取収入 1,350,560 マルクは F. I. N. A. プレタン印刷費を差引いて 1,269,024 マルク(約 1,200,000 円)は為替管理のため凍結の形にあるが、F. I. N. A. の指名人がフィンランド国内において使用することが可能であることが判明したので、この分は米国陸上競技チームのフィンランド遠征の際うまく米弗とリンクして使用して貰い、見返りに A. A. U. から米弗で決済を受けるという方法につきリッター氏に具体的研究を依頼す。

因みにヘルシンキの gala 収入についてはフィンランドのオリンピック委員会が、一方的に勝手に 15% 頭をハネた件があり、いままで嚴重交渉が続けられたが解決せず、今後も協議が続けられるが、これに鑑みてメルボルン以後のオリンピックにおいては、開催国組織委員会との間に紳士協約でなく、書いた契約書を交換することとす。

加盟金

1953 年度加盟金未払国が 22 ヶ国あり、これに対し催促することとす。

なおビルマは 1949 年以後未払なので、これに対しては 2 ヶ月以内に支払わざる時は加盟権を失う旨警告することとす。ボリヴィア、グッテマラ、朝鮮、及びパナマは 1952 年以来未払なので、これらに対しては 3 ヶ月の猶予を以って同様警告のこととす。

⑦ 世界記録

別表の通り公認さる。(本誌第 73 頁掲載)

⑧ オリンピック大会

フィリップス氏(濠洲)からの報告が朗読せられ、これによればメルボルンにおけるオリンピッ

が、プール以外の練習プール下記の如し。

- ① リッチモンド・プール（市中心より2哩）
55碼×20碼，室内，加熱，深さ3呎～11.5呎，
3米及び1米飛板付，水球（30碼×20碼×6呎）
可能。
- ② メルボルン・プール（オリンピック・プール
より4哩）
55碼×20碼，屋外，加熱，深さ3.5呎～11.5呎，
3米及び1米飛板付，水球可能（但し浅い方
は4.5呎）
- ③ シティ・プール（市内スワンストーン街）
33 $\frac{1}{2}$ 碼，室内，加熱，別に25碼婦人専用プ
ールあり。
- ④ ブランスウィック・プール（市より3哩）
55碼×20呎，屋外，深さ3呎～15呎，10米飛
込台，並に飛板三面付，別に25碼室内プール
あり。

A) オリンピック・プール

50米×20米，室内，加熱，水球競技のためには35米の全長に亘り，深さ2米以上，プール両端深さ1.6米，飛込プール50呎×20米，両プール間隔8呎（これを審判台に使用の予定）観客席最大5,500名，すなわちI.O.C.メンバー，選手，役員，報道機関を差引けば正味観客席は約4,000名に過ぎず。

濠洲組織委員会より，飛込プールを別に設けることは絶対不可欠かとの電報問合せあり。これに対してはF.I.N.A. 主事より絶対必要と返電済。

なお理事会は全員一致下の如き要望を打電す

- a) 競泳と飛込は各々別個のプールを設ける
- b) 飛込プールの長さは50呎を20米に延長。
（但しこれは現行F.I.N.A. ルールが50呎を認めているため，濠洲側を強制すること見込薄）
- c) 両プール間隔は8呎を2.4米に延長すること。
- d) 観客席を増すこと。

なお，もし費用不足なら屋外プールとすべしと要望せるも，これは後にフィリップス副会長よりの通信により，オリンピック会期中のメルボルンの天候は甚だ不安定なため，室内プールとすることは絶対条件なりとのこと，しかしながら予算（2.75億円）

の関係上，前記F.I.N.A. 要望が充たされる可能性は少いものと考えられる。

またスタンドにはF.I.N.A. 用事務室として14呎×13呎の室3個，水泳役員用カフェテリアがプール外側に設けられる旨フィリップス氏より追信あり。プール・サイドの席は当該競技種目の選手役員に限り，他の選手役員はスタンドに席が設けられる。

高声器は更衣室にも設けられ，且つ出場直前の休息用に簡単なベッドも用意される由。

優勝儀式は競泳プールの他端18呎の奥行を有するプラット・ホームで行われる。

B) 大会プログラム，及び参加人員縮減の件

名誉主事より上記に関するI.O.C. 会長，並びにI.O.C. 分科委員会との交渉経過説明あり。理事会としてはI.O.C. 案の主旨は諒承するも，技術的に実行困難としてI.O.C. に返上することに意見一致す。

但しF.I.N.A. としては他のすべての競技が同調するならば，下記案の一つ，または全部に同意する用意がある旨I.O.C. に申入れることとす。

- a) 個人競技の各国申込数を2名に絞る。
- b) リレーの補欠申込を認めない。但し水泳なら水泳の他種目選手をリレーの補欠に起用することは認めること。
- c) チーム・ゲームの補欠申込人員を正規メンバー数の25%（端数切上）以内に限定する。（即ち水球では2名）

なお水球競技の参加チームを16に限るとの案に対しては下の如く決議しI.O.C. 各メンバーに通達することとす。

「F.I.N.A. 理事会はI.O.C. のオリンピックにおける水球参加チーム制限に関する決定を意外，且つ遺憾とする。本理事会は実際問題として同案を受諾することは不可能と信するので，本件はI.O.C. においてF.I.N.A. 代表との間に再検討されんことを望む」

C) なおI.O.C. に対し本理事会の意向として下記を伝達することとす。

- (1) オリンピック水泳役員は主催国のみならず各加盟国代表の内から選ばれるべきこと。
- (2) 飛込競技中，台の附近からの撮影を禁止す

ること、特に閃光電球の使用を厳禁すること。

(3) また シンクロナイズド・スウィミングをメ
ルボルン大会の正式エキジビションとして含
めること。

D) 1954年5月2, 3両日ローザンヌで行われる
I. O. C. 対国際各スポーツ連盟との協議会には、
代表としてネグリ会長、並にザルフォア名誉主
事が任命された。なおその際 F. I. N. A 理事会
の要望として I. O. C. に対しその構成メンバー
には各国際スポーツ連盟の推薦による代表1名
宛を加えるべきである旨主張することとす。

⑨ 競泳委員会

上記委員会憲章起草委員に対し、1954年トリノ
で開かれる本理事会に間に合うよう 具体案を提出
するよう督促することとす。

⑩ オランダ水連よりの抗議

ヘルシンキにおけるユーゴ対オランダの水球試
合に関して行われたジュリーの裁定に対する抗議
が提出されたが、理事会としては今の時期に本件
を再燃さすことに同意し難く、また当時構成され
たジュリーに対し本理事会は 何等の拘束権を持た
ぬという見地からこれを採上げなかった。

⑪ 功労者表彰

F. I. N. A. の事業に対し特に功績多かった人々
に金、または銀の F. I. N. A. メダルを贈呈するこ
と可決せられ、まず下記の人々の表彰が全員一致
で決定した。

a) (金メッキ)

会長就任者

W. ピンナー (独)

H. E. ファーン (英)

R. デラーヴ (白)

前 I. D. C. 名誉主事

L. ハップトマン (チェコ)

水球功労者

A. デラヘー (白)

b) (銀メダル)

飛込功労者

G. H. ヘムシング (和)

なを前副会長ハップトマン氏を F. I. N. A. の
名誉会員に選ぶよう次回 1956年総会に提議するこ
ととす。

⑫ F. I. N. A. メダル型

欧州水泳連盟に対し、F. I. N. A. メダルの一

面の型を使用することを承認せらる。

⑬ 1953~1956 ハンド・ブック

上記現行 F. I. N. A. ハンド・ブックに対し、
下の如く解明、並に訂正を理事会として決定す。

a) 競泳規則 (29頁) バタフライについて「腕は
水の上を返す」とあるが、スタート、及びター
ン直後水中を平泳で泳ぐことは差し支えない。

b) オリンピックに関する規則、104頁第141条
仏文規則を英文通り訂正のこと確認さる。

c) ジョージ・ハーン・カップ、及びテオドル・
レワルド・トロフィーの件

両賞牌共戦争中喪失してしまったので、競技
名称を記念競技と改めること。

⑭ 新加盟

Nederland-Antillaanse 水連の Cクラス加盟は、
同水連が F. I. N. A. アマター規約に従うという
条件の下に承認せらる。

⑮ 地域大会

本理事会としては、地域大会の競技種目はその
大会の水泳競技を組織する機関が 適当にこれを決
定して差し支えなきものと認める。但し、その案
は F. I. N. A. 名誉主事に提出、承認を求むべき
ことと決定す。

なお 1954 年度アジア大会には 安部輝太郎 (日
本) が F. I. N. A. の正式代表に任ぜらる。

⑯ ブカレスト祭

本祭典に対する F. I. N. A. 代表ライキ氏 (洪)
より結果報告あり、諒承を受けたるも、自国水連
の承認なくして本大会に出場せる 選手ありとの情
報あるため、名誉主事から主催者たるルーマニア
水連に対し全出場選手名簿を 要求せしむることと
す。その上で各所属国水連に照会の上、事前許可
を得ていたか否かを確かめ、その結果によって理
事会は本件を再審議する。

⑰ 雑件

マルタ水連よりの質問に対し本理事会としては
「プロフェッショナル蹴球審判がアマチュア水球
の審判をやっても差し支えない」と回答すること
とす。

⑱ 次回理事会

今回は欧州選手権大会を機とし、1954年9月6
日イタリアのトリノにて開催と決定す。

地元オランダ水連代表デヴリー氏より挨拶あり
ネグリ会長より答詞ありて閉会す。

(1953年8月20日 F. I. N. A. 理事会にて公認)

今回の理事会はオーストラリアのフィリップス氏を除く全員参加で、且つ夫人同伴組も多く、皆多年の知己のこととて、いつもながら和気に満ちた会合であった。

例えば市長のカクテル・パーティーの御返しの意味もあって、会議の翌々日ネグリ会長が午餐会を開いた席上、リッター氏が代表でネグリ夫人に花束を贈り、「キッスして愛するといわなきゃ渡さない」と手古摺らせ、とうとう押し切ったのに対し、リッター夫人曰く、「愛するだけで、マックス(リッター氏の名)を愛するとはいわなかったからいゝわ」といったような具合で、市長も「恐れ入った御連中ですね」と呆れていた。

会議と時を同じくして、オランダ水泳選手権に引続き水球の国際招待競技が開かれていたが、ハンガリー、ユーゴ、ドイツ、イタリア等ヘルシンキの顔馴染が大勢来ていたが、何といってもハンガリーは一頭地を抜いて、球捌き、泳ぎ、ゲームの勘のよさを示しておった。ユーゴとオランダの一戦はヘルシンキの物いいの後を受けて全スタンドを白熱的に狂喚したが、少差でオランダの再敗に終わった。

ついでながら、この競技は在来通りの2米ルールで行われ、4米ルールに対しては歐洲の大部分は甚だ冷淡であることに気付いた。それは小さいプールが多いからで、国際水球委員会のスコット主事は4米主義だが、これを支持するのは米国、日本等で、同委員長デヴリー氏(オランダ)の如きも「英国だってスコット以外は反対派が多いんですよ」といっておった程で、4米制が正式化する見込は一寸予想を許さず、むしろ、今のまゝでは数の上で不利なのではないかとも思える。

メルボルン大会にバタフライが入るか否かは1954年5月のI.O.C.で決すると思うし、同大会に関する限り1954年9月のF.I.N.A.理事会がヤマであるが、他にどんな問題が飛び出すかは今のところ一寸予想し兼ねる。 以上

× × ×

 × × ×

× × ×

時間	氏名	国籍	場所	プール	日時
男子					
100 碼 背泳					
56.4	R.トーマン	米	ニューヘヴン	25碼	28. 2.1953
56.1	Y.オヤカワ	米	コロンバス	〃	1. 4.1953
100 米 背泳					
1:03.3	G.ボゾン	仏	トロイ	25米	26.12.1952
200 米 背泳					
2:18.3	G.ボゾン	仏	アルジェー	〃	26. 6.1953
100 碼 平泳					
1:04.3	L.ブロック	瑞	ルンド	25米	29. 5.1953
100 米 平泳					
1:11.9	V.ミナチキン	ソ連	レニン グラード	25米	11. 2.1953
1:11.2	〃	〃	〃	25碼	23. 2.1953
200 米 平泳					
2:37.4	K.グレイー	丁	コペンハー ゲン	25米	14. 2.1953
220 碼 平泳					
2:38.8	K.グレイー	丁	オデンス	25米	24. 2.1953
100 米 バタフライ					
1:04.3	G.タンベック	洪	ブダペスト	33 $\frac{1}{3}$ 碼	31. 5.1953
400 米 個人メドレー (4×100米)					
5:48.5	F.T.オネイル	濠	シドニー	55碼	17. 1.1953
5:43.0	〃	〃	〃	〃	24. 2.1953
5:38.7	G.ケッテシー	洪	ブダペスト	33 $\frac{1}{3}$ 碼	24. 2.1953
5:35.6	M.ルシアン	仏	トロイ	25米	24. 2.1953
5:32.1	G.ケッテシー	洪	ブダペスト	50米	26. 7.1953
800 碼 リレー (4×200碼)					
7:39.9	エール大学チーム				
		米	ニューヘヴン	25米	14. 2.1953
			(ムーア・マックレーン・スミス・シェフ)		
400 碼 メドレー・リレー					
3:57.1	エール大学チーム				
		米	ニューヘヴン	25米	22. 2.1953
			(トーマン・オコナー・スミス・ドノバン)		
400 米 メドレー・リレー (4×100米)					
4:39.2	S. K. ポセイドン				
		瑞典	ヘルシン ボルグ	25米	22. 2.1953
			(ヘルシング・ブロック・ダール・ウェステソン)		

時間	氏名	国籍	場所	プール	日時
4:32.2	フランス国際チーム		仏 シャールロイ	25米	22. 3.1953
	(ボゾン・デュメニル・ルシアン・ジャンー)				
4:31.5	フランス・レーシング・クラブ		仏 トロイ	25米	1. 4.1953
	(ピオラ・デュメニル・アレオン・エミナン)				
4:30.8	スウェーデン国際チーム		瑞 ルンド	25米	17. 4.1953
	(ヘルシング・ブロック・ラルソン・オストランド)				
4:27.8	スウェーデン国際チーム		瑞 ボラス	25米	24. 4.1953
	(ヘルシング・ブロック・ラルソン・オストランド)				
4:24.8	ソ連国際チーム		ソ連 モスコ	25米	13. 5.1953
	(ロパティン・ミナチキン・スクリプチェンコフ・バランディン)				

時間	氏名	国籍	場所	プール	日時
女子					
800米 自由形					
10:42.4	V.ケンヂ	洪	ブタベスト	50米	28. 6.1953
1760碼 自由形					
22:51.6	J.J. デーヴィス		濠 シドニー	55碼	13. 3.1953
400米 個人メドレー (4×100米)					
5:50.4	E. ツエックリー		洪 ブダベスト	33½米	10. 4.1953
400碼 リレー (4×100碼)					
4:03.5	ラファエット水泳クラブ		米 ラファエット	25碼	7. 2.1953
	(ミュールン・リンク・ストーラー・クロッカー)				
400米 メドレー・リレー (4×100米)					
5:10.8	ハンガリー国際チーム		洪 ブダベスト	50米	24. 7.1953
	(ハンヤドフィン・キラマン・ツエックリー・ケンヂ)				

1953年世界競泳10傑表

(長水路)

ピーター・ダランド

ロバート・キップス氏編
スイミング・ワールド誌掲載

◎100米自由形

1	56.9	J.ヘンリックス	濠
2	57.3	R.クリーヴランド	米
3	57.4	C.K.ネオ	新嘉坡
4	57.5	C.スコールズ	米
5	57.6	G.カダス	洪
6	57.7	R.オーブレィ	濠
7	57.8	H.ギディオンス	米
7	57.8	鈴木 弘	日
9	58.0	古賀 学	日
10	58.2	後藤 暢	日
10	58.2	イパックス	洪
10	58.2	J.マッケビット	米

◎200米自由形

1	2:09.2	谷 訪	日
2	2:09.4	F.コンノ	米
3	2:09.7	J.マックレーン	米
※4	2:09.8	J.ヘンリックス	濠
5	2:09.9	W.ムーア	米
6	2:10.2	鈴木 弘	日
7	2:10.7	G.カダス	洪
8	2:11.2	細間輝喜	日
8	2:11.2	山下勝次	日
10	2:12.0	ドモートル	洪
	※印	220碼	

◎400米自由形

1	4:37.0	F.コンノ	米
2	4:38.2	山下勝次	日
3	4:39.1	ニエキ	洪
4	4:40.6	G.ソルダス	洪
5	4:41.8	浅野 満	日
6	4:42.2	A.ロマニ	伊
※7	4:42.6	C.チャップマン	濠
8	4:42.9	W.ムーア	米
9	4:43.0	細間輝喜	日
10	4:44.0	J.ウェードロップ	英
	※印	440碼	

◎1500米自由形

1	18:27.4	山下勝次	日
2	18:45.2	F.コンノ	米
3	18:47.7	G.ソルダス	洪
4	18:51.4	足立 達	日
5	18:54.0	J.マックレーン	米
6	19:00.2	ニエキ	洪
7	19:05.8	青木行義	日
8	19:10.1	E.プレス	ソ連
9	19:12.0	S.ザボルスキー	洪
10	19:13.5	P.C.オストランド	瑞

◎100米背泳

1	1:05.8	G.ボゾン	仏
2	1:06.0	Y.オヤカワ	米
3	1:07.0	A.ウイギンス	米
4	1:07.2	L.マギヤァ	洪
5	1:07.3	B.カーン	米
6	1:08.0	P.ガルバォ	亞
6	1:08.0	W.ソナー	米
8	1:08.4	梶浦 昇	日

9	1:09.1	B.スカナタ	ユーゴ
10	1:09.3	L.ヘイム	米
10	1:09.3	G.ラルソン	瑞
◎200米平泳			
1	2:42.8	ミナシキン	ソ連
2	2:42.8	田中 守	日
3	2:43.8	ボデンゲル	西独
4	2:44.0	ウタッシー	洪
5	2:44.3	ドサエブ	ソ連
6	2:44.4	梶川 孝	義
7	2:45.2	クソソガイ	洪
7	2:45.2	清池 健	藏
9	2:45.6	古川 勝	日
10	2:45.8	胡麻鶴 寿	日

◎800米リレー

1	8:47.2	ハンガリー・チーム	洪
2	8:53.8	ソ連チーム	ソ連
3	8:57.8	日本大学チーム	日
4	9:06.8	ブダベストA組	洪
5	9:07.0	明治大学チーム	日
6	9:07.6	ニューヘヴンクラブ	米
7	9:11.0	立教大学チーム	日
8	9:13.6	ブダベストA組	洪
9	9:14.8	フランス・チーム	仏
10	9:17.5	メキシコ水連チーム	墨

◎注 日本10傑参照 8:44.2 早稲田大学, 8:52.2 明治大学, 8:57.6 日本大学, 9:00.0 愛知県, 9:03.2 広島県, 9:03.6 慶応大学, 9:06.4 中央大学等が洩れています。



昭和 28 年度代議員会 議事録

定例代議員会 議事録

期 日 昭和28年2月1日 午前10時

場 所 東京 丸ビル精養軒

出席者

北海道水泳連盟	根上 博	長尾平太郎
岩手水泳協会	瀬川 政雄	
山形県水泳連盟	五十嵐伊市郎	新穂栄蔵
福島県水泳連盟	橋 登	吉田 勝平
茨城県水泳連盟	久保 三郎	鈴木 充
	中山 利生	多治見祐孝
群馬県水泳連盟	津田 貞	宮下 茂
栃木県水泳協会	荻原 光臣	田中 武男
埼玉県水泳連盟	伊藤 三郎	大杉 正臣
千葉県水泳連盟	川名 正義	石井辰五郎
	川名 浩	
神奈川県水泳連盟	白山源三郎	庄川 鉄治
	西田 三郎	河野 善次
東京都水泳協会	松沢 一鶴	伊藤 謹平
	勝村 肇	
新潟県水泳協会	中田 猛	
野尻湖游泳協会	萩原 忠明	北村博三郎
	柳沢 一郎	西沢 達雄
	高橋庄之助	中村 義平
松本水泳協会	小林 高志	
山梨水泳連盟	石沢 羊一	長沢 松雄
	小倉 一浩	
伊豆駿河湾游泳協会	井原 一夫	佐藤 潔
	太田 光雄	
静岡水泳協会	宮崎 正二	望月 末吉
浜名湾游泳協会	本多 光雄	竹林 隆二
	笥 精一郎	
豊橋水泳協会	清川 正二	天野菊三郎
愛知水泳連盟	児玉 清雄	志村 義久

石川県水泳協会
 福井県水泳連盟
 三重水泳連盟
 大阪水泳協会
 奈良県水泳連盟

社本 義信
 阿部壮次郎
 深谷 俊明
 小出 靖彦
 辻 富士夫
 中山 正善
 神崎 保雄
 浦井 保弘
 池田 岩夫
 桑原 敏男
 岡山 四郎
 中野 太郎
 池上 猷一
 三好 喬
 串田 正夫
 笹森 範尙
 遊佐 正憲
 鶴田 義行
 青山 茂
 宇田久寿秀
 安永 弘
 吉村 健三
 飯田 寿平
 仁科 正

和歌山県水泳連盟
 兵庫県水泳連盟
 琵琶湖水泳協会

辻 花子
 広岡徳太郎

岡山県水泳連盟
 鳥取県水泳連盟
 広島県水泳連盟
 山口県水泳連盟
 香川県水泳協会
 愛媛県水泳連盟
 高知県水泳連盟

中川 善介
 森原 幸彦

福岡県水泳連盟
 長崎県水上競技連盟
 熊本県水泳協会
 宮崎県水泳連盟

本 部

田畑 政治
 小池 礼三
 足立 祐次
 三上 節造
 千葉 眞一
 牧野 正蔵
 内藤 徹
 武村 清
 時任 巖
 浜口 喜博

藤田 明
 松本 滝蔵
 沢田 武治
 渡辺寛二郎
 後藤 敬三
 川田 友之
 沢海 東助
 生江哲太郎
 左近允正矩

原 秀夫
 奥野 良
 外山 高一
 菊田 保孝
 上野徳太郎
 梅田利兵衛
 北村久寿雄
 竹林地文雄
 橋爪 四郎

関西支部

高石 勝男

学生会

根上 博	志村 義久	田中 純夫
浪花 欣吾	谷川禎次郎	平山 綽保
鈴木 弘	杉浦 貞夫	小野塚誠二
田中 武	高木 裕己	植月 弘次
丹羽 孝忠	長谷川嗣夫	鈴木 光男
関学大 2名	関大 2名	同大 2名
立命大 2名	九州大 1名	

委任状提出団体

宮城県水泳協会 京都水泳協会

缺席団体

青森県水泳連盟	秋田県水泳連盟
岐阜県水泳連盟	富山県水泳協会
島根県水泳連盟	徳島県水泳連盟
大分県水泳協会	佐賀県水泳協会
鹿児島県水泳協会	

報告事項

1. 昭和27年度事業概要

藤田専務理事より次の通り昭和年27度事業概要を説明、これを承認した。

①競技会

1. 冬季合宿練習会記録会
(1月7日 東大プール)
2. 日本選手権兼オリンピック大会最終予選会全国予選会
(6月14・15日 神宮プール)
3. 日本選手権兼ヘルシンキ・オリンピック大会最終予選会
(6月19～22日 神宮プール)
4. 第3回全国勤労者水上競技大会
(8月9・10日 呉市プール)
5. 東部高等学校選手権水上競技大会
(8月16・17日 館山プール)
6. 西部高等学校選手権水上競技大会
(8月16・17日 高知プール)
7. 日本高等学校選手権水上競技大会
(8月23・24日 天理プール)
8. 第28回日本学生選手権水上競技大会
(9月12～14日 神宮プール)
9. 第7回国民体育大会水上競技大会
(9月19～22日 宇都宮プール)

②選手強化事業

1. 冬季オリンピック候補選手合宿練習会
(昭和26年12月29日～昭和27年1月7日)
(東大プール, Y.M.C.A. 体育館)
2. 冬季飛込, 水球合同練習会
(昭和26年12月29日～昭和27年1月7日)
(東大プール, Y.M.C.A. 体育館)
3. オリンピック候補選手競泳合同練習会
(4月1日～13日 東大室内プール)
4. 飛込合同練習会
(4月1日～14日 東大室内プール)
(慶大グラウンド)
5. 春季オリンピック候補選手競泳合宿練習会
(4月14日～24日 野沢温泉プール)
6. 水球合同練習会
(4月20日～25日 東大, 慶大プール)
7. オリンピック代表選手合宿練習会
(7月4日～16日 ストックホルム)

③指導普及事業

1. 日本泳法研究会
(2月16・17日 伊東温泉プール)
2. 水泳指導者資格検定委員全国協議会
(6月7・8日 東大プール)
3. 全国各地に講師派遣

④選手国外派遣

1. オリンピック水上競技に参加 (出発6月28日
帰国8月28日 役員7名 選手27名)
2. 日仏対抗水上競技に参加
(8月9・10日 パリ)

⑤建設測定事業

1. 競泳池公認
32号 大宮公園プール 50米 埼玉
33号 山口県営プール 50米 山口
34号 白杵高校プール 50米 大分
35号 郡山高校プール 50米 奈良
5号 高知市営プール 50米 高知
(改築再公認)
120号 宇治市小倉小学校プール 25米 京都
121号 目白プール 25米 東京
122号 行田市営プール 25米 埼玉
123号 常盤中プール 25米 山口

⑥記録発表

- (I)世界記録, (II)日本記録, (III)日本新記録
(IV)日本国際記録, (V)日本高校記録, (VI)日本中等記録
(VII)日本競泳20傑, (VIII)日本高校競泳20傑
(IX)日本中学競泳20傑, (X)日本水球代表軍

(4)日本飛込10傑

⑦諸会議

(1)代議員会2回、(2)評議員会2回、(3)理事会29回
(4)競泳委員会2回、(5)飛込委員会23回、(6)水球委員会23回、(7)普及委員会7回、(8)女子委員会8回
(9)学生委員会21回、(10)オリンピック準備委員会11回、(11)歓送迎会5回、(12)その他12回

⑧刊行物

機関紙「水泳」94、95号 以上

2. オリンピック概況

藤田総監督よりストックホルムに於けるキャンプ・オリンピック村の生活、オリンピック競技、欧州各地訪問等の概要を報告し、併せてチームに寄せられた絶大なる声援に対し感謝の意を表した。

3. F. I. N. A. 関係

安部名誉主事より F. I. N. A. 総会、同理事会、同小委員会に於ける議事の概要を報告したが、特筆すべきことはオリンピックの平泳がオーソドックス一本となったことである。なお今回の役員改選に当り安部氏は日本を代表して最高点でビューロー・メンバーに選出された。

4. 体協改組の件

田畑会長より体協機構の改組——外国関係を日本オリンピック委員会(J. O. C.)、国体関係を国体委員会に大別して委員会を強化し、執行権をも付与した旨を報告、これを諒承した。

なお体協に対する役員を左の通り報告した。

専務理事、J. O. C. 総務主事	田畑 政治
評議員、J. O. C. 委員、国体常任委員	藤田 明
J. O. C. 委員(総務主事代理)	松沢 一鶴
J. O. C. 委員	安部輝太郎
J. O. C. 委員	清川 正二

(会賓、参与は従前通り)

5. オリンピック東京招致の件

田畑会長より東京都が1960年にオリンピックを招致する運動に乗り出し、体協も全面的に協力する旨を報告した。(但し実現の可能性は1964年、又は1968年の見込)

併せて水泳は主競技場の近辺に新らしく建設する構想を明らかにし、目下その候補地として明治神宮外苑の周辺、元代々木練兵場のワシントン・ハイツ、及び駒沢都営グラウンド等を挙げている旨を附説した。

6. オリンピック対策協議会の件

藤田専務理事より前日体協会議室で開催した首題協議会の概要——中学生の全国大会開催、施設、特に学校プールの拡充、指導講習の強化、強化専門委員会の設置、インター・ハイの改組等が主要意見——を報告し、具体的には後刻協議することとした。

7. 普及部会関係事項

松沢部長より所管事項の概要を報告し、これを諒承した。

8. その他

日本スポーツ賞(読売新聞社設定)の候補者として鈴木弘君(日大)を選定した旨を報告これを諒承した。引き続きジュニア大会の表彰を行い、優勝校として男子七浦中学(千葉)、女子野原中学(奈良)にトロフィーを授与した。又オリンピック入賞者に送付されてきたディプロマを伝達した。

協議事項

1. オリンピック優勝選手招聘の件

オリンピック優勝者を本年度日本選手権、及び大阪に於ける国際大会に招聘交渉中であつたが、そのうち仏のポッターはフランス水泳スケジュールの関係で来日困難となり、米のスコールズ、コンノ、オヤカワ、リーの4名は承諾の返事があつた。濠のデーヴィスはオリンピックにバタフライ泳法がなくなつたので招聘しない、以上決定。

3. ブラジルより日本選手招聘の件

ブラジルより会長と選手2名を9月末頃招聘したき旨の交渉あり。これは日程、その他の都合がよければ派遣することに決定、今後の交渉と選手選考は会長に一任となる。

3. 主要競技会日程、及び要項の件

◎日本高校大会

男子、女子とも8ブロック制(北海道、東北、関東、中部、近畿、中国、四国、九州)をとり、東部、西部高校大会は廃止する。即ち府県大会——ブロック大会——日本高校大会とする。
優勝旗は水連本部より贈る。(16本)

◎国民体育大会

競泳の3部対抗(大学、高校、社会人)を廃止して、郷土対抗リレー(200米、800米)、メドレー・リレー(300米)を行うことに決定。
細部に亙りては理事会に一任となる。

飛込は本年より府県対抗とする。

水球は本年は東西対抗1種目とする。但し来年よりはなるべく招待競技を止めて府県対抗にすること。

4. 役員改選の件

会長……満場一致、田畑政治氏重任と決定。

理事……8ブロックより各1名宛出す条件で会長一任、その他の役員も会長一任となり休憩。昼食後再開、会長より次の通り発表承認さる。

理事長	藤田 明
専務理事	小池 礼三
会計理事	伊藤 謹平
監 事	足立 祐次 渡辺寛二郎
名誉主事	安部輝太郎
常務理事	17名
	西本 竜三 松沢 一鶴 原 秀夫
	星 一雄 大野 元美 川田 友之
	内藤 徹 根上 博 上野徳太郎
	安永 弘 牧野 正蔵 深谷 俊明
	小出 靖彦 沢海 東助 清川 正二

遊佐 正憲 志村 義久

5. 昭和27年度会計の件

原会計理事より次の通り報告、足立監事より証言あり、検討の結果承認。(下段参照)

オリンピック特別会計は未整理の処があるので、整備の後監事の監査を受け、次の代議員会に提出することに決定。

6. 昭和28年度予算案

79頁記載の通り承認。

7. 沖縄水泳連盟加盟の件

正規手続きをなし資格ありと認め加盟承認。

8. 強化委員会設置の件

前月開催したオリンピック反省会の席上結論を得た強化委員会を、各加盟団体に委員の推薦を得て組織することに決定。

委員長に高石勝男氏を推薦。

高石新委員長は日本の水泳強化のため総べての犠牲を惜しまず尽力する旨の決意を披瀝された。

9. 競技規則の改正

競泳 本年より平泳はオーソドックス一本とする。

昭和27年度日本水泳連盟会計報告 (自27.1.1.~至27.12.31)

収 入 の 部		支 出 の 部	
第一項 経常収入	530,619.82	第一項 経常支出	4,053,045.69
第1目 前期繰越金	402,317.82	第1目 事務所費	1,514,454.00
第2目 加盟金	125,700.00	① 借室料関係費	866,920.00
第3目 銀行利子	2,602.00	② 電話料金	35,175.00
第二項 事業収入	8,306,370.00	③ 新聞書籍代	19,150.00
第1目 プール公認料 12ヶ所	12,000.00	④ 什器代	23,505.00
第2目 「水泳」誌売上	104,810.00	⑤ 人件費	561,181.00
第3目 広告料	25,000.00	⑥ 雑費	8,523.00
第4目 バスタオル、ネクタイ売上	150,700.00	第2目 通信費	179,258.00
第5目 バッチ売上	10,100.00	第3目 文具消耗品費	21,396.00
第6目 日本スポーツ賞(読売新聞)	200,000.00	第4目 印刷費	362,005.00
第7目 全国予選及最終予選会収入	6,617,360.00	第5目 競技用品費及修理費	26,820.00
会員券売上(全国予選)	186,600.00	第6目 諸会合費	729,978.69
" (最終予選)	6,191,500.00	第7目 交通宿泊費	601,164.00
プログラム売上(全国予選)	14,950.00	第8目 冠婚葬祭費	22,540.00
" (最終予選)	224,310.00	第9目 都民税	2,400.00
第8目 神宮プール修理費立替金戻り	331,300.00	第10目 体協会費	9,000.00
(外苑管理署)		第11目 神宮プール使用費	500,000.00
第9目 国体事務局より	506,600.00	第12目 F. I. N. A. 加盟金	62,000.00
第10目 勤労者大会補助金	330,000.00	第13目 雑費	22,030.00
第11目 東部高校 "	8,500.00	第二項 事業支出	2,132,313.00
第三項 雑収入	47,790.00	第1目 選手強化費	47,770.00
総 計	8,874,779.82	第2目 競技会関係費	1,104,665.00
		第3目 国体関係費	534,908.00
		第4目 会場整理費	150,100.00
		第5目 普及部関係費	82,690.00
		第6目 賞牌費	212,180.00
		第三項 学生会部会へ貸金	100,000.00
		第四項 オリンピック特別会計繰入	2,000,000.00
		第五項 次期繰越金	589,421.13
		総 計	8,874,779.82

メドレー・リレーは世界記録は（背，平，バタ，自）となったが，日本では従前通りとする。日本記録も変更しないことに決定。

飛込（加盟団体へ通達通り）

水球（加盟団体へ通達通り）

10. 普及部関係事項

○全国皆泳大会を小・中学生，一般を対象として8月中旬開催，開会式は神宮プールより全国一斉に行うことに決定。

○日本水連主催の指導者検定，及び講習会を年2回開催する。担当希望の団体は日本水連へ申出ることとする。

○日本泳法研究会，2月21，22日伊東温泉プールにて開催することに決定。

○中学校対策

文部省と話し合っできれば水泳教室を行う。各府県より指導者1名，中学生数名参加されたい。これは理事会一任となる。

11. 第9回国体水泳開催地の件

立候補を申出たる加盟団体は

北海道，福島，埼玉，野尻湖，奈良。

○北海道水連 第9回大会は他の競技全部を北海道で行うので，水泳も是非開催したい。50米インダー・プールの建設は困難となったので，例年より早目に大会を開催してほしい。

○福島水連 若松市プールで開催したい，飛込プールも建設準備中である。

○埼玉水連欠席

○野尻湖游協 野尻プールで開催したい，飛込プールも建設準備中であるが，もし間に合わなければ松本プールを使うこともできる。

○奈良水連 飛込プールも完成，スタンド，脱衣場も本年中に完成予定。

結局立候補団体は詳細な計画書を帰国後10日以内に提出し，審議決定を理事会に一任することに決定。

12. 第8回国体水泳の準備状況（高知水連）

○飛込プールは12月着工したので5月には完成する

○補助プールは3月末，スタンドは7月完成予定。

○練習用プールは市内10ヶ所あり。

○交通，宿泊，準備支障なし，と報告。

昭和28年度日本水泳連盟会計予算案

収入の部		支出の部	
第1項 経常収入	907,421.13	第1項 経常支出	6,480,000.00
第1目 繰越金	589,412.13	第1目 加盟金	10,000.00
第2目 加盟金	318,000.00	第2目 事業所費	1,270,000.00
Aクラス 5,000.00 9団体	45,000.00	借室料	400,000.00
Bクラス 3,000.00 41 "	123,000.00	電話料	50,000.00
未収入金	150,000.00	新聞書籍代	20,000.00
		什器代	200,000.00
		人件費	600,000.00
第2項 事業収入	13,072,578.87	第3目 通信費	250,000.00
第1目 プール公認 1,000.00 30ヶ所	30,000.00	第4目 消耗品，文房具	50,000.00
第2目 刊行物売上	370,000.00	第5目 印刷費	1,200,000.00
オリンピック報告書	200,000.00	「水泳」6回分	700,000.00
「水泳」誌400部（6冊300.00）	120,000.00	オリンピック報告	500,000.00
「水泳」未収入金	50,000.00	水泳年鑑 外プログラム	
第3目 競技会収入	12,000,000.00	第6目 競技用品費及修理費	300,000.00
第4目 プログラム収入	300,000.00	第7目 会合費	700,000.00
第5目 雑収入	372,578.80	第8目 交通宿泊費	600,000.00
		第9目 冠婚葬祭費	50,000.00
		第10目 神宮プール使用費	1,000,000.00
		第11目 F. I. N. A. 総会費用	1,000,000.00
		第12目 雑費	50,000.00
総計	13,980,000.00	第2項 事業支出	6,000,000.00
		第1目 外国選手招聘費	4,000,000.00
		第2目 競技会費	1,000,000.00
		第3目 国体関係費	100,000.00
		第4目 賞牌費	300,000.00
		第5目 普及部会費	100,000.00
		第6目 選手強化費	500,000.00
		第3項 予備金	1,500,000.00
		総計	13,980,000.00

13. その他

- 競技会の申込は締切期日を厳守し、締切後は受付けないこと、加盟団体は責任を以て申込むこと。
- 加盟金は該年度末までには必ず支払うよう本部より要望あり。
- 千葉水連より中学、高校の日本記録には賞状を授与するよう要望、本部これを諒承。
- 年鑑（競技規則）を発行するよう要望。本部はでき得る限り早く発行する旨回答。 以上

定例代議員会議事録

期 日 昭和28年8月1日
 場 所 東京 明治記念館
 出席者

- | | | |
|-----------|-------|-------|
| 北海道水泳連盟 | 根上 博 | |
| 岩手水泳協会 | 瀬川 政雄 | |
| 宮城県水泳連盟 | 針生 三郎 | 保谷 俊平 |
| 福島県水泳連盟 | 橘 登 | 斎藤重千代 |
| | 吉田 勝平 | |
| 茨城県水泳連盟 | 鈴木 充 | 中山 利生 |
| | 多治見祐孝 | |
| 群馬県水泳連盟 | 池谷 君夫 | |
| 栃木県水泳協会 | 神山 富雄 | 田中 武男 |
| | 本田 武次 | |
| 埼玉県水泳連盟 | 大野 元美 | 伊藤 三郎 |
| 千葉県水泳連盟 | 川名 正義 | 石井辰五郎 |
| | 広崎格五郎 | 松井 正一 |
| | 川名 浩 | |
| 東京都水泳協会 | 松沢 一鶴 | 勝村 肇 |
| 神奈川県水泳連盟 | 西田 三郎 | 河野 善次 |
| | 庄川 鉄治 | |
| 山梨水泳連盟 | 石沢 羊一 | 小倉 一浩 |
| 松本水泳協会 | 小林 高志 | |
| 野尻湖游泳協会 | 萩原 忠明 | 北村源三郎 |
| | 高橋庄之助 | |
| 新潟県水泳協会 | 中田 猛 | |
| 伊豆駿河湾游泳協会 | 太田 光雄 | |
| 静岡水泳協会 | 新聞 六炳 | 宮崎 正二 |
| 浜名湾游泳協会 | 鈴木 清藏 | 寛 精一郎 |
| | 斎藤良一郎 | |
| 豊橋水泳協会 | 天野菊三郎 | 石川 充重 |

- | | | | |
|----------|-------|-------|-------|
| 愛知水泳連盟 | 清川 正二 | 鈴木 重孝 | 奥田 政勝 |
| | 志村 義久 | | |
| 富山県水泳協会 | 高田 秀男 | | |
| 石川県水泳協会 | 阿部壮次郎 | 中田 周三 | |
| 三重水泳連盟 | 松岡 千明 | | |
| 大阪水泳協会 | 木村 象雷 | | |
| 奈良県水泳連盟 | 中山 正善 | 重松 利生 | |
| | 神崎 保雄 | 永田 萬蔵 | |
| 和歌山県水泳連盟 | 池田 岩夫 | 村山 修一 | |
| 琵琶湖水泳協会 | 辻 花子 | 広岡徳太郎 | |
| 兵庫県水泳連盟 | 原 剛中 | 桑原 敏男 | |
| 岡山県水泳連盟 | 池上 猷一 | | |
| 広島県水泳連盟 | 鎌田 寿夫 | 串田 正夫 | |
| 山口県水泳連盟 | 兼重 英作 | 川上 八馬 | |
| 香川県水泳協会 | 川崎 重夫 | 遊佐 正憲 | |
| 徳島県水泳連盟 | 中山 昌生 | | |
| 福岡県水泳連盟 | 高木 恒夫 | 田口 実 | |
| 熊本県水泳協会 | 佐藤 秋生 | 丸山 茂章 | |

水連本部

- | | | |
|-------|-------|-------|
| 田畑 政治 | 藤田 明 | 小池 礼三 |
| 伊藤 謹平 | 佐々木 救 | 後藤 敬三 |
| 宮畑 虎彦 | 西本 竜三 | 沢田 武治 |
| 山崎 辰雄 | 野田 一雄 | 足立 祐次 |
| 三上 節造 | 菊田 保孝 | 渡辺寛二郎 |
| 安部輝太郎 | 内藤 徹 | 牧野 正蔵 |
| 沢海 東助 | 川田 友之 | 上野徳太郎 |
| 原 秀夫 | 勝村 保 | 時任 巖 |
| 左近允正矩 | 田口 正治 | 小泉 正延 |
| 田野 耕清 | 山賀みや子 | 西沢 礼子 |
| 山東 初子 | | |

関西支部

- | | |
|-------|-------|
| 高石 勝男 | 杉本 伝 |
| 学生部会 | |
| 西本 竜三 | 根上 博 |
| 高木 裕己 | 植月 弘次 |

委任状提出団体

宮崎県水泳連盟

欠席団体

- | | |
|---------|---------|
| 青森県水泳連盟 | 秋田県水泳連盟 |
| 山形県水泳連盟 | 岐阜県水泳連盟 |
| 福井県水泳協会 | 京都水泳協会 |
| 鳥取県水泳連盟 | 島根県水泳連盟 |
| 愛媛県水泳連盟 | 高知県水泳連盟 |

長崎県水上競技連盟 大分県水泳連盟
佐賀県水泳協会 鹿児島県水泳協会
沖縄水泳連盟

報告事項

藤田理事長，進行係となり開会。

1. 比島遠征の件 (藤田)

○村上勝芳監督，橋爪四郎 (A. I. U.)，鈴木 弘 (日大)，毛利勝一 (日大出) 3 選手。出発 2 月 27 日，フィリピン水泳選手権大会に出場。帰国 3 月 14 日。

○根上博監督，川名正義附添，鈴木高行 (勝山中)，宮下敏昭 (七浦中)，細間輝喜 (立教高)，小林義和 (同志社高) 4 少年選手。出発 3 月 20 日，イコー少年水泳大会に出場。帰国 3 月 31 日。

1. 米・豪選手招聘の件 (藤田)

○米国よりペッペ監督，コンノ，オヤカワ，ハリソン。豪州よりフィリップ監督，ヘンリックス，それぞれ日本選手権，及び大阪国際大会に出場。

1. 比島少年選手招聘の件 (藤田)

庭球と共にオビアル監督以下 エリサルデ，イルデフオンゾ，ロサダ，リム 4 選手を招聘。招聘費は津島寿一氏，並に八馬仙蔵氏の斡斜による。

1. ブラジルより招聘の件 (藤田)

田畑会長，自由形 (短) 鈴木弘 (日大)，又は後藤暢 (日大)，(長) 北村康雄 (早大) の招聘あり，なるべくこの線に沿って招聘を受けることにする。

1. 国民皆泳大会の件 (松沢)

8 月 11 日ラジオにより開会式を行う。中央会場は神宮プール。

1. 指導者講習検定の件 (松沢)

より一層の尽力を要望。

1. 強化委員会の件 (高石)

本年発足した強化委員会の最初の強化事業として，地方の実状を把握し，指導者との連絡を密にし，泳法上の指導を計るため，4 月以降左記 12ヶ所において強化講習会を開催した旨報告。

①高知 ②松山 ③熊本 ④臼杵 ⑤福岡
⑥京都 ⑦和歌山 ⑧大阪 ⑨呉 ⑩名古屋
⑪横浜 ⑫館山

特に中学生の養成，指導者の養成に重点をおき，又各地域に強化委員会を結成して欲しい旨要望。これに対し，

○千葉水連より強化の一環として，水泳教室の人員を増してもらいたい。

○基準となるべき泳法をプリントにして加盟団体に配布してもらいたい。

○会長より水泳教室は日本中学校選手権大会の復活を考慮して検討してゆきたい。

○琵琶湖水協 (辻) より強化策の一環として体育医事を研究されたい。

○藤田理事長より，将来は専門委員会を設けることになるが，現在は体協医事部に任せてある。

1. 日本高校大会の件

愛知水連より準備状況を報告，選手の宿泊は 1泊 500 円以内，水連本部よりストップ・ウォッチを持参するよう要望。

1. 同ブロック大会の件

○福岡水連より新聞社後援の可否につき質問あり。

○藤田理事長より一つの新聞社に後援せしめることは可否両面の効果があり，望ましくない。経費の点は開催地当局者，教育委員会等に水連会長より援助方の依頼状を出し，事前に予算化の措置をとってもらうようにしたい。

○優勝杯は日本高校大会のものを継承。

○東西対抗 (競泳，飛込，水球共) の優勝旗は水連に返還。

○ブロック大会より日本高校大会への申込書に記載する参考記録は長水路，短水路の別を記入すること。

1. 全国勤労者大会の件

福島水連より準備状況を報告。

宿泊料は 1泊若松 450 円，東山温泉 600 円位。ストップ・ウォッチは本部より持参のこと。

1. 国体の件 (藤田)

第 8 回大会の進捗状況を報告。第 9 回大会の会場は北海道返上のため，新候補地天理プールと若松プールのうち，若松プールは 9 月末現地視察をなし，10 月中旬理事会で決定することになる。

1. アジア大会の件 (田畑)

各種目総人員で 200 名から 230 名参加する。総費用は 6,000 万円となる。恒久的なオリンピック後援会 (仮称) を 8 月中旬に創立する。選手 1 名に 10 万円位の寄附を出身都道府県に割当てるとも考慮している。

水泳はオリンピック種目を行う。第 3 回アジア大会を日本で開催するまでにオリンピック・プールを都

心に設ける。

1. 神宮プール関係 (藤田)

来年度より全面的に日本側(水連中心の専門委員会)で管理し運営して行く。

1. F. I. N. A. 関係 (安部, 田畑)

F. I. N. A. において着順を器械的に判定する半自動的な審判機の試作案を完成した。

8月20日ネイメゲン(和)で総会があり, F. I. N. A. 理事である安部輝太郎氏が出席する。

バタフライの問題が(不明であるが)相当変わって来ているようである。

アジア大会はF. I. N. A. の制約の下に行われるから, F. I. N. A. より安部氏を比島へ同代表として推薦して貰うようにする。

29年度日本選手権に欧州より選手を招聘する。ポーター, ボゾンその他。

○F. I. N. A. の規則を加盟団体に流してもらいたい。

1. 読売スポーツ賞の件

水連は27年度最優秀選手として鈴木弘(日大)を推薦。

1. その他の件

○プール建設補助金に関する件。

○小・中学生の表彰を考えてほしい。

○水泳教室の費用を水連本部で少しみて貰いたい。

協議事項

1. 規約改正の件

規約改正案につき審議しこれを決定した。原案の外に左記3点も改正した。

○アマチュア規定を適当に入れること。

○理事長を置くことを得。という項は第16条に入れる。

○女子委員会を削除する。

なお女子委員は競泳, 水球, 飛込委員会に分けられる。

以上の線に則り条文を整理, これを成案とすることを理事会に一任。

1. オリンピック会計報告

次の通り承認。

ヘルシンキ・オリンピック水上競技 日本水泳連盟特別会計			
収入の部		支出の部	
寄附金	7,740,189.49	国外関係費	(\$18,693.75) 6,729,750.00
オリンピック寄附金	6,428,824.69	藤田 扱	(\$ 9,387.93) 3,379,654.80
野村氏より	(\$ 1,000.00) 360,000.00	原 扱	(\$ 2,939.00) 1,058,040.00
和田氏より	(\$ 2,504.34) 901,440.00	安部 扱	(\$ 6,166.82) 2,220,055.20
ペルーより	(\$ 138.68) 49,924.80	遊佐 扱	(\$ 200.00) 72,000.00
交付金	6,469,533.00	国内関係費	5,694,335.50
体協よりの交付金	(\$16,284.80) 5,862,528.00	選手, 役員個人渡金	(\$ 3,918.00) 1,410,480.00
出発準備金	362,280.00	西鉄特派員関係費	(\$ 410.00) 147,463.00
西鉄関係査証料	244,725.00	西日本鉄道へ返金	(\$ 972.76) 347,600.00
受入金	692,128.80	産業経済新聞へ返金	(\$ 715.00) 250,000.00
イタリア水連より受入	(\$ 122.58) 44,128.80	雑 費	843,396.59
イタリア	(\$ 400.00) 144,000.00	計	15,423,025.09
共同通信 渡辺氏より	(\$ 100.00) 36,000.00	差引残金	(\$ 5,767.47) 2,076,289.20
松本滝藏氏より	(\$ 100.00) 36,000.00	計	17,499,314.29
フランス水連より	(\$ 1,200.00) 432,000.00		
借入金	597,463.00		
産業経済新聞社より	(\$ 715.00) 250,000.00		
西鉄より	(\$ 972.76) 347,463.00		
手持金	2,000,000.00		
水連通常会計より	2,000,000.00		
計	17,499,314.29		

臨時代議員会議事録

期 日 昭和28年9月22日

場 所 高知市 自治会館

出席者

北海道水泳連盟	岡島 政悦	根上 博
山形県水泳連盟	五十嵐伊市郎	国井 薫
岩手県水泳協会	瀬川 政雄	
宮城県水泳連盟	針生 三郎	
福島県水泳連盟	橋 登	斎藤重千代
群馬県水泳連盟	池谷 君夫	津田 貞
茨城県水泳連盟	中山 利生	多治見祐孝
埼玉県水泳連盟	中島 照光	大杉 正臣
東京都水泳協会	松沢 一鶴	勝村 肇
千葉県水泳連盟	川名 浩	広崎格五郎
神奈川県水泳連盟	木島小弥太	庄川 鉄治
山梨水泳連盟	石沢 羊一	長沢 松雄
	小倉 一浩	
松本水泳協会	小林 高志	
野尻湖游泳協会	西沢 清	中村 理一
新潟県水泳協会	奥村 健治	
伊豆駿河湾游泳協会	井原 一夫	
静岡水泳協会	宮崎 正二	
浜名湾游泳協会	牧野 敏一	寛 精一郎
	鈴木 篤良	
豊橋水泳協会	石川 充重	
愛知水泳連盟	児玉 清雄	社本 義信
	加藤 茂	鈴木 重孝
	志村 義久	
岐阜県水泳連盟	加藤 雄三	山田 清一
石川県水泳協会	阿部壮次郎	須川 忠信
	柴原 恒雄	
福井県水泳連盟	石丸 千里	
富山県水泳協会	須垣 久作	高田 秀男
琵琶湖水泳協会	山本 光春	小泉 豊祥
京都水泳協会	小谷 重雄	
大阪水泳協会	小柳 富男	
奈良県水泳連盟	重松 利生	神崎 保雄
	永田 萬蔵	
和歌山県水泳連盟	小山 幸雄	
兵庫県水泳連盟	桑原 敏男	
岡山県水泳連盟	太田美津男	

広島県水泳連盟	石本 松人	
島根県水泳連盟	石川 尚男	
鳥取県水泳連盟	三橋 孝行	山家 延行
山口県水泳連盟	中田 清一	
愛媛県水泳連盟	鶴田 義行	村上 恒夫
	深谷 俊明	
香川県水泳協会	遊佐 正憲	
徳島県水泳連盟	中山 健介	
高知県水泳連盟	青山 茂	大西 正男
	高沢 寿	
福岡県水泳連盟	森原 幸彦	田口 実
	松本 隆重	
大分県水泳連盟	松下 忠	
佐賀県水泳連盟	古賀 竹一	
長崎県水上競技連盟	石田 友一	吉村 健三
宮崎県水泳連盟	鶴野 源吾	日野 光善
熊本県水泳協会	大井 健司	飯田 寿平
鹿児島県水泳協会	二間瀬国郎	飯山 涉

水連本部

田畑 政治	藤田 明	小池 礼三
伊藤 謹平	原 秀夫	牧野 正蔵
杉本 伝		

学生部会

根上 博 志村 義久

委任状提出団体

秋田県水泳連盟 三重水泳連盟

欠席団体

青森県水泳連盟 栃木県水泳協会
沖縄水泳連盟

議 事

○田畑会長挨拶。

○アジア大会準備状況報告。

○水泳調査表の説明。

これは日本中学校選手権大会開催を申請するための資料にする。

○昭和29年度競技日程の討議。

藤田理事長の説明の後、出席者多数より希望意見があったが、原則的には理事会の案を承認。次回定例代議員会において正式決定を行う。

予定協議事項を修了したる後、各出席者より下記の如く希望意見が出された。

○奈良水連 高校大会の会期を3日間とし期日を一

週間繰上げる。これは前日行われた高体連の会合で多数意見として出たもので、同大会が高校の授業開始後行われる（徳島県、群馬県）、及び同授業開始に接近して開催されるため支障が多い旨に対し、

藤田理事長より会期延長、期日繰上げの件は理事会において検討し、次回定例代議員会において決定する旨提案し承認。

○岩手水連 4月4日に行う予定の第2回アジア大会派遣選手選考競技会を中央一本でまとめず、地方においても開催できるようにしては如何。

藤田理事長より理事会において検討し、次回定例代議員会において決定する旨提案し承認。

○第2回アジア大会参加のための強化合宿は行わないで、練習プールの斡旋をする程度に止めたい。

○国民皆泳大会開催方法に関して本年度は種々難点があったが、欠点を是正しプールにこだわらず行ってもらいたい。

○来年度の主要競技会の開催希望地方。

勤労者大会 高知

厚生省その他共催団体があるため、これらと連絡相談後、次回定例代議員会にて決定したい。

高校大会

栃木水連が開催希望の様様につき水連より問合せる。

高校ブロック大会

北海道 未定

東北 未定

関東 水戸 新設プール

中部 岐阜 県営プール

近畿 未定

中国 呉 市営プール

四国 徳島 城南高校プール

九州 鹿児島 伊集院高校プール

○千葉水連 女子の指導方法を検討明示してもらいたい。

○愛知水連 男女共学になったため、女子選手が出ていくようになった。

○和歌山水連 中学生競技会のワクを早くはずしてもらいたい。

○大分水連 高校大会を8月10日以前に行ってもらいたい。

藤田理事長 これは地方予選の関係、及び日本選手権大会との関連等を考えて無理のようである。

○高校大会の期日をフィックスして欲しい。

○奈良・福岡水連 高校地方予選会の出場制限を1種目3名までに増やしてもらいたい。

藤田理事長 競技会の運営に支障をきたさないようであり、差し支えないと思うが、理事会で研究してみる。

○女子の普及のために;女子水着を斡旋してもらいたい。

藤田理事長 水連としては前回の例もあり、積極的に斡旋の意志はない。業者と連絡はとっているが、うまく行っていない。

○山梨水連 国体の教員種目を1種目2名に増やしてもらいたい。

藤田理事長 これは国体が人員制限の方向にあり、また他種目との関連もあり無理かと思われるが、理事会で研究する。

○来年度国体会場に関し発言があったが、本臨時代議員会の議題外であるので遠慮してもらった。

なお会長、及び藤田理事長より今後は国体開催地は前年、または前々年に勤労者大会、または高校大会のいづれかを行うことを原則にしたい。来年度国体会場の決定は理事会に一任することを再確認して議事を終了。

“もう安心”

“用意ッ” “ズドン” と鳴ればホットする程ピストルでは悩まされた水連、ピストル入手に狂奔することギャング以上。海外と往来する度に手を尽くしたお蔭で、昨秋志村監督の帰国で漸く“もう安心”の態勢でまづはメデタシ。

“男を下げた叫”

スタート用ピストル購入では人一倍苦労しながら男を下げた人がいる。オランダで小型の立派なものと数年分位の空砲を土産にスコブル得意で帰国したところ、待ちかまえていたスターター連喜ぶかと思いのほか、トタンにいぢりこわしてしまい“こんなオモチャ使えるかい”にサッキの得意はドコヘやら。

理 事 会 議 事 録 抜 萃

(9月22日臨時代議員会以後)

◎昭和29年度主要競技会日程の件

昭和28年9月22日の臨時代議員会で内定を見た日程案のうち、全国勤労者大会を8月28、29日に、日本高校大会を8月20、21、22日に変更、これを29年1月の定例代議員会に提出することに決定。

(日程は本号表紙裏参照)

◎競技会要項の件

9月22日の臨時代議員会に於て理事会で案を作り1月の定例代議員会に提出することになっていた競技会要項の変更案を次の通り決定。

(イ)日本選手権大会出場者シードに関する件

○インター・カレッジ登録選手は特例を認め、標準記録を基準として学生部会よりの推薦を認める。

○加盟団体予選会はその大会で標準記録を突破した者が規定(Aクラス団体6名、Bクラス団体3名)以上あった場合はその数だけ推薦を認める。

○標準記録は次の通り

		男 子	
		50米プール	25米プール
50米自由形	—	—	—
100 〃	1:01.0	1:00.0	
200 〃	2:17.0	2:16.0	
400 〃	4:55.0	4:50.0	
1500 〃	20:00.0	19:40.0	
50米背 泳	33.0	32.4	
100 〃	1:13.0	1:12.0	
100米平 泳	1:18.0	1:16.0	
200 〃	2:50.0	2:47.0	
		女 子	
50米自由形	35.0	34.4	
100 〃	1:17.0	1:16.0	
200 〃	2:55.0	2:53.0	
400 〃	6:15.0	6:10.0	

		50米プール	25米プール
50米背 泳	41.0	40.4	
100 〃	1:30.0	1:29.0	
100米平 泳	1:37.0	1:36.0	
200 〃	3:25.0	3:23.0	

(ロ)日本高校大会の件

○大会開催期間を3日間とする。

○加盟団体予選に1校1種目3名申込(現在2名)を認める。

(ハ)全国勤労者大会

○種目を次の通り改める

男 子

50自, 100自, 200自, 400自, 50背, 100背
100平, 200平, 200リレー, 300メドレー

30才以上

50自, 100自, 100背, 200平

40才以上

50自, 50背, 100平

女 子

50自, 100自, 200自, 50背, 100背, 100平
200平, 200リレー, 300メドレー

(ニ)国体水泳種目の件

教員府県対抗出場人員を1種目2名(現在1名)に増加して欲しいとの申込があったが、これはその必要を認めず従来通りとする。

◎学徒スポーツ審議会の件

9月22日岸体育会館で開催、本連盟より会長、理事長、専務理事以下数名出席。

日本水泳連盟より提出の水泳インター・ミドル大会開催要求の件が上程され、文部省側と日本水連側と種々活潑な応酬があった。開催要求が通るまでには至らなかったが、日本水連より詳細な資料の提出によって出席者全員に水泳の特殊性、即ち(イ)水泳は20才が統計上、体力的にも実力的にも頂上であるから、少年時代より練習と刺戟とを与えなければ世界的優秀泳者を出すことはむづかしいこと。

(ロ)水泳は他の競技と異って少年時代より競技的練

習をしても健康的に何等差し支えないこと。が確認された。但し文部省側よりの発言で中学校は義務教育であり、全体の体育行政の面から水泳のみ全国大会を行うことが難点と思われるので、中学校長会議に諮って改めて協議することになった。

尙中学生の日本選手権水上競技大会への参加は文部省（佐々木事務官）側に諒承された。

この問題に関し本理事会は万一インター・ミドル大会が開催できない場合は別の方途（水泳教室実施方法の研究等）を講じ強化を期することになった。

◎アジア大会に関する件

(イ)アジア大会水上競技は5月5日より8日までマニラに於て開催される。

(ロ)日本代表候補選手を別掲（本誌89頁参照）の通り決定。

(ハ)1月20日頃から東大プールを温めて練習の便に供する。石炭約50トン調達すること。

(ニ)日本最終予選会は4月10、11日東大プールに於て開き、代表選手を11日競技会終了後選考発表する。

(ホ)アジア大会開会式にはなるべく全員出席する。

(ヘ)水泳場に照明装置があれば夜間開催を申入れする。

◎第9回国体会場決定の件

代議員会に於て理事会一任となっている第9回国体水泳会場決定の件は10月16日の理事会に於て次の通り決定した。（当日の議事録）

(イ)候補地プール施設のこと。

○若松市プール 競泳50米公認、飛込プールは国体会場に指定次第新設する。既に予算処置完了済み。水球プールは郡山市プール。（50米）

○天理プール 競泳50米公認、飛込プール既設水球プールは郡山高校プール（公認50米）。

(ロ)候補地プール視察報告（松沢）

奈良天理プールは気温、水温に懸念がないが、若松市プールは寒冷の地なので9月16、17日、松沢、伊丹両理事が視察をした。当日は快晴で気温、水温とも大体良好であったが、さきに提出された同地の気象統計報告によれば例年の平均は宇都宮と同程度なので大会開催が不可能ではないが、もし降雨の場合等は相当寒く4日間

に亙る水泳大会に適しているとはいい難い旨報告。

(ハ)常務理事会の意見（小池）

10月1日の常務理事会に於て若松市プールに於ての開催可否を数時間に亙り検討したのであるが、結局、東北水泳の振興の点と前々回大会を逸している点で情に於ては若松市に於て開催したいが、9月末の気候、水温、気温の点、競技会運営の点、宿舍、交通の点に於て奈良が優れているのみならず、東北開拓よりも新進が続出しつつある奈良に於て開催して刺戟を与えた方が次のオリンピック大会により有利である等の理由で、全員一致天理プール開催支持の意見であった旨報告。

瀬川理事より

○若松市開催を希望する。

○一応宇都宮に於ても成果を挙げているのに若松開催が不可能という筈がない。

○噂によると既に高知の国体の時、天理開催と決定し、天理と諒解がついているとのことだが事実か？

○天理プールは天理教の所有と思うが、噂によると水連は何か天理教と関係があるさうだが……

○選手は若松開催を希望している。

○北海道に内定した際7月末開催にしたが、今度変更はできないか。

田畑会長

○若松市で開催できないということは勿論ない、今日これからのいろいろ検討して貰う。但し水泳全般の面から検討してもらいたい。

○国体の際はまだ天理か、若松か決っていないので発表する筈がない。

○水連と天理教と何か結びつきがあるかの如き口吻は遺憾である。水連は水泳普及、及び発達と強化のためにやっているのであって、宗教的色彩はない。

○選手は必ずしも若松開催を希望しているとは限らない。奈良で開催を希望している選手もあるかも知れない。

○期日を7月末にできるかどうか、今ここでもう一度研究して見よう。

期日の点を約30分間研究討議したが、1年間のスケジュールが内定していること、来年度日本選手権等に外国選手招聘の話しが進行中で、今日にな

ると期日を変えられない等種々な困難があり、変更は不可能との結論に達した。

梅田理事

国体は水泳のお祭りの色彩が強いので、先程説明の常務理事会の意見のようにオリンピック大会に結びつけて考える必要はないのではないかと思う。又瀬川理事の地域の利益代表のような発言は友好団体としての水連の理事らしくないので慎しむべきだと思ふ。

瀬川理事

オリンピック大会のため奈良で開催するのならメルボルン大会には必ず優勝して貰いたいものだ。優勝する自信があるのか。……

田畑、藤田、小池

勿論、オリンピック大会に勝たんがために我々は努力しているのだ。

小池専務理事

いろいろと意見も出尽したようですから、採択します。

採択の結果、瀬川理事を除く全員40名奈良開催に賛成。天理プール開催と決定。

田畑会長

最後に私は責任者として福島県の方々にお詫び申上げたいというのは、福島県、若松市、福島水連の方々の熱心と情に私達が押されて決定が延び延びになったことで、そのため御迷惑を掛け申訳ないと思っている。福島県の方々はその立場もあろうし、誠にお気の毒に堪えないが、何卒水泳全般の面から考えて御諒承を得たいと思っている。以上

◎外国選手招聘に関する件

日本選手権大会、大阪国際大会に外国選手を招聘するためアメリカ、デンマーク、フランスと交渉中であつたが、12月17日の理事会で交渉の結果を次の通り報告があつた。

○アメリカ 全米選手権大会の優勝者、自由形短1名、長1名、計2名派遣応諾。

○デンマーク グレイヤー（平泳世界記録保持者）及びマネジャーとしてジャコブ・ジャーデン（飛込）計2名派遣応諾。

○濠洲 ヘンリックス、チャップマン、及びマネジャー、計3名は他の国との交渉経過を見て招聘する。

○フランス ボゾン及びジャーを交渉したとこ

ろ、8月末行われる欧州選手権の練習のため派遣できない旨申送って来たので重ねて交渉中。

◎各国より日本選手招聘の件

○ブラジル

ブラジル、サンパーロ州体育局長バジリャ少佐よりサンパーロ州400年祭水泳大会に田畑会長自由形短の鈴木、後藤のうち1名、長距離北村の計3名招聘を受けたが、これは世界各国より優秀選手がこの大会に参加することが判つたので、本年度の第1人者たる鈴木弘（日大）、山下勝次（早大）の両選手、田畑会長は国体、及びアジア大会参加準備のため都合が悪いので、志村義久氏を監督として派遣することに決定、10月17日より大栄館に合宿、Y.M.C.A.で練習し、10月20日出発、12月1日無事帰国した。

（成績は93頁参照）

○フィリッピン

フィリッピン体育協会長より1954年1月7日より4日間マニラに於て開かれる比島選手権大会に招聘を受け次の諸選手を派遣と決定。

監督 根上 博

選手 谷 訥（早大） 浅野 満（早大）
新子富子（天理大） 青木政代（伊都高）
森前みどり（伊都高）

出発 12月29日 帰国 1月12日（成績94頁）

○ハワイ

ハワイのオリンピック募金委員会（ドクター三宅、佐川コーチが主体）より自由形短2名、長2名、背泳1名、平泳1名、監督1名、今夏ハワイに招聘したい旨書面があつた。理事会としては「ハワイA.A.U.及びアメリカA.A.U.本部の許可を得た上で改めて申出を願いたい。当方としては6月20日より7月10日位までのうち2週間程度ならば派遣の用意がある」旨返事を出した。

選手選考方法は返事があってから決めることとなった。

◎水球ルールの件

水球は28年度はF.I.N.A.の通牒に基いて暫定的に試みの水球規則（所謂4米ルール）で行つてきたが、最近に至つて現行規則（所謂2米ルール）を1954年9月6日まで変更しないことが判つたので、来年はアジア大会も2米ルールで行う関係もあり、明年は2米ルールで実施することに決定し

た。

◎インター・ハイ高体連共催申入れの件

日本高校大会は水連の基本的な一大事業であり、今まで一度も共催としたことはない。

高体連は体協でも審議機関として認めており、高体連水泳部会の組織、スタッフ、経済的協力の面が強化整備されるまで、しばらく共催を見送り、今まで通り協賛に願うことにする。但しブロック大会、加盟団体単位の大会は経済的な面もあるろうし、今まで既に共催している所もあるので共催は差し支えないことに決定。

◎神宮プール運営に関する件

10月9日神宮プール運営委員会を開いて29年度神宮プール運営方針を次の通り決定した。

○28年度までは米軍が使用していたが、29年度より神宮プール運営委員会が運営し、一般公開をしてやって行く。

○フィルター、その他米軍が設置したもので不必要なものは撤去する。

○照明、及び報道関係席改善を研究する。

◎プール公認に関する件

○公認測量者を加盟団体の推薦を得て委嘱する。

○スチール・テープを新調することになり、50米及び25米を購入。

○元公認プールは公認当時と全然変更ないと測定委員会が確認した場合は測量せず再公認とすることができる。

○新公認プール

37号	岡山 総合 運動場 競泳池	50米
38号	栗林公園プール	50米
130号	金沢市立工業高校プール	25米

◎審判測定器に関する件

1コースに3基備えること。押ボタンの改良。機械のストップ個所がより以上明瞭にわかるようにする。タイマーが同時にボタンを押すことに改める。

◎東北水上競技大会の件

3月下旬志戸平温泉に於て開催される東北水上大会を最終予選会の出場選手選考会（記録による）として認めてほしいと瀬川理事より申出があり、協議の結果これは認めることとし、他の地域に於ても同様予選会を開く意志があればこれを認める旨、代議員会に諮る。

◎普及部28年度事業の件（松沢部長）

○指導者講習会の開催。（文部省と共催）

○全国検定試験委員協議会の開催。

○水泳指導者要項の作成。

○泳法研究会の拡大。

○皆泳大会の開催。

○長期講習会の開催希望等。

◎国際スポーツ学生連盟加盟の件（11月12日）

昨夏西独ドルトムントに於ける国際スポーツ週間に参加した日本の陸上競技、蹴球、フェンシングの団体で、取敢えず日本学生スポーツ協議会（仮称）を結成して国際学生スポーツ連盟に仮加盟したが、帰国後当事者の川崎秀二、大島鎌吉氏等が推進して、正式に日本を代表する学生競技連合体の結成に乗り出した。またこれを機会に、大学を単位とする学生競技連盟を組織せんとする動きもある。

水連（学生部会を含む）としては従来の主張通り水連が水泳に関する唯一の統轄団体であることを再確認し、中学校、高校、大学、社会人等凡ゆる分野を通じて、水連一本に纏って行くことによって、我国水泳の向上、発展を期すべきであるとして、学生部門の他団体への参加は不必要に水泳勢力を分割することとなるのを恐れ、上記の動向にはあくまで圏外に立つべきであることを申し合せた。

国際学生スポーツ連盟への参加ルートとしては、体協内に参加種目の学生部門を代表するものの協議会を設置すれば足りるとし、別に学生のみ統轄団体を結成しない方針で協力することとした。又経済的に余力を持たぬ現在としては、水連は対外的にはオリンピック、アジア大会、日米対抗等に主力を注ぎ、将来財政面の余力を持ち、学業上にも、又競技スケジュールにも支障を来たさない場合に限り、参加体制を整えることを確認した。なお本問題に関しては、田畑会長のほか J. O. C. 委員たる藤田理事長が当分の間体協に於ける会議に出席し、本件の処理に当ることを併せて諒承した。

~ ~ ~
~ ~ ~
~ ~ ~

第2回アジア競技大会水上競技候補選手

第1回候補選手選考会を8月13日丸ビル水連事務所にて開催、日本選手権、早慶対抗、3大学対抗等の成績を勘案して34名(◎印)の候補選手を決定、更に10月8日同所にて日本学生、日本高校、国体、全国勤労者大会等の成績により次の82名を追加、累計116名を決定した。

競 泳 (男子)

100 米 自由形 (9名)

◎鈴木 弘(日 大)	◎古賀 学(伝習館高)
後藤 暢(日 大)	谷 訥(早 大)
谷川禎次郎(日 大)	浜口 喜博(日本鋼管)
田中 武(立 大)	田中 純夫(早 大)
堂崎 治好(明 大)	

200 米 自由形 (14名)

◎谷 訥(早 大)	◎鈴木 弘(日 大)
◎細間 輝喜(立教高)	山下 勝次(早 大)
杉原 満弘(早 大)	堂崎 治好(明 大)
吉村 健三(明 大)	西 拡(明 大)
田中 寧夫(早 大)	谷川禎次郎(日 大)
浅野 満(早 大)	田中 純夫(早 大)
高橋 勝(慶 大)	古賀 学(伝習館高)

400 米 自由形 (14名)

◎山下 勝次(早 大)	浅野 満(早 大)
◎細間 輝喜(立教高)	田中 寧夫(早 大)
杉原 満弘(早 大)	吉村 健三(明 大)
足立 達(明 大)	庄司 嘉宏(明 大)
横田 宣明(早 大)	金谷 雅弘(田辺高)
北村 康雄(早 大)	青木 行義(日 大)
石橋 明(日 大)	高橋 勝(慶 大)

1500 米 自由形 (16名)

◎山下 勝次(早 大)	◎足立 達(明 大)
青木 行義(日 大)	石橋 明(日 大)
北村 康雄(早 大)	浅野 満(早 大)
庄司 嘉宏(明 大)	横田 宣明(早 大)
金谷 雅弘(田辺高)	新宅 七郎(五条高)
安岡 信雄(日 大)	池尻 月男(山鹿高)
長島 務(豊山高)	野々下耕司(鶴城高)
野田 芳郎(高知商高)	久保田 認(白杵高)

100 米 背 泳 (10名)

◎梶浦 昇(早 大)	長谷 景治(都島工高)
芦田 拓郎(早 大)	倉橋 範彦(日 大)
大久保憲二(立 大)	山下 栄隆(浜北高)
西野 恭正(日大OB)	宮田 春雄(日 大)
黒佐 清(早 大)	中島 雅好(早 大)

200 米 平 泳 (15名)

◎田中 守(早 大)	◎梶川 孝義(早工高)
清池 健藏(中 大)	古川 勝(橋本高)
胡麻鶴 壽(中 大)	板井 道生(日 大)
水貝 利重(早 大)	大谷 勝(法政二高)
戸上 雅雄(日 大)	藤家 衛(立 大)
広 達夫(中 大)	平山 綽保(日 大)
中沢 潔(早 大)	安達 登利(日 大)
仙葉 元昭(成蹊高)	

競 泳 (女子)

100 米 自由形 (8名)

◎新子 富子(天理大)	◎山下 貞子(東洋レ)
宮部シズエ(五条高)	長田 久子(天理大)
新子 節子(小川ポンプ)	田村美佐子(天理大)
小牧 順子(宮之城高)	坂口 文子(天理大)

400 米 自由形 (5名)

◎田村美佐子(天理大)	宮崎 亮子(五条高)
山下 貞子(東洋レ)	佐藤 嬉子(五条高)
前 佳子(伊都高)	

100 米 背 泳 (8名)

◎森前みどり(伊都高)	新井 里子(信愛高)
定森 桂子(美作高)	多田 悦子(天理大)
野口 幸子(東洋レ)	片岡 澄子(天理大)
平尾 静子(横学園)	永瀬美代子(天理大)

200 米 平 泳 (8名)

◎青木 政代(伊都高)	坂本 和子(五条高)
井豆 信子(五条高)	中本 英子(五条高)
中田 澄子(土佐女高)	矢野 迪子(佐敷中)
小田切紀子(筑紫高)	浦畑チズ子(伊都高)

飛 込 (男子)

◎毛利 勝一(日大OB) ◎馬場 豊(早 大)
 森沢 厚(高見沢電機) 馬淵 良(日 大)
 清水 磊三(日 大) 坂本 章八(日 大)
 鈴木 明(慶 大) 古山 三男(日 大)
 坂元 信夫(早 大) 山田慶二郎(今 宮 高)
 野上 務(攻玉社高) 岩橋 弥生(生 野 高)

飛 込 (女子)

◎宮本まさみ(天 理 大) 津谷鹿乃子(松蔭女学院)
 弘世 初子(甲 南 高) 坂口 修子(関西飛ク)

水 球

◎松藤 孝義(日 大) ◎植中 耕一(慶大OB)
 ◎古賀伸一郎(早 大) ◎谷脇 登(日 大)
 ◎田代 二生(早 大) ◎田島 直季(慶大OB)
 ◎荒川 八郎(慶 大) ◎田代 晃一(早 大)
 ◎市毛 弘文(慶 大) ◎中島 勝美(日 大)
 ◎宮部 修(日 大) ◎神田 明善(慶大OB)
 ◎安藤 実(早大OB) ◎広重 俊一(日 大)
 ◎佐藤 孝尚(慶 大) ◎菅原 平(日 大)
 ◎藤野 孝一(慶 大)

このうち飛込のみは来春予選会開催が困難なため10月3
 ・4日神宮プールで候補選手を集め最終予選会を開催した
 結果、次の諸選手が派遣選手と決定した。

男 子 (3名)

毛利 勝一(日大OB) 馬淵 良(日 大)
 馬場 豊(早 大)
 もし4名派遣できる場合は
 森沢 厚(高見沢電機)を加える。

女 子 (3名)

坂口 修子(関西飛ク) 津谷鹿乃子(松 蔭 高)
 宮本まさみ(天 理 大)

備考 競泳候補選手はその種目のみ最終予選会に直接出場
 できる。最終予選会は29年4月11・12の両日東大プ
 ールに於て開催し、派遣選手を決定する。

第2回アジア大会
 水上競技プログラム

5 月 1 日

午後4時 開 会 式 陸上競技場

5 月 5 日

〃 5時 女子 飛板飛込 決勝 リザール水泳場
 〃 6〃 〃 400米自由形 予選 〃
 〃 6時20分 〃 200米平 泳 〃 〃
 〃 6時40分 〃 100米自由形 〃 〃
 〃 7時 〃 100米背 泳 〃 〃
 〃 7時15分 〃 100米バタフライ 決勝 〃
 〃 7時30分 水 球 〃

5 月 6 日

〃 5時 男子 飛板飛込 決勝 〃
 〃 6時20分 〃 1500米自由形 〃 〃
 〃 7時 〃 200米平 泳 予選 〃
 〃 7時20分 〃 100米自由形 〃 〃
 〃 7時40分 〃 100米背 泳 〃 〃
 〃 8時 〃 200米バタフライ 決勝 〃
 〃 8時15分 〃 400米自由形 予選 〃

5 月 7 日

〃 5時 女子 400米自由形 決勝 〃
 〃 5時15分 〃 200米平 泳 〃 〃
 〃 5時30分 〃 100米自由形 〃 〃
 〃 5時45分 〃 100米背 泳 〃 〃
 〃 6時 〃 400米リレー 〃 〃
 〃 6時20分 男子 水 球 予選 〃

5 月 8 日

〃 5時 男子 200米平 泳 決勝 〃
 〃 5時15分 〃 100米自由形 〃 〃
 〃 5時30分 〃 100米背 泳 〃 〃
 〃 5時45分 〃 400米自由形 〃 〃
 〃 6時 〃 800米リレー 〃 〃
 〃 6時20分 〃 高 飛 込 〃 〃
 〃 7時 水 球 〃 〃

5 月 9 日

〃 5時 閉 会 式 陸上競技場

“昨年度を思い起すまゝ”

辻 富 士 夫

6月の早慶、三大学の成績では飛び抜けた選手もいなかった。競技会の予想を書く場合、特に個人競技では傑出した選手が出そうにないと興がのらないものである。日本選手権を10日余の後にひかえたある日、水連の理事会の取材に出てみると田畑会長が突然、「記者諸君、早大の山下が1500米に19分を切っているそうだ。一つ理事諸君から各校選手の調子を話してくれ給え。」と自校選手の調子を余りあげすけにしたがらない理事達を促がした。選手権の威勢づけもあったが、一つは嬉しかったのだろう。

どれだけ19分を割ったかと聞いてみると、3秒である。それではびっくりすることはない。

昨年北村、青木が19分を7、8秒も切ったが、その後はパツとしない例もある。山下は昨年浜松北高時代に同校プールの練習で18分58秒程度を出しながら、高校選手権は19分5秒に終わっている。早慶戦は19分14秒8とホープとしては可もなく不可もない出来だが、早くから素質を認められた選手で、まあ早大の練習を重点にと浜松北高プールの合宿に出かけてみた。いって見て驚いた。

7月18日800米を9分43秒で泳ぎ、翌朝浜松予選で、1500米を18分50秒4の記録を出した。田畑会長が来ていてムキになって声援していたが、9分43秒というのが馬鹿によい。それから考えても、その翌日出した18分50秒台は額面以上のものではあるまいかという気がチラッとした。

選手の競技会での力を予想する場合、練習時の方が、それをちよっぴり上廻るもの、あるいは少し悪いという風に、選手のその時のコンディション、個性、競技歴、泳ぎといったものから推しはかるのだが、予想のタイムが外れる幅はまず知っている。これをケタ外れに狂わしたのは古橋だ。但し気配だけは感じとれないこともない。この時の山下に実はそういう気配を感じたのである。

そこで結論として紺野は18分44秒と一応目安を置いてみた。これなら山下の有効射程の内にあると考えてよいと予想した。結果は見えていないだけに予測しにくい紺野の方がほぼ当り、山下は見当外れの18分27秒4という大記録で文句なく勝ってしまった。

1100から山下は紺野を引離しはじめたのであるが、苦しそうな紺野の泳ぎ、快調の山下の泳ぎからいって、実際は500米あたりで決っていた勝負であった。予想を出し抜く程度強い点で第二の古橋にした。肝心のオリンピックで力がすばまない点を第二の古橋にしたくないというもっともな心配を関係者はしている。幸いメルボルンの時はまだ練習に恵まれる学生時代だ。大事をとりすぎて下手な消極策をとらず、やはり伸ばすだけ伸ばさしてみたい。

平泳はイコール・オーソドックスで、バタフライは全く別の種目になり、オリンピックでは平泳を行うことになったので、日本は今年からこの平泳だけをやり出したわけだが、田中守（早大）がバタフライの特長を利用し腕を掻き切るいわゆるイルデフォンゾ式泳法に成功した影響もあって、これを真似るものが随分出た。水泳の主要国で平泳しかやらないのは日本だけだが、田中が2分42秒8の世界でも第一流の記録が出せたのはこの政策のお蔭であった。

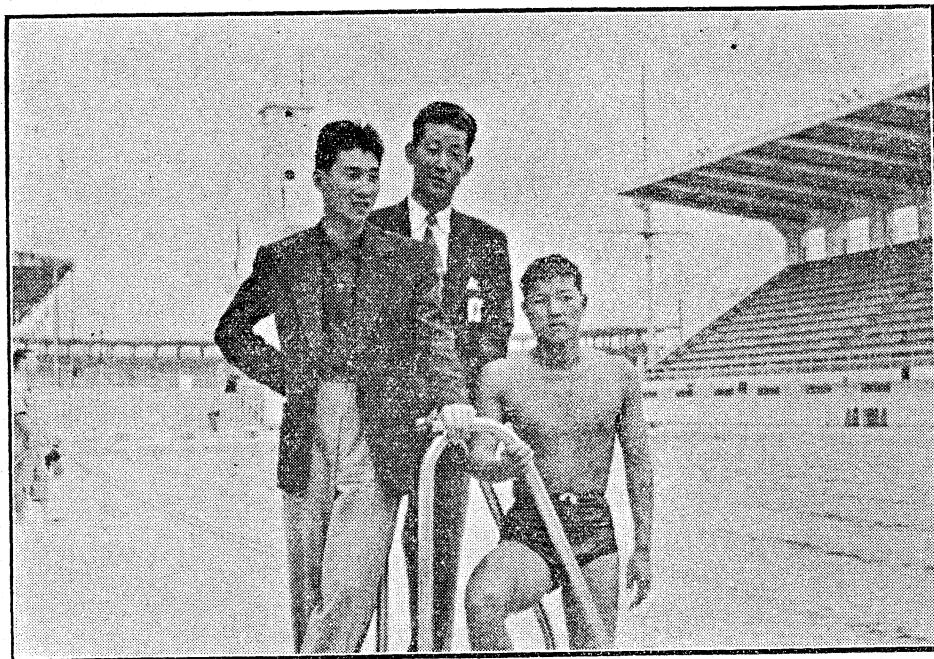
面白いと思ったのは背泳の新人梶浦昇（早大）が早慶、日本選手権、学生選手権とその都度全力を傾けながら切れなかった1分9秒を、特別の準備もしない国体の300米メドレーのトップを泳いでひよこり切り1分8秒4の戦後最高の好記録を出したことだ。シーズンの終りになって力がついたといえないこともないが、しかしこう考えてはどうだろう。

短距離は短い距離に最高のスピードを出す特別の技術を要する。国体までの大会ではかたくなって、いたづらに力むことが泳ぎのコツを殺していた。気楽にノビノビと泳げたのがかえって彼のもつ泳ぎの真価を発揮させたのではないか。

短距離の第一人者鈴木弘（日大）が選手権でヘンリックスに敗れたばかりでなく伝習館校の古賀学にも水をあけられ59秒しか出せなかったのは意外の感を与えた。それでもインター・カレッジでは57分8を出したが、そのときの200米は昨年57秒4を出したときの200米2分6秒8に比べ2分12秒6のみじめな落調振りだ。一方古賀も選手権でヘンリックスに次ぐ2着を占め58秒2を記録しながら、200米のベストは2分14秒6とふに落ちぬ程おそい。2人は全く似たケースだがその原因は別々だ。鈴木は明らかに体の調子が整っていないために100米の力が200米に出せなかったのだが、古賀は100米の泳ぎを200米に及ぼすコツが判らず、200米となると泳ぎが変ってしまっているためだと思う。

“ブラジル遠征記”

志 村 義 久



工費2億5000万円をかけたリオ・デ・ジャネーロのバスコ・クラブのプールにて左より鈴木選手、志村監督、山下選手。

伯国サンパッローに於て開催せられた国際水上競技大会出場選手派遣については、伯国よりの指名選手が本年予想外不振のため一時中止の話までも出たが、結局短、長距離選手各1名で鈴木、山下両選手とし、団長には田畑会長と決定をみたが、会長はアジア大会準備のため旅行不可能となり、不肖私が監督として派遣せられることとなり、日程を早め10月20日22時水連関係者多数の見送りを受けて一同至極元気に羽田空港を出発した。

サンパッローまでの旅行日程約3週間もハワイにては佐川コーチに、ロッサンゼルスで和田氏に、ニューヨークでは清水、キップス、カーレン諸氏に迎えられ、何一つ不自由ない旅行を続けたにもかかわらず、両選手共相当に疲労した様子で、特に山下選手は飛行機に酔い全く食欲も減退し、日程を予定通り遂行することに相当の無理も予想されたが、24日ニューヨーク国際飛行場より一途リオ・デ・ジャネーロに向った。

25日10時無事リオ・デ・ジャネーロ国際飛行場に到着、日本大使館員の出迎えを得て入国通関の諸手續も完了、大使館邸にて君塚大使の心からなる歓迎を受け14時まで休息し、往路最後の飛行機に両選手

を励まして乗込み、予定通り16時半招聘者パデリヤ少佐、アテヤビスタ会々員の皆々様や、多数の邦人に出迎えられてサンパッロー一流のロード・ホテルに投宿した。

極度の疲労のため一時出場すらあやぶまれた山下選手、鈴木選手が元気になり、後述の如き成績をおさめ得たのには両選手の努力は申すに及ばず、アテヤビスタ会々長、鈴木氏、1カ月間終日御世話願った吉田光雄氏外皆々様と、野崎一家（旧姓江島歌子さん）の親身も及ばぬ御世話下さいました賜と厚く感謝致しております。

外国遠征と選手のあり方や、伯国の運動クラブについて、又外国に於けるアマチュアの考え方等についても述べ

たいが、頁の関係上省略する。大会全般を通じて一番印象的であったのは、一般に不振であった北半球選手中、元気なフランスの背泳選手ボゾンの泳法であった。同選手の泳ぎ全体の姿からいえば何ら日本選手と相違点は見受けられないが、完全に伸びた強い足の打ちと、柔い肩を中心とした一杯に伸びきった手の掻き、日本選手がしている様にかき終った手で水をおさえるような動作も見えず、これも極端に強い足がそうさせているのである。結論的にいえば自由形短距離泳法を仰向けにしたところである。ボゾン選手が今後泳者としての肉体的な成長をすれば（特に上半身）1954年度背泳界に驚異的記録が生れるのではなかろうか。

今回の遠征で日本選手が学ぶべきは、常々与えられた環境で生活し得るよう訓練に心掛けることと、戦後ややもすれば無視され勝であったターニング、スタートなど大いに研究すべきである。日本選手が参加した種目と主要な競技成績のみ次にあげて見よう。

◎100米背泳

1. ガルボァー (アルゼンチン) 1:04.9
2. ボゾン (仏 国) 1:04.9

◎200米 バタフライ

- 1. クライン (独逸) 2:35.1
- 2. ルッシュェン (仏国) 2:35.5

◎100米 自由形

- 1. 鈴木 (日本) 59.2
- 2. スコールズ (米国) 59.5
- 3. ガルボァー (アルゼンチン) 59.5
- 4. ガールドー () 59.7
- 5. ボグーシャン (伯国) 59.7
- 5. ジャーニー (仏国) 59.7

◎400米 自由形

- 1. 山下 (日本) 4:44.2
- 2. ムーアー (米国) 4:44.5
- 3. 岡本 (伯国) 4:49.8
- 4. エミネント (仏国) 4:50.4

◎200米 自由形

- 1. ムーアー (米国) 2:09.4
- 2. 鈴木 (日本) 2:12.4
- 3. ボグーシャン (伯国) 2:12.8
- 4. ジャーニー (仏国) 2:13.2
- 5. 岡本 (伯国) 2:14.5

◎200米 背泳

- 1. ボゾン (仏国) 2:23.2

- 3. ガルボァー (アルゼンチン) 2:25.9

◎800米 自由形

- 1. 山下 (日本) 9:54.7
- 2. ボグト (アルゼンチン) 10:28.4

以上はアグワ・ブランカ室内プール25米で、以下はバカエンダーの屋外50米プールである。

◎100米 自由形

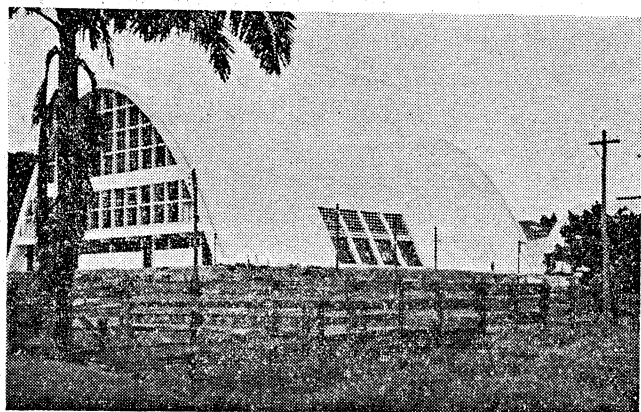
- 1. 鈴木 (日本) 59.2
- 2. エミネント (仏国) 59.3
- 3. ジャーニー (仏国) 59.6
- 4. ガールドー (アルゼンチン) 1:00.0
- 5. スコールズ (米国) 1:00.9

◎1500米 自由形

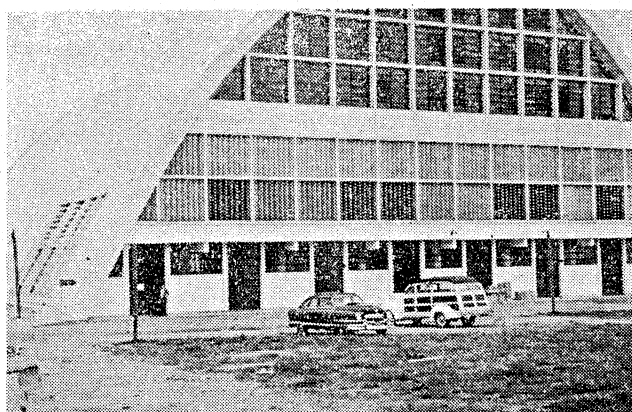
- 1. 山下 (日本) 19:39.2
- 2. ムーアー (米国) 20:25.0
- 3. 岡本 (伯国) 20:34.1
- 4. ボグト (アルゼンチン) 20:34.1

◎100米 背泳

- 1. ボゾン (仏国) 1:07.0
- 2. ガルボァー (アルゼンチン) 1:07.6
- 3. パーバン (伯国) 1:09.6
- 4. フィルホー (伯国) 1:10.2
- 5. トーマン (米国) 1:11.5



アグワ・ブランカ室内プール全景。



同プール正面。

“ハワイに招れて行く人のために”

ブラジルからの帰途ホノルルの数日を充分満喫して、さあ愈々あの飛行機に乗込みさへすれば、45日振りなつかしい東京へ着くなあと考えたとき、南国の香り高い花でつくった美しいレイを持った奇麗な婦人が僕に近づいて来た。どうするかと思っていると、その人はレイを僕の首にかけて呉れてニコリ笑うんです。そしてその人の顔がだんだん大きくなって近づいて来るのです

よ、真紅に塗った唇が輪になってとんがってさ、僕は、なんだか初めてレースに出た時みたいにドキドキし始めた。もうあと1寸位に近づいた時、“これはたまらん”と思ってその人を突きとばすようにして一目散に飛行機めがけて逃げだした。後で聞いたらハワイでこの奇妙な挨拶を拒んだのは皇太子殿下と僕だけだそうですよ。エッ！同行の二人、別に拒ばなかったようですよ。今年ハワイに招かれて行く人のために為念。

(渡伯選手の1人より)

1954年フィリピン水泳選手権大会

に参加して

根 上 博



フィリピン遠征の左より根上監督、谷、青木、新子、森前の諸選手。

フィリピン体協の招待で、谷、浅野の両君、新子、青木、森前の3嬢が1954年度フィリピン水泳選手権大会に参加した。競技会は1月6日より10日までの5日間で、リザール・プールで開催され、日本と同様この競技会に招待された濠洲のジョン・ヘ

ンリックス、ガーリー・チャップマンの両選手が参加して、競技会は白熱した。次頁のような成績で競技会は終わった。日・濠選手の出場しない種目は見るべきものはなかったが、数多くの新記録が出たことは上昇しつつあることを証明するもので、選手がよくなって来ていた。飛込競技はよいコーチがおらないため幼稚なもので、気の毒な競技内容であった。5日間の競技を通じ最も印象的なレースは昨夏我が短距離陣を東京、大阪と再度蹂躪して凱歌をあげて帰国した濠洲のヘンリックスと谷のレースで、100、200米自由形に我が谷は敢闘よく泳いだが、ヘンリックスのゴール前の猛スパートに屈し、兩種目共失ったが、実に観衆を興奮のつぼに入れた大レースで、記録的にも立派なものであった。また濠の恐るべき新人チャップマンの泳ぎを目近かに見ることができたことで、ヘンリックスを更に一周り大きくした軀と力強いストローク、同形の泳ぎではあったが、実力の片鱗を見せた頑張りで400米4分41秒0は確かに



ロンドン便り

昭和28年11月29日

小山賢之助

永らく御無沙汰致しました。私も当地に到着以来既に11週間となりました。御

地ではシーズンも終りアジア大会の準備などで御忙しいことと存じます。私も戦前当地で発行されているスウィミング・タイムスと記録の交換をしておりましたのが縁となって、その主筆カミズ氏と交際

をするようになり、色々と水泳の情報を蒐集するべく手を打っております。来シーズンまでには欧州の情報網を握って帰るつもりであります。小出君も元気にやっております。2ヶ月程欧州各国を廻っております。

英国では背泳が割合強く、オーソドックス平泳が弱いようです。1954年の強化策としては次のタイムを公式に凌駕した者を合宿練習させることとし、米国からミシガン大学のマット・マン氏をコーチとして招聘することになっています。

男子 110碼自由形 61秒 220碼自由形 2分21秒
440碼自由形 5分0秒 220碼平泳 2分54秒

相手次第では中距離の雄たる素質充分と見た。女子の方は新子とコロソの100, 200米の激しいレース青木の美しい泳ぎ, 森前の200米背泳の日本記録等充分な活躍をした。ただ浅野はレース直前に40度の発熱ですっかり弱り, 実力を発揮できなかったのは附添の不注意と深く責を感じている。

今度の遠征が比較的記録もよかったとすれば選手の選出がよかったので, 和気あいあいとして自ら整調に努め, 附添を不要とした。また気候, 水温が適しており, 飛行機旅行が疲れを感じない程度のものであり, 比体協関係者がよく面倒を見て充分な練習をすることができた。

日本の在外事務所, その家族, 在マニラの日本商社の方々が非常に親切にして呉れたし, 対日感情が非常によくなっていること等があげられる。

ただ国を出て競技をする時は, あらゆる条件を克服して勝たなければならない。勝つことが招待した国の関係者やファンにとっての一番よいお土産であり, 勝つことがその競技を通じその国を尊敬させることであることが感ぜられた。

男子の部

100米自由形	1着	ヘンリックス	57秒4
	2着	谷	57秒6
200米自由形	1着	ヘンリックス	2分09秒5
	2着	谷	2分10秒4
400米自由形	1着	チャップマン	4分41秒0
	2着	サイラニイ(比)	4分55秒6
	3着	浅野	5分03秒2
1500米自由形	1着	チャップマン	19分44秒0

220碼バタフライ 2分45秒 110碼背泳 1分19秒
 本年も終りに近付き英帝国(植民地を含む)1953年のベスト・アスリートの候補としてヘンリックスが「日・濠2ヶ国のスプリント選手権保持者」という理由でその候補になっていますが, 今のところ陸上長距離のゴードン・ビリーが有望です。

日本の情報を除き, 当地の雑誌上に現われた現在までの各種目の優秀記録を挙げると次の通りです。これよりよい記録が日本にあれば島田君にでも頼んで私まで知らせて下さい。

- ◎100米自由形 カダス(洪) 56.6, ヘンリックス(濠) 56.9, クリーヴランド(米) 57.3, コック(新嘉坡) 57.4, スコールズ(米) 57.5。
- ◎200米自由形 ニエキ(洪) 2:07.4, ムーア(米)

2着	サイラニイ	19分51秒2
3着	ロサダ(比)	20分29秒0
4着	浅野	20分53秒4

女子の部

100米自由形	1着	コロソ(比)	1分10秒2
	2着	新子	1分11秒0
200米自由形	1着	新子	2分45秒1
	2着	コロソ(比)	2分45秒5
100米背泳	1着	森前	1分22秒9
	2着	ボンギース(比)	1分24秒9
200米背泳	1着	森前	2分58秒2 (日本新)
100米平泳	1着	青木	1分29秒1
	2着	ラミレー(比)	1分32秒9
200米平泳	1着	青木	3分04秒5
	2着	ラミレー	3分16秒5



リザール記念プールに於ける前列左より青木, 森前, 新子嬢, 後列左より浅野, 谷選手。

- 2:09.4, 鈴木(日) 2:10.2, コンノ(米) 2:10.5
 - カダス(洪) 2:10.7, ヘンリックス(濠) 2:11.4
 - ◎400米自由形 コンノ(米) 4:37.0, ベルナルドー(仏) 4:39.0, 山下(日) 4:39.0, ニエキ(洪) 4:39.1
 - ソルダス(洪) 4:40.6, クレノイ(ソ) 4:43.2。
 - ◎1500米自由形 山下(日) 18:27.4, コンノ(米) 18:45.2, ソルダス(洪) 18:47.7
 - ◎100米背泳 ボゾン(仏) 63.6, ガルバオ(亜) 64.9, マギヤ(洪) 66.5
 - ◎100米平泳(オーソドックス) ペトリスウィッチ(波) 1:10.9(世界新)
 - ◎200米平泳 ウクシー(ソ) 2:43.3
- この中の日本の記録は正しいでしょうか。

“加盟団体の声”

- ① 中学校全国大会開催に対する意見
- ② 競技会運営に関する意見
- ③ 選手強化指導に対する希望
- ④ その他の希望

メルボルンへの準備の一環として上記の問題に就いて各加盟体にアンケートを行った処、回答11、貴重な資料として次に掲げます。無回答28には今後の御協力をお願いします。

群馬県水泳連盟

- ①記録標準を越した者をもっての参加を可とする。
記録標準は日本水連にて制定すること。
- ②従来と同様で可なるも、高校大会、将来の中学校大会等に関しては、これらの組織する団体の水泳関係者と密接なる連絡をとりつつ運行されることを望む。
- ③山間地帯の選手強化に関しては、昨年実施されたような水泳教室の開催といった形式で実施して欲しい。

千葉県水泳連盟

- ①開催賛成、但し中学校は義務教育につき町村単位に設立せられているので、経済面を充分考慮すること。例えばブロック制、出場人員の制限（タイム制による出場等）、或は府県単位制。
- ②学生部会、高・中・小体連、及び加盟団体の意見を充分に聞かれたし。
- ③強化委員会を強化し地方指導に専念せられたし。
地方は基礎的指導が緊要なればなり。
- ④国体の出場県の範囲を改善すること。例えば義務教育を終了したる県か、本籍地とか、地方府県の体育養成に主力を分配する等。

神奈川県水泳連盟

- ①中学校全国大会の開催を賛成する。急速に実現困難と思うが、これに準ずる方法を考慮されたい。但し都県内中学校大会実現が先決。
- ②ナシ。
- ③都県内に中学校競技会を盛込むよう連盟に於て適

当なる奨励をせられたい。

④ナシ。

富山県水泳協会

- ①中学校全国大会開催賛成。
 - a) 会場は国体のように地方持ち廻りがよい。
 - b) 全国をいくつかの地区に分けて大会を行うも可。但し全国大会には各県の代表者が何名か参加できるようにする。
- ②水上競技会運営に関する意見。
 - a) 全国勤労者大会地方予選に参加した者は、国体の実業団、教員の部に出場できるが、青年団の部に出場できなくては困る。現在青年団員にして勤労に従事しない者はない。このような規定があると全国勤労者大会を忌避する者が多い。
- ③選手強化指導に対する希望。
 - a) 小・中学校水泳を感んにする対策を講ずること。
 - b) 日本水連主催選手強化講習は全国各府県交替に開くこと。
 - c) 小・中学校の先生は全部水泳指導のできるように教員講習会を各県毎に行うこと。

愛知県水泳連盟

- ①中学校全国大会開催に対しては全面的に賛成致します。水泳の特種を考えていただければ当然と思っております。
- ②水上競技会運営には地方地方の事情に合って運営願いたし。
- ③選手の強化指導は昨年度非常に喜ばれ、本年も実施予定にて宜敷く御指導を願います。

三重県水泳連盟

- ①中学校全国大会は是非開催して欲しい。
- ②ナシ。
- ③自由、平、背、各1名宛一流選手を本年シーズン中に当連盟へ派遣して頂きたい。
- ④ナシ。

琵琶湖水泳協会

- ①中学校全国大会の開催は賛成であります。ただ開催地などに御考慮を願って、各地の者が参加できるようにして頂きたいと存じます。
- ②国体女子の部は、もう学生と実業団に分けてもよ

いように考えられます。勤労者大会は競技一本に走らず適当なレクリエーション種目を入れては如何でしょうか。

- ③本県の場合ではプール設備の増設、及び指導者の養成であります。
- ④バタフライを復活しては如何でしょうか。前項に関連して最も簡単で安価なプールのサンプルを御教示願いたいと存じます。

奈良県水泳連盟

- ①日本体育協会の了解のもとに1日も早く中学校大会を開催されるよう希望いたします。その方法に関して先般体協で決定された特殊な記録を持つ者という意味で、各府県予選で一定記録以上を出したものを集めて行うことにすれば、合法的かと思えます。
- ②高校大会の日取りを8月の第3日曜とされたく、会場は東京(神宮)、大阪プールを交互に使用するか、神宮プールと決定してしまいかしていただきたい。毎年新しい土地で宿の心配や、プール・コンディションの著しい変化があるとは感心しません。
- ③、④水泳誌がよき指導誌となることを希望しています。コーチング・スタッフの方々、シード校、インター・ハイ優勝校などの体験等を掲載し、又

16ミリで泳法のフィルムを作りたい。

高知県水泳連盟

- ①中学校全国大会開催を希望する。水泳教室も人数を10名位として続いてやって欲しい。(男、女共)
- ②全国高校大会は3日間とし男子、女子のみ夫々1日半で終了してもらいたい。
- ③昨年同様地区毎の強化指導を希望する。
- ④水泳規約を水連より早く作って頂きたい。

熊本県水泳協会

- ①是非開催して頂きたい。日本高校選手権に準じ、各県大会、地区大会、本大会の形式をとることがよいと思います。
- ②日本高校選手権の1校1種目3名以上にせられたい。
- ③水泳教室の参加人員を多くし、数カ所で開催せられたい。期間は1週間~10日間位が必要である。
- ④ナシ。

大分県水泳連盟

- ①とに角開催希望。
- ②当地から見て遠距離に於ける大会が多過ぎる。
- ③ブロック的の中学生大会。
- ④プール作成費の計算内容を知りたい。

連 盟 日 誌

	会(体協)	温泉プール)
2月1日(日) 事務所開く	定例代議員会(丸ビル精養軒)	22日(日) 〃 (〃)
12日(月) 学生水球委員会	2日(月) 文部省と懇談会	24日(火) 比島派遣少年水泳使節選考会
14日(水) 理事会	5日(木) 常務理事会	神宮プール専門委員会(外苑絵画館)
16日(金) 飛込委員会	7日(土) 学生水球委員会	25日(水) 水球小委員会
20日(火) 普及部委員会	10日(火) 女子部委員会	26日(木) 常務理事会
21日(水) 理事会	11日(水) 水球委員会	連盟規約改正小委員会
26日(月) 普及部委員会 学生水球委員会	12日(木) 常務理事会 清水氏歓迎会(いろは)	27日(金) 比島派遣選手送別会(体協)
27日(火) 水球委員会	13日(金) 飛込委員会	同派遣選手(村上・鈴木・橋爪・毛利)羽田出発
28日(水) 理事会 関東学生総務委員会(体協)	16日(月) 普及部委員会 「水泳」96号発行	28日(土) ビニール・プール見学(湯ヶ原)
30日(金) 女子水球の会	17日(火) 連盟規約改正小委員会	3月1日(日) 〃 (〃)
31日(土) 学生代表委員会 オリンピック対策協議	18日(水) 水球委員会	2日(月) 山口氏夫妻(オリンピック)謝恩会(松むら)
	19日(木) 理事会	
	20日(金) 審判測定器研究会 関東高校打合せ	
	21日(土) 日本泳法研究会(伊東)	

- | | | | | | |
|---------|---|---------|--|--------|---|
| 3日(火) | 女子部委員会 | 13日(水) | 東部医歯薬大会打合会
審判測定器研究会
N.H.Kテレビ懇談会 | 7日(日) | 早慶対抗水上競技大会
(神宮)
学生実行委員会(〃) |
| 4日(水) | 水球小委員会
競泳委員会 | 14日(木) | 常務理事会 | 8日(月) | 水泳講習会打合会 |
| 5日(木) | 常務理事会 | 15日(金) | 水球合同練習会始る
(東大プール)
報道関係懇談会
(ニュー東京) | 11日(木) | 常務理事会 |
| 6日(金) | 飛込委員会 | 16日(土) | 強化常任委員会 | 12日(金) | 水泳強化練習会(大分) |
| 10日(火) | 厚生省(勤労者大会)
打合会 | 18日(月) | 三大学対抗打合会
普及部幹事会 | 13日(土) | 〃(〃) |
| 11日(水) | 小出常務理事歓送会 | 20日(水) | 東部医歯薬大学打合会
税務署関係との懇談会
(松むら) | 14日(日) | 明・立・日三大学対抗
水上競技大会(神宮)
東部理工科大学(〃)
(東京工大)
水泳強化練習会(福岡) |
| 12日(木) | 常務理事会 | 21日(木) | 理事会
水球合同練習会終る | 15日(月) | 〃(〃) |
| 14日(土) | 学生水球委員会
比島派遣選手(村上・
鈴木・橋爪・毛利)帰国 | 22日(金) | 三大学打合会
飛込委員会
普及小委員会 | 17日(水) | 水球委員会 |
| 16日(月) | 比島派遣少年水泳使節
集合(Y.M.C.A.に合宿) | 23日(土) | 学生実行委員会, 東部
国公立大会打合会 | 18日(木) | 理事会
学生実行委員会 |
| 18日(水) | 競泳委員会
水球小委員会 | 26日(火) | 水球小委員会 | 20日(土) | 関東学生水球リーグ戦
始る(東伏見)
飛込座談会(神宮)
東京憲法大会(中大)
水泳強化練習会(広島) |
| 19日(木) | 理事会 | 28日(木) | 泳法委員会(自由形)
(東伏見プール)
常務理事会
三大学打合会 | 21日(日) | 関東学生水球リーグ戦
(東伏見)
東京憲法大会(中大)
水泳強化練習会(広島) |
| 20日(金) | 比島派遣選手(鈴木外)
歓迎会(体協)
〃 水泳少年使節(歡
送会(〃)
〃 〃 (羽田出発) | 29日(金) | 泳法委員会(背泳)
(東伏見プール)
水球小委員会
早慶対抗メンバー交換
会 | 22日(月) | 水泳指導者講習会始る
(国民体育館) |
| 25日(水) | 水球委員会 | 30日(土) | 泳法委員会(平泳)
(東伏見プール)
学生実行委員会 | 23日(火) | 水球小委員会
水球講習会打合会
(国民体育館)
水泳指導者講習会(〃) |
| 26日(木) | 常務理事会 | 6月1日(月) | 普及部小委員会 | 24日(水) | 〃(〃) |
| 27日(金) | 飛込委員会 | 2日(火) | 文部省との懇談会
水球小委員会 | 25日(木) | 〃 終る(〃)
常務理事会
学生実行委員会 |
| 31日(火) | 学生水球委員会
比島派遣水泳少年使節
帰国 | 3日(水) | 報道関係との打合会
(体協)
東部国公立大会打合会 | 26日(金) | 飛込委員会
水泳指導者資格検定試
験(国民体育館) |
| 4月1日(水) | 同少年使節歓迎会
(体協) | 4日(木) | 常務理事会
三大学メンバー交換会
水泳強化練習会(高知) | 27日(土) | 〃 終る(〃)
東部医歯薬大会メンバ
ー交換会
関東学生水球リーグ戦
(東伏見) |
| 2日(木) | 常務理事会 | 5日(金) | 水泳強化練習会(〃) | 28日(日) | 〃(〃) |
| 7日(火) | 強化常任委員会 | 6日(土) | 東部理工科大学メンバ
ー交換会
学生水球委員会
水泳強化練習会(高知) | 29日(日) | 比島関係懇談会
(東京会館)
競泳, 飛込, 水球連絡
会 |
| 8日(水) | 水球小委員会 | | | | |
| 9日(木) | 常務理事会 | | | | |
| 14日(火) | 女子部委員会 | | | | |
| 23日(木) | 理事会
学生実行委員会 | | | | |
| 24日(金) | 審判測定器研究会 | | | | |
| 30日(木) | 常務理事会 | | | | |
| 5月2日(土) | 学生総務委員会 | | | | |
| 6日(水) | 水球委員会 | | | | |
| 7日(木) | 常務理事会
学生実行委員会 | | | | |
| 8日(金) | 飛込委員会
水球小委員会 | | | | |
| 9日(土) | 学生水球委員会
理工科大学大会打合会 | | | | |
| 11日(月) | 普及部委員会 | | | | |

- 30日(火) 水泳指導者講習会始る
(天理プール)
- 7月1日(水) // (//)
水球小委員会
- 2日(木) 常務理事会
全国水泳指導者検定委員協議会(天理プール)
水泳指導者講習会(//)
- 3日(金) // 終る(//)
全国水泳指導者検定委員協議会 (//)
女子水球の会
- 4日(土) 関東学生水球リーグ戦
(日大プール)
水泳指導者資格検定試験 (天理プール)
水泳強化練習会(浜松)
- 5日(日) // (//)
関東学生水球リーグ戦
(日大プール)
水泳指導者資格検定試験 (天理プール)
- 7日(火) 国際水泳大会懇談会
- 8日(水) 東部国公立大会メンバー交換会
- 9日(木) 常務理事会
- 10日(金) 水泳強化練習会(館山)
- 11日(土) // (//)
関東学生水球リーグ戦
(日大プール)
- 12日(日) // 終る(//)
水泳強化練習会(館山)
東部医歯薬大会打合せ
(中大プール)
- 15日(火) 水球委員会
- 16日(木) 理事会
- 17日(金) 飛込委員会
- 18日(土) 日本選手権東京都予選会 (神宮)
東部国公立大会
(東大駒場プール)
- 19日(日) // (//)
日本選手権東京都予選会 (神宮)
- 20日(月) 国民皆泳大会打合せ
- 21日(火) 日本選手権大会プログラム編成会
- 23日(木) 常務理事会
- 24日(金) 比島水泳少年使節一行来日(5名)
- 25日(土) アメリカ選手一行来日(4名)
東京都高校大会(神宮)
- 26日(日) // (//)
濠洲選手一行来日(2名)
- 27日(月) N・H・Kとの外国選手撮影、及び懇談会
濠洲大使館お茶の会
水球小委員会
国民皆泳大会打合せ
- 28日(火) 米・濠・比選手歓迎会(東京会館)
- 29日(水) 強化常任委員会
強化委員会
- 30日(木) 日本選手権大会
第1日(神宮)
- 31日(金) // 第2日(//)
- 8月1日(土) // 第3日(//)
定例代議会
(神宮記念館)
- 2日(日) 日本選手権大会
第4日(神宮)
アジア大会水球候補選考会(候補決定)(//)
- 3日(月) 国民皆泳大会打合せ
- 5日(水) 日・米・濠・比国際水泳大会(大阪)
- 6日(木) // (//)
水泳教室始る
(天理プール)
- 7日(金) // (//)
濠洲・比島選手羽田より帰国の途につく
- 8日(土) アメリカ選手羽田より帰国の途につく
関東高校大会
(野沢プール)
水泳教室(天理プール)
- 9日(日) // (//)
- 10日(月) //(記録会)終る(//)
水球合宿練習会始る
(神宮プール)
- 国民皆泳大会最終打合せ
- 11日(火) 国民皆泳大会
(中央会場・神宮)
- 13日(木) 常務理事会兼アジア大会候補選手選考会(候補選手決定)
- 15日(土) 安部名誉主事国際水連総会に出席のため羽田出発
北海道、東北、中部、近畿、中国、四国、九州、地域高校大会
- 16日(日) //
- 19日(水) 飛込委員会
F. I. N. A. 総会 オランダ ニイムゲン(安部氏出席)
- 20日(木) // (//)
理事会
- 21日(金) 清水治氏アメリカへ
- 22日(土) 全国勤労者大会(若松)
- 23日(日) // (//)
- 26日(水) 普及部委員会
- 27日(木) 常務理事会
- 29日(土) 日本高等学校大会
(振甫プール)
関東学生大会メンバー交換会
- 30日(日) 日本高等学校大会
(振甫プール)
安部名誉主事帰国
- 9月2日(水) 学生水球委員会
- 3日(木) 常務理事会
- 4日(金) 飛込委員会
- 5日(土) 関東学生大会
(神宮プール)
- 6日(日) // (//)
- 7日(月) 日本学生大会メンバー交換会
- 9日(水) 水球委員会
- 10日(木) 常務理事会
- 11日(金) 日本学生大会(第1日)
(神宮プール)
- 12日(土) //(第2日)(//)
- 13日(日) //(第3日)(//)
- 16日(水) 文部省との懇談会
- 17日(木) 常務理事会
- 20日(日) 国民体育大会(第1日)
(高知プール)
- 21日(月) //(第2日)(//)

- 22日(火) // (第3日) (//)
臨時代議員会
(高知自治会館)
- 23日(水) 国民体育大会(第4日)
(高知プール)
- 25日(金) 飛込委員会
- 26日(土) 学生水球委員会
- 28日(月) 学徒体育審議会打合せ
- 29日(火) 学徒体育審議会(体協)
- 10月1日(木) 常務理事会
- 3日(土) アジア大会飛込選手選考競技会 (神宮)
関東学生水球トーナメント (日大プール)
- 4日(日) // (//)
アジア大会飛込選手選考競技会 (神宮)
- 8日(木) 常務理事会, アジア大会候補選手選考委員会
- 9日(金) 神宮プール運営委員会
(外苑絵画館)
- 10日(土) アジア大会(飛込)選手選考委員会
- 13日(火) 審判測定器研究会
- 14日(水) 水球委員会
- 16日(金) 理事会
- 17日(土) ブラジル派遣選手(志村・鈴木・山下) 歓迎会 (体協)
- 20日(火) 渡伯選手羽田出発
- 23日(金) 飛込委員会
- 26日(月) 学生水球委員会
- 28日(水) 水球委員会
- 29日(木) 常務理事会
エリサルデ氏歓迎会
(東京会館)
- 11月4日(水) 水球小委員会
- 5日(木) 常務理事会
- 7日(土) 学生水球委員会

- 12日(木) 常務理事会
- 13日(金) 厚生省(勤労者大会)との打合せ
- 19日(木) 理事会,
学生実行委員会
- 26日(木) 常務理事会
- 12月1日(火) 渡伯選手一行帰国
// 歓迎会 (体協)
- 2日(水) N.H.Kテレビとの打合せ
普及部委員会
- 4日(金) 水球委員会
- 6日(日) 古橋理事濠洲より帰国
- 10日(木) 常務理事会
- 12日(土) 学生水球委員会

- 16日(水) 普及部委員会
水泳担当記者との懇談会 (松むら)
- 17日(木) 理事会
- 19日(土) 東北水泳教室派遣講師
(太田・谷川・倉橋・梶川) 打合せ
- 21日(月) 普及部小委員会
東北水泳教室(志戸平温泉プール) 始る
- 29日(火) 常務理事会
渡比選手(根上・谷・浅野・新子・青木・森前) 羽田出発
- 30日(水) 事務所仕事納

編 集 後 記

年末年始の御多忙中万障を繰合せて原稿締切に御協力下さった各位に敬意を表します。目新しいのは安部名誉主事の国際水連(F. I. N. A.) 理事会報告と理事会議事録抜萃, これで内外の事情がよくお判りになることと思えます。

28年度を回顧しての座談会は原稿を待っているのは締切期日が延びるので、この形式をとった。不備の点は司会者の不馴れ故と御勘弁の程を。競技会記録と技術的研究をもっとと思われたが、紙面と時間の制限で割愛した。次頁に予告してある水泳連盟創立30周年記念特集号は時間的にも余裕があるので、名実共に立派なものにして御期待に沿いたい。

既に手許に来ている原稿もかなり多く、執筆をお願いした方々には夫々みな御承諾を得ているので、30周年記念特集号と銘うっても決して恥かしくないものとなるだろうが、欲をいえば全国の水泳愛好者の皆さんから奮っての投稿を得て、更に錦上に花を添えたいものです。何卒お願いいたします。

本を出すことは水泳連盟の苦手らしい。旧臘常務理事会で代議員会までに間に合わないから頭を下げるかと話が出たが、なんとか纏め上げようじゃないかということになった。それにしても後から見ると拙速だけしか自慢できないようなものになってしまった。

本当はもっと立派なものになったものと慙愧に耐えないが、今回は代議員会に間にあっただけで御寛容を乞う次第です。(川田)

日 本 水 泳 連 盟
機 関 雑 誌

水 泳

第 99・100 倍 大 号

昭和 29 年 1 月 20 日 印 刷
昭和 29 年 1 月 25 日 発 行

日 本 水 泳 連 盟

編 集 兼 発 行 人 藤 田 明

印 刷 所 株 式 会 社 成 島 印 刷 所
東 京 都 中 央 区 日 本 橋 本 石 町 3 - 4
電 話 日 本 橋 (24) 1701・6509・7082

定 価 100 円 (年 4 回 発 行 予 定)
4 回 分 ¥200.- (予 約 申 込 者 に 限
り 頒 布 す) 1 年 前 金 予 約 は 郵 送 料
不 要。

東 京 都 千 代 田 区 丸 ノ 内 2-2
丸 比 ル 722 区

発 行 並 申 込 所 日 本 水 泳 連 盟
電 話 和 田 倉 (20) 3090・4885 番

予

告

水泳 101号 (4月中旬発刊予定)

日本水泳連盟創立30周年記念特集号

目次

- | | |
|-----------------------------------|-----------------------------------|
| 1. 題未定.....田畑 政治 | 11. 中学生の対外試合について.....藤田 明 |
| 2. メルボルンへの道.....藤田 明 | 12. 水泳の身体的
障害の有無について.....柄田 幸徳 |
| 3. 30年の回顧.....松沢 一鶴 | 13. 10傑表グラフと記録の限界.....川田 友之 |
| 4. 各国水連の人達.....安部輝太郎 | 14. 国際的水球競技の
新動向とその対策.....時任 巖 |
| 5. 強化対策について.....高石 勝男 | 15. シンクロナイズド・
スウィミング.....白山源三郎 |
| 6. 女子水泳.....杉本 伝 | 16. 公認プールの造り方.....深谷 俊明 |
| 7. 思い出アンケート.....顧問
評議員
著名選手 | 17. 濠洲水泳界紹介.....古橋広之進 |
| 8. 競泳.....競泳委員会 | 18. 希望と意見.....加盟団体 |
| 9. 飛込.....飛込委員会 | |
| 10. 水球.....水球委員会 | |

昭和29年度

水泳年鑑

ヘルシンキ

オリンピック大会

報告書



日本水泳連盟 御用
日本陸上競技連盟

御注文は直接メーカーへ

名川徽章製作所

東京都文京区新諏訪町2
電話小石川(82)5347